

# 鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 36

## 令和元年度発掘調査報告

(第2分冊)

米 町 遺 跡

積 善 遺 跡

積 善 遺 跡

令和2年3月

鎌倉市教育委員会



積善遺跡（十二所字積善十二所字積善944番1、945番7、10地点）  
第5面全景（南から）



積善遺跡（十二所字積善944番6、7、10地点）1区  
第3面かわらけだまり（北から）

## ご あ い さ つ

本市は、市域の6割以上が埋蔵文化財包蔵地であり、多くの市民が埋蔵文化財が埋まった土地の上で生活を送っています。そのため、家屋や店舗の新築や建替え等に伴い、埋蔵文化財に影響を及ぼす工事が行われることも多くあります。このように、私たちが日々の生活を送っていく上でやむを得ず失われる埋蔵文化財について、記録を保存し後世に残すことは、現在を生きる私たちの責務であると言えます。

鎌倉市教育委員会では、昭和59年度から個人専用住宅の建築等に係る発掘調査を実施しています。本書は平成18・22～25・27・28年度に実施した、個人専用住宅の建築等に伴う発掘調査15か所の調査記録を掲載しています。

本書に収めたひとつひとつの調査成果は、武家政権発祥の地であり、今もその歴史を継承し、文化を発信する鎌倉の貴重な文化遺産です。これらの成果を広く知っていただくとともに、研究資料として活用されることを願って止みません。

最後になりましたが、発掘調査の実施にあたっては、関係者の皆様に深いご理解を賜るとともに、さまざまなご協力をいただきましたことを心からお礼を申し上げます。

令和2年3月 日

鎌倉市教育委員会

## 例 言

- 1 本書は令和元年度の国庫補助事業埋蔵文化財緊急調査に係る発掘調査報告書（第2分冊）である。
- 2 本書所収の調査地点及び所収分冊は別表・別図のとおりである。
- 3 現地調査及び出土資料の整理は、鎌倉市教育委員会文化財課が実施した。
- 4 出土遺物及び調査に関する図面及び写真等は、鎌倉市教育委員会文化財課が保管している。
- 5 各調査の成果は、それぞれの報告を参照されたい。

## 第2分冊 目次

ごあいさつ	Ⅰ
例言	Ⅱ
目次	Ⅲ
本誌掲載の平成24・27・28年度発掘調査地点一覧	Ⅳ
調査地点位置図	Ⅴ
<b>3 米町遺跡 (No.245) 大町二丁目2400番5、6地点</b>	
第一章 遺跡の位置と歴史的環境	5
第二章 発見された遺構と遺物	12
第三章 まとめ	66
<b>4 積善遺跡 (No.440) 十二所字積善944番1、945番7、10地点</b>	
第一章 調査地点の位置と歴史的環境	125
第二章 発見した遺構と遺物	132
第三章 考察とまとめ	170
<b>5 積善遺跡 (No.440) 十二所字積善944番6、7、10地点</b>	
第一章 調査地点の位置と歴史的環境	223
第二章 発見した遺構と遺物	231
第三章 考察とまとめ	273

本誌掲載の平成24・27・28年度発掘調査地点一覧

第2分冊

	遺 跡 名	所 在 地	調 査 原 因	遺跡種別	調査面積	調 査 期 間
3	米 町 遺 跡 (No. 245)	大町二丁目2400番5、6	個人専用住宅 (柱状改良工事)	都 市	75.00	平成24年8月28日 ～平成24年11月22日
4	積 善 遺 跡 (No. 440)	十二所字積善944番1、945番 7、10	個人専用住宅 (柱状改良工事)	遺物散布地	47.00	平成27年8月18日 ～平成27年11月12日
5	積 善 遺 跡 (No. 440)	十二所字積善944番6、7、10	個人専用住宅 (柱状改良工事)	遺物散布地	68	平成28年5月12日 ～平成28年9月7日

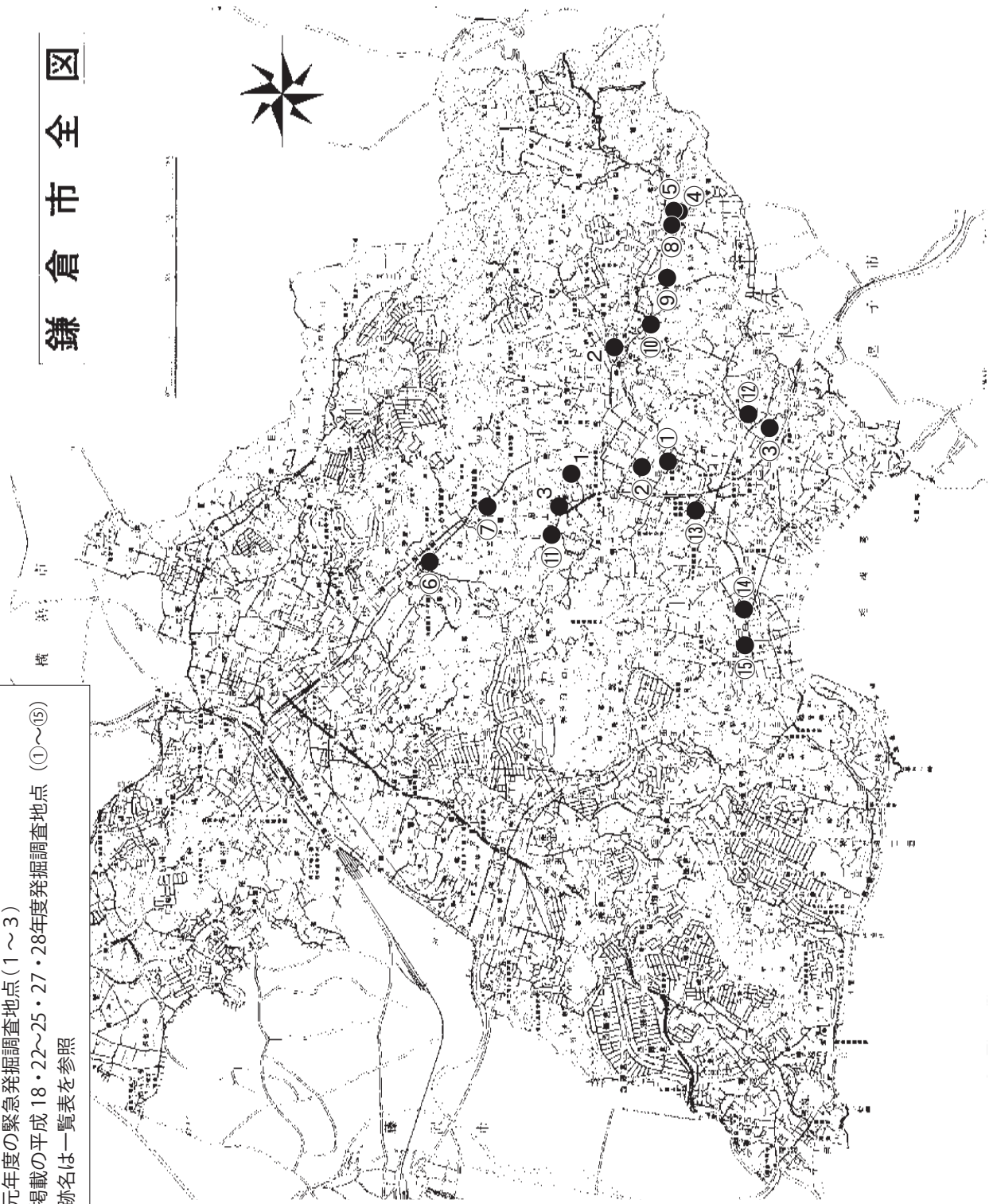


# 鎌倉市全図

令和元年度の緊急発掘調査地点(1～3)

本書掲載の平成18・22～25・27・28年度発掘調査地点(①～⑮)

※遺跡名は一覧表を参照







# 米町遺跡(No.245)

大町二丁目2400番5・6地点

## 例言

1. 本書は鎌倉市大町二丁目2400番5.6地点における個人住宅建設に伴う発掘調査報告書である。調査面積は75.00㎡である。
2. 調査は平成24年8月28日から同年11月22日にかけて実施した。
3. 調査体制は以下の通りである。

主任調査員	伊丹まどか
調査員	小野夏菜・梅岡ケイト・渡邊美佐子
	測量：須佐仁和・梅岡ケイト
調査作業員	安達越郎・牛嶋道夫・新海勝夫・徳安秀昭・沼上美代治・廣田善幸
4. 本報作成分担は以下の通りである。

遺物実測	清水由加里・田畑衣理・正木恵子・吉田桂子
遺構図版作成	清水由加里・吉田桂子
遺物図版作成	清水由香里
グリッド図作成	清水由加里
遺物観察表	田畑衣理
遺構計測表	吉田桂子
破片遺物集計表	田畑衣里
遺構写真	須佐仁和
遺物写真	須佐仁和
写真図版作成	梅岡ケイト
執筆・編集	伊丹まどか・田畑衣里
5. 出土品等発掘調査に係る資料は鎌倉市教育委員会が管理している。
6. 本報図版の遺構・遺物の縮尺は以下の通りである。

遺構全測図	：1/80	個別遺構図	：1/40	遺物実測図	：1/3（* 銭は原寸）
-------	-------	-------	-------	-------	--------------

なお各挿図にはスケールを表示してある。
7. 検出した遺構の計測値・実測遺物観察・実測できなかった遺物を含む総出土点数は表にまとめて掲載した。

復元した遺物の計測値には（ ）を付して表してある。

本文中「かわらけ」と記載したものはロクロ成形のかわらけを示し、手づくね成形のかわらけは「手づくね」と記載している。

ロクロ成形かわらけの底径は回転糸切りの外径部分で計測し、手づくね成形かわらけは口径と器高のみを報告し底径は掲載していない。
8. 花粉分析試料採集地点は最終トレンチ位置図（図3）に報告している。
9. 発掘調査に係る出土品の注記については、遺跡名の略号を「KM1202」とした。
10. 参考文献は第3章末尾に一括して掲載した。
11. 発掘調査及び報告書作成に際して以下の方よりご教授、ご協力を賜りました。記して深謝いたします。  
岡田慶子・汐見一夫・滝沢晶子・松吉大樹・松尾宜方・宮田眞・山口正紀・山本輝久  
（五十音順・敬称略）

## 本文目次

第一章 遺跡の位置と歴史的環境	5
第1節 歴史的環境	
第2節 遺跡位置とグリッド配置	
第3節 堆積土層・最終確認トレンチ	
第二章 発見された遺構と遺物	12
第1節 第1面の遺構と遺物	
第2節 第2面の遺構と遺物	
第3節 第3面の遺構と遺物	
第4節 第4面の遺構と遺物	
第三章 まとめ	66
第1節 検出した遺構と遺物	
第2節 まとめ	
遺構計測表	70
遺物観察表	74
遺物破片数表	91
実測外木製品計測表	92
米町遺跡の花粉分析（森将志・パレオラボ）	

## 挿図目次

図1 調査地点と周辺の遺跡	6	図17 第2面個別遺構・出土遺物（3）	34
図2 遺跡位置とグリッド配置図	8	図18 第2面面上出土遺物	36
図3 堆積土層図・最終トレンチ位置図	9	図19 第2面構成土出土遺物	37
図4 第1面・第2面全測図	10	図20 第3面遺構326・出土遺物（1）	39
図5 第3面・第4面全測図	11	図21 第3面遺構326・出土遺物（2）	41
図6 第1面個別遺構（1）	13	図22 第3面個別遺構（1）	43
図7 第1面個別遺構（2）	14	図23 第3面個別遺構（2）	44
図8 第1面個別遺構・出土遺物（1）	17	図24 第3面個別遺構・出土遺物（1）	46
図9 第1面個別遺構・出土遺物（2）	18	図25 第3面個別遺構・出土遺物（2）	47
図10 第1面個別遺構・出土遺物（3）	19	図26 第3面個別遺構・出土遺物（3）	48
図11 第1面・面上・構成土出土遺物（1）	21	図27 第3面個別遺構・出土遺物（4）	49
図12 第1面構成土出土遺物（2）	22	図28 第3面個別遺構・出土遺物（5）	50
図13 第2面個別遺構（1）	24	図29 第3面個別遺構・出土遺物（6）	51
図14 第2面個別遺構（2）	25	図30 第3面個別遺構・出土遺物（7）	52
図15 第2面個別遺構・出土遺物（1）	27	図31 第3面個別遺構・出土遺物（8）	53
図16 第2面個別遺構・出土遺物（2）	28	図32 第3面個別遺構・出土遺物（9）	54

図33 第3面面上・構成土出土遺物	56	図37 第4面個別遺構・出土遺物(3)	61
図34 第4面個別遺構	58	図38 第4面個別遺構・出土遺物(4)	62
図35 第4面個別遺構・出土遺物(1)	59	図39 第4面個別遺構・出土遺物(5)	64
図36 第4面個別遺構・出土遺物(2)	60	図40 表土採集遺物	65

## 図版目次

図版1 第1面遺構(遺構2・4・8・10・11・13・14・28・36・37・41・44・45・50・51・55)	113
図版2 第1面遺構55・第1面構成土	114
図版3 第1面構成土・第2面遺構(遺構58・65・68・91・101・108・112・246・262・263・265・278・280・285・293)	115
図版4 第2面・面上(折敷)	116
図版5 第2面遺構(遺構294・296・305・311・333)・第2面面上・第2面構成土・第3面遺構(遺構124・135・164・179・326)	117
図版6 第3面遺構(166・335・337)	118
図版7 第3面遺構(遺構337・345・352・356・372・375)・第3面面上・第3面構成土・第4面遺構182	119
図版8 第4面遺構(遺構187・206・229・401)・表土	120

# 第一章 遺跡の位置と歴史的環境

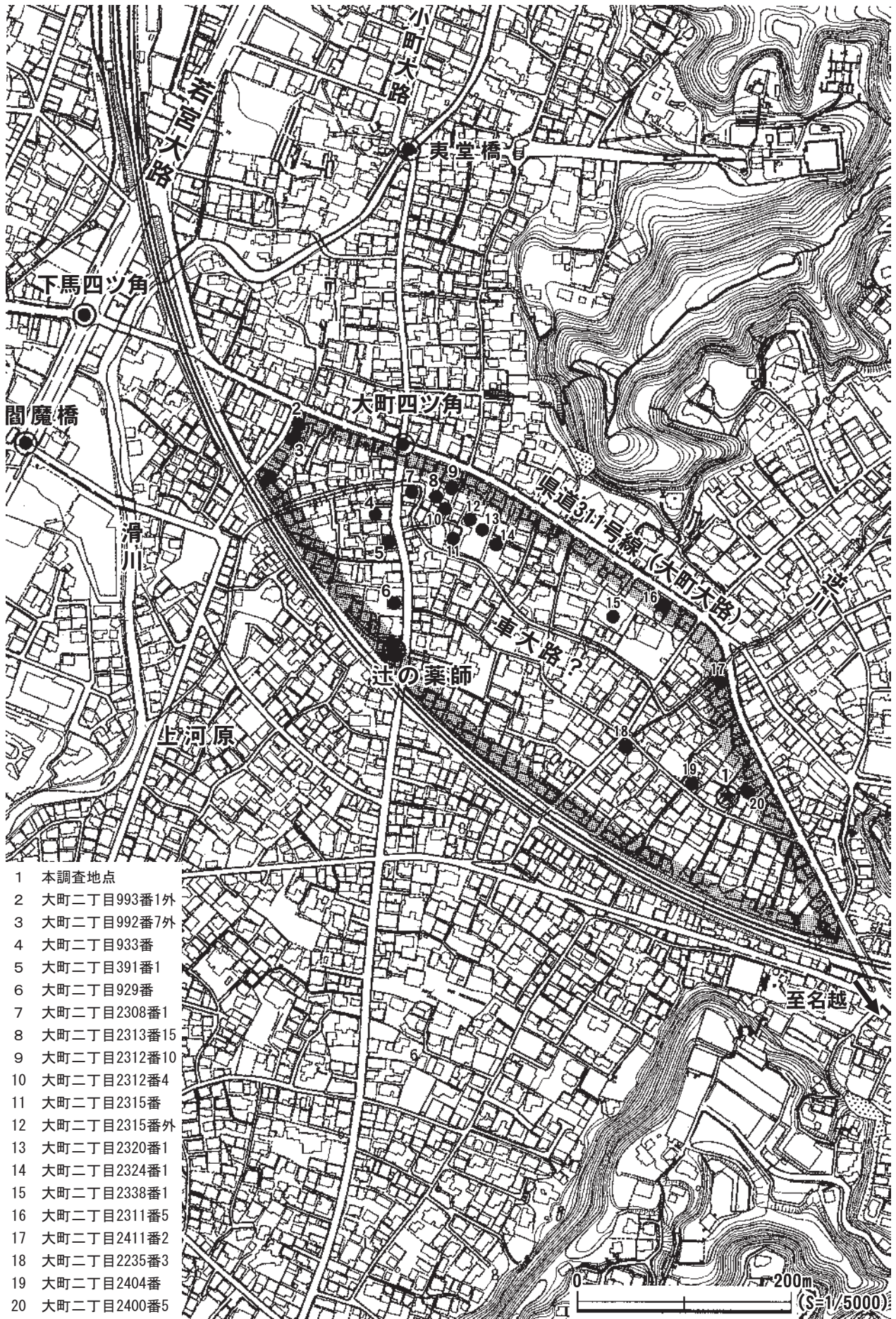
## 第1節 歴史的環境 (図1)

鶴岡八幡宮から由比ガ浜まで鎌倉市街地の中心を南北に貫く若宮大路は鎌倉幕府の基幹道であると共に、参詣道としての役割をもち、三本の鳥居が建っている。若宮大路の南端に建つ現在の一の鳥居から北に約300mの地点で東西に走る現県道311号（鎌倉葉山線）が交差している。この県道は現逗子市から名越切通しを抜け、若宮大路の東に並行する小町大路、若宮大路、若宮大路西に並行する今小路の、鎌倉市街地を南北に走る三条の基幹道と交差し、大仏坂切通しを経由する古代から現在に至るまで東西を結ぶ重要な交通路である。また、中世においては若宮大路との交点である下馬四つ角辺から西に大仏切通し辺りまでを「長谷小路」、東に名越切り通しに至るまでの道を「大町大路」と呼んでいたと考えるが、「大町大路」の位置については、夷堂橋を境とし県道311号線と交差する「大町四つ角」までの南北道とする説もある。

本調査地は下馬四つ角を東に向かい、北は大町大路、東と南は現横須賀線線路と大町大路が交差する地点、西は下馬四つ角から東へ約200m行った地点にある南北道を範囲とする「米町遺跡（神奈川県遺跡台帳No.245）」の東端辺、鎌倉市大町二丁目2400番5・6地点に所在する。「米町」は「穀町」とも言う。「米町」は幕府が町屋免許を発行した七ヶ所あるいは九ヶ所の商業地域の中に「米町」（『吾妻鏡』建長三年十二月十三日条）、「穀町」（同書文永二年三月五日条）の記事があり、米穀類の取引をおこなった地域であるが、有力御家人の屋敷も所在していたことが知られる。建保元年（1213）の和田合戦の際、武田信光は若宮大路米町口で朝比奈義秀と行きあい、米町の辻・大町大路等の所々で戦った。仁治二年（1241）十二月、武田光蓮が若宮大路の東頼米町の前を通って由比ヶ浜に向かっているとの記事が『吾妻鏡』にみえ、明応頃（1492～1499）の作とされる津久井光明寺蔵『善宝寺寺地図』では、若宮大路と大町大路が交差する東北の家並を「米町」と注する。「善宝寺」は大町大路の北側、滑川左岸にあったという廃寺である。地図では延命寺橋を東に渡ったところの両側に家並が描かれているので、米町は大町大路にあったことになるが、遺跡範囲とは大きく位置がずれることになる。貞享二年（1685）刊行の『新編鎌倉志』には「大町ノ四辻ヨリ西へ行横町を米町と云」と伝え、具体的な範囲は不明であるがこれもまた遺跡範囲とは位置がずれるようである。「大町大路」の南には「車大路」があったとされる。その道は「今小路」を南下し県道311号線と交わる六地藏交差点から県道よりも一筋南の道を東に進み、「閻魔橋」、滑川、逆川を渡り、「辻の薬師」の北に進み、本調査地の南を走る道路を通り県道311号線にぶつかる道筋ではなかったかと言われている。現在その道筋は逆川を渡った地点で横須賀線によって分断されており、また、その道筋を明確に示す傍証はない。

調査地点の南に接する道路（車大路？）は、遺跡範囲のほぼ中央を「大町大路」と並行するように東西に走り、西に約350mの地点で、若宮大路の東に並行して走る「小町大路」を南下し、「大町大路」と交差する南北道に突き当たる。この道は外港として流通の拠点であった「和賀江島」に向かい「小坪道」と呼ばれる逗子・三浦方面に抜ける道に続く。米町同様に町屋免許を許された一つが「和賀江島」であった。また、同様に調査地点から西に約110mで交差する南北道を南に進むと現在の横須賀線を渡り、「水道道」と呼ばれる明治期に旧日本海軍が敷設した道にぶつかるが、北へ進むと名越ヶ谷の中央を東に進み、現在「釈迦堂の切通し」と呼ばれている切通しを経て浄明寺に抜け、和賀江島同様に鎌倉の外港として機能していた六浦港と幕府の中核域を結ぶ「六浦道」につながる。釈迦堂辺は北条時政の名越山荘跡であると伝承が残っている。





- 1 本調査地点
- 2 大町二丁目993番1外
- 3 大町二丁目992番7外
- 4 大町二丁目933番
- 5 大町二丁目391番1
- 6 大町二丁目929番
- 7 大町二丁目2308番1
- 8 大町二丁目2313番15
- 9 大町二丁目2312番10
- 10 大町二丁目2312番4
- 11 大町二丁目2315番
- 12 大町二丁目2315番外
- 13 大町二丁目2320番1
- 14 大町二丁目2324番1
- 15 大町二丁目2338番1
- 16 大町二丁目2311番5
- 17 大町二丁目2411番2
- 18 大町二丁目2235番3
- 19 大町二丁目2404番
- 20 大町二丁目2400番5

図1 調査地点と周辺の遺跡

## 第2節 遺跡位置とグリッド配置 (図2)

調査開始にあたり調査区に任意の方眼軸を設け、基本点Aと、見返り点Bを設定し遺構の測量・図面作成に使用した。基本点Aと、見返り点Bは鎌倉市4級基準点成果表に基づき国土座標に倣った座標値の移設を行ったが、調査時の成果表は日本測地系(座標AREA 9)の国土座標値を使用しているため、本報告作成に際しては国土地理院が公開する座標変換ソフト「WEB版TKY2JGD」で世界測地系IX形に変換し、図2に表記した。

## 第3節 堆積土層 (図3)

本調査地の西に流れる逆川は、北方に広がる名越大谷戸を開析し北から南に向かった流れを、調査地の西方で直角に近い角度で西に向きを変え、上河原で滑川に合流する。この変則的な川の流れは砂丘微高地が逆川の行く手を阻むため現在の横須賀線はこの微高地上に敷設されている。調査地一帯は砂質低湿地、もしくは砂丘間低地上に位置する。調査前、現地表海拔高は約8.30～8.60mを測った。約80～110cmの厚さで堆積する現代埋土(表土)を重機によって除去し4枚の生活面を検出した。現地表以下、検出したそれぞれの生活面は北東から南西に向かってやや海拔高が下がっていた。

以下、Ⅱ区調査区北壁、Ⅰ区・Ⅱ区調査区東壁の土層堆積図を用いて、確認した生活面の海拔高と構成土について述べる。

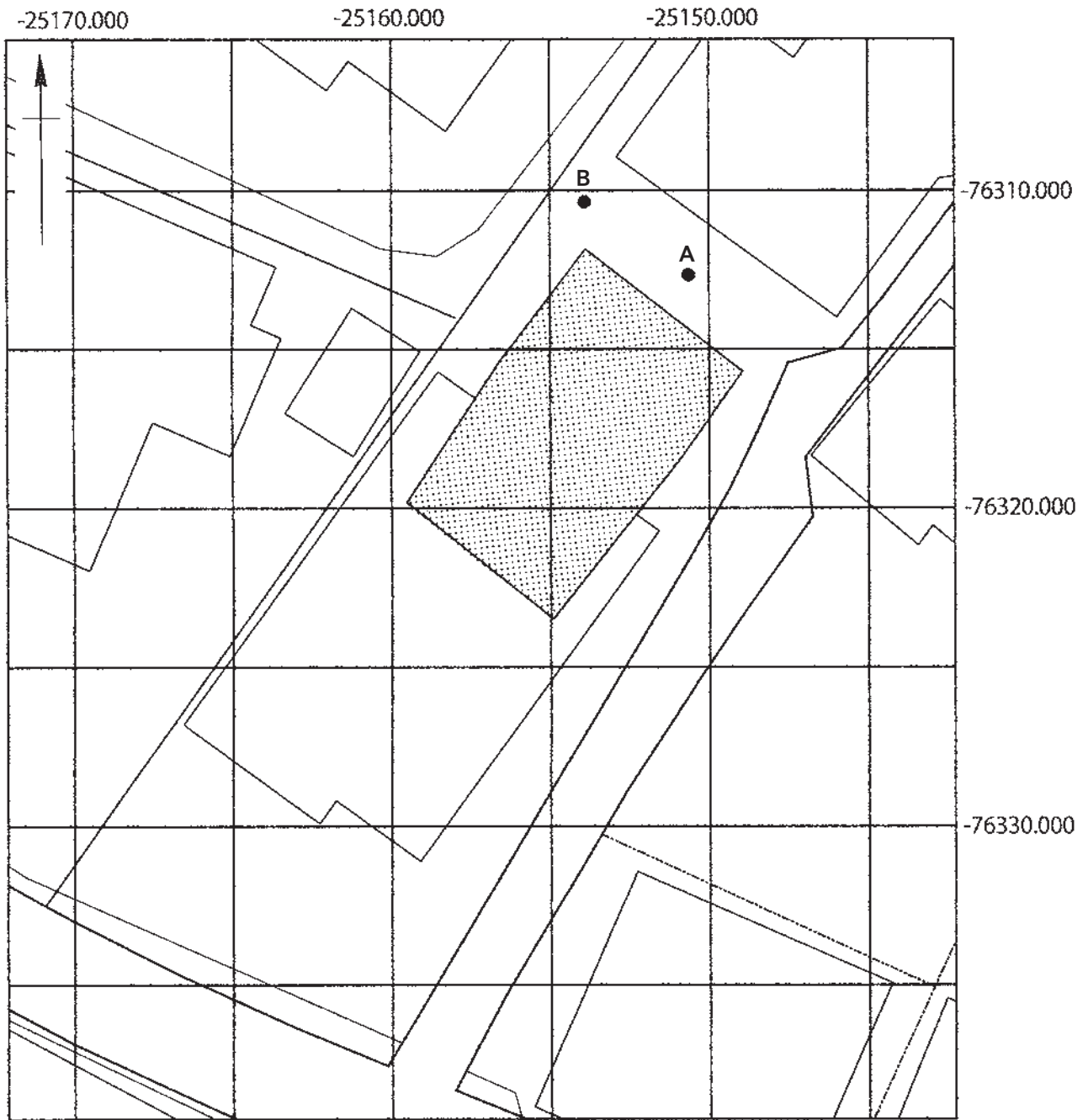
第1面は泥岩粒・炭化物・茶色有機質土を含む暗褐色弱粘質土のやや脆弱な地業層上で発見した。第2面検出土層との間層に部分的ではあるが薄く炭化物層が広がる。確認レベルは海拔7.40～7.45mである。第2面は泥岩粒を多く含み、褐色砂・炭化物を含む暗褐色弱粘質土。多くの遺構を検出・確認したが、地業土としては第1面よりもさらに脆弱であった。確認レベルは約7.10～7.15m。第3面は泥岩粒・炭化物・褐色砂・青灰色砂を含む茶色弱粘質土。第3面は多くの遺構を検出したが、湧水が激しいためか地業層としては締りがなく、遺構の切り合いにやや混乱がみられる。確認レベルは6.80～6.90m。第4面は若干の炭化物・黒色粘土をブロック状に含む明茶色砂。確認レベルは6.50～6.70m。第4面構成土下層には中世地山と考える水磨した泥岩粒・植物遺体・黒色粘土を含む青灰色砂層を調査区北壁・東壁の南端・最終トレンチで確認している。青灰色砂層は、上層で確認した生活面とは逆に北東から南西に向かって若干海拔高があがっているが、狭小な調査区内で部分的に検出、確認しているため確かではない。検出レベルは北西隅で約6.20m。北東隅で6.50m。南西隅で約6.70mである。

第4面検出後、Ⅰ区Ⅱ区共に最終トレンチを設け下層の堆積土を確認した。

Ⅰ区は分割した調査区北壁に沿ってトレンチを設けたため、調査区のほぼ中央に位置する。第4面構成土以下は黒色粘土・褐鉄を多く含む明茶褐色砂が約40cm堆積し、次層はやや粗い褐鉄を含む明茶褐色砂が約30cm堆積していたが、いずれも無遺物層であった。その下層には中世地山と考える水磨した泥岩粒を含む青灰色砂と若干の植物遺体を含む青灰色砂層が互層に堆積していることを確認している。調査区中央付近で確認した中世地山の海拔高は約5.90mと、調査区の北、南で確認したレベルよりやや低くなっている。

Ⅱ区は調査地の中央付近にトレンチを設けた。第4面検出レベルから約10～15cm下層で中世地山と考える青灰色砂層を検出している。Ⅰ区同様に水磨した泥岩粒・植物遺体を含んでいた。確認したレベルは約6.40mである。調査区内で確認した中世地山の検出レベルは一定していない。水磨した泥岩や植物遺体の検出から、湿地帯が広がっていたと考えられる。

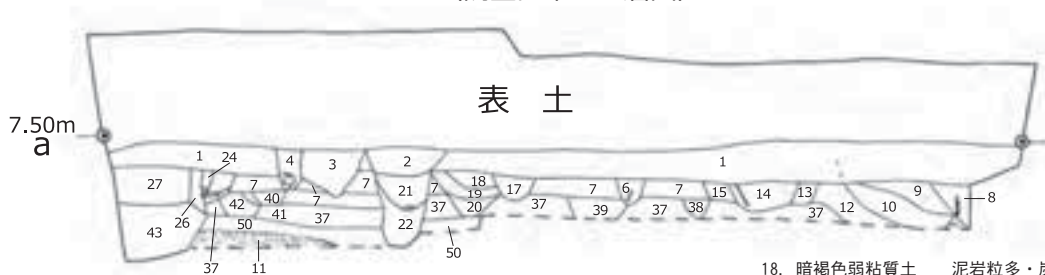




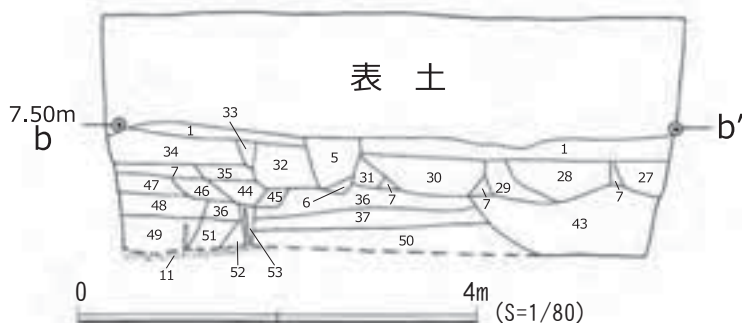
世界測地系		
地点	X	Y
A	-76312.663	-25150.643
B	-76310.355	-25153.909

図2 遺跡位置とグリッド配置図

〈調査区東壁土層図〉

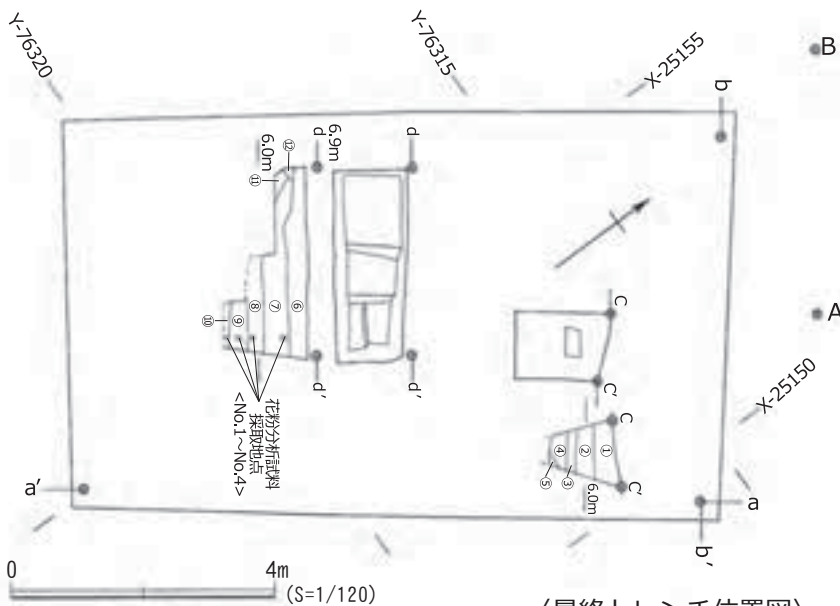


〈調査区北壁土層図〉



〈東壁・北壁土層説明〉

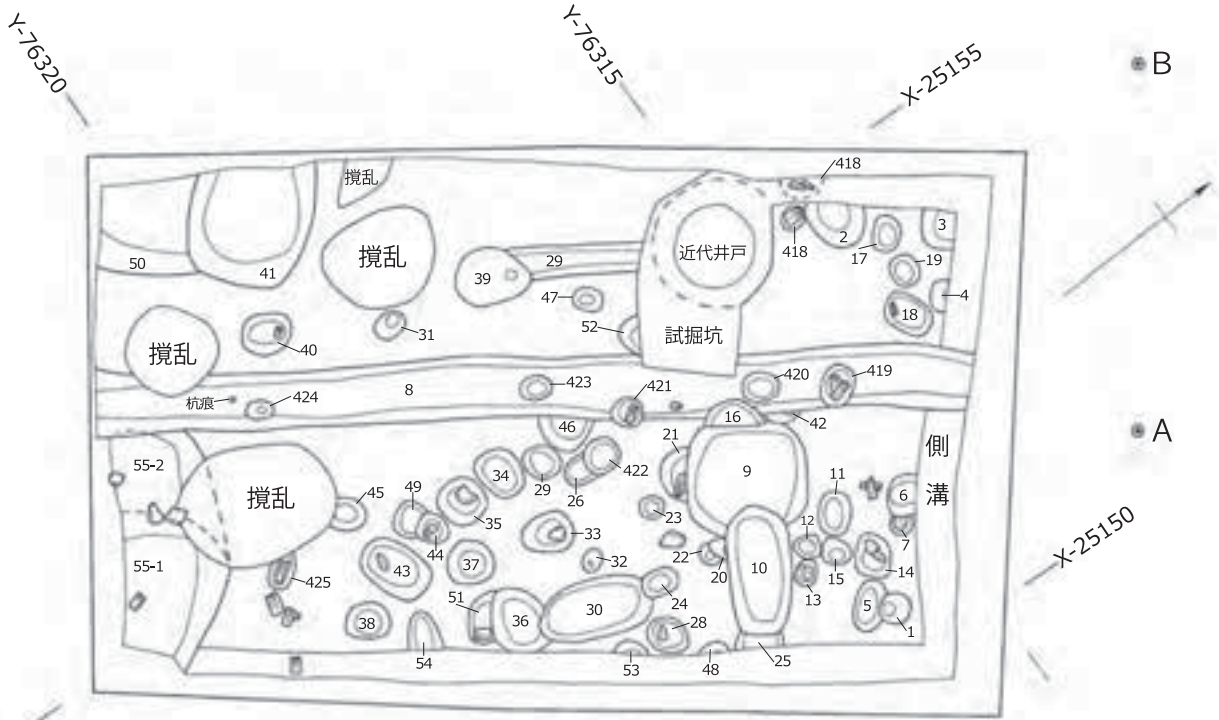
- |              |                             |              |                            |
|--------------|-----------------------------|--------------|----------------------------|
| 1. 暗褐色弱粘質土   | 泥岩粒多・炭化物・茶色有機質土 (第1面構成土)    | 18. 暗褐色弱粘質土  | 泥岩粒多・炭化物多・有機質土             |
| 2. 暗褐色弱粘質土   | 泥岩・泥岩粒・炭化物少                 | 19. 暗褐色弱粘質土  | 褐色砂・有機質土                   |
| 3. 暗褐色弱粘質土   | 泥岩・泥岩粒・炭化物多・有機質土 (遺構25)     | 20. 暗褐色弱粘質土  | 木片・黒色粘土・有機質土               |
| 4. 暗褐色弱粘質土   | 泥岩粒多・炭化物少・茶色有機質土少           | 21. 褐色弱粘質土   | 泥岩・泥岩粒・炭化物多                |
| 5. 暗褐色弱粘質土   | 泥岩・泥岩粒多・褐鉄・炭化物多 (遺構8)       | 22. 暗褐色弱粘質土  | 泥岩粒・炭化物少・有機質土              |
| 6. 暗褐色弱粘質土   | 泥岩・炭化物多・灰褐色砂 (遺構8)          | 23. 暗褐色弱粘質土  | 泥岩粒多・炭化物少                  |
| 7. 暗褐色弱粘質土   | 褐色砂・粘性あり・泥岩粒多・炭化物少 (第2面構成土) | 24. 暗褐色弱粘質土  | 有機質土                       |
| 8. 暗茶褐色弱粘質土  | 泥岩粒多・炭化物多・茶色有機質土 (遺構55)     | 25. 暗褐色弱粘質土  | 有機質土                       |
| 9. 暗茶褐色弱粘質土  | 泥岩・泥岩粒                      | 26. 暗褐色弱粘質土  | 泥岩粒多・炭化物少・有機質土             |
| 10. 暗茶褐色弱粘質土 | 泥岩粒多・炭化物・茶色有機質土             | 27. 暗褐色弱粘質土  | 泥岩・泥岩粒多・炭化物多・木片            |
| 11. 青灰色砂     | 地山? 褐鉄混入・湧水の為不明             | 28. 暗褐色弱粘質土  | 泥岩塊・泥岩・泥岩粒多・炭化物少・有機質土      |
| 12. 暗褐色弱粘質土  | 泥岩多・泥岩粒多・炭化物多               | 29. 暗褐色弱粘質土  | 泥岩・炭化物少・有機質土               |
| 13. 暗茶褐色弱粘質土 | 炭化物・茶色有機質土                  | 30. 暗褐色弱粘質土  | 泥岩多・泥岩粒多・炭化物少 (遺構299)      |
| 14. 暗茶褐色弱粘質土 | 泥岩・泥岩粒・炭化物多 (遺構65)          | 31. 暗褐色弱粘質土  | 泥岩多・泥岩粒多・炭化物少              |
| 15. 暗茶褐色弱粘質土 | 炭化物・茶色有機質土                  | 32. 暗褐色弱粘質土  | 泥岩多・泥岩粒多・炭化物少              |
| 16. 暗茶褐色弱粘質土 | 杭又は柱あり・泥岩粒少・炭化物少            | 33. 暗褐色弱粘質土  | 泥岩粒多・炭化物多                  |
| 17. 暗褐色弱粘質土  | 泥岩・泥岩粒少・炭化物多・褐色砂            | 34. 暗褐色弱粘質土  | 泥岩多・泥岩粒多・炭化物多              |
|              |                             | 35. 暗褐色弱粘質土  | 泥岩多・泥岩粒多・炭化物多              |
|              |                             | 36. 暗褐色弱粘質土  | 泥岩粒少・炭化物少・褐色砂・有機質土         |
|              |                             | 37. 茶色弱粘質土   | 炭化物少・褐色砂・青灰色砂混入 (第3面構成土)   |
|              |                             | 38. 暗褐色弱粘質土  | 泥岩・泥岩粒多・炭化物少               |
|              |                             | 39. 暗褐色弱粘質土  | 泥岩・泥岩粒多・炭化物少               |
|              |                             | 40. 暗褐色弱粘質土  | 泥岩塊・泥岩粒多・炭化物少              |
|              |                             | 41. 暗褐色弱粘質土  | 褐色砂・黒色粒土                   |
|              |                             | 42. 暗褐色弱粘質土  | 褐色砂・有機質土                   |
|              |                             | 43. 暗褐色弱粘質土  | 泥岩塊・泥岩・泥岩粒・木片・有機質土 (遺構337) |
|              |                             | 44. 暗褐色弱粘質土  | 泥岩少・木片・有機質土                |
|              |                             | 45. 黒褐色弱粘質土  | 炭化物少・有機質土                  |
|              |                             | 46. 黒褐色弱粘質土  | 泥岩粒少・炭化物多                  |
|              |                             | 47. 暗褐色弱粘質土  | 泥岩多・炭化物多                   |
|              |                             | 48. 暗茶褐色弱粘質土 | 泥岩・泥岩粒多・炭化物・有機質土 (遺構326)   |
|              |                             | 49. 茶褐色弱粘質土  | 炭化物多・木片・有機質土 (遺構326)       |
|              |                             | 50. 明茶色砂     | 黒色粘土が筋ブロック状に混入 (第4面構成土)    |
|              |                             | 51. 暗褐色弱粘質土  | 泥岩多・泥岩粒多                   |
|              |                             | 52. 暗褐色弱粘質土  | 褐色砂・有機質土                   |
|              |                             | 53. 茶色有機質土   |                            |



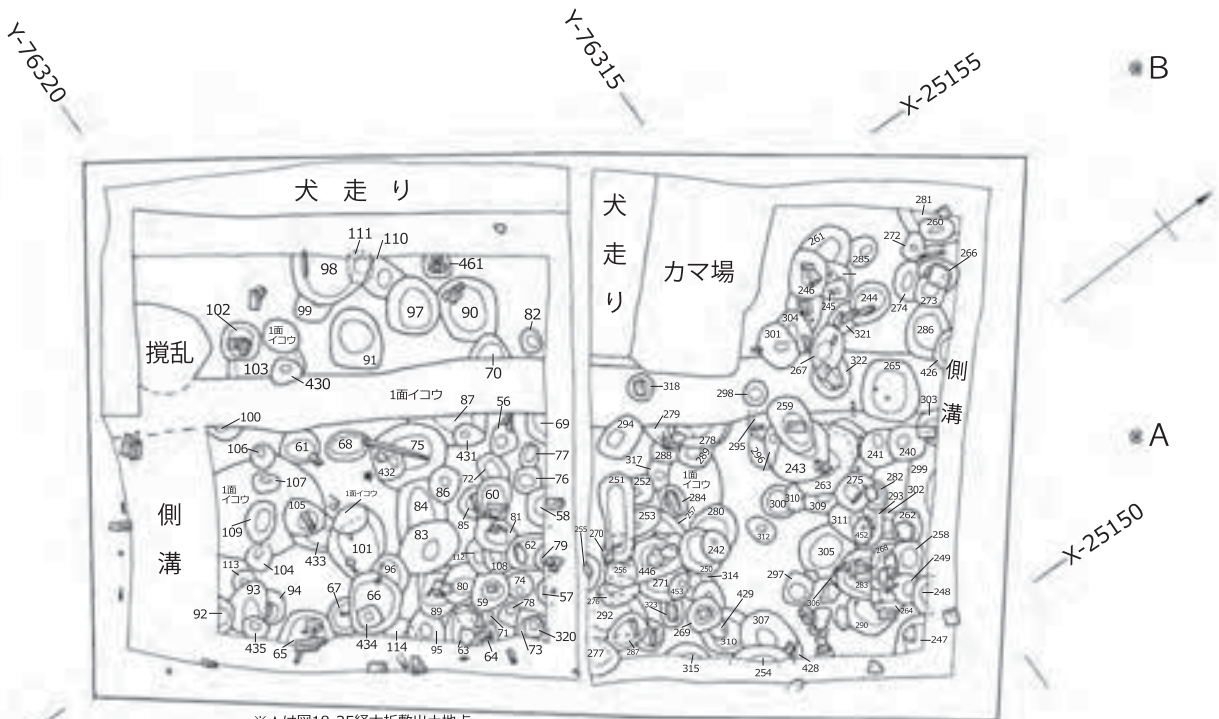
〈最終トレンチ土層説明〉

- |          |                          |
|----------|--------------------------|
| ①青灰色砂質土  | 黒色粘土・褐色砂                 |
| ②青灰色砂質土  | 水磨した泥岩・軽石・有機質土           |
| ③青灰色砂    | 茶褐色砂・有機質土・貝砂             |
| ④青灰色砂質土  | 泥岩・有機物多                  |
| ⑤青灰色砂質土  | 泥岩・有機質土                  |
| ⑥暗茶褐色砂質土 | 黒色粘土ブロック状に入り、褐色砂が縦の筋状に入る |
| ⑦明茶褐色砂質土 | 褐鉄多・黒色粘土が縦の筋状ブロックで入る     |
| ⑧明茶褐色砂質土 | ⑦より粗い砂質土・褐鉄含む            |
| ⑨青灰色砂    | 水磨した泥岩                   |
| ⑩青灰色砂    | 有機物多                     |
| ⑪青灰色砂    | 黒色粘土ブロック状に入る             |
| ⑫黒褐色弱粘質土 | 泥岩・炭化物・木片                |

図3 堆積土層図・最終トレンチ位置図



〈第1面全測図〉



※★は図18-25経木折敷出土地点

〈第2面全測図〉



図4 第1面・第2面全測図





## 第二章 発見された遺構と遺物

本調査は重機によって表土を約80～110cm除去した後に4枚の生活面を確認した。調査地内で廃土の処理を行うために、第1面以外は、Ⅰ区（南側）・Ⅱ区（北側）に調査区を二分割して調査している。第1面を検出した暗褐色弱粘質土の地業層上層には、黒褐色弱粘質土の中世遺物包含層が堆積していることを確認したが、部分的であったため、調査・記録は行っていない。本報告で掲載した個別遺構図は原則として実測遺物を報告した遺構を掲載している。個別図面のない遺構の形状・規模は、全測図と遺構計測表を参照していただきたい。また、遺構番号は調査作業の簡便を図るために遺構プランに対して付した番号を記載しており、番号の新旧が遺構の新旧を表すものではない。本報告で掲載した遺物は、遺物観察表に詳細を報告し、本文中では遺物名だけを記載している。以下、上層から順に発見した遺構と出土遺物について説明を加えていく。

### 第1節 第1面の遺構と遺物（図4・図6～図12）

前述したように重機によって表土を掘り下げ、暗褐色弱粘質土上で第1面を検出した。現代埋土によって遺構検出面は攪乱を受けていた。現地表から約100cm下層で湧水したため、調査区四周に側溝を設け、調査区北西に遺存していた近代井戸に排水した。発見した遺構はピット45穴・土坑11基・溝1条である。第1面は3時期に亘る遺構を確認している。発見した遺物は、かわらけ・手づくね・青磁・青白磁・白磁・褐釉・瀬戸・常滑・渥美・山茶碗・瓦・土鍋・瓦器質製品・砥石・滑石鍋・鉄釘・銭・須恵器・土師器である。遺構検出した海拔高は約7.20～7.30mである。

#### 遺構2(図6)

調査区外に遺構が延び規模は不明となった。楕円形を呈する土坑である。遺構覆土は茶褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒・炭化物を含む。

#### 出土遺物(図8)

1～3はかわらけ。その他に常滑甕・常滑片口鉢Ⅰ類が破片で出土している。

#### 遺構3(図6)

調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。遺構覆土は茶褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒・炭化物を含む。

#### 出土遺物(図8)

4～5はかわらけ。その他に常滑甕が破片で出土している。

#### 遺構4(図6)

調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。ピットである。遺構覆土は茶褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒・炭化物を含む。

#### 出土遺物(図8)

7～8はかわらけ。その他に瀬戸四耳壺・常滑甕が破片で出土している。

#### 遺構7(図4)

円形を呈するピットである。遺構覆土は茶褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒・炭化物を含む。遺構底面に不整形な泥岩が遺存していた。礎石か。遺物はかわらけが破片で出土している。

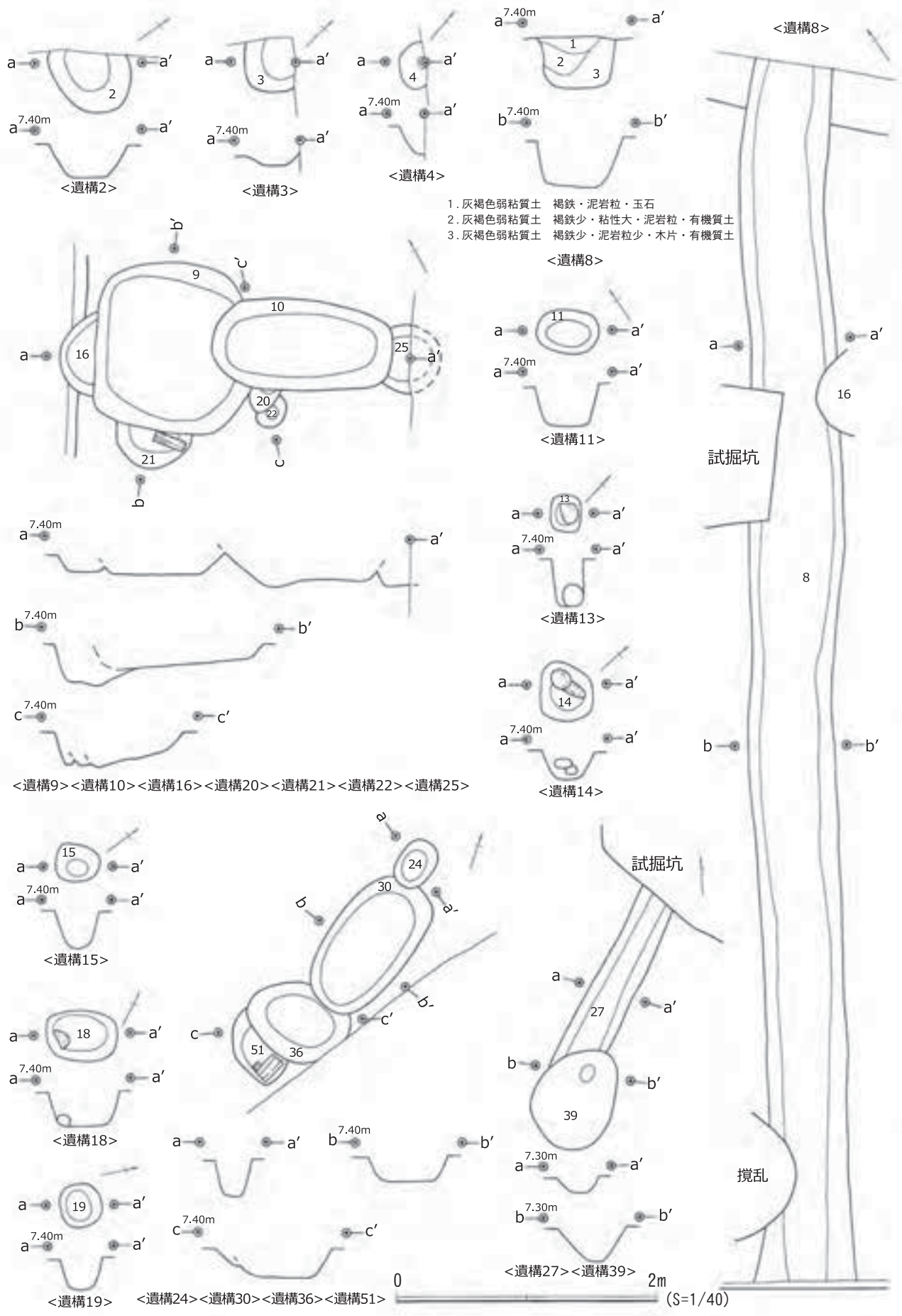


图6 第1面個別遺構(1)

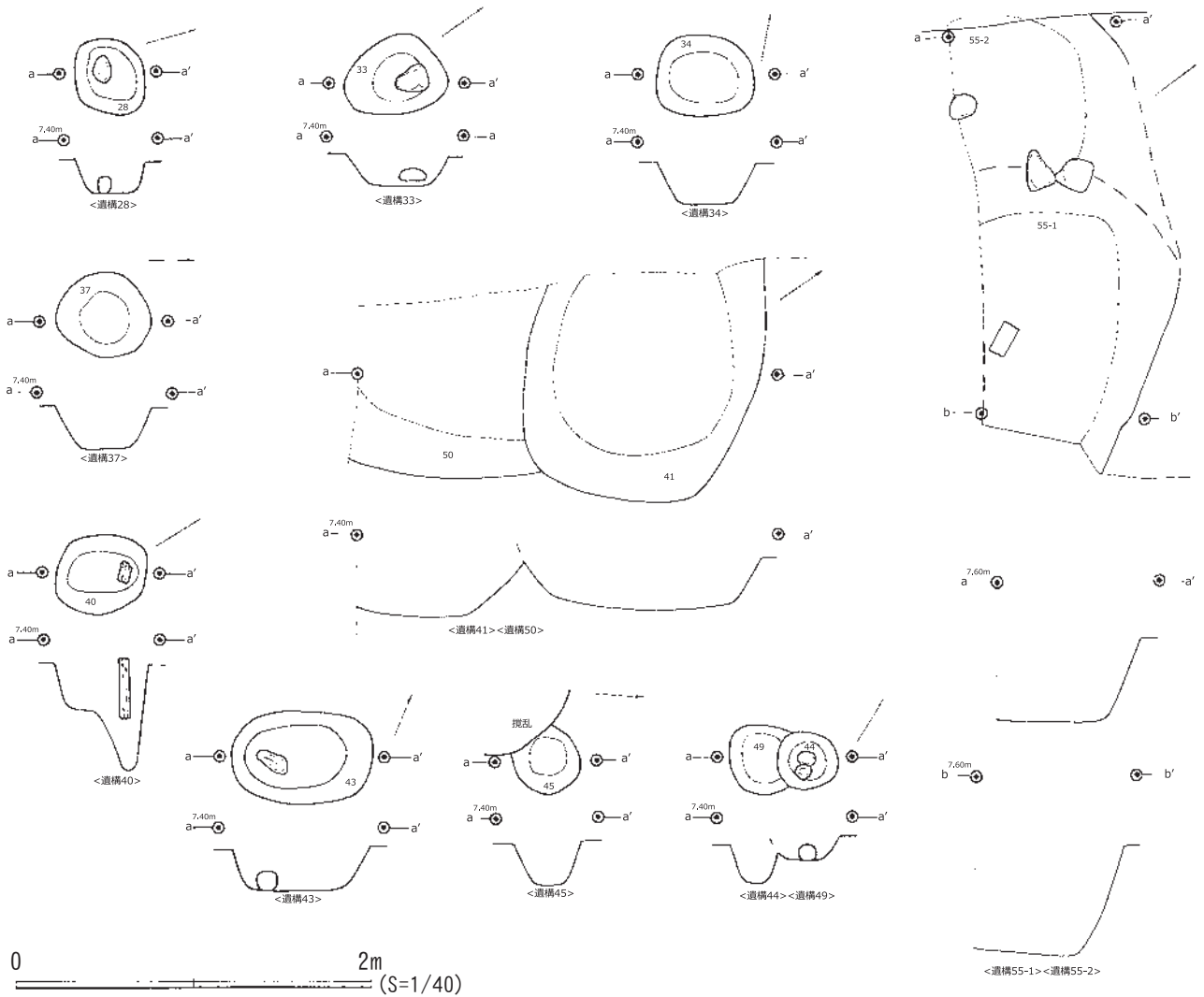


図7 第1面 個別遺構(2)

### 遺構8(図6)

南北に走る溝である。検出した遺構底面の海拔高がほぼ平坦であったため流下方向は不明。断面逆台形を呈する。溝側面には側板、杭などが遺存しておらず素掘りの溝だったのかもしれない。遺構8の東西では場の違いがみえ、溝東側では礎板・礎石を伴うピットを多く検出し、建物が建っていた様子が窺える。溝西側は攪乱によって壊されており不明な点も多いが空閑地ではなかったかと考えている。遺構覆土は灰褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒・炭化物・褐色粘土・茶色有機質土を含む。

### 出土遺物(図8)

9～10はかわらけ。11は青磁鎗蓮弁文碗。12は白磁小壺。13は白磁口元皿。14は常滑片口鉢Ⅰ類。15は常滑甕。16～20は銭。その他に瀬戸入子・瀬戸壺・常滑壺・平瓦・瓦器碗・滑石鍋が破片で出土している。

### 遺構9(図6)

隅丸方形を呈する土坑である。遺構10に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒・炭化物多・茶色有機質土を含む。

### 出土遺物(図8)

21はかわらけ。22は青白磁梅瓶。23は常滑壺。その他に瀬戸壺・常滑甕・常滑片口鉢Ⅱ類・南伊勢系土鍋・チャートが破片で出土している。



#### 遺構10(図6)

楕円形を呈する土坑である。遺構底部に礎石が遺存していた。遺構9・遺構25を切る。遺構覆土は茶褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒・炭化物多・茶色有機質土を含む。

#### 出土遺物(図8)

24はかわらけ。25は青磁碗。26は常滑片口鉢Ⅱ類。その他にかわらけ・青磁蓮弁文碗・瀬戸器種不明・常滑甕・瓦器碗が破片で出土している。

#### 遺構11(図6)

楕円形を呈するピットである。遺構覆土は茶褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒・炭化物を含む。遺構底部に礎石が遺存していた。

#### 出土遺物(図8)

27は常滑甕。その他にかわらけが破片で出土している。

#### 遺構13(図6)

楕円形を呈するピットである。遺構底面に不整形な泥岩が遺存していた。礎石か。遺構覆土は茶褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒・炭化物を含む。

#### 出土遺物(図8)

28～29はかわらけ。その他に常滑片口鉢Ⅱ類が破片で出土している。

#### 遺構14(図6)

不整形円形を呈するピットである。遺構底面に安山岩の礎石が遺存していた。遺構覆土は茶褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒・炭化物を含む。

#### 出土遺物(図8)

30は常滑片口鉢Ⅱ類。その他にかわらけが破片で出土している。

#### 遺構15(図6)

不整形円形を呈するピットである。遺構覆土は茶褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒・炭化物を含む。

#### 出土遺物(図8)

31は常滑片口鉢Ⅰ類。その他にかわらけ・青磁蓮弁文碗が破片で出土している。

#### 遺構16(図6)

遺構9に切られ形状・規模は不明となった。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒・炭化物多を含む。遺物は破片でかわらけ・常滑甕が出土している。

#### 遺構18(図6)

楕円形を呈するピットである。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒・炭化物・茶色有機質土を含む。

#### 出土遺物(図8)

32はかわらけ。その他に遺物は出土していない。

#### 遺構19(図6)

円形を呈するピットである。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒・炭化物を含む。

#### 出土遺物(図8)

33は滑石鍋加工品・用途不明。その他にかわらけ・白磁口兀碗・常滑甕が破片で出土している。

#### 遺構20(図6)

遺構10に切られ規模は不明となった。円形を呈するピットである。遺構覆土は褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒・炭化物を含む。遺物は破片でかわらけ・常滑甕が出土している。

#### 遺構21(図6)

円形を呈するピットである。遺構9に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒・炭化物・茶色有機質土・木片を含む。遺構覆土内に礎板が遺存していた。遺物は破片でかわらけ・常滑甕・瓦器碗が出土している。

#### 遺構22(図6)

円形を呈するピットである。遺構20に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物多を含む。遺物はかわらけが破片で出土している。

#### 遺構24(図6)

楕円形を呈するピットである。遺構30を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物を含む。

#### 出土遺物(図8)

34は瀬戸折縁皿。その他にかかわらけが破片で出土している。

#### 遺構25(図6)

遺構10に切れ、調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物多・茶色有機質土多を含む。遺物は破片で白磁壺・常滑甕が出土している。

#### 遺構27(図6)

溝状の土坑であるが、北側は試掘坑に、南側は遺構39に切れ、その延長上に遺構は続かない。断面は浅い逆台形を呈する。遺構覆土は灰褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物・褐色粘土を含む。

#### 出土遺物(図8)

35はかわらけ。その他に常滑甕・常滑片口鉢Ⅰ類が破片で出土している。

#### 遺構28(図7)

不整円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩・泥岩粒・炭化物を含む暗褐色弱粘質土。遺構覆土内に不整形な泥岩・泥岩塊が遺存していた。柱材の根固めとして使用か。

#### 出土遺物(図8)

36は青磁鉢。その他にかかわらけが破片で出土している。

#### 遺構30(図6)

楕円形を呈する土坑である。遺構24に切れ、遺構36を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒多・泥岩・炭化物多を含む。

#### 出土遺物(図8)

37は山茶碗。38は常滑壺。その他にかかわらけ・青磁蓮弁文碗・常滑甕が破片で出土している。

#### 遺構33(図7)

不整円形を呈するピットである。遺構覆土内に泥岩が遺存していた。礎石か。遺構覆土は茶褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒多・炭化物を含む。

#### 出土遺物(図8)

39は青磁鎬蓮弁文碗。その他にかかわらけ・青白磁梅瓶が破片で出土している。

#### 遺構34(図7)

楕円形を呈するピットである。遺構覆土は茶褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒多・炭化物多を含む。

#### 出土遺物(図8)

40はかわらけ。その他に常滑甕・山茶碗が破片で出土している。

#### 遺構36(図6)

不整円形を呈する土坑である。遺構30に切れ、遺構51を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒多・

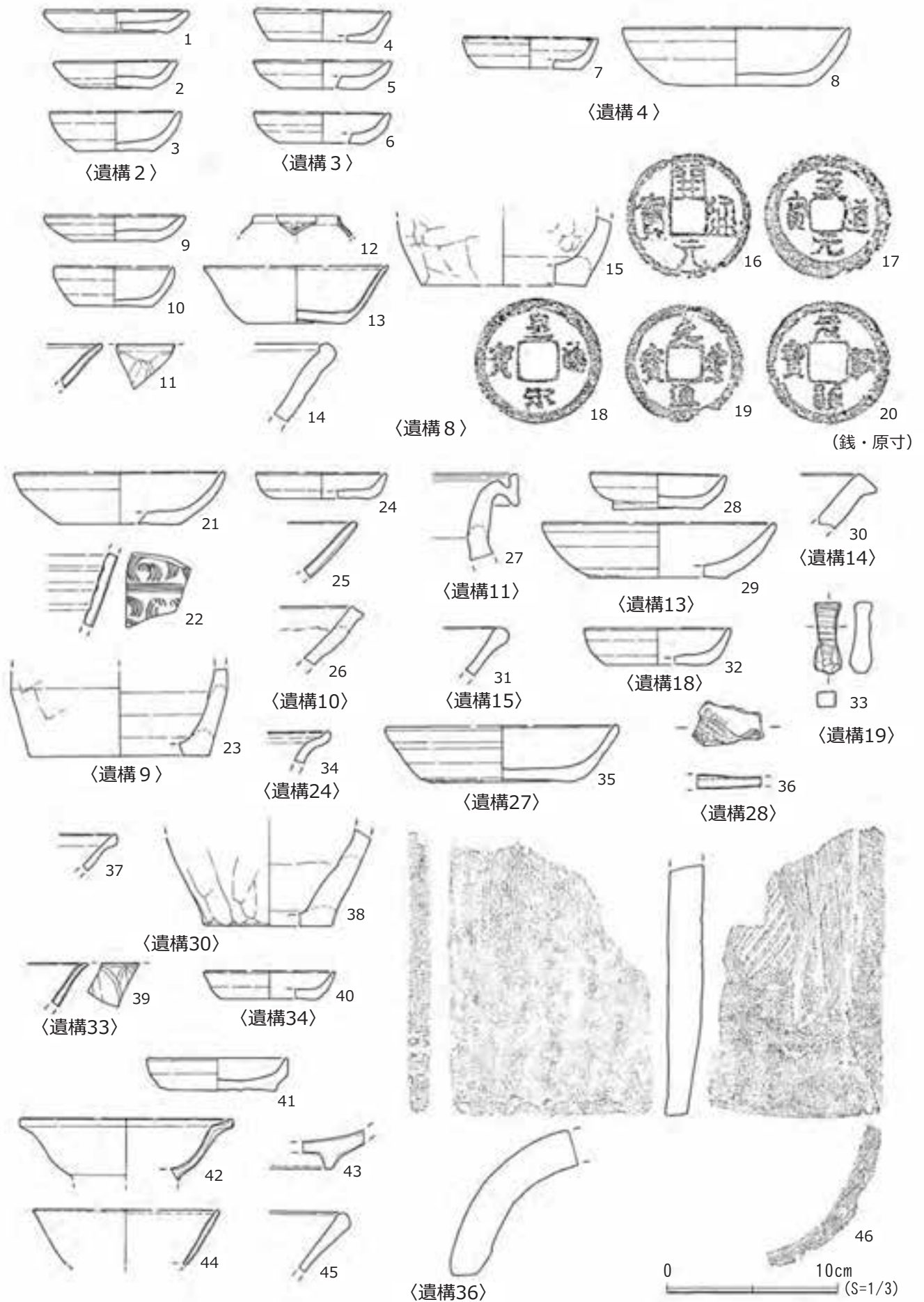


图8 第1面個別遺構出土遺物(1)

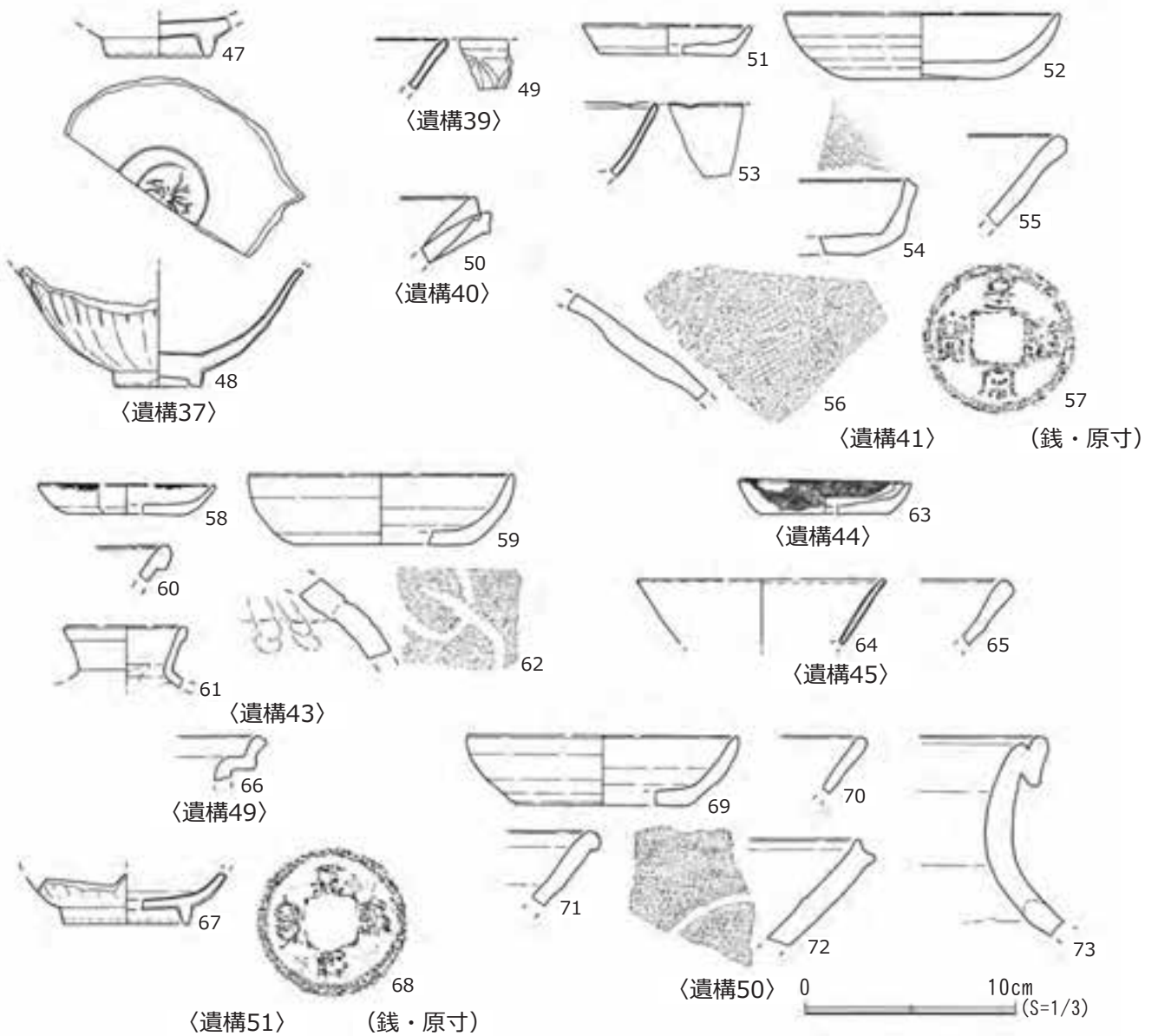


図9 第1面個別遺構出土遺物(2)

炭化物多を含む。

出土遺物(図8)

41はかわらけ。42は青磁折縁鉢。43は青磁碗。44は白磁口元皿。45は常滑片口鉢I類。46は丸瓦。その他に遺物は出土していない。

遺構37(図7)

円形を呈するピットである。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒多・炭化物多を含む。

出土遺物(図9)

47~48は青磁鎬蓮弁文碗。その他にかわらけ・常滑甕が破片で出土している。

遺構39(図6)

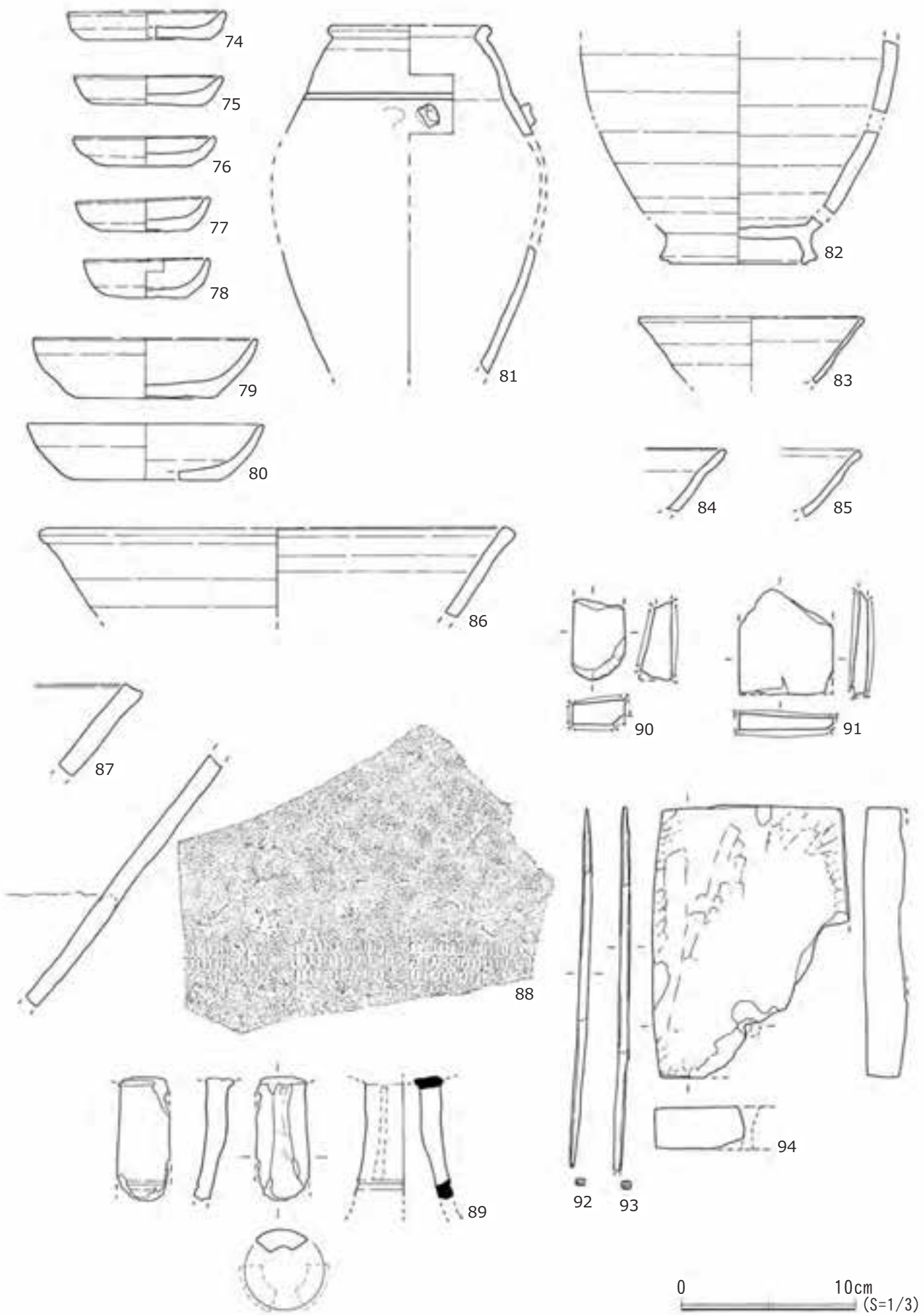
不整円形を呈する土坑である。遺構27を切る。遺構覆土は茶褐色弱粘質土・泥岩粒多・炭化物多を含む。

出土遺物(図9)

49は青磁鎬蓮弁文碗。その他に常滑甕が破片で出土している。

遺構40(図7)





〈遺構55〉

图10 第1面個別遺構出土遺物（3）

楕円形を呈するピットである。遺構覆土内に柱状の木材が遺存していた。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物多を含む。

#### 出土遺物(図9)

50は常滑片口鉢Ⅱ類。その他にかわらけ・常滑甕・常滑片口鉢Ⅰ類が破片で出土している。

#### 遺構41(図7)

調査区外に遺構が延び規模は不明となった。土坑である。遺構50を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩多・泥岩粒多・炭化物多を含む。遺構覆土から現代遺物は出土していないが攪乱の可能性を考えている。

#### 出土遺物(図9)

51～52はかわらけ。53は青磁碗。54は瀬戸卸皿。55は常滑片口鉢Ⅰ類。56は常滑甕。57は銭。その他に青磁器種不明・常滑壺・常滑片口鉢Ⅱ類・石製品砥石が破片で出土している。

#### 遺構43(図7)

楕円形を呈するピットである。遺構底面に礎石が遺存していた。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒・炭化物多を含む。

#### 出土遺物(図9)

58～59はかわらけ。60～61は瀬戸壺。62は常滑甕。その他に青磁碗が破片で出土している。

#### 遺構44(図7)

円形を呈するピットである。遺構底面に安山岩の礎石が遺存していた。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物多・褐色粘質土を含む。

#### 出土遺物(図9)

63はかわらけ。その他に遺物は出土していない。

#### 遺構45(図7)

円形を呈するピットである。攪乱に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒・炭化物を含む。

#### 出土遺物(図9)

64は白磁口元皿。65は常滑片口鉢Ⅰ類。その他にかわらけ・常滑甕が破片で出土している。

#### 遺構49(図7)

円形を呈するピットである。遺構44に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物を含む。

#### 出土遺物(図9)

66は常滑壺。その他にかわらけ・青磁蓮弁文碗・瀬戸壺・常滑甕が破片で出土している。

#### 遺構50(図7)

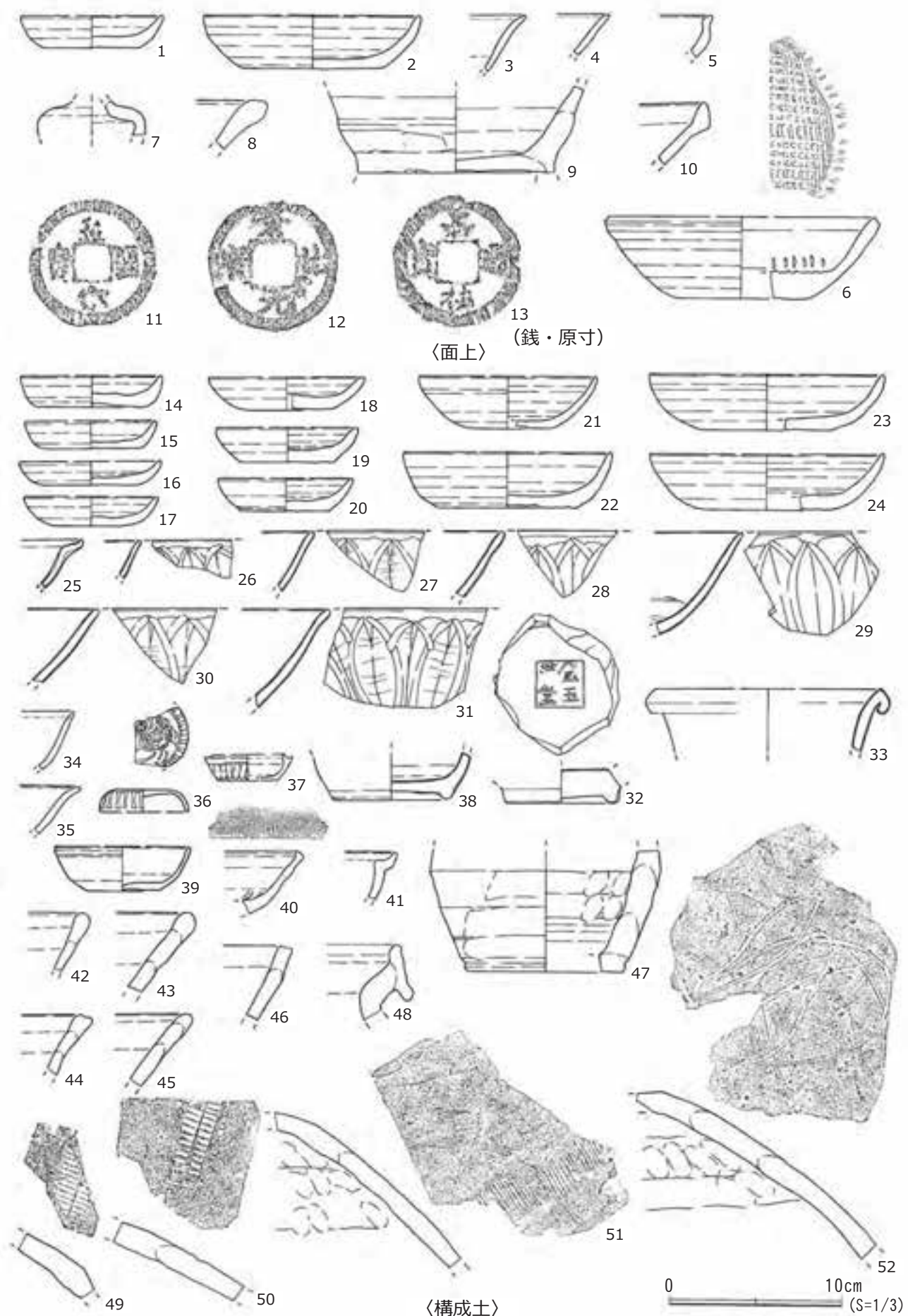
調査区外に遺構が延び規模は不明となった。土坑である。遺構41に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒多・炭化物・玉石を含む。遺構覆土から現代遺物は出土していないが、遺構41同様に攪乱の可能性を考えている。

#### 出土遺物(図9)

69はかわらけ。70は山茶碗。71は常滑片口鉢Ⅰ類。72は常滑片口鉢Ⅱ類。73は常滑甕。その他に手づくねが破片で出土している。

#### 遺構51(図6)

遺構36に切られ形状は不明となった。遺構覆土内に礎板を伴うピットである。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒多・炭化物多を含む。



〈面上〉  
(錢・原寸)

〈構成土〉

0 10cm (S=1/3)

図11 第1面面上・構成土出土遺物(1)



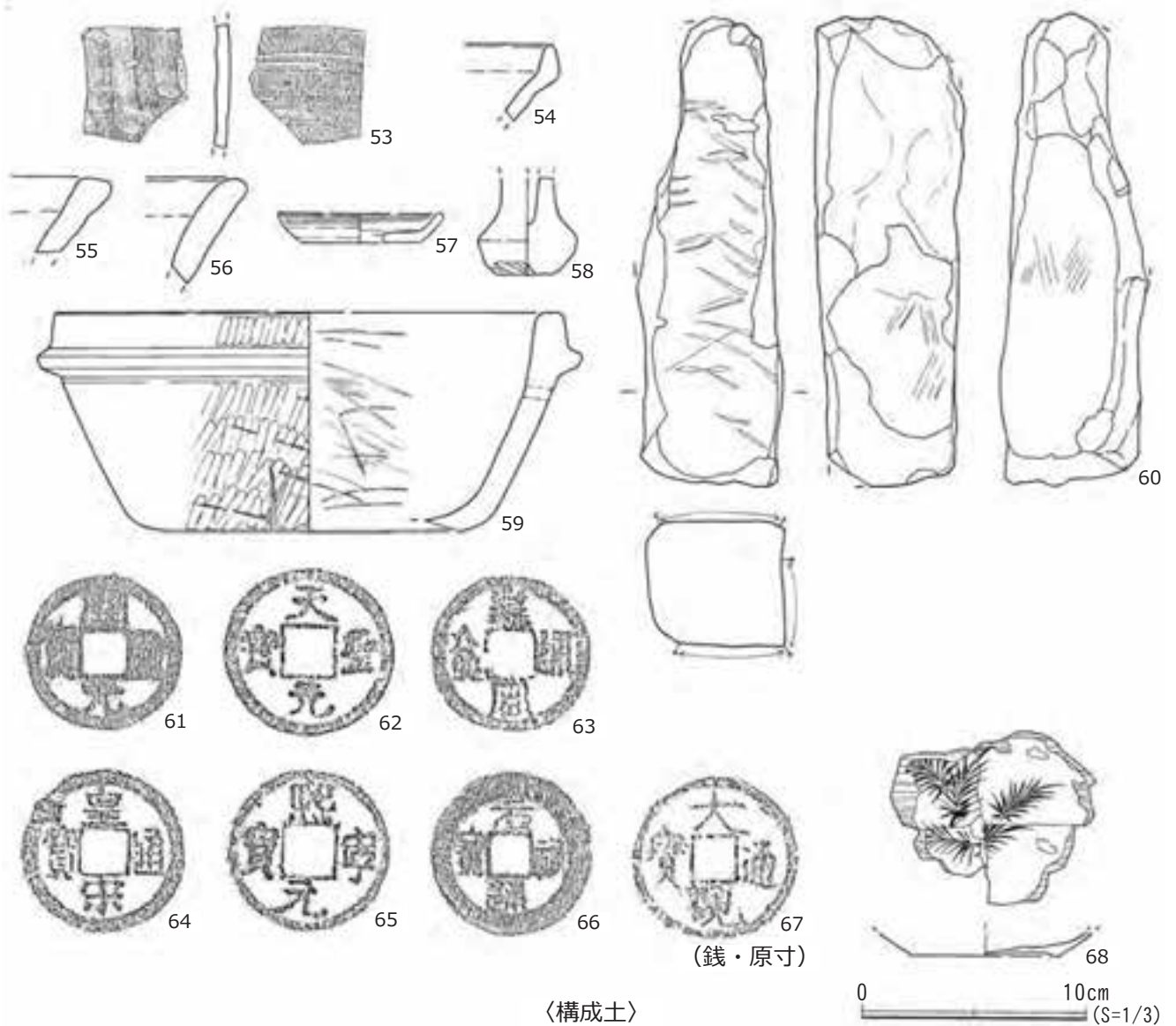


図12 第1面構成土出土遺物(2)

#### 出土遺物(図9)

67は青磁鉢。68は銭。その他にかわらけ・青磁蓮弁文碗・瀬戸四耳壺・常滑甕・常滑片口鉢Ⅰ類が破片で出土している。

#### 遺構55-1・遺構55-2(図7)

調査区外に遺構が延び規模は不明となった。土坑である。遺構プラン確認時には井戸を想定して調査を進めたが、二つの大きな切り合った遺構であった事を堆積土層の観察から確認した。図面上は遺構を分けて報告しているが、調査の不手際から採集遺物を分けることができず、遺構55として一括して報告している。遺構55-1・2ともに遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒・炭化物多を含む。遺構55-2は中層に茶色有機質土が厚く堆積していた。また、どちらの遺構も木片を多く含み、その中には柱材などやや大きめの木製品も含まれていた。また、遺構55-1は2時期の造り替えを行っている。

#### 出土遺物(図10)

遺構55-1と遺構55-2で採集した遺物を一括して報告している。

74~80はかわらけ。81は青磁釉壺・産地不明。82は瀬戸四耳壺。83~85は山茶碗。86は常滑片口鉢Ⅰ類。

87は常滑片口鉢Ⅱ類。88は常滑甕。89は須恵器高坏。90～91は石製品砥石。92～93は木製品箸状。94は石製品温石。その他に手づくね・青磁蓮弁文碗・青白磁梅瓶・褐釉壺・瀬戸底卸目皿・瀬戸壺・山茶碗・瓦器碗・獣骨が破片で出土している。

### 第1面面上出土遺物（図11）

表土を除去し、第1面遺構精査時に面上から出土した遺物である。

1～2はかわらけ。3は白磁口元碗。4は白磁口元皿。5は天目茶碗・産地不明。6は瀬戸卸皿。7は瀬戸壺。8は渥美片口鉢。9は常滑片口鉢Ⅰ類。10は東播系片口鉢。11～13は銭。その他に青磁碗・瀬戸水注・常滑甕・常滑片口鉢Ⅱ類・丸瓦・平瓦・チャートが破片で出土している。

### 第1面構成土出土遺物（図11・図12）

第1面遺構検出後、第2面遺構精査時までの堆積土から出土した遺物である。

14～24はかわらけ。25は青磁鉢。26～31は青磁鎬蓮弁文碗。32は青磁碗。33は白磁壺。34～35は白磁口元皿。36～37は青白磁合子。38は青白磁香炉か。39は瀬戸入子。40は瀬戸卸皿。41は瀬戸香炉か。42～45は常滑片口鉢Ⅰ類。46は常滑片口鉢Ⅱ類。47は常滑壺。48～52は常滑甕。53は産地、器種ともに不明。54は東播系片口鉢。55～56は瓦器質火鉢。57は黒縁皿。58はかわらけ質小壺。59は石製品滑石鍋。60は石製品砥石。61～67は銭。68は漆製品皿。その他にロクロ成形白かわらけ・青磁壺・青白磁梅瓶・青白磁水注・青白磁皿・瀬戸壺・渥美甕・瓦器碗・須恵器壺・土師器壺・果核・獣骨が破片で出土している。

## 第2節 第2面の遺構と遺物

第2面は泥岩粒・褐色砂・炭化物を含む暗褐色弱粘質土上で多くの遺構を検出・確認した。湧水が激しく検出遺構面が常に水没している状態であることも一因であったが、地業土としては第1面よりもさらに脆弱であったため、遺構の確認が困難であった。発見した遺構はピット135穴・土坑20基である。第2面は遺構覆土及び構成土から焼痕のある木片を多く発見している。発見した遺構のうち、礎板が遺存するピットは根固めとして使用したと思われる大・小の泥岩が遺構覆土内に含まれていた。第2面は3時期に亘る遺構を確認している。遺構検出した海拔高は約6.95～7.05mである。

### 遺構58（図13）

調査区外に遺構が伸びる。円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存する。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物多・青灰色砂を含む。

### 出土遺物（図15）

1は青磁劃花文碗。その他に遺物は出土していない。

### 遺構60（図13）

楕円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存する。遺構85を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物多・青灰色砂を含む。

### 出土遺物（図15）

5は常滑甕。その他にかわらけが破片で出土している。

### 遺構63（図13）

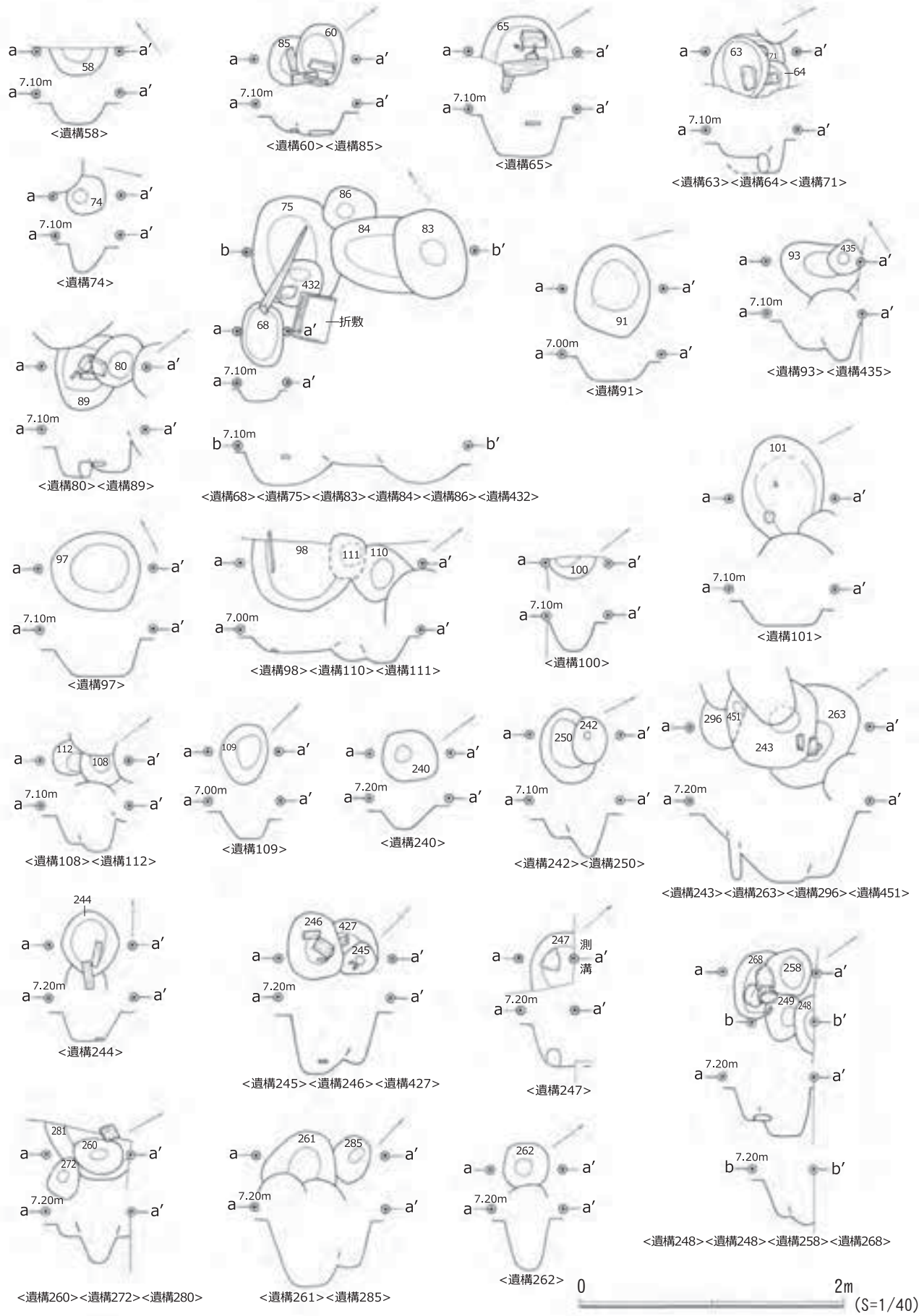


図13 第2面個別遺構 (1)

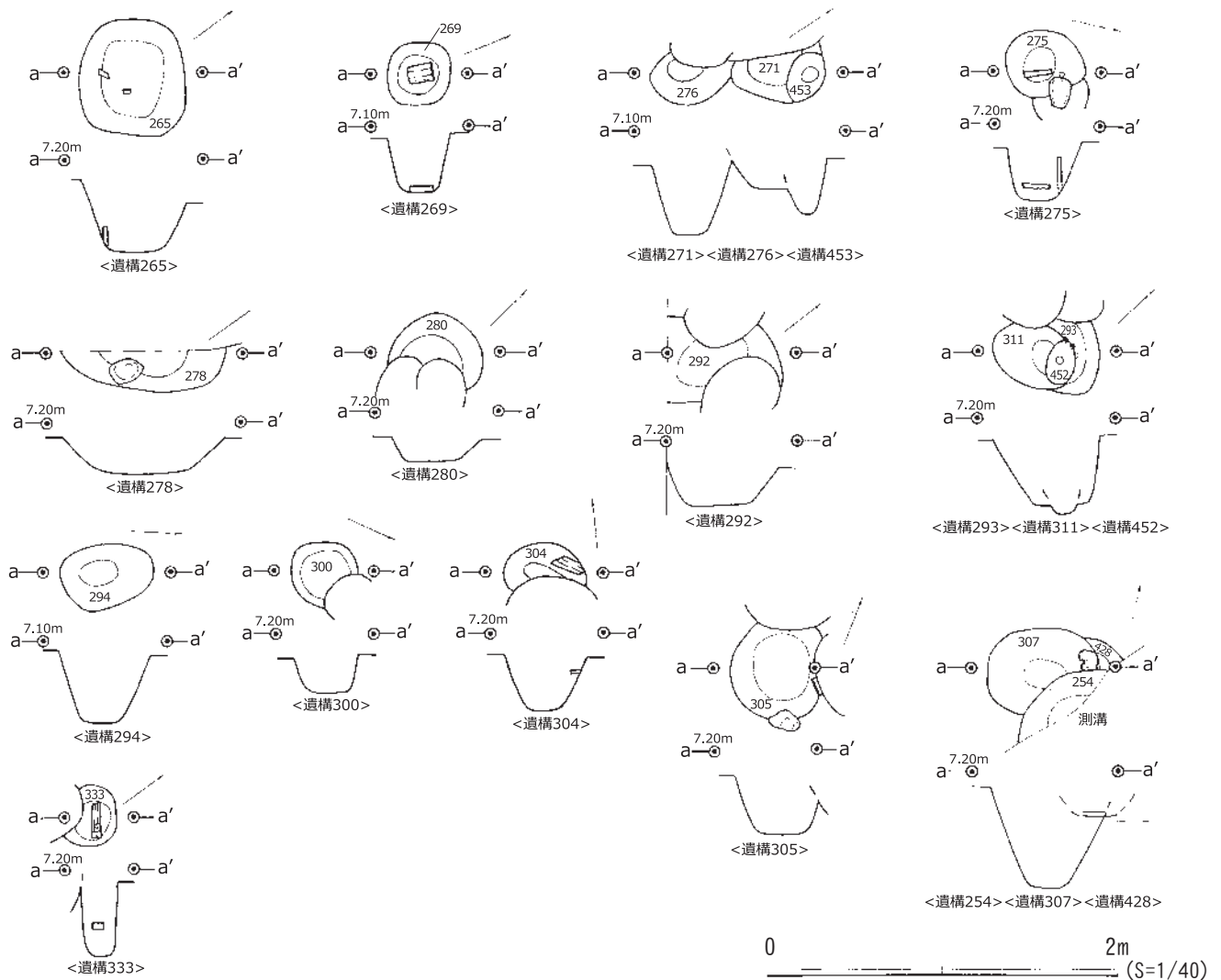


図14 第2面個別遺構 (2)

調査区外に遺構が延びる。楕円形を呈するピットである。遺構覆土内に安山岩が遺存していた。礎石か。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物・茶色有機質土を含む。遺物は常滑甕が破片で出土している。

**遺構64 (図13)**

調査区外に遺構が延びる。礎板が遺構覆土内に遺存していた。ピットである。遺構63に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物を含む。遺物は出土していない。

**遺構65 (図13)**

調査区外に遺構が延び規模は不明となった。遺構覆土には礎板が遺存していた。検出した礎板は固定するように細い杭で留められていた。またやや細身ではあるが柱と思われる木材も検出している。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物多を含む。

**出土遺物 (図15)**

2は青磁蓮弁文碗。その他にかわらけ・石製品砥石が破片で出土している。

**遺構68 (図13)**

楕円形を呈するピットである。遺構覆土は暗茶褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物・茶色有機質土を含む。

**出土遺物 (図15)**

3は常滑片口鉢Ⅰ類。4は銭。その他にかわらけが破片で出土している。



#### 遺構71(図13)

ピットである。遺構59・遺構63・遺構64に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物・茶色有機質土を含む。遺構底面に安山岩が遺存していた。礎石か。

#### 出土遺物(図15)

6は常滑甕。その他にかわらけが破片で出土している。

#### 遺構73(図4)

個別に遺構図は掲載していない。調査区外に遺構が延びる。円形を呈するピットである。遺構底面に方形を呈するピットがあく、柱材の抜き取り痕であったと考えている。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物を含む。遺物はかわらけ・須恵器甕が破片で出土している。

#### 遺構74(図13)

円形を呈するピットである。遺構59に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物多・茶色有機質土を含む。

#### 出土遺物(図15)

7は常滑甕。その他にかわらけが破片で出土している。

#### 遺構75(図13)

楕円形を呈する土坑である。遺構84・86・432に切られる。遺構覆土内で杭状の木材を検出している。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒多・炭化物多を含む。

#### 出土遺物(15)

8は青磁鉢。その他にかわらけ・青磁蓮弁文碗・白磁皿・白磁口元皿・常滑甕・常滑壺・果核が破片で出土している。

#### 遺構80(図13)

楕円形を呈するピットである。遺構89を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物を含む。遺構覆土内に柱の根固めに使用したと考える泥岩塊と、柱が遺存していたが柱材の遺存状態が悪く採集することはできなかった。

#### 出土遺物(図15)

9は常滑片口鉢Ⅱ類。10は石製品滑石鍋。その他にかわらけ・常滑甕が破片で出土している。

#### 遺構83(図13)

楕円形を呈する土坑である。遺構84を切る。遺構覆土は暗茶褐色弱粘質土・泥岩粒多・炭化物多・褐色砂質土を含む。

#### 出土遺物(図15)

11は常滑甕転用品・摩耗常滑。その他にかわらけが破片で出土している。

#### 遺構84(図13)

楕円形を呈するピットである。遺構83に切られる。遺構覆土は泥岩粒・炭化物・褐色砂質土を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

#### 遺構85(図13)

円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存する。遺構60に切られる。遺構覆土は暗茶褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒多・炭化物を含む。遺物は出土していない。

#### 遺構86(図13)

円形を呈するピットである。遺構84に切られる。遺構覆土は泥岩粒・褐色砂質土を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物はかわらけ・瓦器質器種不明が破片で出土している。

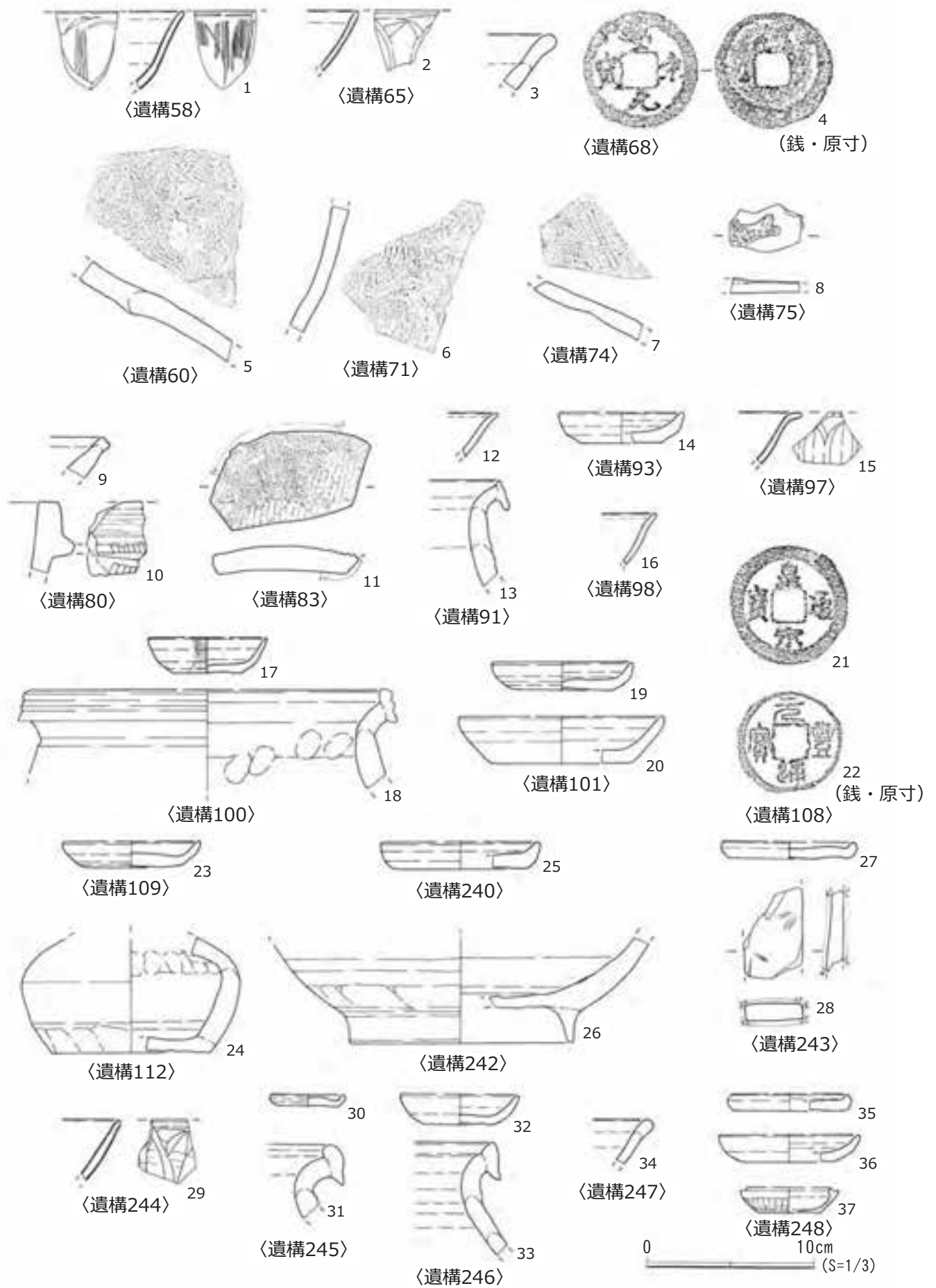


图15 第2面個別遺構出土遺物 (1)

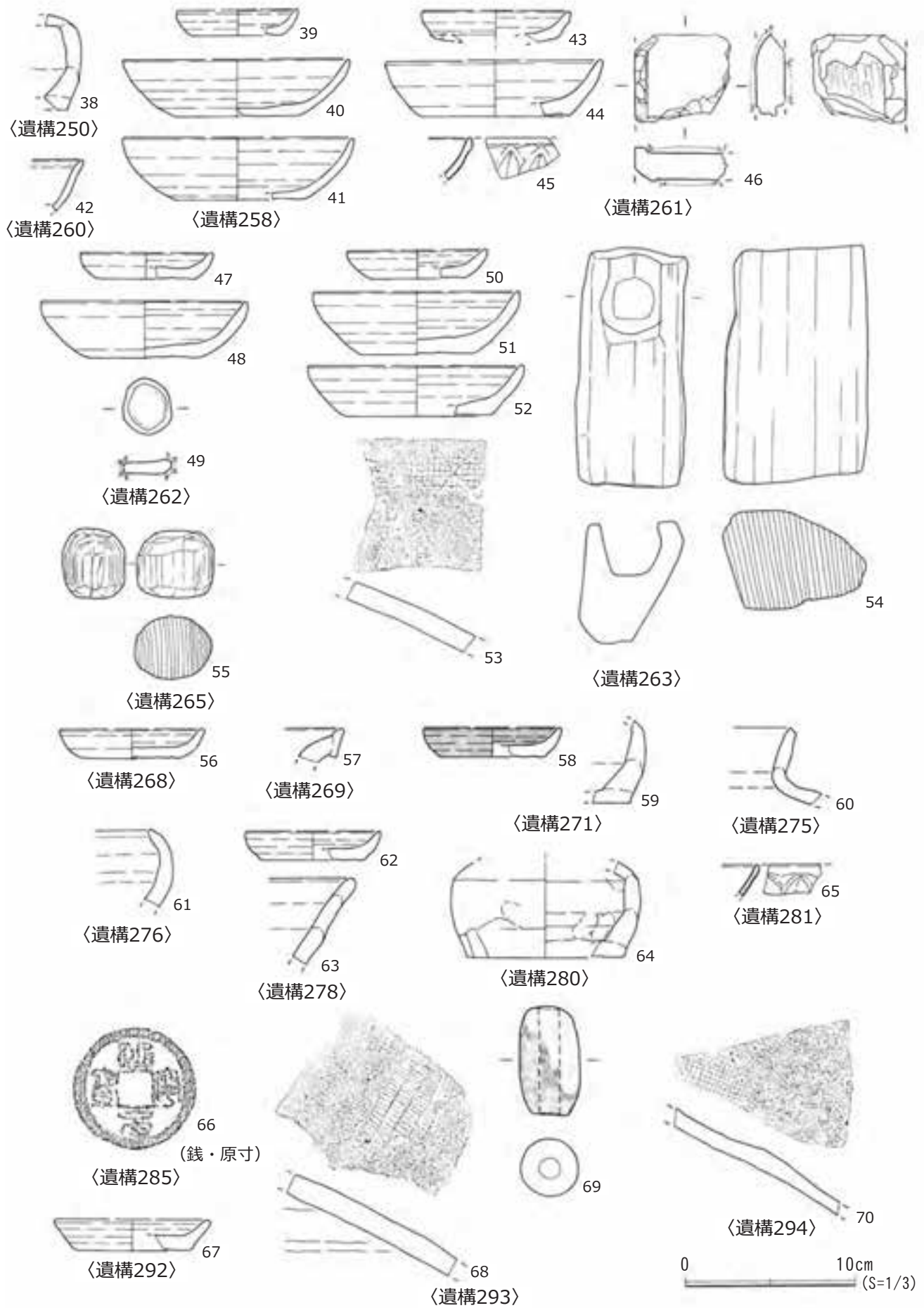


図16 第2面個別遺構出土遺物 (2)



#### 遺構89(図13)

楕円形を呈するピットである。遺構底面に泥岩・礎板が遺存していた。泥岩は柱の根固めに使用されたと考えている。遺構覆土は暗茶褐色弱粘質土・泥岩多・泥岩粒多・炭化物・青灰色砂を含む。遺物はかわらけ・常滑甕が破片で出土している。

#### 遺構91(図13)

楕円形を呈する土坑である。遺構覆土は暗茶褐色弱粘質土・泥岩塊多・泥岩多・泥岩粒多・炭化物多を含む。

#### 出土遺物(図15)

12は白磁口元皿。13は常滑壺。その他にかかわらけ常滑甕・常滑片口鉢Ⅰ類が破片で出土している。

#### 遺構93(図13)

楕円形を呈するピットである。遺構92・遺構435に切られる。遺構覆土内に杭状の木材が遺存していた。遺構覆土は暗茶褐色弱粘質土・泥岩塊・泥岩・泥岩粒多・炭化物を含む。

#### 出土遺物(図15)

14はかわらけ。その他に常滑甕が破片で出土している。

#### 遺構95(図4)

個別に遺構図は掲載していない。調査区外に遺構が延び規模は不明となったピットである。遺構63・遺構89に切られる。遺構覆土は暗茶褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒多を含む。遺物はかわらけ・瓦器碗が破片で出土している。

#### 遺構97(図13)

楕円形を呈する土坑である。遺構覆土は暗茶褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒・炭化物多を含む。

#### 出土遺物(図15)

15は青磁鉢。その他にかかわらけ・常滑甕が破片で出土している。

#### 遺構98(図13)

調査区外に遺構が延び規模は不明となった。土坑である。遺構111に切られる。遺構覆土は暗茶褐色弱粘質土・泥岩粒多を含み、下層に炭化物が厚く堆積していた。

#### 出土遺物(図15)

16は白磁口元碗。その他にかかわらけ・青白磁梅瓶・常滑甕が破片で出土している。

#### 遺構100(図13)

円形を呈するピットである。第1面遺構8に切られる。遺構覆土は暗茶褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒多・炭化物多を含む。

#### 出土遺物(図15)

17はかわらけ。18は常滑壺。その他に遺物は出土していない。

#### 遺構101(図13)

不整円形を呈する土坑である。遺構覆土は暗茶褐色弱粘質土・泥岩粒多・炭化物多を含む。

#### 出土遺物(図15)

19～20はかわらけ。その他に青磁碗・常滑甕が破片で出土している。

#### 遺構108(図13)

円形を呈するピットである。遺構62・遺構81に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩塊・泥岩・泥岩粒多・炭化物を含む。

#### 出土遺物(図15)

21～22は銭。その他にかわらけ・石製品砥石が破片で出土している。

#### 遺構109(図13)

楕円形を呈するピットである。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物多・青灰色砂を含む。

#### 出土遺物(図15)

23はかわらけ。その他に常滑甕が破片で出土している。

#### 遺構110(図13)

不整形なピットである。遺構111を切る。遺構覆土は泥岩粒・炭化物・青灰色砂を含む暗褐色弱粘質土。遺物はかわらけが破片で出土している。

#### 遺構111(図13)

円形を呈するピットである。遺構98に切られる。。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・青灰色砂を含む。遺物は瓦器碗が破片で出土している。

#### 遺構112(図13)

円形を呈するピットである。遺構108に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土泥岩粒・炭化物多を含む。

#### 出土遺物(図15)

24は常滑壺。その他にかわらけが破片で出土している。

#### 遺構240(図13)

円形を呈するピットである。遺構303に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩多・泥岩粒多・炭化物を含む。

#### 出土遺物(図15)

25はかわらけ。その他に常滑甕が破片で出土している。

#### 遺構242(図13)

楕円形を呈するピットである。遺構250・280を切る。遺構底面に礎石が遺存していた。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒多・炭化物多を含む。

#### 出土遺物(図15)

26は常滑片口鉢Ⅰ類。その他にかわらけ・手づくね・瀬戸壺・常滑甕が破片で出土している。

#### 遺構243(図13)

円形を呈する土坑である。遺構263を切り遺構259に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩塊・泥岩・泥岩粒・炭化物・木片を含む

#### 出土遺物(図15)

27はロクロ成形内折れかわらけ。28は石製品砥石。その他にかわらけ・手づくね・青磁蓮弁文碗・常滑甕・常滑壺・瓦器碗が破片で出土している。

#### 遺構244(図13)

楕円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構321を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物・茶色有機質土を含む。

#### 出土遺物(図15)

29は青磁鎬蓮弁文碗。その他にかわらけ・手づくね・常滑甕が破片で出土している。

#### 遺構245(図13)

円形を呈するピットである。遺構覆土内に柱材が遺存していた。遺構246に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・茶色有機質土・木片を含む。

#### 出土遺物(図15)

30はロクロ成形内折れかわらけ。31は常滑甕。その他にかわらけ・手づくねが破片で出土している。

#### 遺構246(図13)

楕円形を呈するピットである。覆土内に礎板・杭が遺存していた。遺構245を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土泥岩粒多・炭化物多を含む。

#### 出土遺物(図15)

32はかわらけ。33は常滑甕。その他に遺物は出土していない。

#### 遺構247(図13)

円形を呈するピットである。調査区外に遺構が延び規模は不明となった。遺構底面に泥岩の礎石が遺存していた。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物・黒色粘土を含む。

#### 出土遺物(図15)

34は常滑片口鉢Ⅰ類。その他にかわらけ・獣骨が破片で出土している。

#### 遺構248(図13)

調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。ピットである。遺構249を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒多・炭化物を含む。

#### 出土遺物(図15)

35はロクロ成形内折れかわらけ。36はかわらけ。37は青白磁合子。その他に手づくね・青磁蓮弁文碗・青白磁梅瓶・常滑甕・常滑片口鉢Ⅰ類が破片で出土している。

#### 遺構249(図13)

円形を呈するピットである。遺構258を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物を含む。遺物はかわらけ・常滑甕が破片で出土している。

#### 遺構250(図13)

楕円形を呈するピットである。遺構242に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物多・木片を多く含む。

#### 出土遺物(図16)

38は常滑壺。その他にかわらけが破片で出土している。

#### 遺構254(図14)

調査区外に遺構が延び規模は不明となった。ピットである。遺構307を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物を含む。遺物は手づくねが破片で出土している。

#### 遺構258(図13)

円形を呈するピットである。遺構249に切られ、遺構268を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒多・炭化物・木片を含む。

#### 出土遺物(図16)

39～41はかわらけ。その他に常滑甕が破片で出土している。

#### 遺構260(図13)

楕円形を呈するピットである。遺構281を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒多・茶色有機質土を含む。

#### 出土遺物(図16)

42は白磁口元皿。その他にかわらけが破片で出土している。

#### 遺構261(図13)

楕円形を呈する土坑である。遺構246・遺構427に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化

物を含む。

#### 出土遺物(図16)

43～44はかわらけ。45は青磁鎬蓮弁文碗。46は石製品硯。その他に常滑甕・常滑片口鉢Ⅰ類・獣骨が破片で出土している。

#### 遺構262(図13)

円形を呈するピットである。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩塊・泥岩粒多・炭化物を含む。覆土内に杭状の木材を検出したが、遺存状態が悪く採集できなかった。

#### 出土遺物(図16)

47～48はかわらけ。49はかわらけ転用品・円盤状製品。その他に常滑甕・常滑片口鉢Ⅰ類が破片で出土している。

#### 遺構263(図13)

楕円形を呈する土坑である。遺構243に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩多・泥岩粒多・炭化物を含む。

#### 出土遺物(図16)

51～52はかわらけ。53は常滑甕。54は木製品礎板。その他に遺物は出土していない。

#### 遺構265(図14)

楕円形を呈する土坑である。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩塊・泥岩・泥岩粒多・炭化物多・木片を含む。

#### 出土遺物(図16)

55は木製品毬杖の玉か。その他にかわらけ・手づくね・獣骨が破片で出土している。

#### 遺構268(図13)

楕円形を呈するピットである。遺構覆土内に泥岩塊が遺存していた。柱の根固めに使用したと考えている。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物多を含む。

#### 出土遺物(図16)

56はかわらけ。その他に常滑片口鉢Ⅰ類が破片で出土している。

#### 遺構269(図14)

円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒多・炭化物多を含む。

#### 出土遺物(図16)

57は常滑甕。その他にかわらけが破片で出土している。

#### 遺構271(図14)

不整円形を呈するピットである。遺構453に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物・褐色砂を含む。

#### 出土遺物(図16)

58はかわらけ。59は常滑壺。その他に青磁蓮弁文碗が破片で出土している。

#### 遺構272(図13)

楕円形を呈するピットである。遺構281を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒多・炭化物多を含む。遺物はかわらけ・常滑甕が破片で出土している。

#### 遺構275(図14)

不整円形を呈するピットである。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物・黒色土を含む。遺構覆

土及び底面に礎板が遺存していた。

#### 出土遺物(図16)

60は常滑壺。その他にかわらけ・常滑甕が破片で出土している。

#### 遺構276(図14)

楕円形を呈するピットである。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・茶色有機質土・褐色砂を含む。

#### 出土遺物(図16)

61は常滑片口碗。その他にかわらけ・常滑片口鉢Ⅰ類が破片で出土している。

#### 遺構278(図14)

上層の遺構に切られ規模は不明となった。土坑である。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒多・炭化物多・茶色有機質土を含む。

#### 出土遺物(図16)

62はかわらけ。63は常滑片口鉢Ⅰ類。その他に獣骨が出土している。

#### 遺構280(図14)

ピットである。遺構242・250に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・炭化物多・泥岩粒多を含む。

#### 出土遺物(図16)

64は常滑壺。その他にかわらけが破片で出土している。

#### 遺構281(図13)

調査区外に遺構が延び遺構260に切られ規模・形状は不明である。土坑である。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒多・炭化物多・褐色砂を含む。

#### 出土遺物(図16)

65は青磁鎬蓮弁文碗。その他にかわらけが破片で出土している。

#### 遺構285(図13)

円形を呈するピットである。遺構261に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土泥岩・泥岩粒多・炭化物多を含む。

#### 出土遺物(図16)

66は銭。その他にかわらけ・青白磁水注・常滑甕・不明陶器が破片で出土している。

#### 遺構292(図14)

調査区外に遺構が延び、遺構276・遺構287に切られる。土坑である。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒多・茶色有機質土を含む。

#### 出土遺物(図16)

67はかわらけ。その他に山茶碗が破片で出土している。

#### 遺構293(図14)

遺構311に切られ規模は不明となった。ピットである。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩塊・泥岩・泥岩粒多・炭化物多・茶色有機質土を含む。

#### 出土遺物(図16)

68は常滑甕。69は土製品土錘。その他にかわらけ・瓦器碗が破片で出土している。

#### 遺構294(図14)

楕円形を呈するピットである。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒多・灰白色砂を含む。

#### 出土遺物(図16)

70は常滑甕。その他に遺物は出土していない。



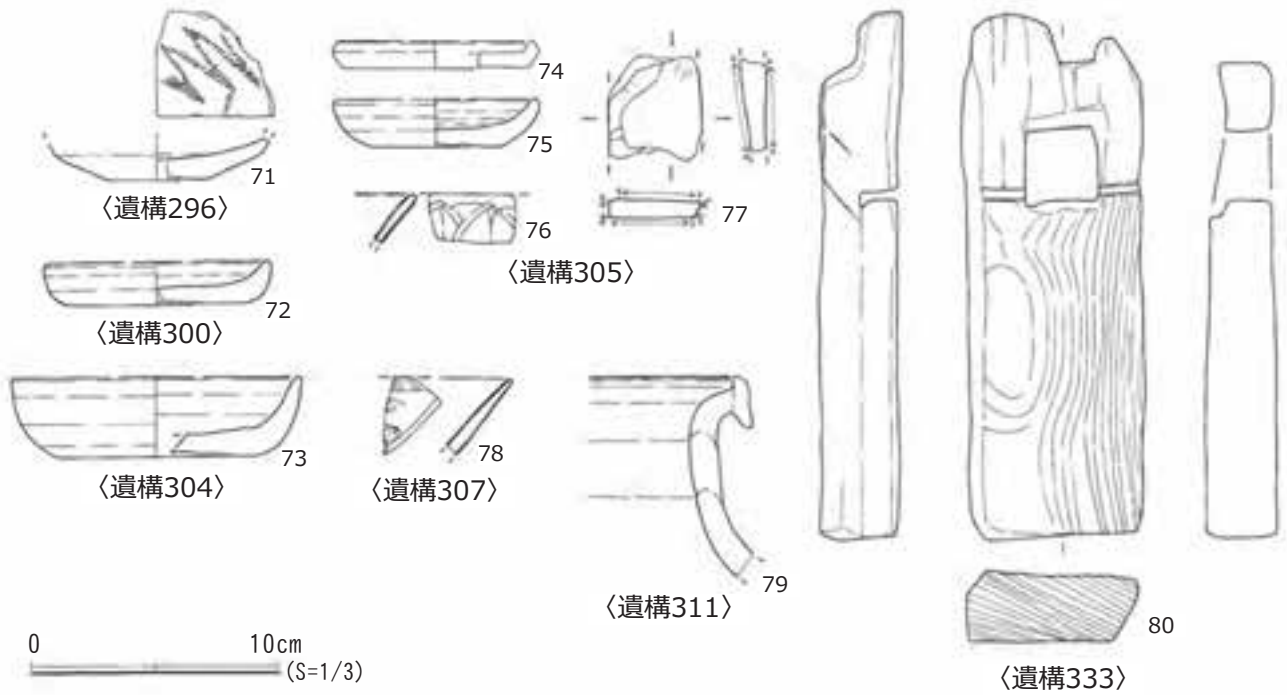


図17 第2面個別遺構出土遺物 (3)

**遺構296 (図13)**

ピットである。遺構243に切られ規模等は不明となった。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物を含む。

**出土遺物 (図17)**

71は青磁皿。その他にかわらけ・青磁蓮弁文碗・渥美甕が破片で出土している。

**遺構300 (図14)**

円形を呈するピットである。遺構310に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒多・炭化物多・灰を含む。

**出土遺物 (図17)**

72はかわらけ。その他に遺物は出土していない。

**遺構303 (図4)**

個別に遺構図は掲載していない。円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存する。遺構240を切る。調査区外に遺構が延びる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒多・炭化物を含む。遺物にかわらけが破片で出土している。

**遺構304 (図14)**

楕円形を呈するピットである。覆土内で礎板状の木片と杭状の木製品を検出している。遺構301に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒多・炭化物を含む。

**出土遺物 (図17)**

73はかわらけ。その他に常滑甕が破片で出土している。

**遺構305 (図14)**

円形を呈する土坑である。遺構283・遺構311に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩塊・泥岩・泥岩粒多・炭化物多を含む。

**出土遺物 (図17)**

74～75はかわらけ。76は青磁鎬蓮弁文碗。77は石製品砥石。その他に青白磁器種不明・常滑甕が破片で出土している。

#### 遺構307(図14)

楕円形を呈する土坑である。遺構254に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土泥岩粒・炭化物多を含む。

#### 出土遺物(図17)

78は青磁劃花文碗。その他にかわらけ・手づくねが破片で出土している。

#### 遺構311(図14)

楕円形を呈するピットである。遺構293を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒・炭化物を含む。

#### 出土遺物(図17)

79は常滑甕。その他にかわらけが破片で出土している。

#### 遺構333(図14)

円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構287に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土。泥岩・泥岩粒・茶色有機質土を含む。

#### 出土遺物(図17)

80は木製品礎板。その他に遺物は出土していない。

#### 遺構427(図13)

円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構245・遺構246に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物を含む。遺物は出土していない。

#### 遺構432(図13)

不整円形を呈するピットである。遺構75を切る。遺構覆土内に礎板状の木材が遺存していた。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物を含む。遺物は出土していない。

#### 遺構435(図14)

不整円形を呈するピットである。遺構93を切る。遺構覆土は暗茶褐色弱粘質土・泥岩粒を含む。遺物は出土していない。

#### 遺構451(図13)

土坑である。遺構243に切られ規模は不明となった。遺構覆土は暗茶褐色弱粘質土・泥岩粒・褐色砂を含む。杭痕が残る。遺物は出土していない。

#### 遺構452(図14)

楕円形を呈するピットである。遺構311を切る。遺構覆土は暗茶褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物を含む。遺物は出土していない。

#### 遺構453(図14)

楕円形を呈するピットである。遺構271を切る。遺構覆土は暗茶褐色弱粘質土・泥岩粒を含む。遺物は出土していない。

### 第2面面上出土遺物(図18)

第2面遺構精査時に面上から出土した遺物である。

1～5はかわらけ。6は青磁鎬蓮弁文碗。7～8は白磁口元皿。9は青白磁梅瓶。10は瀬戸入子。11は瀬戸筒型香炉か。12は花瓶か。13～14は常滑片口鉢Ⅱ類。15は常滑片口碗。16～18は常滑壺。19～20は常滑甕。21は瓦器質火鉢。22は鉄製品釘。23は石製品転用品。24は石製品砥石。25は木製品経木折敷。その他に手

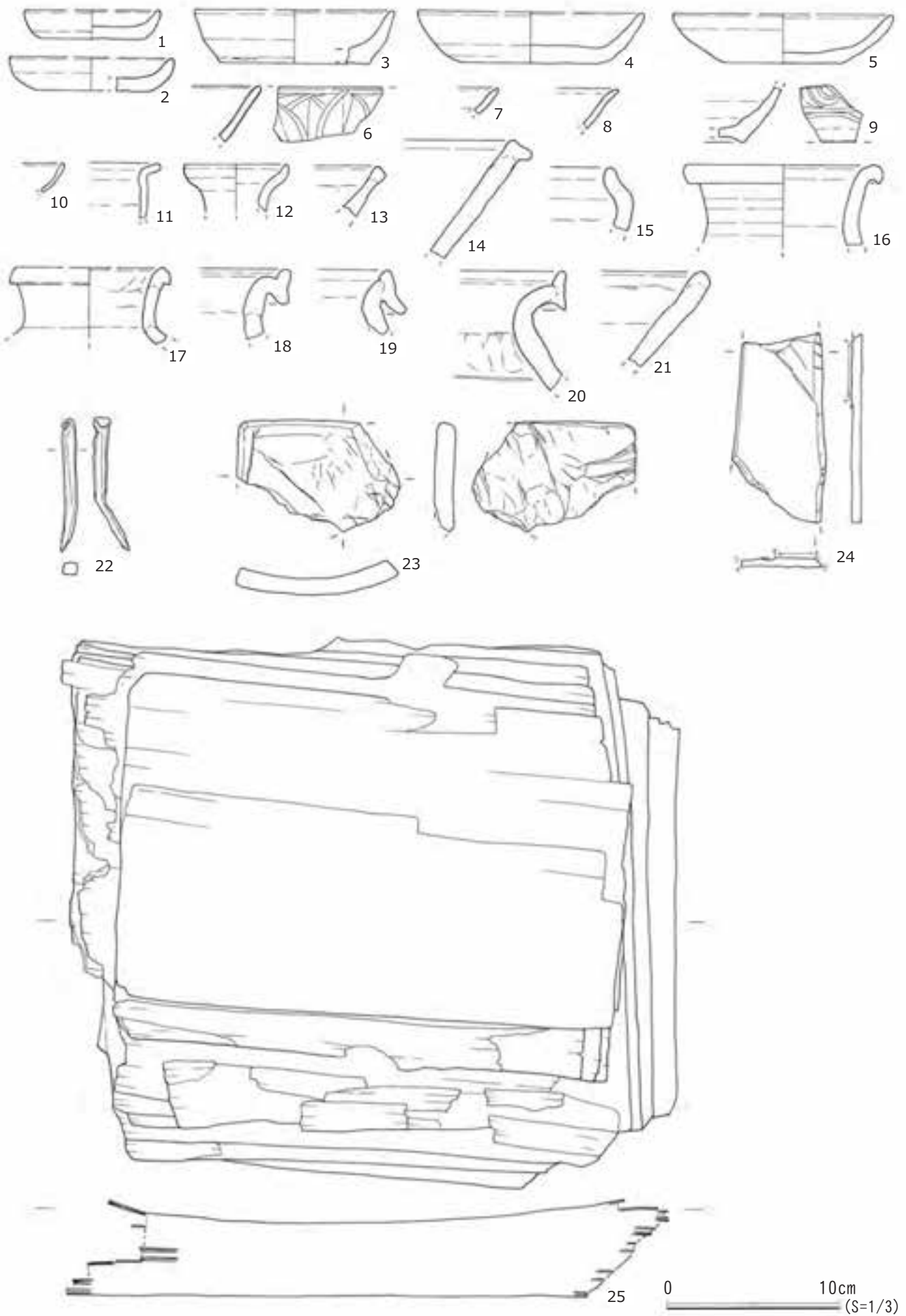


图18 第2面面上出土遺物

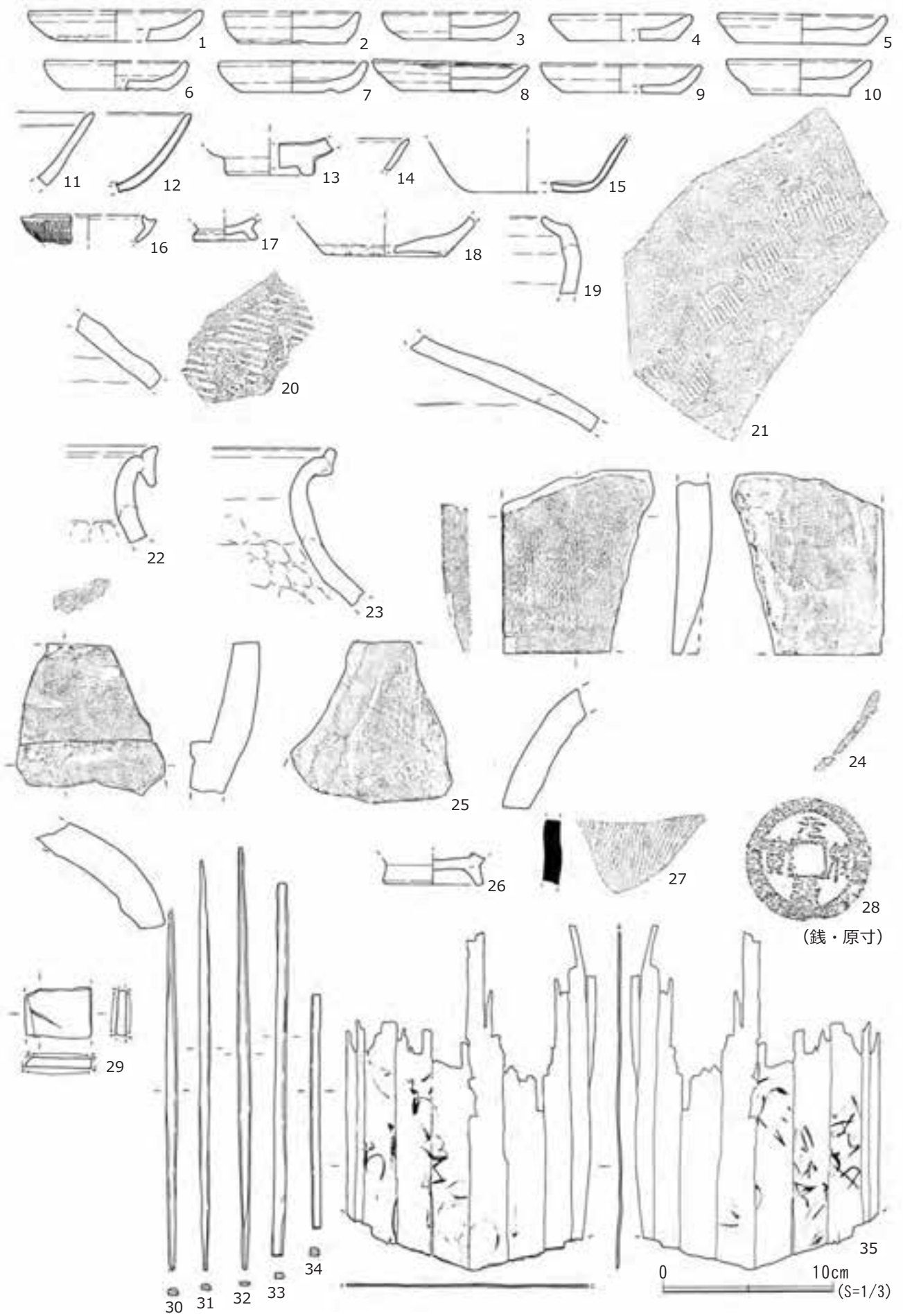


图19 第2面構成土出土遺物



づくね・ロクロ成形白かわらけ・青白磁皿・白磁壺・常滑片口鉢Ⅰ類・獣骨が破片で出土している。

## 第2面構成土出土遺物（図19）

第2面遺構検出後、第3面遺構精査時までの堆積土から出土した遺物である。

1～10はかわらけ。11～13は青磁碗。14～15は白磁口元皿。16は青白磁合子。17は青白磁器種不明。18は常滑山茶碗。19は常滑片口碗。20は渥美甕拓影。21は常滑甕拓影。22～23は常滑甕。24～25は丸瓦。26は灰釉陶器碗。27は須恵器甕。28は銭。29は石製品砥石。30～34は木製品棒状。35は木製品経木折敷。その他に手づくね・ロクロ成形内折れかわらけ・青白磁皿・獣骨が破片で出土している。

## 第3節 第3面の遺構と遺物（図5・図20～図33）

第3面は泥岩粒多・炭化物・青灰色砂を含む暗褐色弱粘質土上で多くの遺構を検出・確認したが、地業土としては第2面よりもさらに脆弱となっている。湧水量が第2面時よりも多いことや、第3面構成土を含む下層の堆積層は砂質土を多く含む地質のため地盤そのものが緩く、検出したピット内に遺存している礎板は、端材とも思われる規格をもたない板をピット内で沈まないように何枚も重ねた例や、柱材であったと考える厚みのある板材を礎板に転用している例を多く観察した。また、調査の不手際から第2面に相当する礎板を、遺構を伴わず第3面面上で検出してしまった礎板が数例あるが全て記録は第3面で行っている。発見した遺構はピット127穴・土坑11基・溝1条・井戸1基である。4時期に亘る遺構を確認している。遺構検出した海拔高は約6.70m～6.90m。Ⅱ区調査時には長く続いた豪雨のため調査区西壁と北東壁が崩落してしまい、調査を断念した遺構もある。

### 遺構121（図20）

円形を呈するピットである。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・炭化物多・茶色有機質土を含む。

### 出土遺物（図24）

1は渥美甕。その他にかかわらけが破片で出土している。

### 遺構124（図20）

円形を呈するピットである。遺構444を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物多・茶色有機質土・茶褐色砂を含む。

### 出土遺物（図24）

2は銭。その他にかかわらけが破片で出土している。

### 遺構130（図20）

楕円形を呈するピットである。遺構158を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩塊・泥岩粒多・炭化物多を含む。

### 出土遺物（図24）

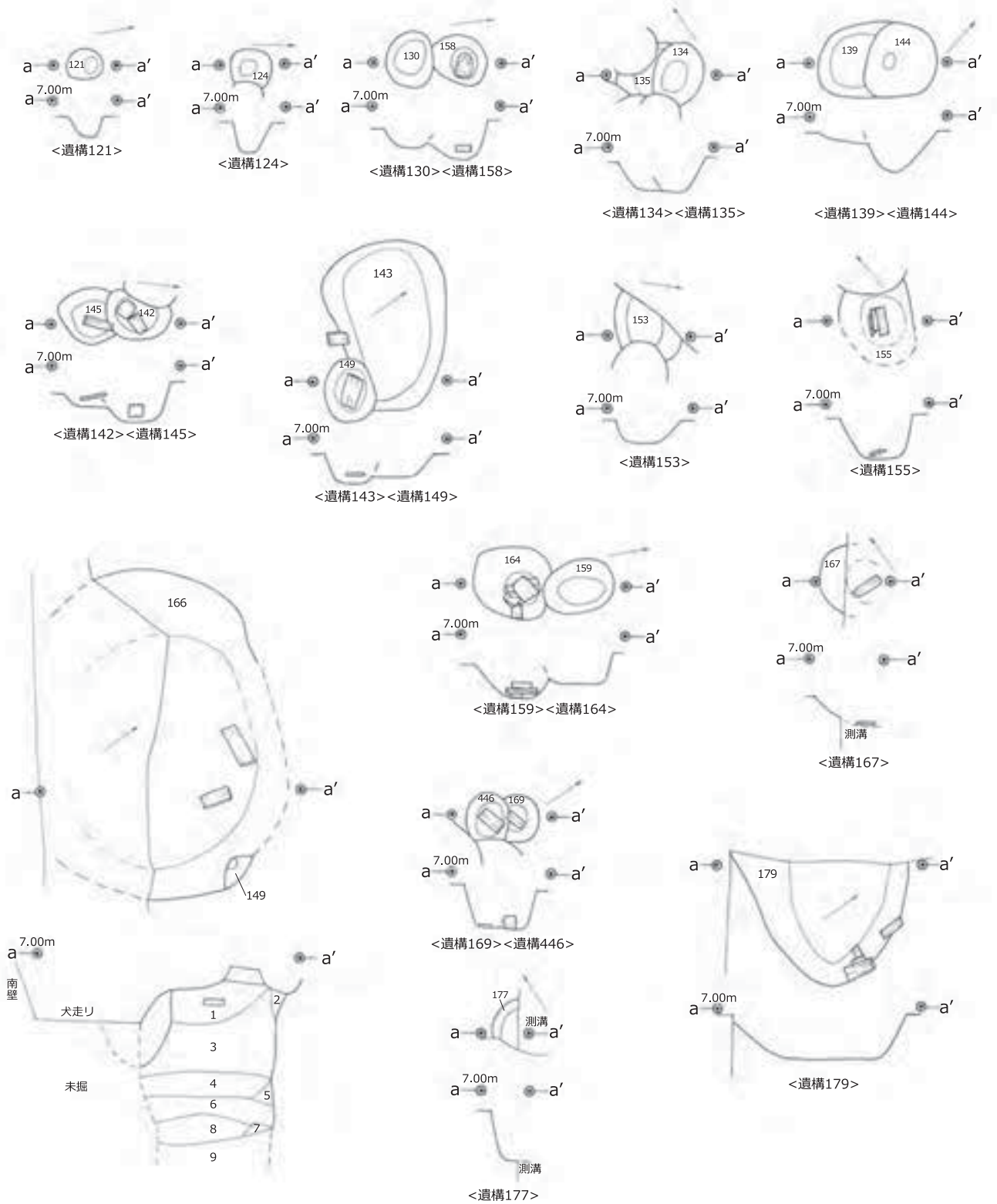
3はかわらけ。その他に遺物は出土していない。

### 遺構134（図20）

楕円形を呈するピットである。遺構133に切られる。遺構135を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩塊・泥岩・泥岩粒・炭化物を含む。遺物は出土していない。

### 遺構135（図20）

円形を呈するピットである。遺構115・遺構134に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒



1. 暗褐色弱粘質土 泥岩粒多・炭化物少・褐色砂・有機質土
2. 暗褐色砂 黒色粘土・有機質土
3. 暗褐色弱粘質土 泥岩・泥岩粒多・木片多・有機質土
4. マグソ層 泥岩粒多・木片多・茶色有機質土
5. 暗褐色弱砂質土 泥岩粒少・有機質土
6. 暗褐色弱粘質土 泥岩・泥岩粒多・有機質土
7. 暗褐色弱粘質土 泥岩・泥岩粒多・有機質土
8. 暗褐色弱粘質土 泥岩・泥岩粒多・有機質土
9. マグソ層 泥岩粒少・木片・茶色有機質土

<遺構166>

図20 第3面個別遺構図(1)

多・炭化物多を含む。

#### 出土遺物(図24)

4は須恵器甕その他にかわらけ・獣骨が破片で出土している。

#### 遺構139(図20)

楕円形を呈するピットである。遺構144に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物多・茶色有機質土を含む。

#### 出土遺物(図24)

5は常滑広口壺。その他にかわらけが破片で出土している。

#### 遺構142(図20)

楕円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存し、根固めとして使用した泥岩を覆土内で検出している。遺構145を切る。遺構覆土は暗茶褐色弱粘質土・泥岩粒多・青灰色砂を含む。

#### 出土遺物(図24)

6はかわらけ。その他に遺物は出土していない。

#### 遺構143(図20)

楕円形を呈する土坑である。遺構149に切られる。遺構155を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒多・炭化物多を含む。

#### 出土遺物(図24)

7はかわらけ。8は木製品用途不明。その他に手づくね・白磁皿・常滑甕・常滑壺・瓦器碗・果核が破片で出土している。

#### 遺構144(図20)

円形を呈するピットである。遺構139を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・炭化物が厚く堆積していた。遺物はかわらけが破片で出土している。

#### 遺構145(図20)

楕円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構142に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・炭化物・茶色有機質土を含む。遺物は破片で常滑片口鉢Ⅱ類が出土している。

#### 遺構149(図20)

円形を呈するピットである。覆土内に礎板が遺存し、礎板を泥岩で固定している様子を確認した。遺構143を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒多・炭化物を含む。

#### 出土遺物(図24)

9はかわらけ。その他に常滑甕が破片で出土している。

#### 遺構153(図20)

楕円形を呈するピットである。遺構152に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩塊・泥岩・泥岩粒多・炭化物を含む。

#### 出土遺物(図24)

10はかわらけ。11は木製品棒状。その他に白磁壺・常滑甕が破片で出土している。

#### 遺構155(図20)

円形を呈するピットである。遺構143・154に切られる。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩塊・泥岩・泥岩粒を含む。覆土内で検出した泥岩は柱の根固めに使用か。

#### 出土遺物(図24)

12～13は木製品端材。その他に遺物は出土していない。

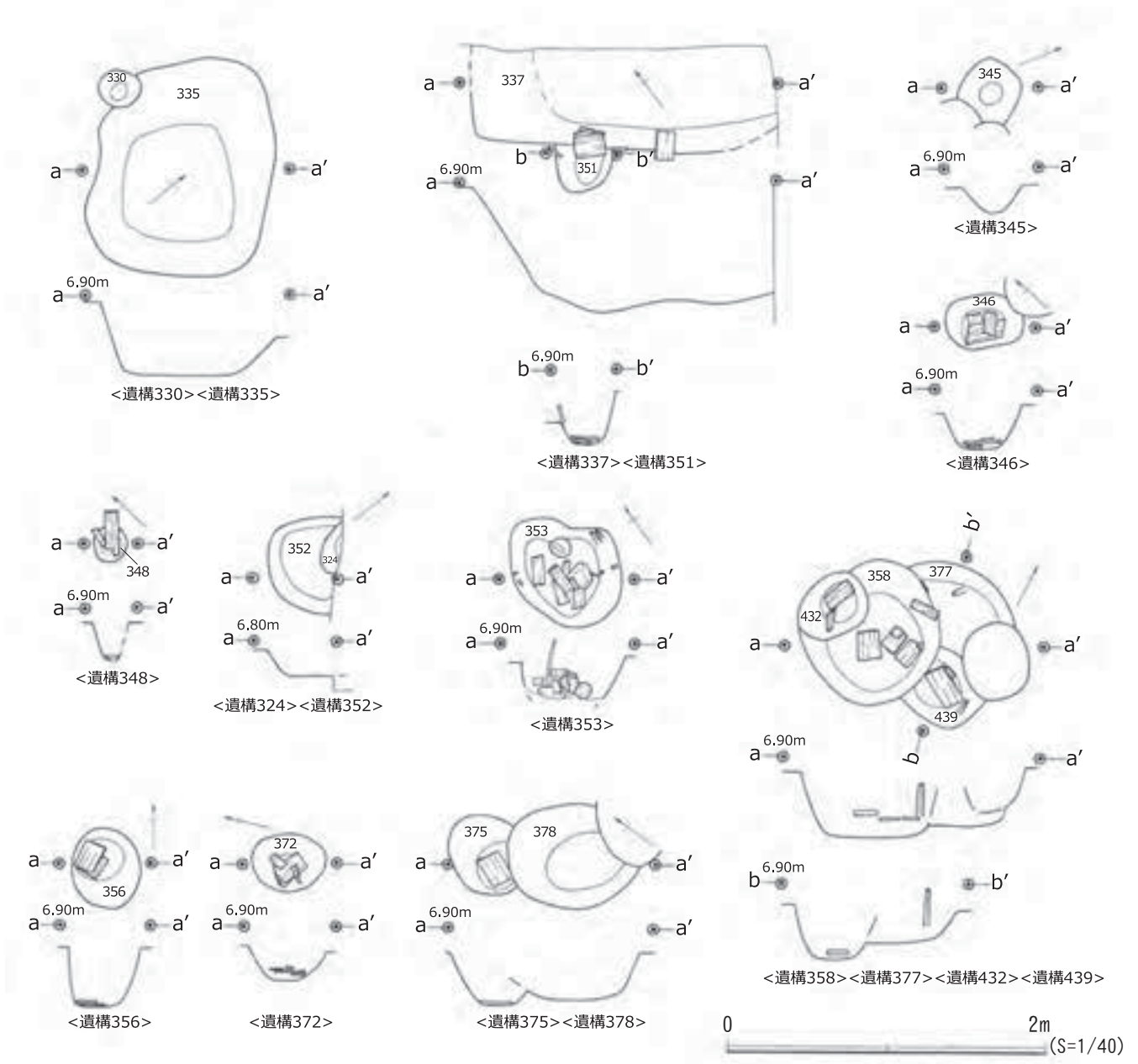


図21 第3面個別遺構図 (2)

**遺構158 (図20)**

円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構130に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒多を含む。

**出土遺物 (図24)**

14は常滑片口鉢Ⅱ類。15は常滑広口壺。16は木製品礎板。その他にかわらけが破片で出土している。

**遺構159 (図20)**

楕円形を呈するピットである。遺構164を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒多・茶色有機質土を含む。遺物は破片で土師器壺が出土している。

**遺構164 (図20)**

円形を呈するピットである。遺構159に切られ、遺構165を切る。覆土内に礎板が遺存していたが、計6枚の板材を使用し、泥岩塊によって礎板を固定している様子を確認した。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩塊・泥岩粒多・炭化物・褐色砂を含む。



#### 出土遺物(図24)

17はかわらけ。その他に遺物は出土していない

#### 遺構166(図20)

調査区外に遺構が延び規模は不明となった。井戸である。湧水が激しいため遺構壁が大きく崩落し、遺構底面まで掘り下げて調査することが出来ず、井戸掘り方も確認することができなかった。セクション図9層の約30cm下方で泥岩層らしき堆積層を確認している。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒多・炭化物・茶色有機質土多・褐色砂を含む。遺構下層は破碎泥岩と茶色有機質土の互層になっていた。

#### 出土遺物(図24～図25)

18～19はかわらけ。18は口唇部内折れ。20は青白磁皿。21は白磁口兀碗。22は常滑片口鉢Ⅰ類。23は常滑片口鉢Ⅱ類。24～26は常滑甕。27は産地不明壺甕類。28は漆製品皿。29～64は木製品。29～37は箸状製品。38～43は棒状製品。44～45は曲物。46は手押木。47～48は草履芯。49は錐の柄部分。50～57は部材。58は形代か。59～64は用途不明。その他に渥美甕・山茶碗・貝・果核が破片で出土している。

#### 遺構167(図20)

円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩塊・泥岩・泥岩粒多を含む。遺構覆土内で検出した泥岩は柱の根固めに使用か。

#### 出土遺物(図26)

65は木製品礎板。その他に遺物は出土していない。

#### 遺構169(図20)

円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構446に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒多を含む。

#### 出土遺物(図26)

66は常滑片口鉢Ⅰ類。その他にかわらけ・青磁蓮弁文碗が破片で出土している。

#### 遺構177(図20)

調査区外に遺構が延び規模は不明。ピットである。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物・茶色有機質土を含む。

#### 出土遺物(図26)

68は木製品箸状。その他に遺物は出土していない。

#### 遺構179(図20)

調査区外に遺構が延び規模は不明となった。土坑として報告しているが、遺構の立ち上がりがあいまいなこと、深度が浅いこと等から見て地業上の落ち込みであった可能性も考えている。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒多・炭化物を含む。

#### 出土遺物(図26)

69はかわらけ。70は常滑片口鉢Ⅰ類。71は常滑甕。72は木製品箸状。73～74は木製品用途不明。その他に手づくねが破片で出土している。

#### 遺構324(図21)

調査区外に遺構が延びる。ピットである。遺構352を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒多・炭化物多を含む。遺物はかわらけ・手づくね・常滑甕が破片で出土している。

#### 遺構325(図22)

調査区外に遺構が延びる。土坑である。遺構326を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒多・炭化物多を含む。遺物はかわらけが破片で出土している。

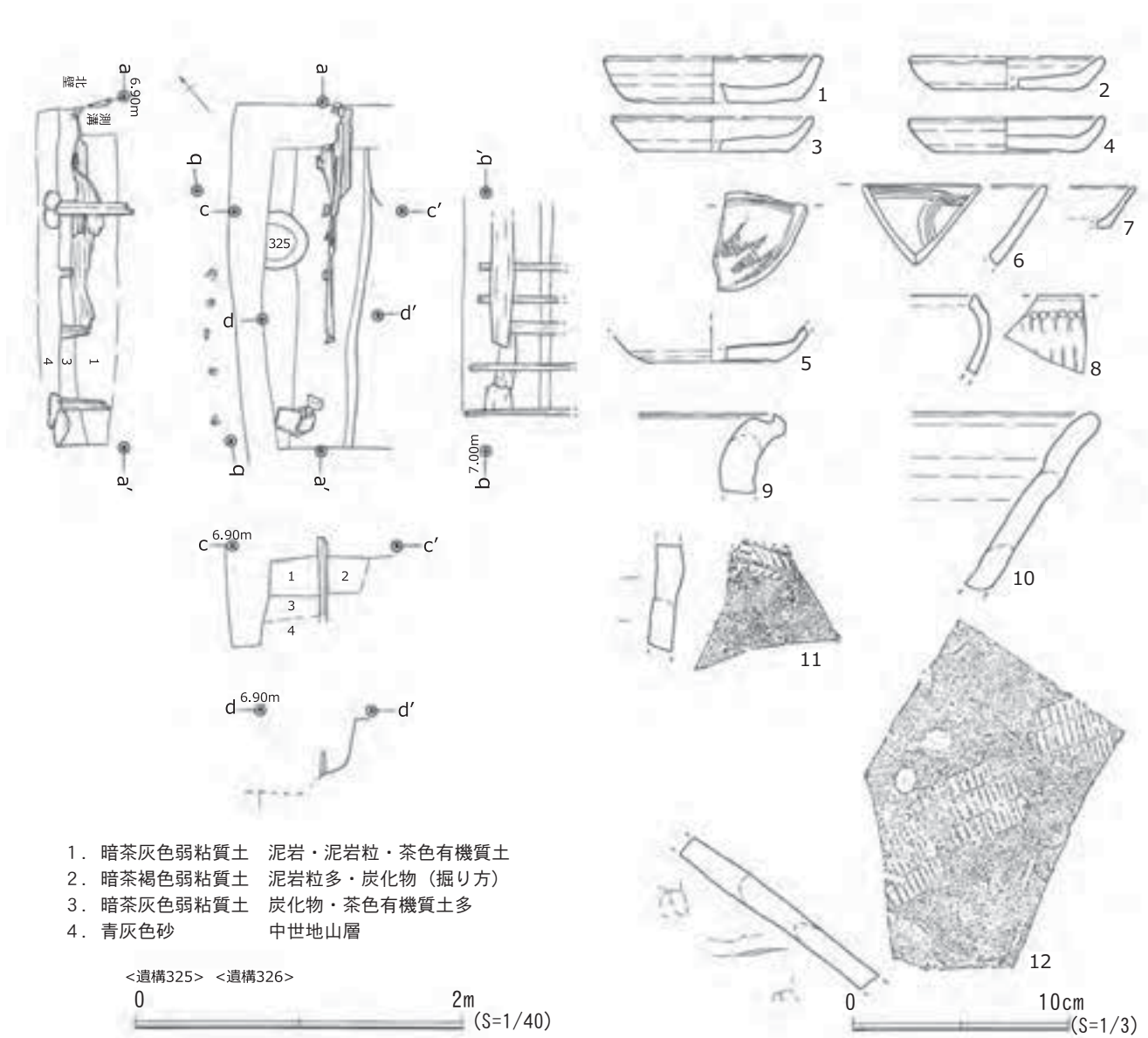


図22 第3面遺構326・出土遺物（1）

### 遺構326(図22)

北は調査区外に延び。南は試掘坑に切られ規模は不明となった。東側の溝壁は側板（横板）と、側板を固定する杭が遺存し、杭は簡易ではあるが礎石を伴っているものもあった。湧水が激しく、調査区壁の崩落もあったために遺構底面を検出していない。遺構断面は、ほぼ垂直に立ち上がる箱型であったと思われる。調査区西壁に東側側壁に沿った側板（横板）と側板を固定する杭を検出しており、溝幅は約90cmであったと考えている。流下方向は不明。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒・炭化物を含む。遺構下層には茶色有機質土が多量に堆積していた。

### 出土遺物(図22～図23)

1～30は遺構326覆土内（堆積土層第1～第3層）で採集した遺物である。31～36は遺構326底面（堆積土層第2層）から出土した遺物である。

1～4はかわらけ。5は青磁皿。6は青磁劃花文碗。7は白磁口元皿。8は青白磁小壺。9は常滑甕。10は常滑片口鉢Ⅰ類。11～12は常滑甕拓影。13は木製品経木折敷。14は木製品用途不明。15～17は木製品串状。18～26は木製品棒状。27は木製品端材。28～30は木製品杭。31はかわらけ。32は青磁鎬蓮弁文碗。33は青

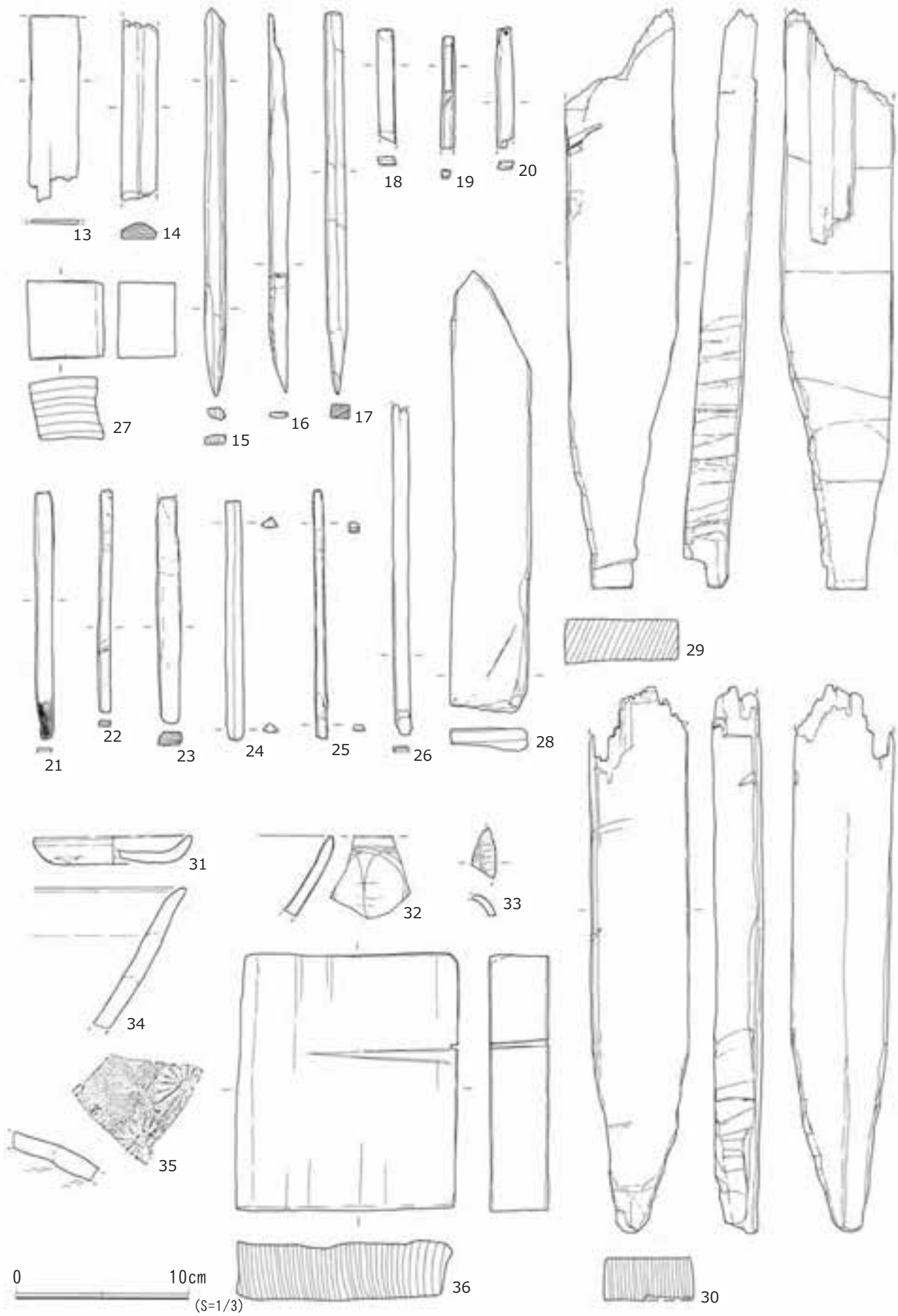


图23 第3面遺構326・出土遺物(2)

白磁合子。34は渥美片口鉢。35は常滑甕拓影。36は木製品礎板。その他にかわらけ・手づくね・青磁劃花文碗・青磁櫛搔文皿・青白磁合子・青磁皿・白磁口兀皿・常滑甕・木製品用途不明・獣骨が破片で出土している。遺構326の掘り方からはかわらけ・手づくね・常滑甕が破片で出土しているが、いずれも小片のため実測、掲載はできなかった。

#### 遺構330(図21)

円形を呈するピットである。遺構335を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・茶色有機質土を含む。遺物は出土していない。

#### 遺構335(図21)

不整円形を呈する土坑である。遺構330に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土泥岩粒・炭化物多・茶色有機質土・灰を含む。また覆土内に木製品を多く含む。柱状の材は先端に焼痕が残る。

#### 出土遺物(図27)

75～78はかわらけ。79は青磁鎬蓮弁文碗。80は常滑壺。81は漆製品皿。82は漆製品膳。83～102は木製品。83～87は箸状製品。88～90は棒状製品。91は草履芯。92～93は端材。94は柱材。95～102は用途不明。その他に手づくね・瀬戸壺・渥美甕・果核・獣骨が破片で出土している。

#### 遺構337(図21)

調査区外に遺構が延び規模は不明となった。土坑である。遺構351を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒・炭化物・茶色有機質土を含み、覆土内に大量の木片が混入していた。

#### 出土遺物(図28～図29)

103～112はかわらけ。113は漆製品碗。114～192は木製品。114～134は箸状製品。135～139は棒状製品。140～141は経木折敷。142～143は用途不明。142は判読不明の墨痕有り。143は盆か。144～146は草履芯。147は形代か。148は刀子の鞘か・目釘痕有り。149～151は篋状製品。152は杭。153～165は用途不明。166～189は棒状製品。190は自然木加工品。191～192は漆製品・部材か。その他に手づくね・瀬戸片口鉢・常滑甕・常滑片口鉢Ⅰ類・獣骨が破片で出土している。

#### 遺構345(図21)

不整円形を呈するピットである。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒多・茶色有機質土を含む。遺構342・遺構343に切られる。

#### 出土遺物(図30)

193は須恵器甕。その他に遺物は出土していない。

#### 遺構346(図21)

楕円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒・炭化物・茶色有機質土を含む。

#### 出土遺物(図30)

194～195は木製品礎板。その他に遺物は出土していない。

#### 遺構348(図21)

円形を呈するピットである。上層の遺構に壊され、遺構の形状は崩れてしまっていた。遺構覆土内に礎板が遺存している。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物を含む。

#### 出土遺物(図30)

196は木製品礎板。197は木製品建材。その他に遺物は出土していない。

#### 遺構351(図21)

円形を呈するピットである。遺構覆土内に礎板が遺存していた。遺構337に切られる。遺構覆土は暗褐色



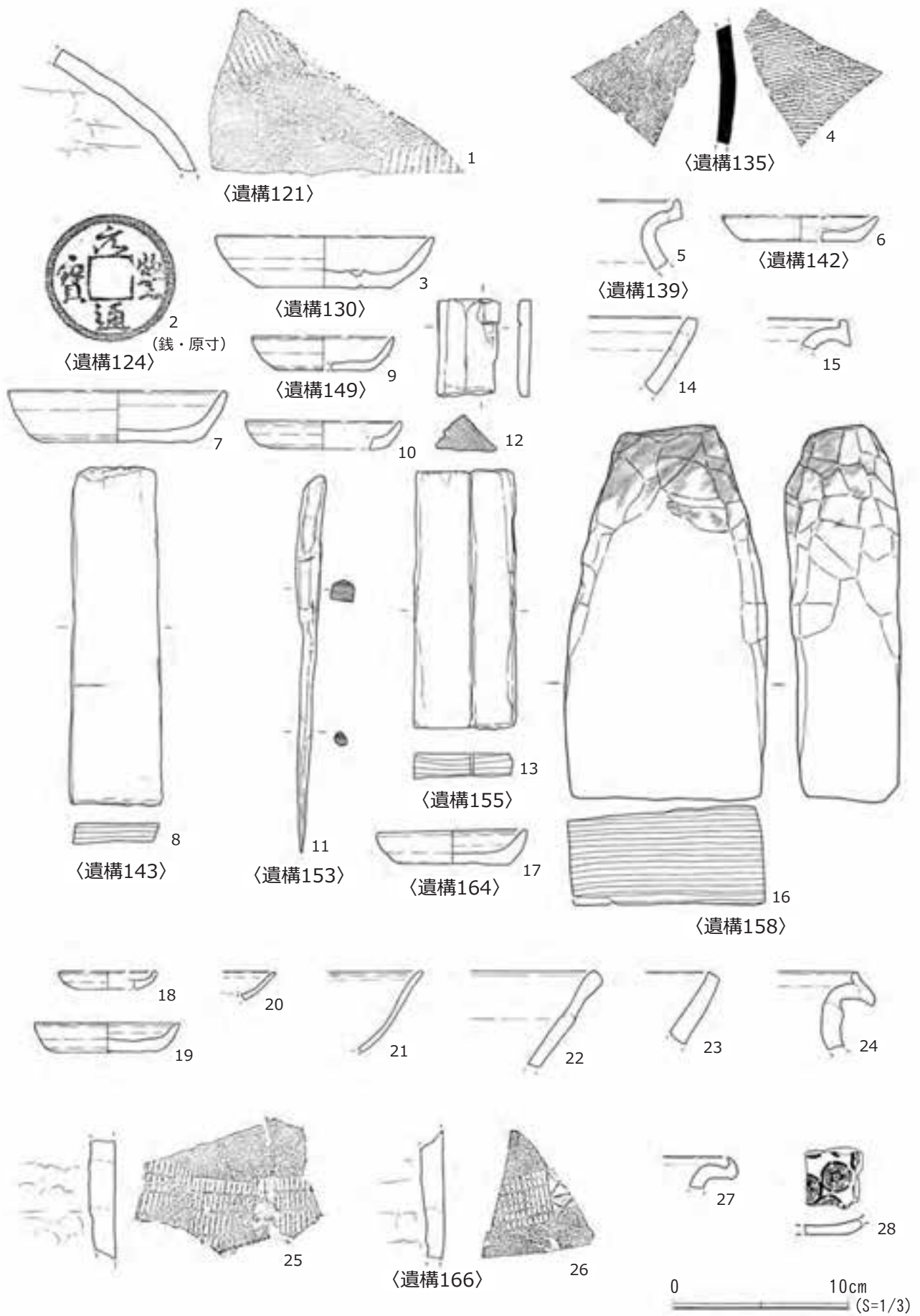


图24 第3面個別遺構出土遺物 (1)

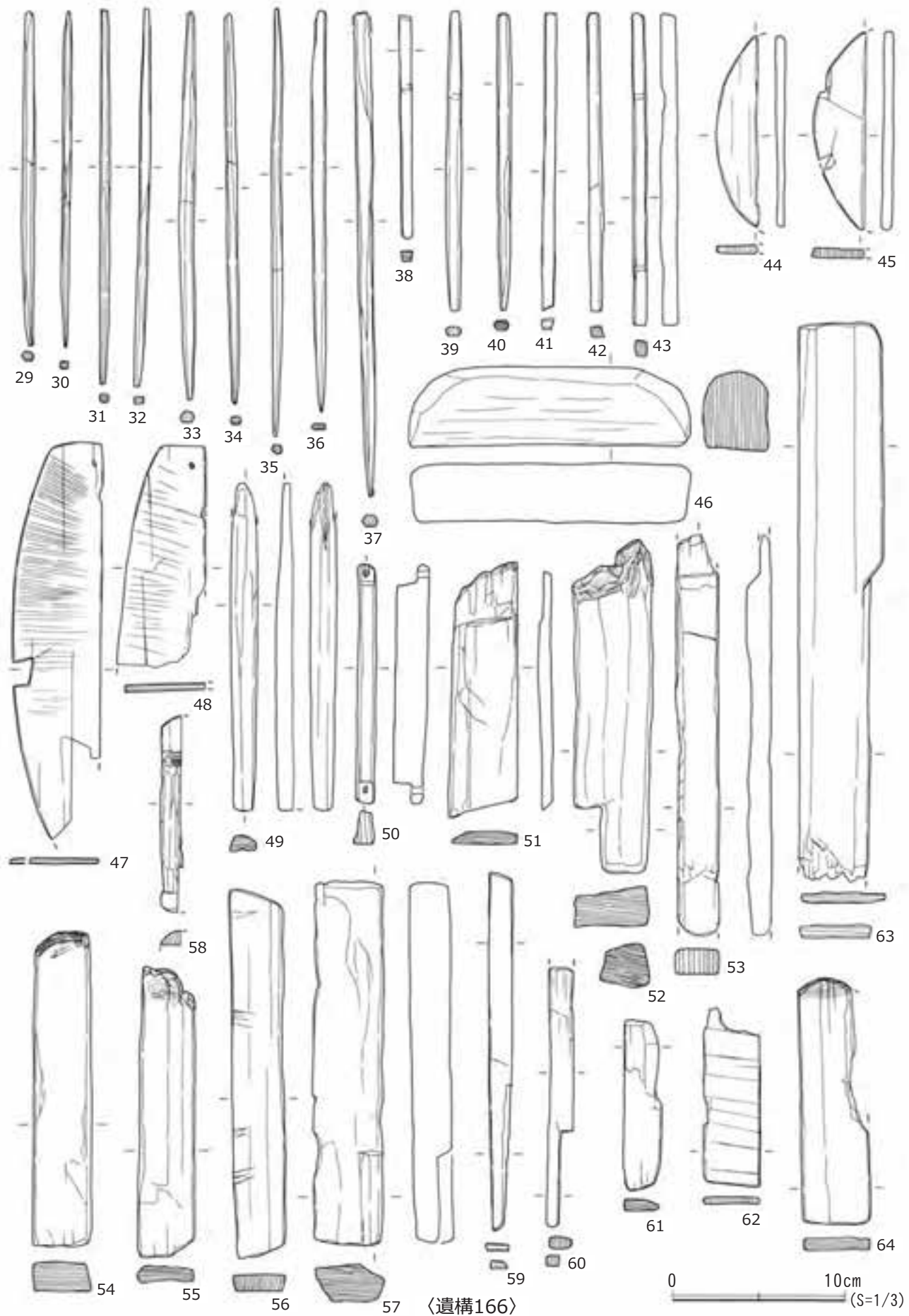


图25 第3面個別遺構出土遺物 (2)

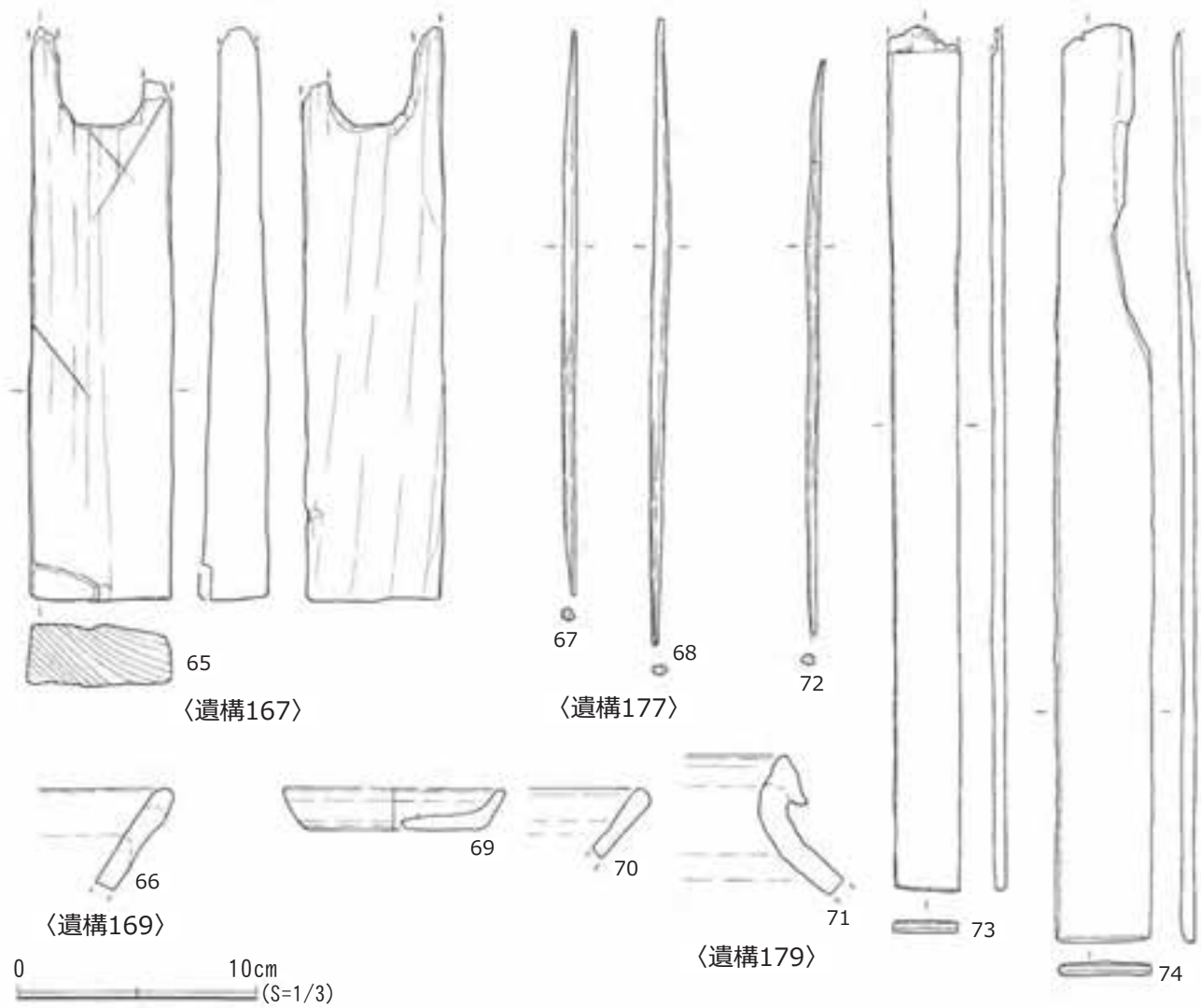


図26 第3面個別遺構出土遺物 (3)

色弱粘質土・泥岩・泥岩粒・茶色有機質土・木片を含む。

出土遺物 (図30)

198～199は木製品礎板。その他に遺物は出土していない。

遺構352 (図21)

調査区外に遺構が延び規模は不明となった。土坑である。遺構324に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒多・炭化物・茶色有機質土を含む

出土遺物 (図30)

200～202はかわらけ。203～204は常滑甕。その他に手づくね・青磁劃花文碗・常滑片口鉢Ⅰ類が破片で出土している。

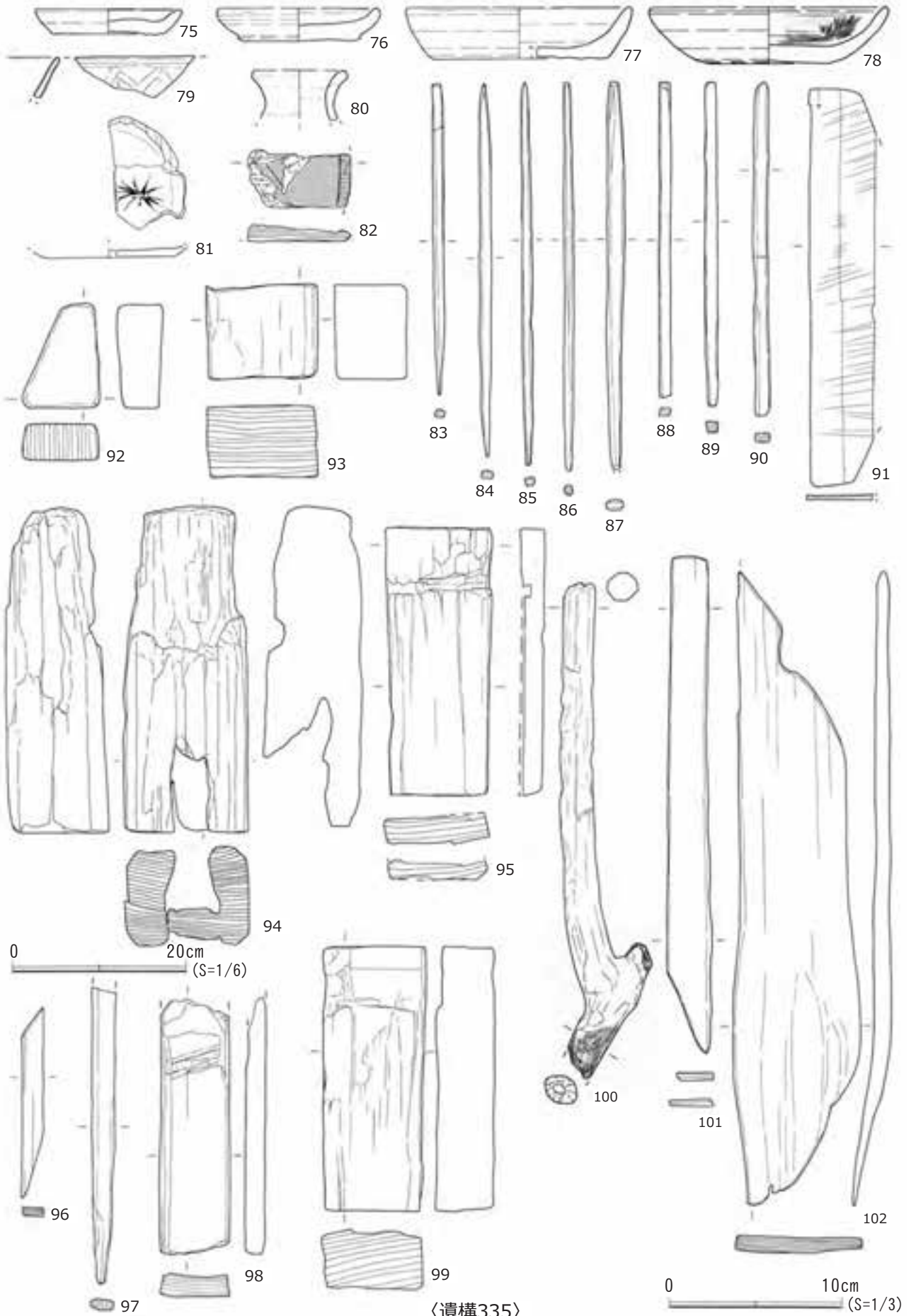
遺構353 (図21)

不整円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩・泥岩粒・炭化物・茶色有機質土を含む。覆土内に礎板、杭を発見しているが、礎板のずれを固定するために杭と泥岩で固定していた。

出土遺物 (図31)

205は木製品礎板。206～207は木製品杭。その他に遺物は出土していない。

遺構356 (図21)



〈遺構335〉

图27 第3面個別遺構出土遺物 (4)

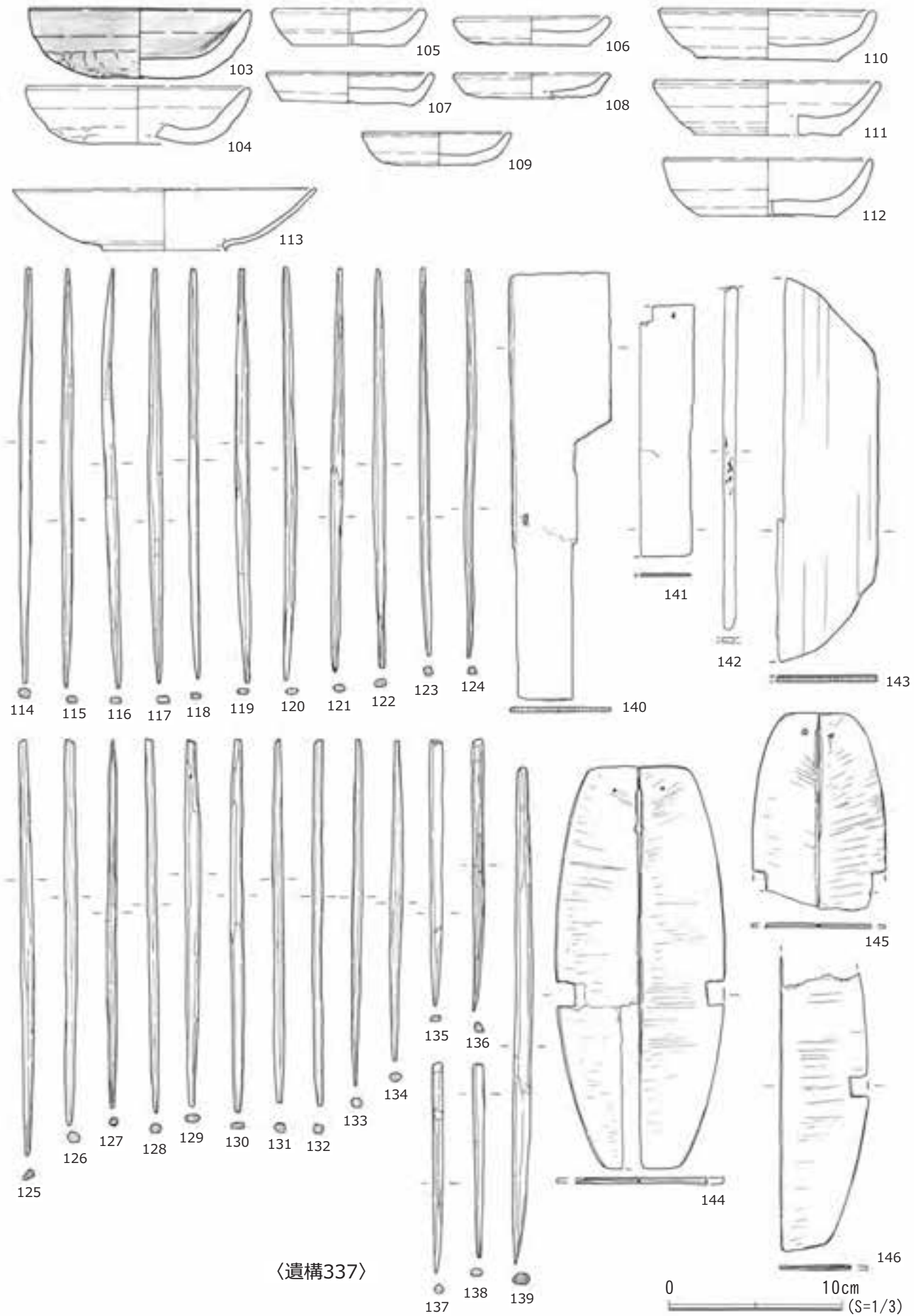
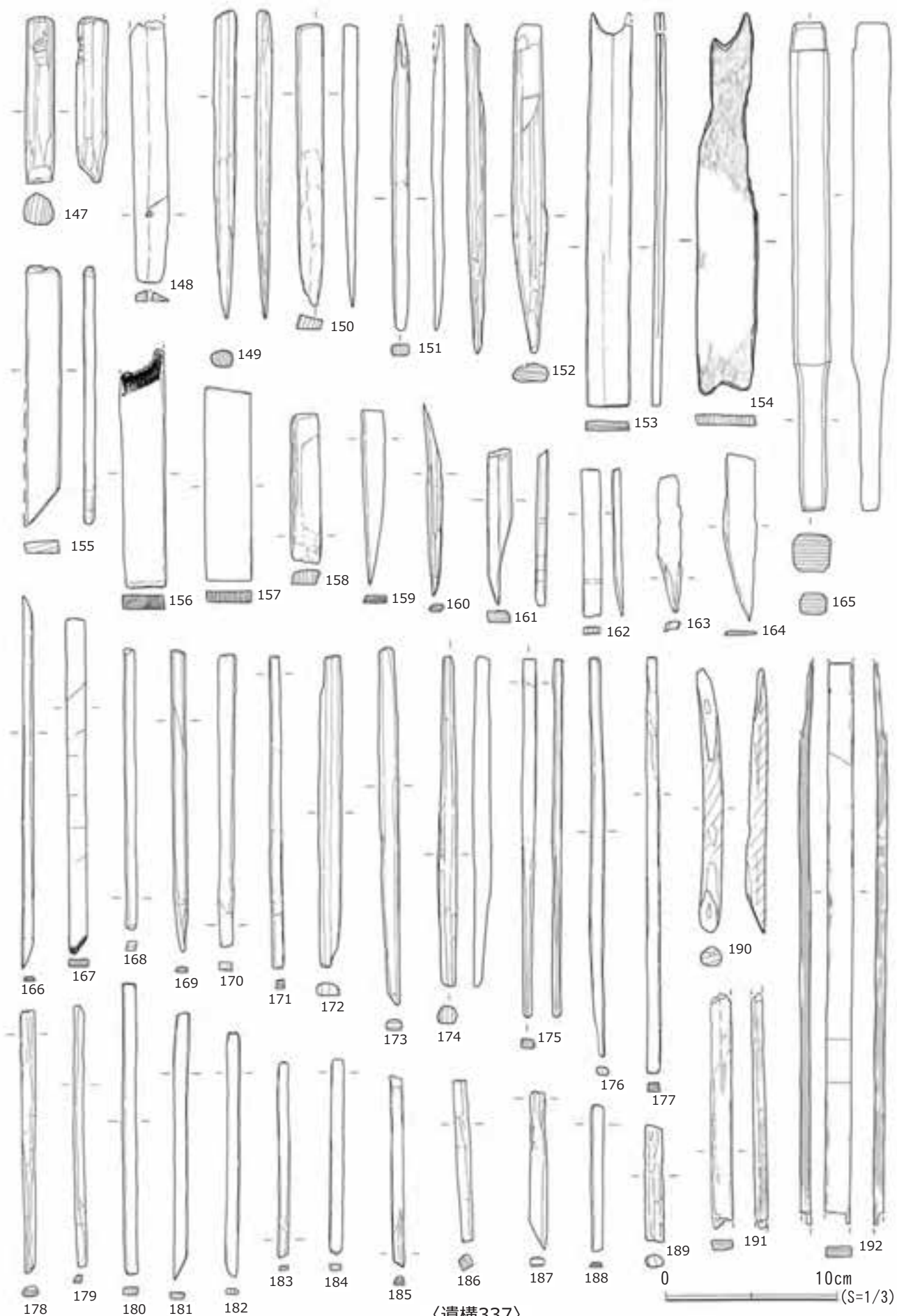


图28 第3面個別遺構出土遺物 (5)





〈遺構337〉

图29 第3面個別遺構出土遺物 (6)

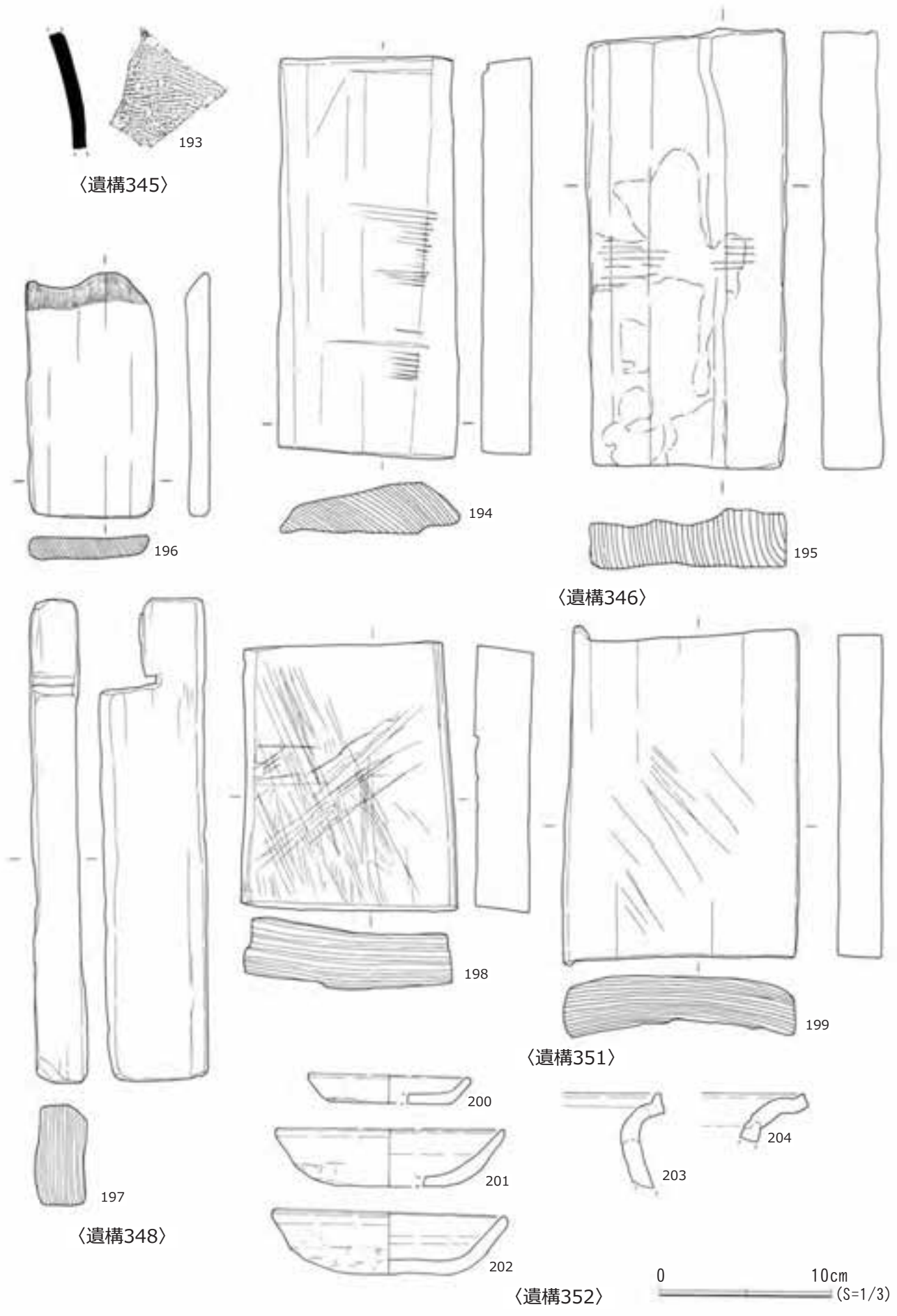


图30 第3面個別遺構出土遺物 (7)

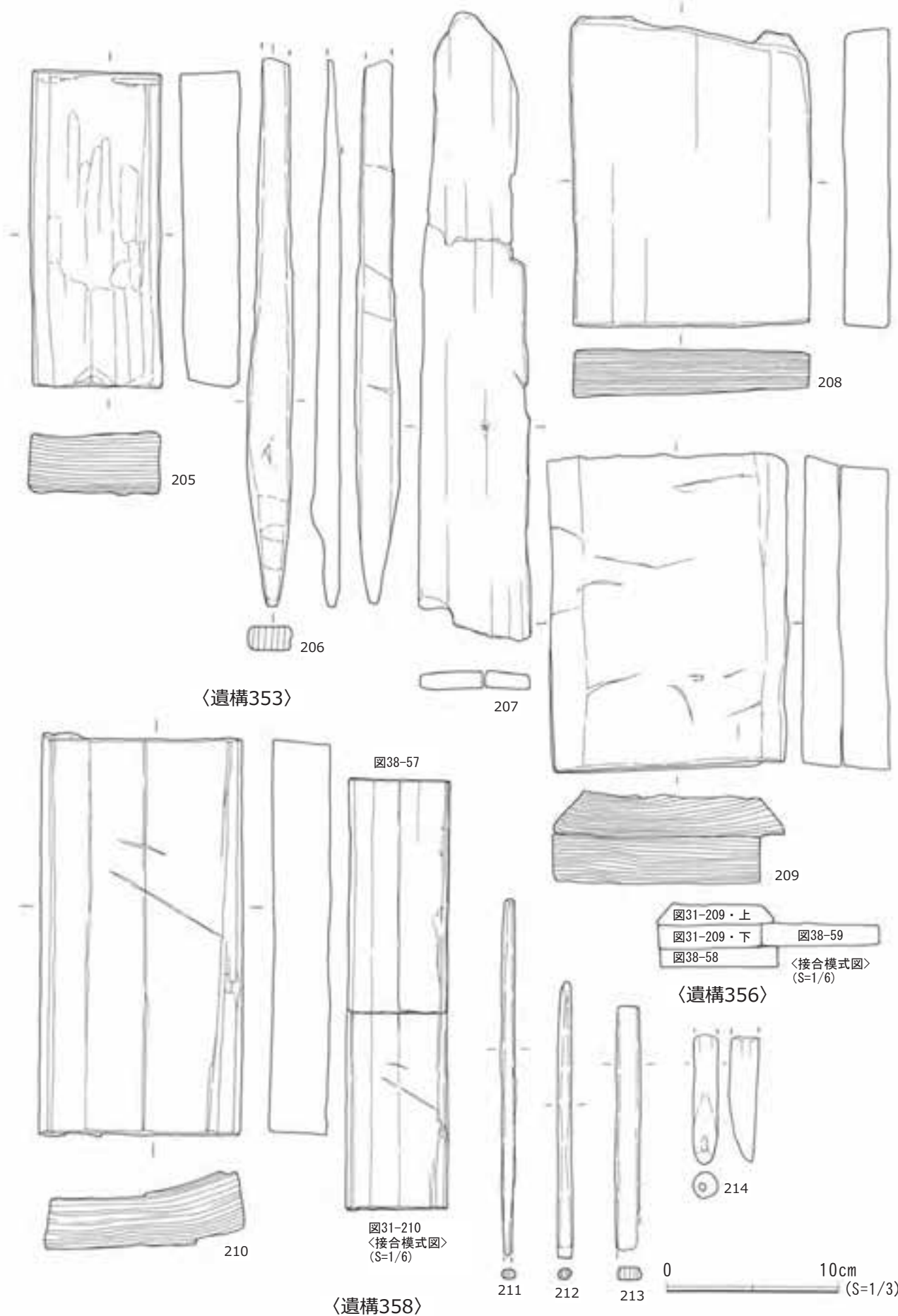


図31 第3面個別遺構出土遺物 (8)

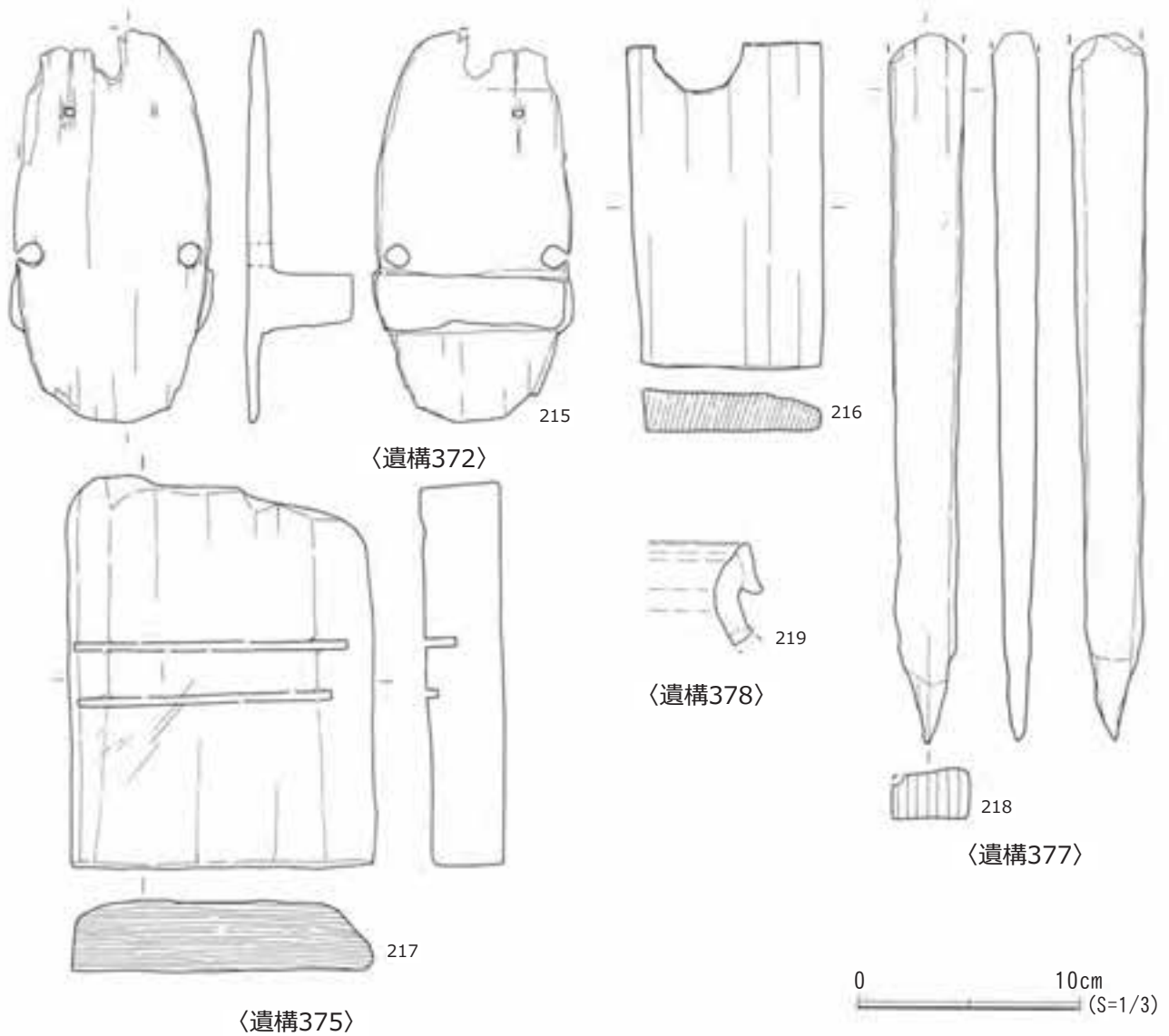


図32 第3面個別遺構出土遺物 (9)

円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構357を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物・黒色粘土を含む。

**出土遺物 (図31)**

208～209は木製品礎板。その他に遺物は出土していない。(模式図については第3章参照)

**遺構358 (図21)**

円形を呈するピットである。遺構377・439を切り、遺構432に切られる。遺構底面に礎板と礎板を固定する杭が遺存していた。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩塊・泥岩・泥岩粒を含む。覆土内で検出した泥岩は根固めに使用か。

**出土遺物 (図31)**

210～214は木製品。210は礎板。(模式図については第3章参照) 211は箸状製品。212～213は棒状製品。214は用途不明。その他に遺物は出土していない。

**遺構372 (図21)**

楕円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は暗茶褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物を含む。礎板は杭によって固定されていた。

#### 出土遺物 (図32)

215は木製品下駄。216は木製品礎板。その他に遺物は出土していない。

#### 遺構375 (図21)

楕円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構376・377を切る。遺構378に切られる。遺構覆土は暗茶褐色弱粘質土・泥岩塊・泥岩・褐色砂を含む。

#### 出土遺物 (図32)

217は木製品礎板。その他に遺物は出土していない。

#### 遺構377 (図20)

円形を呈するピットである。遺構358・469に切られる。遺構覆土は暗茶褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒・木片を含む。遺構覆土内に礎板を固定するために用いたと考える杭状の木材が遺存していた。

#### 出土遺物 (図32)

218は木製品杭・その他に遺物は出土していない。

#### 遺構378 (図21)

楕円形を呈する土坑である。遺構覆土は暗茶褐色粘質土・泥岩粒・茶色有機質土を含む。

#### 出土遺物 (図32)

219は常滑甕。その他に遺物は出土していない。

#### 遺構432 (図21)

楕円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構358を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒を含む。

#### 遺構439 (図21)

楕円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構358に切られ、遺構377を切る。遺構覆土は暗茶褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物を含む。遺物は出土していない。

#### 遺構446 (図20)

楕円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物を含む。遺物は出土していない。

#### 遺構461 (図20)

不整円形のピットである。遺構166を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・有機質土を含む。杭痕か。遺物は出土していない。

#### 第3面面上出土遺物 (図33)

第3面遺構精査時に面上から出土した遺物である。

1～3はかわらけ。4は常滑片口鉢Ⅰ類。5は亀山甕。6は丸瓦。7は銭。8～9は木製品礎板。その他に手づくね・常滑甕が破片で出土している。

#### 第3面構成土出土遺物 (図33)

第2面遺構検出後、第3面遺構精査時までの堆積土から出土した遺物である。

10～12はかわらけ。13は常滑片口鉢Ⅱ類。14は木製品篋状。15は木製品棒状。16は木製品礎板。その他に手づくね・常滑甕が破片で出土している。



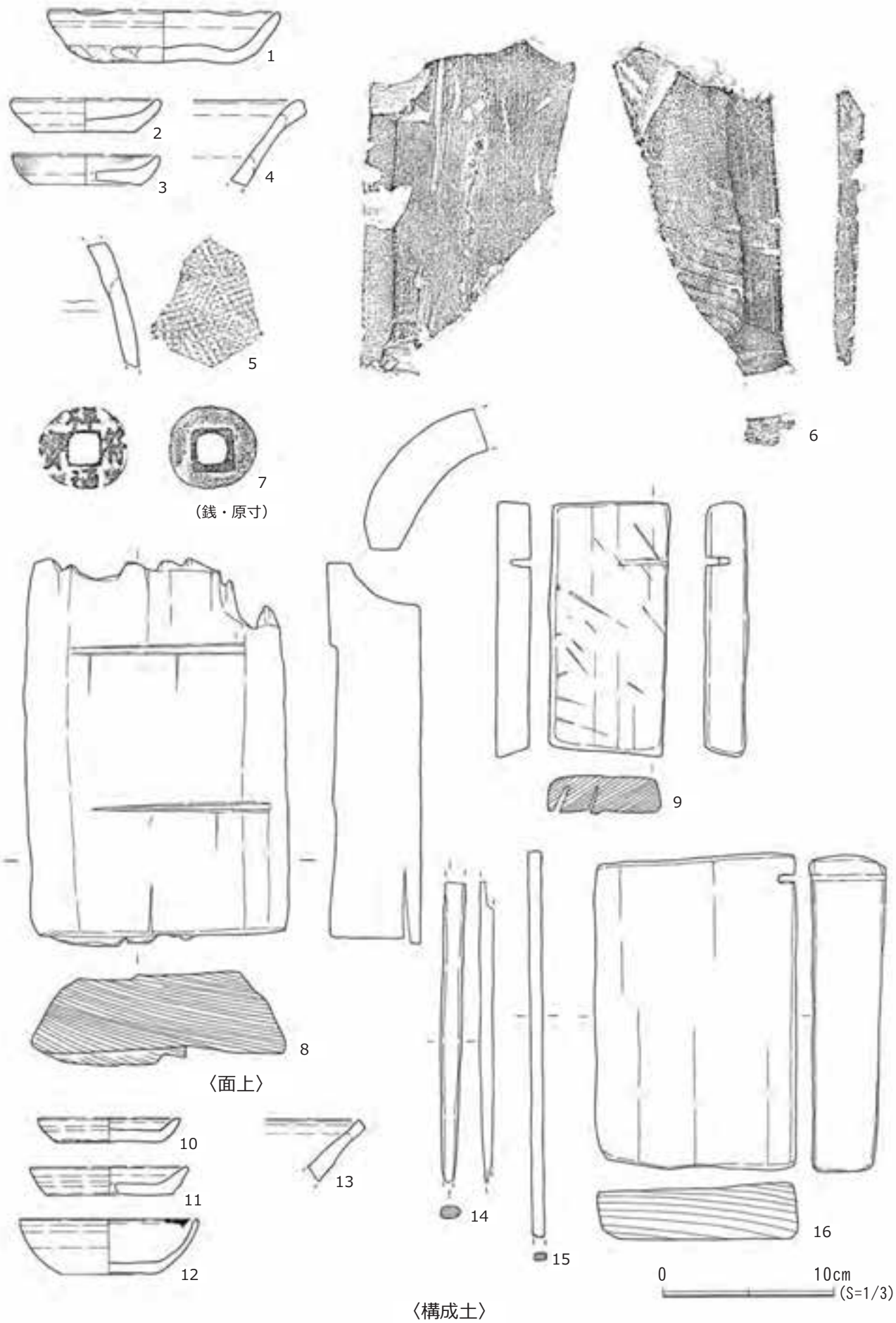


图33 第3面面上・構成土出土遺物

#### 第4節 第4面の遺構と遺物（図5・図34～図39）

第4面は泥岩粒・若干の炭化物・黒色粘土をブロック状に含む明茶色砂上で遺構を検出した。検出した礎板を伴うピットは、上層第3面で検出した遺構同様に、端材とも思われる規格をもたない板をピット内で沈まないように何枚も重ねた例や、柱材であったと考える厚みのある板材を礎板に転用している例を多く観察し、多くの礎板を伴うピットには根固めに使用したと考える泥岩塊・泥岩が遺存していた。また、Ⅱ区調査時には大雨のため調査区壁が崩落する等、調査に支障が出たために排水のための窯場を大きく取るなど調査区を若干狭め、一部調査を断念した遺構もある。発見した遺構はピット109穴・土坑4基。3時期に亘る遺構を確認している。遺構検出した海拔高は6.50～6.70mである。

##### 遺構181(図34)

楕円形を呈するピットである。遺構460に切られる形になるが、遺構460は柱の抜き取り痕であった可能性を考えている。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒・炭化物を含む。

##### 出土遺物(図35)

1はかわらけ。2は青磁皿。その他に木製品用途不明が破片で出土している。

##### 遺構182(図34)

調査区外に遺構が延びる。遺構底面に礎板が遺存するピットである。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・褐色砂を含む。

##### 出土遺物(図35)

3は木製品礎板。その他に遺物は出土していない。

##### 遺構186(図5)

個別に遺構図は掲載していない。円形を呈するピットである。遺構181に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒多・褐色砂を含む。遺物は出土していない。

##### 遺構187(図34)

不整円形を呈する土坑である。一部調査区外に遺構が延びる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒多・茶色有機質土を多量に含む。遺物は手づくね・常滑甕が破片で出土している。

##### 出土遺物(図35～図36)

4～34は木製品。4～5は板折敷。6～14は箸状製品。15～28は棒状製品。29は杭か。30は曲物。31～32は用途不明。32は物差しか。33は漆製品櫛。34は木製品端材。

##### 遺構190(図5)

個別に遺構図は掲載していない。楕円形を呈するピットである。遺構221を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒多・炭化物・褐色砂を含む。遺物は出土していない。

##### 遺構201(図34)

円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構181に切られ遺構207を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒・褐色砂を含む。

##### 出土遺物(図37)

35は木製品礎板。その他に遺物は出土していない。

##### 遺構206(図34)

楕円形を呈する土坑である。遺構212に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩塊・泥岩・泥岩粒・炭化物・黒色粘土を含み、下層には木片が堆積していた。

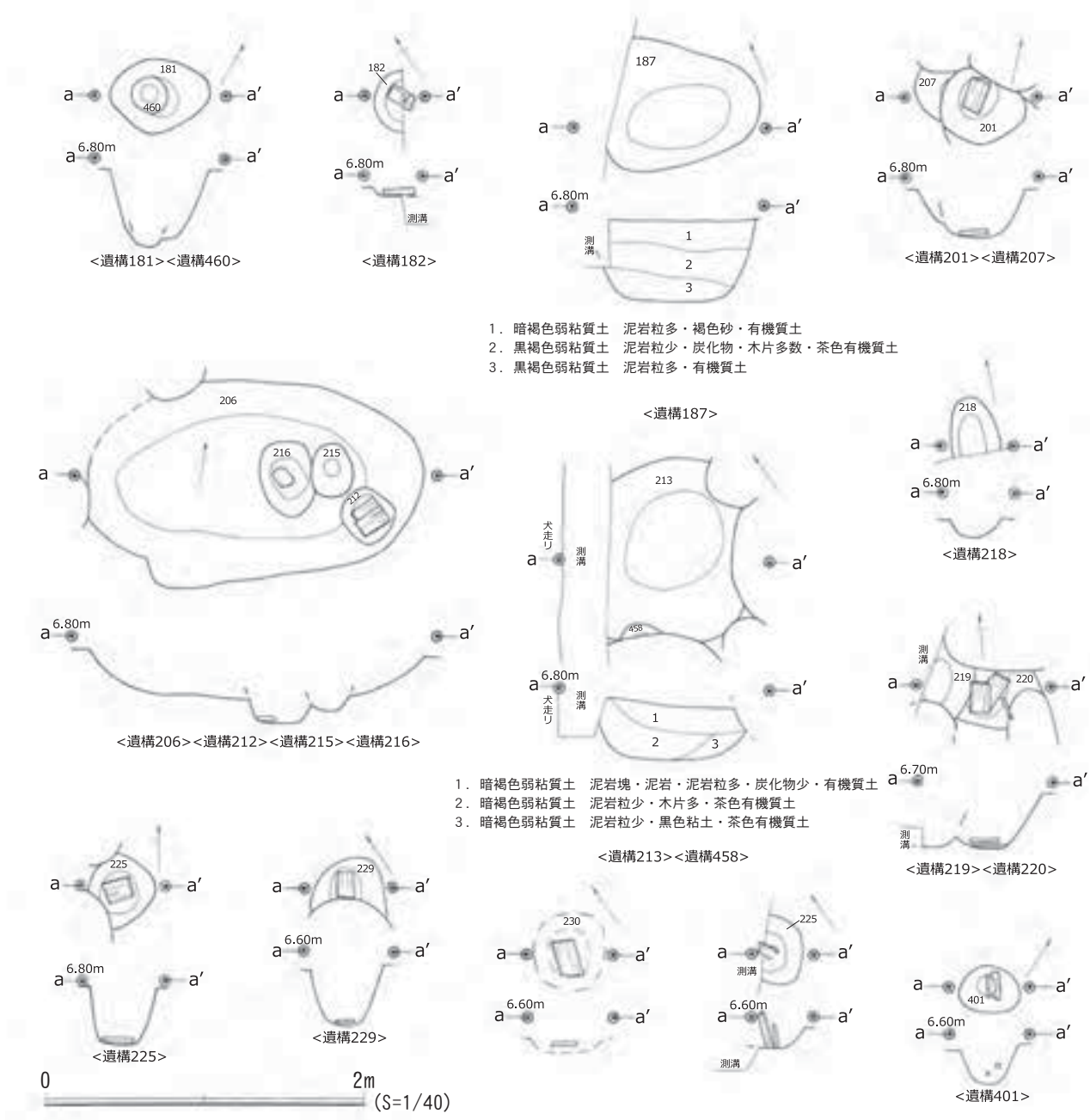


図34 第4面個別遺構図

### 出土遺物(図37)

36～37はかわらけ。38は木製品板杓子。39は木製品礎板。その他に手づくね・常滑甕・木製品用途不明が破片で出土している。

### 遺構207(図34)

遺構201に切られ規模は不明となった。ピットである。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩塊・泥岩粒・黒色粘土・褐色砂を含む。遺物はかわらけが破片で出土している。

### 遺構212(図34)

円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構206を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒多・炭化物を含む。遺物は出土していない。

### 遺構213(図34)

円形を呈する土坑である。遺構の一部は調査区外に延びる。遺構214に切られる。遺構覆土は暗褐色弱

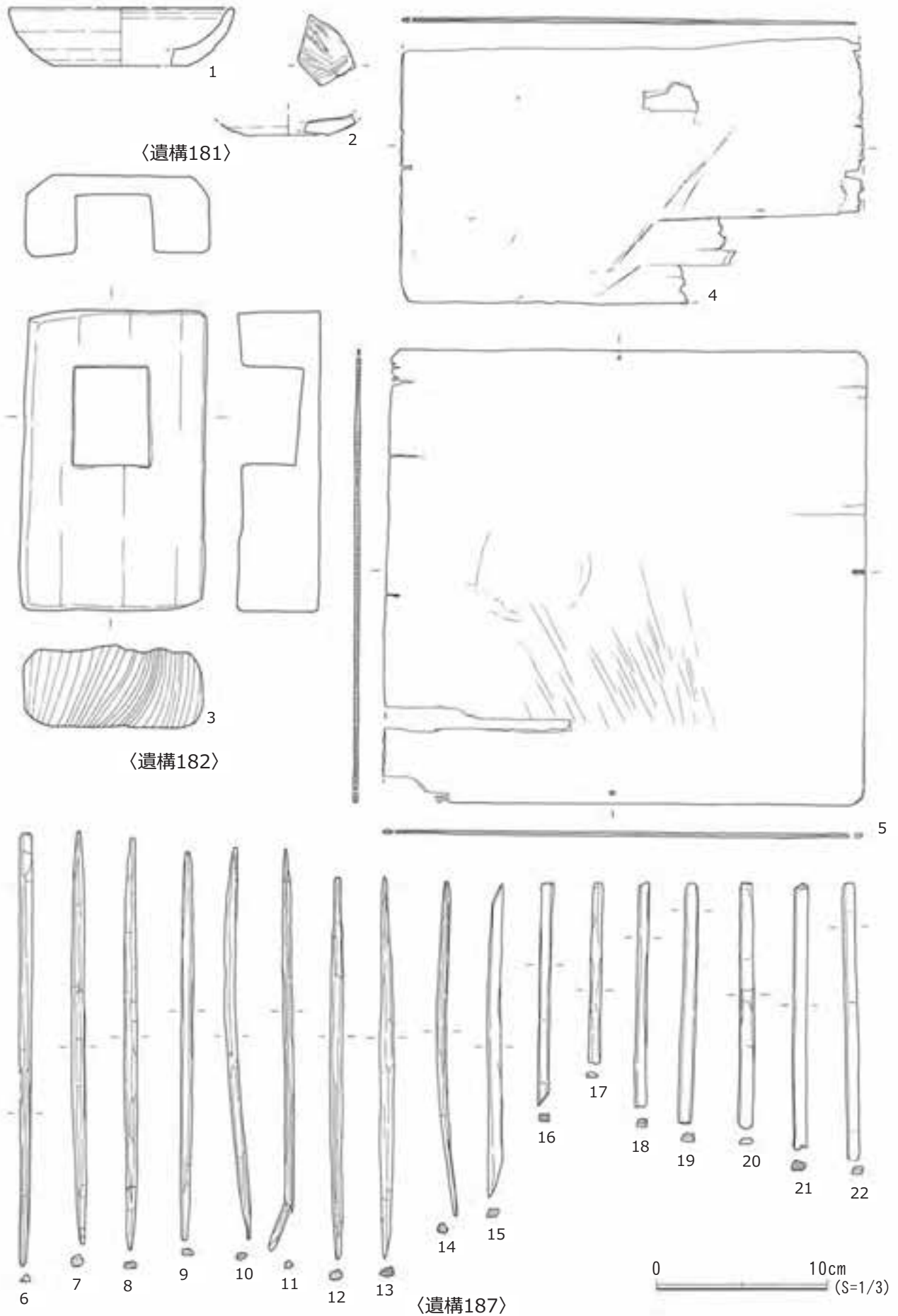


图35 第4面个别遺構出土遺物 (1)

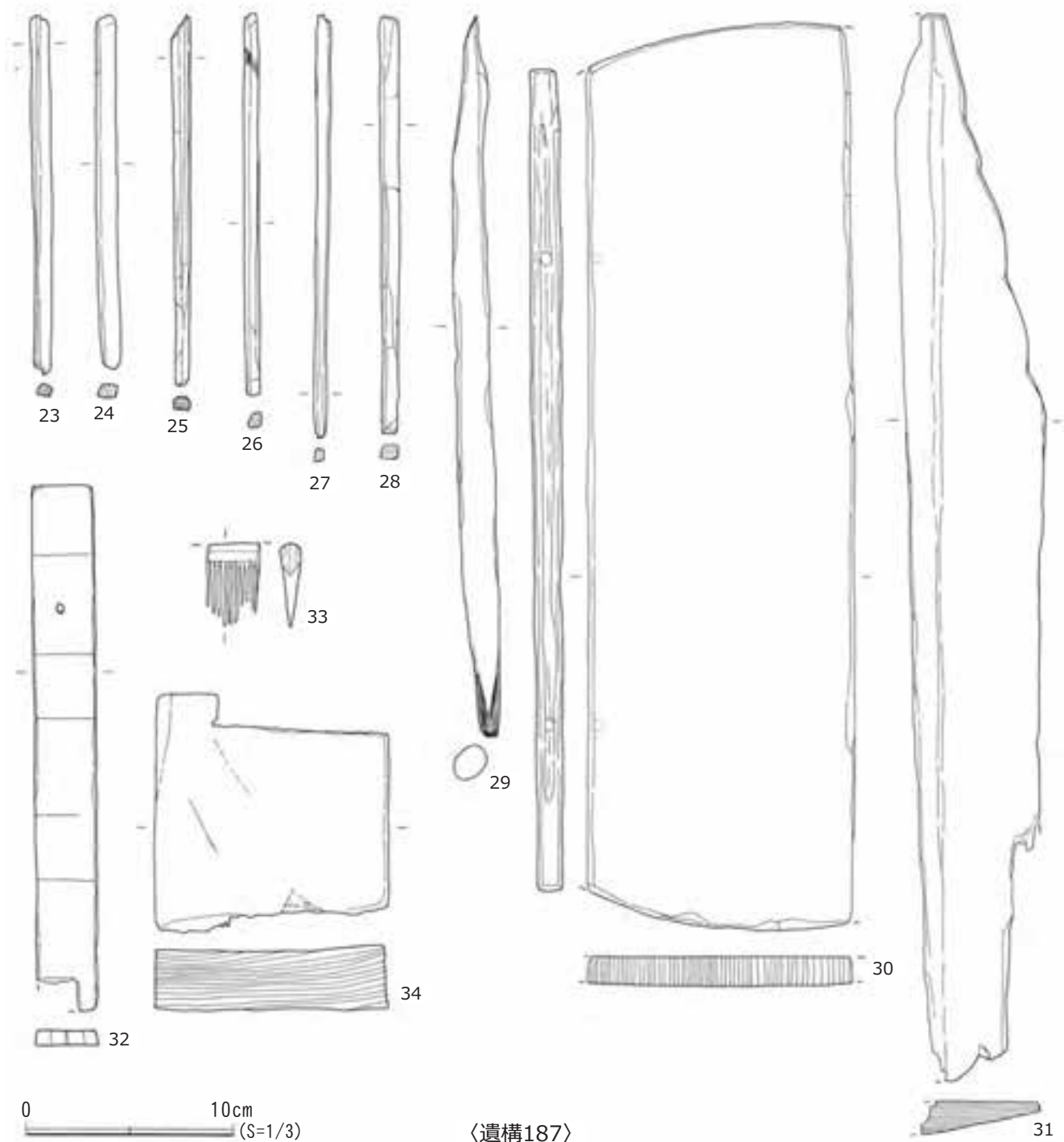


図36 第4面個別遺構出土遺物（2）

粘質土・泥岩粒多・炭化物・茶色有機質土・木片を多く含む。

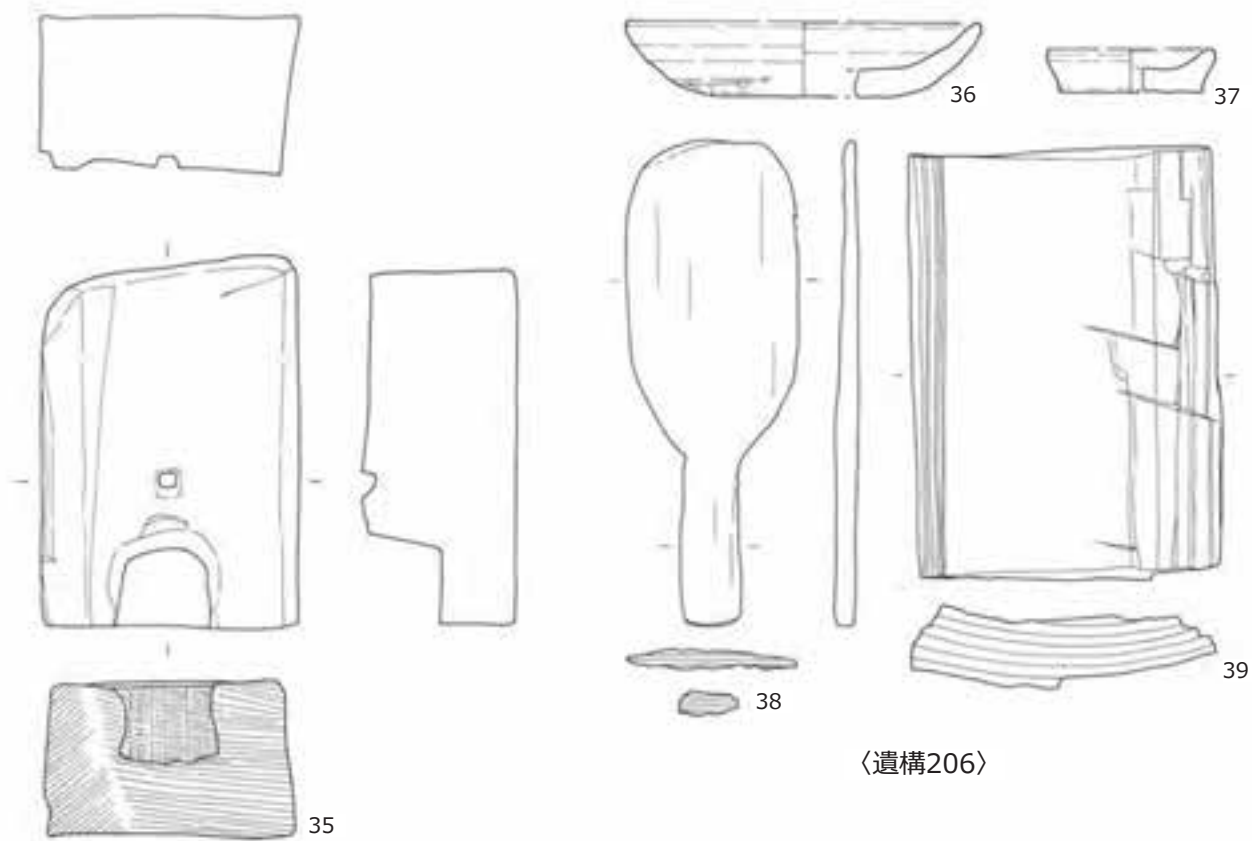
出土遺物（図37）

40～54は木製品。40～41は曲物。42～47は用途不明。48は礎板。49～50は部材。51～52は杭。53は用途不明・紐状の圧痕有り。54は串状。遺物はかわらけ・手づくね・常滑甕・常滑片口鉢Ⅰ類が破片で出土している。

遺構214（図34）

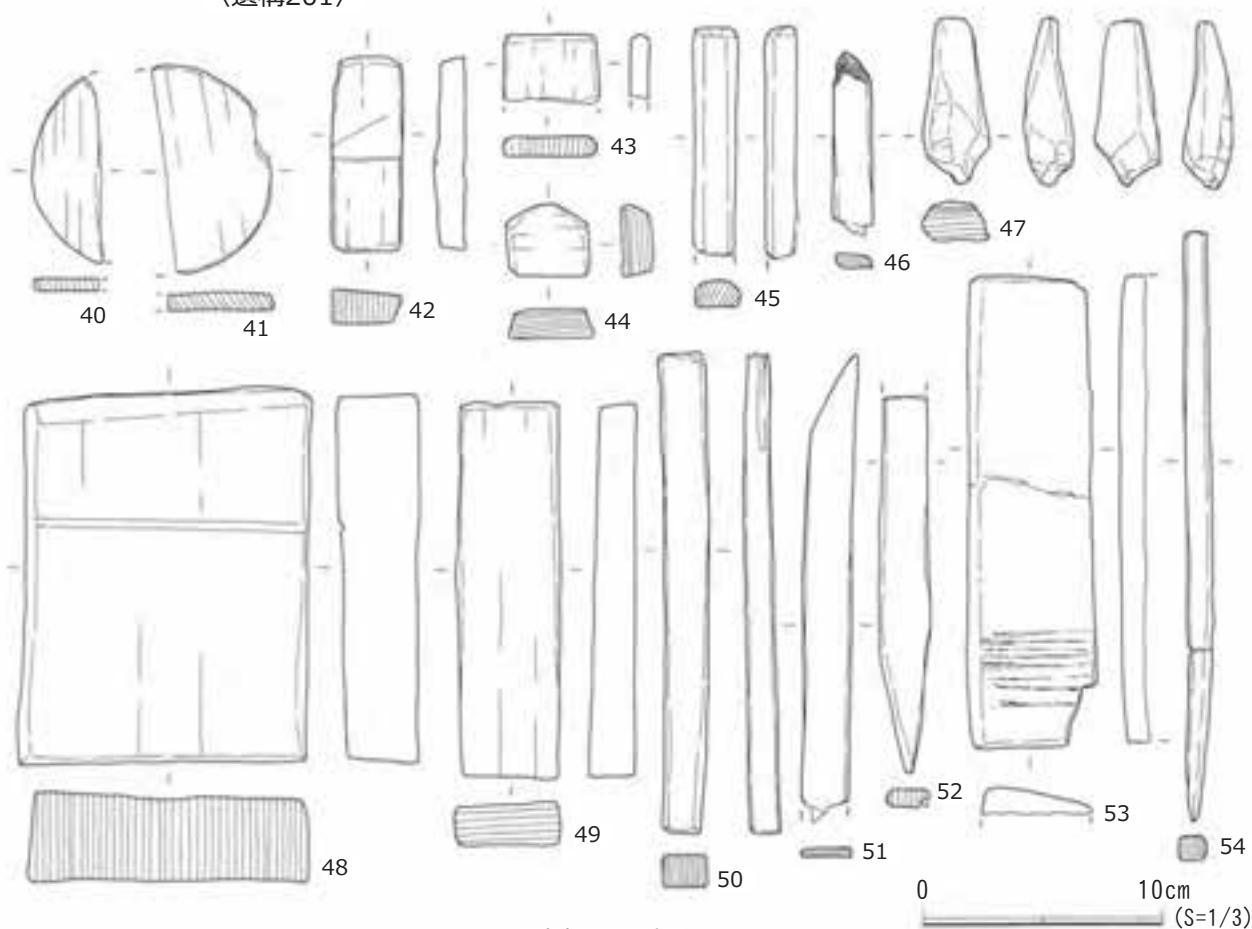
個別に遺構図は掲載していない。円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆





〈遺構201〉

〈遺構206〉



〈遺構213〉

图37 第4面個別遺構出土遺物 (3)

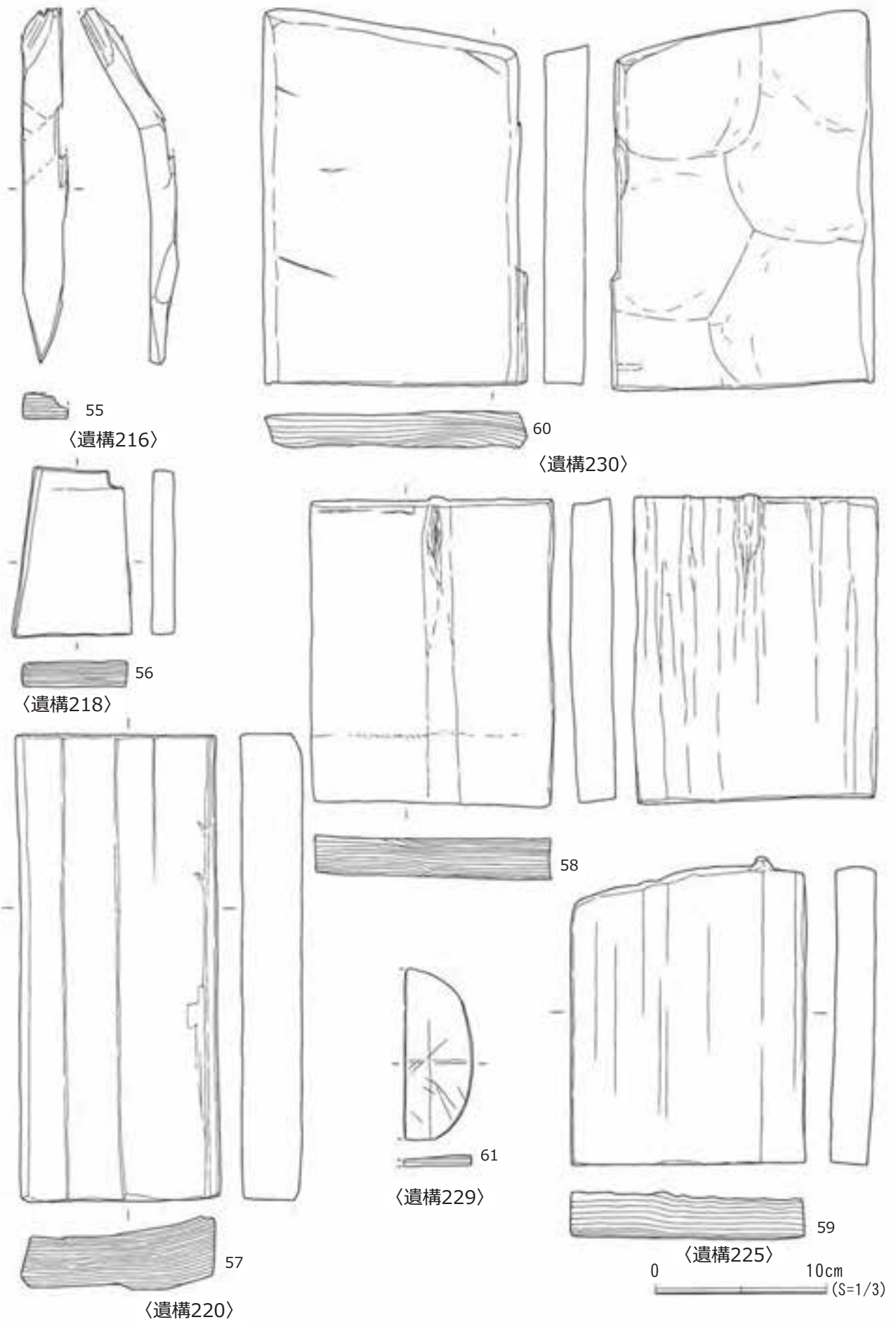


図38 第4面個別遺構出土遺物（4）

土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒多・褐色砂を含む。遺物は出土していない。

#### 遺構215 (図34)

楕円形を呈するピットである。遺構206・216を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・褐色砂を含む。遺物は出土していない。

#### 遺構216 (図34)

楕円形を呈するピットである。遺構底面に泥岩塊・泥岩を検出している。柱の根固めに使用したと考えている。遺構215に切られる。

#### 出土遺物 (図38)

55は木製品用途不明。その他に遺物は出土していない。

#### 遺構218 (図5)

個別に遺構図は掲載していない。調査区外に遺構は延びる。楕円形を呈するピットである。遺構219を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物・茶色有機質土を含む。

#### 出土遺物 (図38)

56は木製品用途不明。その他に遺物は出土していない。

#### 遺構219 (図34)

調査区外に遺構が延びる。遺構220を切るピットである。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物・茶色有機質土を含む。遺物は破片でかわらけ・常滑甕・木製品箸・木製品部材が出土している。

#### 遺構220 (図34)

遺構187・219に切られる。遺構底面に礎板が遺存するピットである。遺構覆土は褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物・茶色有機質土を含む。

#### 出土遺物 (図38)

57は木製品礎板。その他に遺物は出土していない。

#### 遺構225 (図34)

遺構底面に礎板が遺存するピットである。遺構217・221に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物・褐色砂・茶色有機質土を含む。

#### 出土遺物 (図38)

59は木製品礎板。その他に遺物は出土していない。

#### 遺構227 (図5)

個別に遺構図は掲載していない。円形を呈するピットである。覆土内に礎板が遺存していた。遺構229を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・茶色有機質土を含む。遺物はかわらけが破片で出土している。

#### 遺構229 (図34)

円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構227に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩塊多・泥岩粒・炭化物を含む。

#### 出土遺物 (図38)

61は木製品曲げ物。その他に遺物は出土していない。

#### 遺構230 (図34)

湧水する側溝内で検出したため、正確な遺構図を実測することはできなかった。礎板が遺存するピットである。遺構覆土は暗褐色弱粘質土。

#### 出土遺物 (図38)

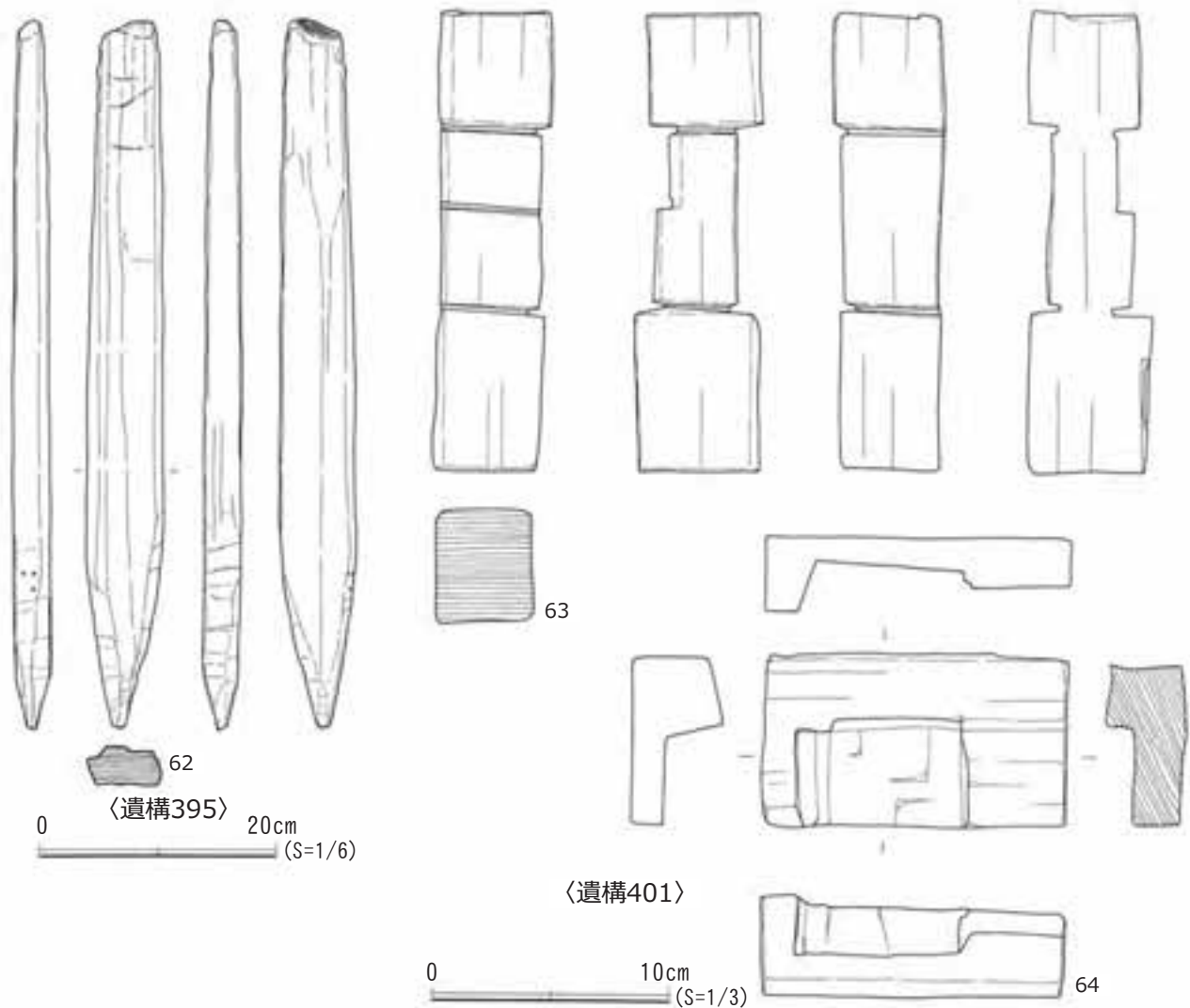


図39 第4面個別遺構出土遺物 (5)

60は木製品礎板。その他に遺物は出土していない。

**遺構353 (図5)**

個別に遺構図は掲載していない。円形を呈するピットである。遺構底面、覆土内に礎板と杭状の木製品が遺存していた。遺構覆土は暗茶褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒多・炭化物・茶色有機質土を含む。遺物はかわらけが破片で出土している。

**遺構386 (図5)**

個別に遺構図は掲載していない。円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒多・炭化物・茶色有機質土を含む。遺物は出土していない。

**遺構389 (図5)**

楕円形を呈するピットである。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒・褐鉄を含む。遺物は出土していない。

**遺構390 (図5)**

円形を呈するピットである。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・茶色有機質土・褐色砂を含む。遺物は出土していない。

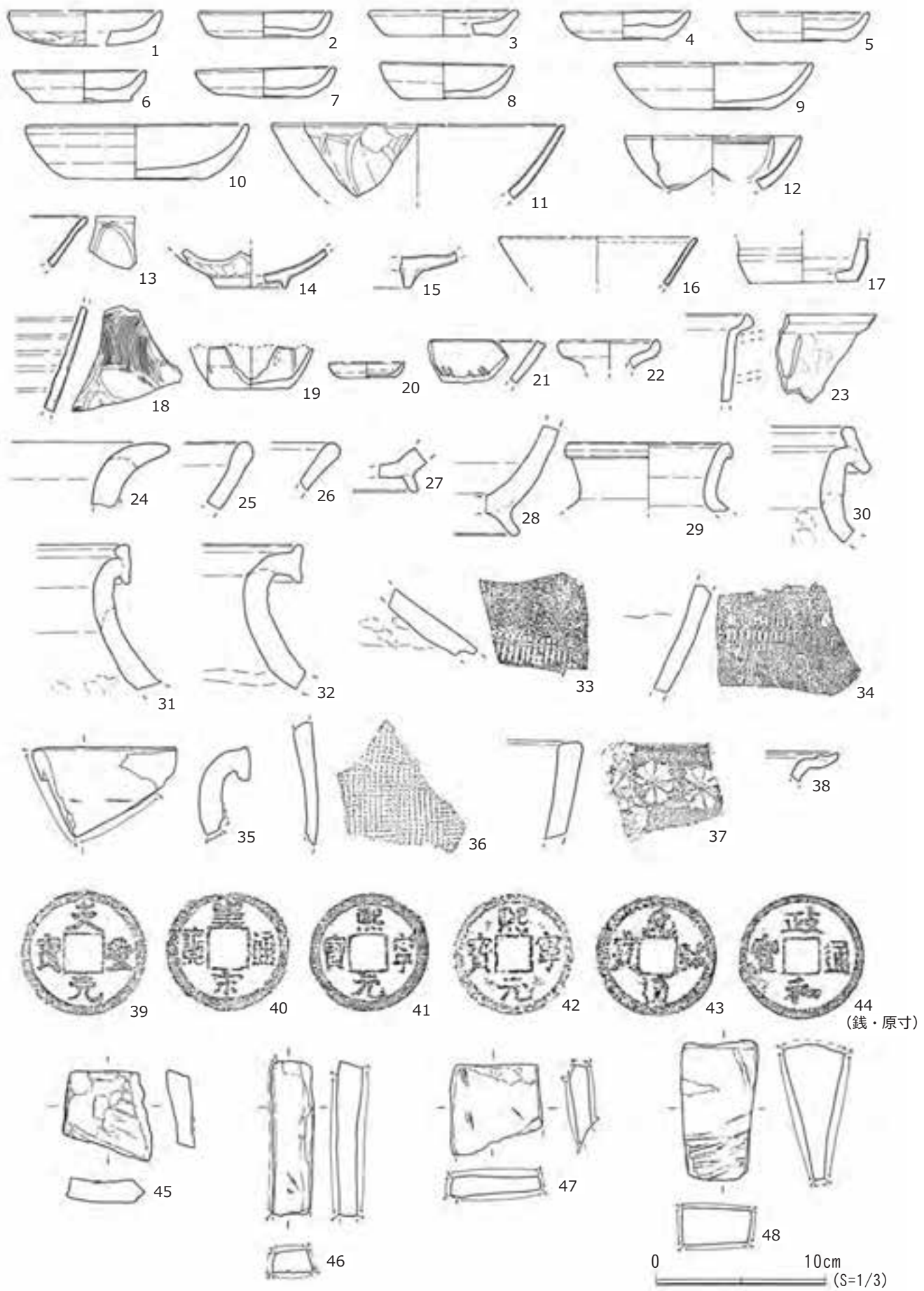


图40 表土採集遺物



#### 遺構395 (図34)

遺構462に切られる。杭が遺存するピットである。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物・茶色有機質土を含む。遺構462に伴うピットか。

#### 出土遺物 (図39)

62は木製品杭。その他に遺物は出土していない。

#### 遺構401 (図34)

円形を呈するピットである。覆土内に礎板が遺存していたが、遺存状況が悪く採集は出来なかった。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒多・炭化物を含む。

#### 出土遺物 (図39)

64は木製品礎板。その他に遺物は出土していない。

#### 遺構458 (図34)

遺構464に切られ規模は不明。ピットである。遺構213を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・褐色砂を含む。遺物は出土していない。

#### 遺構460 (図34)

円形を呈するピットである。遺構181を切る。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・青灰色砂を含む。遺物は出土していない。

#### 遺構462 (図5)

個別に遺構図は掲載していない。南北に走る溝である。同じく南北に走る第3面の遺構326に切られる。溝の東壁に沿って数本の杭を確認しているが、側板は確認できなかった。遺構462の東溝壁に沿った形で遺構463を検出し、当初遺構462の掘り方と考査を進めていたが、遺構416・417等数穴のピットに切られることから、遺構462は、遺構463の造り変えではなかったかと考査している。溝の東壁・杭などを確認し、記録した後に大雨によって調査区西壁が崩落し、多くの遺構が埋没したため周辺の遺構を含めて調査を断念した。

#### 表土採集遺物 (図40)

調査前、表土掘削時に採集した遺物と出土地点が不明となった遺物をまとめて報告している。

1～10はかわらけ。11～14は青磁碗。15は青磁折腰鉢。16は白磁口兀皿。17は白磁器種不明。18は青白磁梅瓶。19～20は瀬戸入子。19は輪花型。21は瀬戸卸皿。22は瀬戸水注。23は瀬戸柄付片口。24は渥美甕。25～28は常滑片口鉢Ⅰ類。29～34は常滑甕。35は常滑甕転用品。36は亀山甕。37は瓦器質火鉢。38は南伊勢系土鍋。39～44は銭。45は滑石鍋転用品・温石。46～48は石製品砥石。その他に手づくね・青磁皿・青白磁合子・白磁口兀碗・褐釉天目碗・瀬戸壺・瀬戸花瓶・常滑片口鉢Ⅱ類・丸瓦・平瓦・瓦器質香炉・スラグが破片で出土している。

### 第三章 まとめ

本調査は、重機によって表土(現代埋土)を除去し第1面の調査・記録を行った後、作業によって生じた廃土を調査地内で処理するために、第2面以下をⅠ区(南側)・Ⅱ区(北側)に分割して調査した。鎌倉市街地で遺跡を調査する際、泥岩・泥岩粒を多く含む堅固な地業土から遺構を検出することが多いが、本調査地では明白に地業土と言える堆積層がなく、結果的に上層から土層が異なる毎に発見した遺構を観察・記録することになった。また、湧水量が多く常時排水作業に追われ、天候不順による降雨の影響では調査

区壁が崩落し調査範囲を狭める等、困難な調査となった。

## 第1節 検出した遺構と遺物

第1面では調査区のほぼ中央を南北に走る、幅55～65cmの溝を1条発見している。第1面上層の表土(現代埋土)を除去する際に溝上層は削平され、確認・記録した深さは約30cmと浅いが、調査区壁で観察した堆積土層では深さ50cmを測っている。溝底面の海拔高は、ほぼ平坦となり流下方向は不明となった。狭小な調査区内の様相ではあるが溝を境に東側は多くの遺構を検出し、西側はやや空閑地が目立つ。溝が区画の役割をもち、溝の東西で場の利用状況が異なっていた可能性もある。遺構検出層は地業土と呼ぶには締りのない暗褐色弱粘質土の堆積層であった。切り合い・遺構覆土の観察から第1面の遺構は3時期に亘る。出土遺物は、舶載製品と瀬戸製品の出土がやや目立った。また、数点ではあったが薄手丸深型と呼ぶかわらけも出土している。調査時には遺物の出土状況から、13世紀後半から14世紀前半の年代観を第1面に与えていたが、本報告に際して生産地年代が確定している常滑製品・瀬戸製品の遺物を観察すると、遺構出土の製品では13世紀中頃から概ね14世紀代の製品が出土し、面上及び構成土からは13世紀代から15世紀前半に至るまでの幅広い年代の遺物が混在して出土していたため、第1面は14世紀～15世紀前半の年代を与えた。

第2面は第1面構成土を10～40cm除去し、泥岩粒・褐色砂・炭化物を含む暗褐色弱粘質土上で調査した。第1面よりも多くの遺構を検出しているが、遺構検出層は第1面よりさらに脆弱な地層であった。第2面では覆土内、あるいは遺構底面に礎板が遺存しているピットを多く見るが、切り合いの多さも一因となって調査時に建物址を推定することができず、報告書作成時に再考を試みたが建物址として成立するピット列を推定することができなかった。また、湧水量が多く、砂質土を多く含む弱い地質のためか、礎板が遺存するピットの多くは、柱材・礎板の落ち込み・ずれ等を防ぐために泥岩塊・泥岩を根固めに使用し、細い杭状の木片で礎板を固定している柱穴もあった。第1面で溝(遺構8)の東西で差のあった検出遺構の密度を第2面では感じない。切り合い・遺構覆土の観察から第2面の遺構は3時期に亘ると考えている。第2面では舶載製品の出土が第1面に比べて減少し、手づくねかわらけが出土遺物に混じってくる。また、遺構覆土及び第2面構成土からは焼痕のある木片が多く出土し、柱材など先端部が焼けている材を発見している。調査時には第2面の年代を、出土遺物から第1面よりも若干遡る印象をもってしたが、第1面同様に出土した常滑製品・瀬戸製品を観察すると、遺構出土の製品では13世紀中頃から14世紀初頭、面上・構成土出土遺物では13世紀中頃から15世紀前半の製品が混在して出土し、第1面を遡る年代を与えることが難しい。

第3面は第2面構成土を10～20cm除去し、泥岩粒・炭化物多・茶色有機質土を含む暗褐色弱粘質土上で調査した。第2面同様に多くの遺構を検出し、覆土内、あるいは遺構底面に礎板が遺存するピットも多く確認しているが、調査時に建物址を推定することはできなかった。礎板が遺存するピット覆土に泥岩塊・泥岩が混入し、根固めとして利用する状況は第3面も同様であり地盤の弱さを感じる。調査区外に遺構が延びてしまい規模などは不明となったが、Ⅱ区東壁に沿って南北に延びる溝(遺構326)を検出している。部分的な検出状況で判断するのは不安だが、第1面で検出した溝と同じ区画の溝として機能し、溝の西側と東側では場の利用状況が違うのではないかと考えている。第3面の遺構は4時期に亘る。出土遺物は陶磁器類の出土が極端に減り、報告した遺物の大半は木製品である。瀬戸製品は破片で3点出土するのみであった。常滑製品は遺構からは12世紀後半から13世紀後半の年代観をもつ製品が出土するが、その大半は13世紀中頃の年代観をもつ遺物が中心となる。面上からは13世紀中頃の常滑片口鉢Ⅰ類が1点出土しているが、構成土から14世紀初頭に比定される常滑片口鉢Ⅱ類が出土しているため、第3面は13世紀後半から14世紀

初頭の年代を与えている。

第4面は第3面構成土を約20cm除去し泥岩粒・若干の炭化物・黒色粘土をブロック状に含む明茶色砂上で遺構を検出した。Ⅰ区では第3面同様に多くの遺構が切り合い混乱した様相を呈しているが、Ⅱ区は若干空閑地が目立つ。Ⅱ区・西壁に沿って溝(遺構462)を検出しているが、大雨により調査区壁が崩落してしまい調査を途中で断念してしまった。溝は第3面で検出した遺構326とほぼ同一にあり、何度かの改修、補修が行われたと思われる。遺構覆土・底面に礎板が遺存するピットに泥岩塊・泥岩を根固めとして利用する状況を第4面でも確認している。第3面と同じく報告した出土遺物の大半は木製品であり、陶磁器類の出土は極端に減少し、青磁皿・かわらけと手づくねをそれぞれ1点報告した。その他に数量は少ないが破片で常滑甕・常滑片口鉢Ⅰ類・渥美甕・瀬戸壺が出土している。第4面は出土遺物から年代を比定することが難しく、第3面に与えた年代観から遡って、13世紀中頃から13世紀後半の年代を与えたい。

Ⅰ区・Ⅱ区共に最終トレンチを設け第4面下層の状況を調査している。遺物は出土していないが、植物遺体と共に水流の自然作用によって水磨したと考えられる泥岩を確認している。中世地山の確認海拔高は5.90m～6.50mと海拔高の数値が一定していない。

## 第2節 まとめ

本調査地前の南に接する道路を西に約100m行った対面の地点(図1・18地点)で平成15年に調査が実施され、鎌倉時代前期から後期にかけての道路に沿った東西に走る溝が発見されている。報告ではこの道路を車大路ではなかったかと推定し、この溝が車大路の側溝であった可能性を報告している。また、溝の下層には人口の物か自然河川かは判断できないが、鎌倉時代以前から大型の流路があった可能性も述べている。本調査地点は、18地点から北側に約18m進んだ場所に位置し、道路、あるいはそれに伴った側溝を発見することはなかったが、最終トレンチで確認した水磨した泥岩・植物遺体の検出などから、中世初期に湿地帯であった可能性を考えており、18地点で報告されている流路の影響が考えられる。また、本調査地では無遺物であること、遺構の痕跡がないことから、水磨した泥岩や有機質土の混入する青灰色砂層を中世地山層ではないかと報告したが、18地点では海拔高5.1mあたりで現れる海砂(貝砂粒)層を地山としており、その上層で灰緑色弱粘質土と、灰緑色砂質土の堆積を報告している。本調査で中世地山層とした青灰色砂層が、この層に相当する可能性もある。調査地一帯は縄文海進の海退期に逆川の氾濫の影響を受ける低湿地であった報告(上本2000年)もあり、中世初期は逆川によって形成された砂質低湿地であったのかもしれない。

本調査では出土層に拘らずに、出土した全ての礎板で接合を試みたところ、第3面Ⅱ区・遺構356出土の礎板と、第4面Ⅰ区・遺構225の礎板が接合することを確認し、第3面Ⅱ区・遺構358出土の礎板と第4面Ⅰ区・遺構220出土の礎板が同じく接合することを確認した(図31・模式図参照)。遺構358と遺構220は、図面上では柱穴列として成立しなかったが、遺構356と遺構225は、両遺構の中間で検出した遺構375を通る2間の柱穴列として成り立つ(図41)。しかし、東西方向に対応するピットを確認できず建物を推定することはできなかった。遺構356と遺構375の芯芯距離は200cm・遺構375と遺構225の芯芯距離は210cmとなる。結果として第3面の遺構と第4面の遺構が柱穴列として並んでしまうという矛盾が出てしまった。これは、調査区を分割したこと、第3面・第4面共に地業土からの遺構検出ではなかったこと、遺構の切り合いが重なり、湧水量が多く覆土の観察に困難が生じ、遺構の検出に混乱が生じたこと事等が原因として考えられ、調査の難しさを痛感した。

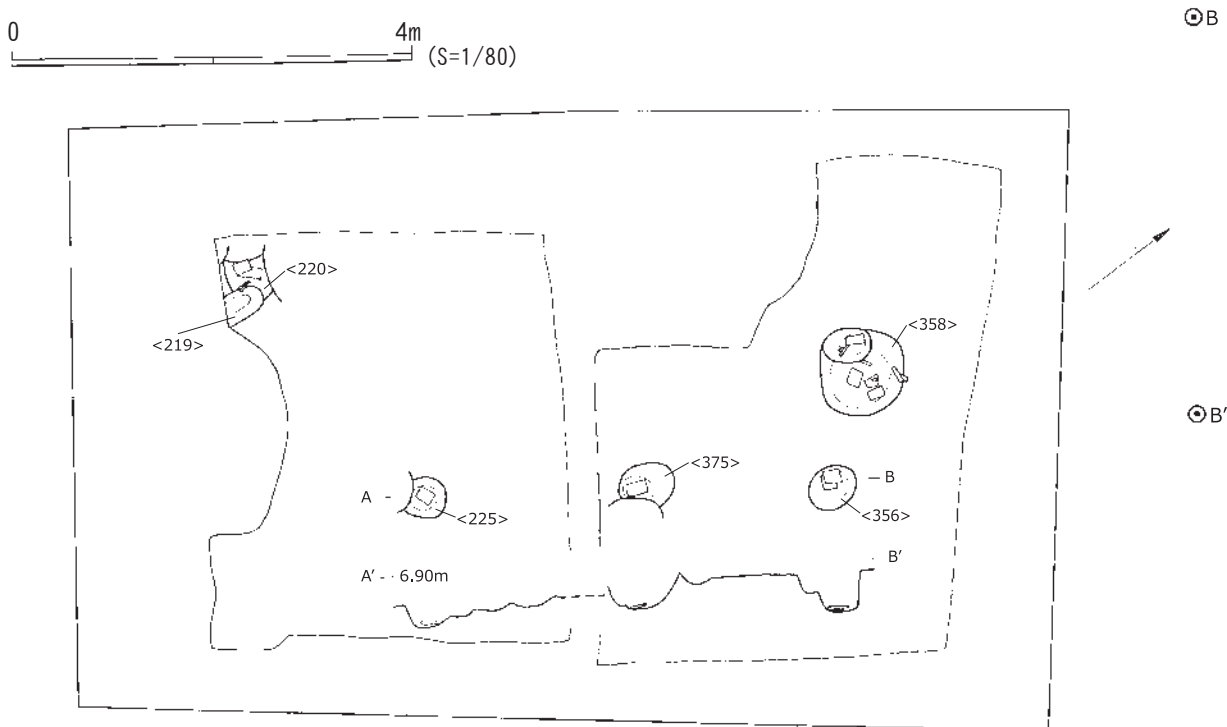


図41 接合可能な礎板の出土状況

<参考資料>

- ・『日本歴史大系14巻』「神奈川県の名」 平凡社 1984年
- ・『鎌倉市史 総説編』 高柳光寿 吉川弘文館 1959年
- ・『鎌倉市史 考古編』 赤星直忠 吉川弘文館 1967年
- ・『鎌倉事典』 東京堂出版 平成4年 白井永二
- ・『中世瀬戸窯の研究』 高志書院 藤澤良祐 2008年
- ・『愛知県史別編窯業3中世・近世常滑系』 愛知県 常滑・中野晴久 2012年
- ・『愛知県史別編窯業3中世・近世常滑系』 愛知県 渥美・安井俊則 2012年
- ・『大宰府条坊跡X V—陶磁器分類編—』 太宰府市教育委員会 2000年
- ・『鎌倉の古絵図Ⅱ』 鎌倉国宝館図録第16集 三浦勝男編 鎌倉国宝館 1993年
- ・『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書24』「米町遺跡」 馬淵和雄
- ・「頼朝以前の鎌倉」『古代文化45』(財)古代学協会 野口実 1993年
- ・「武士の都鎌倉—その成立と構想をめぐって—」『中世の風景を読む2都市鎌倉と坂東の海に暮らす』 馬淵和雄 1994年 新人物往来社
- ・『鎌倉・逗子の地形発達史と遺跡形成』「池子棧敷土遺跡発掘調査報告書」 上本進二. 東国歴史考古学研究所 2000年

遺構計測表

遺構名	面	長軸	短軸	深さ	遺構名	面	長軸	短軸	深さ
遺構1	1	35.0	32.0	11.0	遺構66	2	72.0	63.0	26.0
遺構2	1	63.0	(48.0)	26.0	遺構67	2	41.0	(25.0)	17.0
遺構3	1	(41.0)	(39.0)	7.0	遺構68	2	46.0	29.0	9.0
遺構4	1	36.0	(22.0)	22.0	遺構69	2	(34.0)	(20.0)	7.0
遺構5	1	58.0	(29.0)	22.0	遺構70	2	48.0	(27.0)	10.0
遺構6	1	46.0	(32.0)	22.0	遺構71	2	44.0	(20.0)	26.0
遺構7	1	(20.0)	24.0	14.0	遺構72	2	37.0	(24.0)	11.0
遺構8	1	(940.0)	62.0	(34.0)	遺構73	2	40.0	(33.0)	21.0
遺構9	1	130.0	(90.0)	20.0	遺構74	2	32.0	(26.0)	23.0
遺構10	1	138.0	70.0	31.0	遺構75	2	85.0	(61.0)	24.0
遺構11	1	49.0	36.0	33.0	遺構76	2	31.0	26.0	11.0
遺構12	1	28.0	27.0	27.0	遺構77	2	30.0	22.0	10.0
遺構13	1	29.0	23.0	41.0	遺構78	2	27.0	(18.0)	18.0
遺構14	1	49.0	44.0	23.0	遺構79	2	27.0	(11.0)	33.0
遺構15	1	35.0	29.0	29.0	遺構80	2	45.0	(30.0)	25.0
遺構16	1	65.0	(28.0)	13.0	遺構81	2	(40.0)	36.0	6.0
遺構17	1	39.0	30.0	28.0	遺構82	2	28.0	24.0	13.0
遺構18	1	55.0	39.0	26.0	遺構83	2	68.0	53.0	20.0
遺構19	1	34.0	32.0	25.0	遺構84	2	60.0	(49.0)	9.0
遺構20	1	38.0	24.0	28.0	遺構85	2	39.0	(21.0)	15.0
遺構21	1	64.0	59.0	32.0	遺構86	2	43.0	(37.0)	20.0
遺構22	1	26.0	(15.0)	26.0	遺構87	2	89.0	(36.0)	25.0
遺構23	1	26.0	24.0	17.0	遺構88	2	欠番		
遺構24	1	38.0	29.0	30.0	遺構89	2	(48.0)	(27.0)	29.0
遺構25	1	(53.0)	(39.0)	28.0	遺構90	2	(72.0)	62.0	24.0
遺構26	1	35.0	(25.0)	19.0	遺構91	2	68.0	58.0	24.0
遺構27	1	(125.0)	34.0	12.0	遺構92	2	38.0	(18.0)	15.0
遺構28	1	45.0	38.0	21.0	遺構93	2	60.0	(39.0)	22.0
遺構29	1	39.0	36.0	22.0	遺構94	2	(41.0)	(28.0)	18.0
遺構30	1	(111.0)	62.0	19.0	遺構95	2	(40.0)	(25.0)	15.0
遺構31	1	36.0	26.0	16.0	遺構96	2	46.0	(17.0)	18.0
遺構32	1	28.0	23.0	29.0	遺構97	2	68.0	59.0	26.0
遺構33	1	57.0	44.0	19.0	遺構98	2	(85.0)	(53.0)	12.0
遺構34	1	55.0	48.0	26.0	遺構99	2	40.0	(22.0)	17.0
遺構35	1	53.0	50.0	25.0	遺構100	2	(38.0)	(17.0)	25.0
遺構36	1	81.0	(61.0)	24.0	遺構101	2	(75.0)	64.0	26.0
遺構37	1	51.0	48.0	26.0	遺構102	2	47.0	44.0	13.0
遺構38	1	48.0	40.0	30.0	遺構103	2	84.0	(47.0)	12.0
遺構39	1	80.0	62.0	27.0	遺構104	2	(30.0)	(27.0)	16.0
遺構40	1	51.0	46.0	31.0	遺構105	2	49.0	43.0	26.0
遺構41	1	(128.0)	134.0	31.0	遺構106	2	30.0	27.0	22.0
遺構42	1	39.0	(30.0)	28.0	遺構107	2	30.0	25.0	14.0
遺構43	1	80.0	53.0	26.0	遺構108	2	(25.0)	(20.0)	25.0
遺構44	1	35.0	32.0	30.0	遺構109	2	46.0	34.0	20.0
遺構45	1	(35.0)	36.0	27.0	遺構110	2	44.0	(30.0)	19.0
遺構46	1	60.0	(40.0)	24.0	遺構111	2	35.0	(25.0)	14.0
遺構47	1	31.0	25.0	14.0	遺構112	2	39.0	(20.0)	20.0
遺構48	1	35.0	(15.0)	18.0	遺構113	2	28.0	(15.0)	17.0
遺構49	1	39.0	(27.0)	27.0	遺構114	3	30.0	23.0	25.0
遺構50	1	(102.0)	(94.0)	35.0	遺構115	3	35.0	(22.0)	18.0
遺構51	1	56.0	(24.0)	16.0	遺構116	3	33.0	28.0	18.0
遺構52	1	51.0	(22.0)	24.0	遺構117	3	32.0	28.0	14.0
遺構53	1	35.0	(13.0)	20.0	遺構118	3	17.0	14.0	10.0
遺構54	1	(43.0)	34.0	17.0	遺構119	3	29.0	27.0	15.0
遺構55-1	1	(149.0)	(104.0)	70.0	遺構120	3	33.0	(15.0)	15.0
遺構55-2	1	(100.0)	(85.0)	53.0	遺構121	3	25.0	22.0	15.0
遺構56	2	34.0	30.0	10.0	遺構122	3	31.0	23.0	13.0
遺構57	2	30.0	(10.0)	24.0	遺構123	3	33.0	29.0	16.0
遺構58	2	45.0	(21.0)	16.0	遺構124	3	29.0	(22.0)	21.0
遺構59	2	47.0	42.0	11.0	遺構125	3	25.0	(18.0)	11.0
遺構60	2	50.0	36.0	16.0	遺構126	3	27.0	(19.0)	14.0
遺構61	2	44.0	(36.0)	14.0	遺構127	3	37.0	34.0	21.0
遺構62	2	(42.0)	40.0	14.0	遺構128	3	32.0	(17.0)	28.0
遺構63	2	42.0	(40.0)	13.0	遺構129	3	35.0	33.0	22.0
遺構64	2	(23.0)	(18.0)	8.0	遺構130	3	38.0	34.0	15.0
遺構65	2	61.0	(35.0)	31.0	遺構131	3	31.0	(11.0)	12.0



## 遺構計測表

遺構名	面	長軸	短軸	深さ	遺構名	面	長軸	短軸	深さ
遺構132	3	32.0	28.0	11.0	遺構198	4	46.0	(27.0)	24.0
遺構133	3	32.0	31.0	19.0	遺構199	4	31.0	26.0	17.0
遺構134	3	(39.0)	35.0	17.0	遺構200	4	25.0	21.0	17.0
遺構135	3	(40.0)	(25.0)	20.0	遺構201	4	55.0	(42.0)	30.0
遺構136	3	34.0	(5.0)	23.0	遺構202	4	46.0	35.0	15.0
遺構137	3	48.0	(11.0)	30.0	遺構203	4	44.0	38.0	41.0
遺構138	3	31.0	28.0	13.0	遺構204	4	38.0	(16.0)	16.0
遺構139	3	(54.0)	32.0	13.0	遺構205	4	39.0	(21.0)	16.0
遺構140	3	37.0	36.0	14.0	遺構206	4	211.0	125.0	41.0
遺構141	3	(21.0)	33.0	24.0	遺構207	4	(30.0)	(18.0)	22.0
遺構142	3	45.0	(26.0)	28.0	遺構208	4	(43.0)	46.0	16.0
遺構143	3	118.0	75.0	28.0	遺構209	4	25.0	24.0	23.0
遺構144	3	52.0	48.0	28.0	遺構210	4	(27.0)	(20.0)	8.0
遺構145	3	40.0	(30.0)	15.0	遺構211	4	35.0	(16.0)	12.0
遺構146	3	43.0	38.0	23.0	遺構212	4	35.0	32.0	34.0
遺構147	3	45.0	40.0	11.0	遺構213	4	(108.0)	(80.0)	48.0
遺構148	3	50.0	(36.0)	18.0	遺構214	4	41.0	36.0	—
遺構149	3	44.0	35.0	22.0	遺構215	4	35.0	25.0	10.0
遺構150	3	(33.0)	(21.0)	12.0	遺構216	4	49.0	32.0	15.0
遺構151	3	42.0	37.0	24.0	遺構217	4	(37.0)	(30.0)	33.0
遺構152	3	43.0	40.0	15.0	遺構218	4	(40.0)	30.0	10.0
遺構153	3	(51.0)	(22.0)	15.0	遺構219	4	(43.0)	(26.0)	34.0
遺構154	3	(52.0)	37.0	15.0	遺構220	4	(43.0)	(36.0)	24.0
遺構155	3	(48.0)	50.0	26.0	遺構221	4	(63.0)	(47.0)	24.0
遺構156	3	35.0	28.0	17.0	遺構222	4	32.0	(26.0)	15.0
遺構157	3	29.0	24.0	9.0	遺構223	4	27.0	23.0	16.0
遺構158	3	(37.0)	33.0	28.0	遺構224	4	(36.0)	(15.0)	20.0
遺構159	3	50.0	37.0	22.0	遺構225	4	40.0	(35.0)	37.0
遺構160	3	(30.0)	(27.0)	19.0	遺構226	4	38.0	(27.0)	29.0
遺構161	3	47.0	(33.0)	20.0	遺構227	4	(52.0)	(32.0)	19.0
遺構162	3	73.0	52.0	13.0	遺構228	4	(37.0)	42.0	20.0
遺構163	3	(40.0)	42.0	31.0	遺構229	4	48.0	(32.0)	36.0
遺構164	3	(59.0)	50.0	33.0	遺構230	4	(46.0)	(45.0)	13.0
遺構165	3	(42.0)	(30.0)	33.0	遺構231	4	45.0	(21.0)	15.0
遺構166	3	230.0	(170.0)	132.0	遺構232	4	(67.0)	(22.0)	11.0
遺構167	3	(50.0)	(35.0)	29.0	遺構233	4	(17.0)	(15.0)	11.0
遺構168	3	40.0	(31.0)	24.0	遺構234	4	(22.0)	(9.0)	7.0
遺構169	3	35.0	(22.0)	28.0	遺構235	4	(27.0)	33.0	18.0
遺構170	3	(28.0)	29.0	32.0	遺構236	4	(42.0)	(39.0)	17.0
遺構171	3	39.0	(21.0)	35.0	遺構237	4	(27.0)	(21.0)	18.0
遺構172	3	51.0	36.0	34.0	遺構238	4	25.0	(21.0)	10.0
遺構173	3	(31.0)	29.0	40.0	遺構239	4	(50.0)	55.0	24.0
遺構174	3	50.0	(19.0)	24.0	遺構240	2	41.0	40.0	25.0
遺構175	3	(61.0)	(42.0)	35.0	遺構241	2	42.0	(31.0)	36.0
遺構176	3	(23.0)	(20.0)	18.0	遺構242	2	35.0	28.0	33.0
遺構177	3	(35.0)	(18.0)	(19.0)	遺構243	2	70.0	65.0	54.0
遺構178	3	(32.0)	(25.0)	30.0	遺構244	2	51.0	44.0	26.0
遺構179	3	(125.0)	(87.0)	34.0	遺構245	2	(26.0)	24.0	42.0
遺構180	4	(50.0)	44.0	49.0	遺構246	2	52.0	40.0	48.0
遺構181	4	63.0	46.0	41.0	遺構247	2	(40.0)	(33.0)	34.0
遺構182	4	39.0	(18.0)	6.0	遺構248	2	(45.0)	(15.0)	35.0
遺構183	4	(26.0)	—	16.0	遺構249	2	36.0	(22.0)	29.0
遺構184	4	38.0	(17.0)	11.0	遺構250	2	55.0	(32.0)	18.0
遺構185	4	31.0	(15.0)	11.0	遺構251	2	98.0	34.0	6.0
遺構186	4	48.0	(26.0)	32.0	遺構252	2	33.0	(21.0)	15.0
遺構187	4	(90.0)	73.0	56.0	遺構253	2	(29.0)	26.0	24.0
遺構188	4	25.0	(10.0)	10.0	遺構254	2	(64.0)	(18.0)	19.0
遺構189	4	26.0	(18.0)	10.0	遺構255	2	(40.0)	(16.0)	38.0
遺構190	4	65.0	56.0	44.0	遺構256	2	34.0	(27.0)	38.0
遺構191	4	21.0	19.0	13.0	遺構257	2	68.0	(50.0)	21.0
遺構192	4	24.0	21.0	13.0	遺構258	2	39.0	36.0	41.0
遺構193	4	38.0	34.0	30.0	遺構259	2	64.0	40.0	43.0
遺構194	4	(19.0)	(12.0)	15.0	遺構260	2	40.0	27.0	36.0
遺構195	4	(60.0)	(45.0)	15.0	遺構261	2	57.0	(37.0)	51.0
遺構196	4	(82.0)	(39.0)	18.0	遺構262	2	38.0	33.0	39.0
遺構197	4	29.0	24.0	10.0	遺構263	2	83.0	—	45.0

## 遺構計測表

遺構名	面	長軸	短軸	深さ	遺構名	面	長軸	短軸	深さ
遺構264	2	43.0	(28.0)	30.0	遺構330	3	26.0	24.0	24.0
遺構265	2	68.0	62.0	43.0	遺構331	3	37.0	30.0	21.0
遺構266	2	43.0	(22.0)	22.0	遺構332	3	31.0	(16.0)	17.0
遺構267	2	50.0	34.0	29.0	遺構333	2	35.0	(20.0)	40.0
遺構268	2	(53.0)	(22.0)	24.0	遺構334	2	(29.0)	—	47.0
遺構269	2	37.0	36.0	31.0	遺構335	3	140.0	107.0	47.0
遺構270	2	(48.0)	(35.0)	56.0	遺構336	3	40.0	(34.0)	20.0
遺構271	2	54.0	(30.0)	18.0	遺構337	3	(192.0)	(64.0)	81.0
遺構272	2	32.0	24.0	22.0	遺構338	3	(45.0)	(23.0)	15.0
遺構273	2	36.0	35.0	13.0	遺構339	3	35.0	—	13.0
遺構274	2	43.0	(26.0)	27.0	遺構340	3	(30.0)	(15.0)	18.0
遺構275	2	46.0	39.0	35.0	遺構341	3	(34.0)	(15.0)	—
遺構276	2	(38.0)	(34.0)	50.0	遺構342	3	(30.0)	32.0	16.0
遺構277	2	(42.0)	(35.0)	36.0	遺構343	3	32.0	27.0	21.0
遺構278	2	(65.0)	(24.0)	17.0	遺構344	3	35.0	33.0	13.0
遺構279	2	(94.0)	(22.0)	17.0	遺構345	3	(36.0)	35.0	18.0
遺構280	2	52.0	(28.0)	14.0	遺構346	3	50.0	34.0	24.0
遺構281	2	(67.0)	(36.0)	34.0	遺構347	3	(40.0)	(23.0)	8.0
遺構282	2	35.0	(22.0)	25.0	遺構348	3	23.0	21.0	—
遺構283	2	55.0	(38.0)	23.0	遺構349	3	28.0	(24.0)	26.0
遺構284	2	38.0	27.0	22.0	遺構350	3	36.0	(32.0)	29.0
遺構285	2	38.0	29.0	37.0	遺構351	4	41.0	25.0	16.0
遺構286	2	(55.0)	(37.0)	25.0	遺構352	3	62.0	(44.0)	18.0
遺構287	2	(45.0)	36.0	41.0	遺構353	3	80.0	65.0	24.0
遺構288	2	(30.0)	(27.0)	—	遺構354	3	39.0	(25.0)	4.0
遺構289	2	37.0	(24.0)	22.0	遺構355	3	(50.0)	(40.0)	22.0
遺構290	2	50.0	(35.0)	17.0	遺構356	3	50.0	42.0	41.0
遺構291	2	(72.0)	—	37.0	遺構357	3	(25.0)	34.0	9.0
遺構292	2	(66.0)	(47.0)	24.0	遺構358	3	93.0	(54.0)	34.0
遺構293	2	(41.0)	(15.0)	20.0	遺構359	3	(36.0)	42.0	37.0
遺構294	2	55.0	37.0	44.0	遺構360	3	(30.0)	(20.0)	20.0
遺構295	2	(30.0)	(23.0)	18.0	遺構361	3	29.0	24.0	28.0
遺構296	2	(31.0)	(19.0)	—	遺構362	3	(25.0)	(16.0)	14.0
遺構297	2	37.0	35.0	17.0	遺構363	3	(17.0)	(15.0)	16.0
遺構298	2	29.0	27.0	6.0	遺構364	3	29.0	27.0	36.0
遺構299	2	(130.0)	(32.0)	28.0	遺構365	3	56.0	36.0	32.0
遺構300	2	38.0	(30.0)	22.0	遺構366	3	11.0	11.0	18.0
遺構301	2	52.0	43.0	36.0	遺構367	3	15.0	14.0	11.0
遺構302	2	30.0	—	17.0	遺構368	3	13.0	11.0	31.0
遺構303	2	40.0	(22.0)	48.0	遺構369	3	14.0	13.0	24.0
遺構304	2	50.0	(20.0)	32.0	遺構370	3	35.0	27.0	10.0
遺構305	2	(52.0)	(48.0)	35.0	遺構371	3	68.0	45.0	37.0
遺構306	2	(48.0)	—	18.0	遺構372	3	50.0	46.0	—
遺構307	2	65.0	53.0	58.0	遺構373	3	66.0	(45.0)	41.0
遺構308	2	(23.0)	40.0	51.0	遺構374	3	欠番		
遺構309	2	(40.0)	(19.0)	20.0	遺構375	3	55.0	(35.0)	42.0
遺構310	2	30.0	(20.0)	42.0	遺構376	3	(22.0)	(17.0)	36.0
遺構311	2	49.0	35.0	37.0	遺構377	3	(52.0)	—	23.0
遺構312	2	32.0	27.0	13.0	遺構378	3	(65.0)	68.0	34.0
遺構313	2	38.0	34.0	22.0	遺構379	3	50.0	(25.0)	35.0
遺構314	2	(27.0)	—	15.0	遺構380	3	46.0	—	23.0
遺構315	2	(50.0)	(18.0)	13.0	遺構381	3	59.0	(25.0)	40.0
遺構316	2	55.0	(30.0)	23.0	遺構382	3	(35.0)	41.0	29.0
遺構317	2	(32.0)	(21.0)	16.0	遺構383	3	29.0	27.0	23.0
遺構318	2	30.0	28.0	13.0	遺構384	4	28.0	(24.0)	14.0
遺構319	2	18.0	(12.0)	—	遺構385	4	53.0	(30.0)	17.0
遺構320	2	22.0	20.0	22.0	遺構386	4	30.0	28.0	25.0
遺構321	2	48.0	36.0	27.0	遺構387	4	(43.0)	47.0	23.0
遺構322	2	46.0	(32.0)	18.0	遺構388	4	40.0	(18.0)	6.0
遺構323	2	(31.0)	26.0	27.0	遺構389	4	56.0	47.0	23.0
遺構324	3	(35.0)	(13.0)	—	遺構390	4	50.0	47.0	26.0
遺構325	3	(35.0)	(22.0)	14.0	遺構391	4	19.0	17.0	4.0
遺構326	3	(185.0)	(65.0)	53.0	遺構392	4	37.0	(16.0)	19.0
遺構327	3	40.0	38.0	27.0	遺構393	4	(29.0)	(24.0)	12.0
遺構328	3	(43.0)	(26.0)	28.0	遺構394	4	35.0	(15.0)	25.0
遺構329	3	(50.0)	(18.0)	24.0	遺構395	4	44.0	(26.0)	15.0

## 遺構計測表

遺構名	面	長軸	短軸	深さ	遺構名	面	長軸	短軸	深さ
遺構396	4	37.0	35.0	17.0	遺構433	2	(43.0)	40.0	10.0
遺構397	4	30.0	27.0	7.0	遺構434	2	30.0	29.0	35.0
遺構398	4	29.0	9.0	12.0	遺構435	2	28.0	23.0	28.0
遺構399	4	30.0	15.0	17.0	遺構436	3	(50.0)	(16.0)	13.0
遺構400	4	32.0	(25.0)	6.0	遺構437	3	29.0	28.0	25.0
遺構401	4	28.0	30.0	27.0	遺構438	3	48.0	35.0	24.0
遺構402	4	35.0	28.0	18.0	遺構439	3	(47.0)	45.0	34.0
遺構403	4	19.0	9.0	16.0	遺構440	3	23.0	16.0	10.0
遺構404	4	43.0	38.0	20.0	遺構441	3	42.0	33.0	20.0
遺構405	4	46.0	(29.0)	14.0	遺構442	3	(42.0)	(41.0)	32.0
遺構406	4	27.0	26.0	17.0	遺構443	3	(32.0)	(19.0)	17.0
遺構407	4	32.0	26.0	17.0	遺構444	3	(10.0)	30.0	13.0
遺構408	4	45.0	26.0	15.0	遺構445	3	(29.0)	(10.0)	17.0
遺構409	4	26.0	19.0	16.0	遺構446	3	(32.0)	30.0	29.0
遺構410	4	30.0	25.0	16.0	遺構447	3	(61.0)	(25.0)	(27.0)
遺構411	4	38.0	(21.0)	19.0	遺構448	3	45.0	40.0	26.0
遺構412	4	35.0	29.0	17.0	遺構449	3	25.0	20.0	47.0
遺構413	4	35.0	34.0	20.0	遺構450	3	(91.0)	(28.0)	19.0
遺構414	4	70.0	(45.0)	14.0	遺構451	2	(30.0)	(14.0)	50.0
遺構415	4	31.0	(14.0)	17.0	遺構452	2	27.0	18.0	37.0
遺構416	4	(44.0)	27.0	12.0	遺構453	2	30.0	21.0	32.0
遺構417	4	(32.0)	(27.0)	20.0	遺構454	3	30.0	14.0	31.0
遺構418	4	(27.0)	(15.0)	10.0	遺構455	4	21.0	16.0	23.0
遺構419	4	29.0	(17.0)	21.0	遺構456	4	(55.0)	—	12.0
遺構420	4	(30.0)	35.0	17.0	遺構457	4	(80.0)	(26.0)	22.0
遺構421	4	20.0	11.0	12.0	遺構458	4	(29.0)	(19.0)	9.0
遺構422	4	23.0	(17.0)	17.0	遺構459	4	16.0	14.0	35.0
遺構423	4	(86.0)	(42.0)	10.0	遺構460	4	25.0	24.0	47.0
遺構424	4	(27.0)	(11.0)	5.0	遺構461	1	(20.0)	(25.0)	33.0
遺構425	4	(26.0)	26.0	28.0	遺構462	3	(140.0)	(31.0)	59.0
遺構426	2	40.0	(13.0)	17.0	遺構463	4	31.0	27.0	2.0
遺構427	2	(47.0)	(26.0)	25.0	遺構464	4	89.0	(27.0)	22.0
遺構428	2	(24.0)	(12.0)	21.0	遺構465	4	(105.0)	(42.0)	10.0
遺構429	2	(21.0)	(15.0)	27.0	遺構466	2	(48.0)	44.0	12.0
遺構430	2	36.0	30.0	24.0	遺構467	4	(48.0)	(44.0)	21.0
遺構431	2	33.0	27.0	35.0	遺構468	4	(50.0)	(38.0)	36.0
遺構432	2	44.0	(35.0)	37.0	遺構469	4	21.0	13.0	10.0

出土遺物観察表

図版 番号	枝番	出土層位 出土層位	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容
				単位:cm/( ):復元値 ]:残存値			
8	1	第1面 遺構2	かわらけ	(8.2)	(6.0)	1.3	a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考 a:口ク口・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒 多・白色粒・砂質気味やや粗土 c:赤橙色 e:やや不良 f:1/5
8	2	第1面 遺構2	かわらけ	6.9	4.1	1.6	a:口ク口・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ弱 b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色 粒・白色粒・泥岩粒・やや良土 c:黄褐色 e:良好 f:完形
8	3	第1面 遺構2	かわらけ	(7.5)	(4.5)	2.3	a:口ク口・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ弱 b:微砂・雲母多・海綿骨針・赤 色粒多・白色粒・泥岩粒・やや良土 c:褐色 e:やや不良 f:1/3
8	4	第1面 遺構3	かわらけ	(7.7)	(5.0)	1.65	a:口ク口・外底回転系切・板状圧痕不明・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤 色粒・泥岩粒・やや粗土 c:黄褐色 e:良好 f:1/5
8	5	第1面 遺構3	かわらけ	(7.6)	(6.1)	1.8	a:口ク口・外底回転系切→ナデ・板状圧痕+内底ナデ共に不明 b:微砂・雲母・ 海綿骨針・赤色粒・やや良土 c:淡黄褐色 e:良好 f:1/6
8	6	第1面 遺構3	かわらけ	(7.7)	(5.0)	1.8	a:口ク口・外底回転系切・板状圧痕不明・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤 色粒・白色粒・泥岩粒大・粗土 c:黄褐色 e:やや不良 f:1/5
8	7	第1面 遺構4	かわらけ	(7.6)	(6.0)	1.8	a:口ク口・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色 粒・やや良土 c:黄褐色～橙色 e:やや不良 f:1/2 g:口唇部全体に油焔痕・ 灯明皿か
8	8	第1面 遺構4	かわらけ	(13.0)	(8.3)	3.4	a:口ク口・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂多・雲母・海綿骨針・赤色 粒・泥岩粒・やや粗土 c:淡黄褐色 e:良好 f:1/2
8	9	第1面 遺構8	かわらけ	(8.0)	5.0	1.5	a:口ク口・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母多・海綿骨針・赤色 粒・泥岩粒大・粗土 c:暗黄褐色 e:良好 f:2/3
8	10	第1面 遺構8	かわらけ	(6.7)	4.5	2.3	a:口ク口・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂多・雲母・海綿骨針・赤色 粒多・砂質気味良土 c:淡黄褐色 e:良好 f:1/2
8	11	第1面 遺構8	青磁 碗			[2.6]	a:口ク口 b:灰白色 黒色粒・精良緻密土 d:暗灰緑色透明釉をやや厚く施釉・気 泡 e:堅緻 f:口縁部片 g:大宰府碗Ⅱ類 内面無文 口唇部内面に沈線ありか 外面鑄連弁文 龍泉窯
8	12	第1面 遺構8	白磁 小壺	(4.8)		[1.2]	a:型作り b:灰白色 精良緻密土 d:灰白色不透明釉を外面ののみ薄く施釉 e: 堅緻 f:口縁部1/6片 g:外面に草花文型押し 印花文
8	13	第1面 遺構8	白磁 口瓦皿	(10.6)	5.8	3.3	a:口ク口 b:灰白色 黒色粒・精良緻密土 d:青味灰白色不透明釉をやや薄く底 部まで全面施釉 e:堅緻 f:口縁部1/6～底部完形 g:大宰府白磁皿Ⅱ-1類
8	14	第1面 遺構8	常滑 片口鉢Ⅰ類			[4.5]	a:輪積み→口ク口 b:灰色 砂粒・白色粒・小石粒 c:灰色 e:良好・硬質 f:口 縁部片 g:6a型式か
8	15	第1面 遺構8	常滑 壺		(9.5)	[3.6]	a:輪積み b:黒灰色 砂粒・白色粒・長石・小石粒 c:暗灰褐色 e:良好・硬質 f:底部1/6 g:薫口壺か 内面指頭による整形痕 外面下部篋状工具による整形 痕
8	16	第1面 遺構8	金属製品 銅銭	外径2.46・内径2.10・孔径0.63・厚0.12			f:完形 g:開元通寶 真書 初鑄年:唐621年
8	17	第1面 遺構8	金属製品 銅銭	外径2.46・内径1.84・孔径0.61・厚0.11			f:完形 g:至道元寶 真書 初鑄年:北宋995年
8	18	第1面 遺構8	金属製品 銅銭	外径2.47・内径2.02・孔径0.71・厚0.11			f:完形 g:皇宋通寶 真書 初鑄年:北宋1038年
8	19	第1面 遺構8	金属製品 銅銭	外径2.34・内径1.87・孔径0.59・厚0.12			f:一部欠損 g:元豐通寶 行書 初鑄年:北宋1078年
8	20	第1面 遺構8	金属製品 銅銭	外径2.44・内径1.97・孔径0.70・厚0.13			f:完形 g:元祐通寶 篆書 初鑄年:北宋1086年
8	21	第1面 遺構9	かわらけ	(11.9)	(7.0)	3.0	a:口ク口・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒 多・泥岩粒・やや良土 c:褐色 e:良好 f:1/4
8	22	第1面 遺構9	青白磁 梅瓶			[4.3]	a:口ク口 b:白色 黒色粒多・精良緻密土 d:明灰青色透明釉を薄く施釉・細か い貫入 e:堅緻 f:胴部片 g:渦状文型押し
8	23	第1面 遺構9	常滑 壺		(10.2)	[5.0]	a:輪積み→外底部脇に横位の板状工具のナデ b:褐灰色 砂粒・白色粒・長石・ 石英 c:暗灰褐色 d:内底面に自然降灰 e:良好・硬質 f:底部1/6
8	24	第1面 遺構10	かわらけ	(7.4)	(6.3)	1.5	a:口ク口・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂多・雲母多・海綿骨針・赤 色粒多・小石粒・砂質気味やや粗土 c:褐色 e:やや不良 f:1/5
8	25	第1面 遺構10	青磁 碗			[3.2]	a:口ク口 b:灰色 黒色粒・精良緻密土 d:暗灰緑色不透明釉を厚く施釉・気 泡多 e:堅緻 f:口縁部片 g:大宰府碗Ⅰ類か 内外面無文 龍泉窯
8	26	第1面 遺構10	常滑 片口鉢Ⅱ類			[3.4]	a:輪積み b:黒褐色 白色砂・小石粒 c:褐色～黒褐色 e:良好・硬質 f:口 縁部片 g:7～8型式
8	27	第1面 遺構11	常滑 壺			[5.0]	a:輪積み b:灰色 砂粒・白色粒・黒色粒・長石・石英 c:褐色 d:口縁部内外面 に自然降灰 e:良好・硬質 f:口縁部片 g:6b型式
8	28	第1面 遺構13	かわらけ	7.7	5.2	2.1	a:口ク口・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒 多・泥岩粒・砂質気味やや良土 c:褐色 e:良好 f:ほぼ完形
8	29	第1面 遺構13	かわらけ	(13.3)	(8.0)	3.2	a:口ク口・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂多・雲母多・海綿骨針・赤 色粒多・泥岩粒・砂質気味やや粗土 c:褐色 e:良好 f:1/5
8	30	第1面 遺構14	常滑 片口鉢Ⅱ類			[3.2]	a:輪積み b:灰色 砂粒・白色粒・黒色粒・小石粒 c:灰褐色 e:良好・硬質 f: 口縁部片 g:8～9型式
8	31	第1面 遺構15	常滑 片口鉢Ⅰ類			[2.8]	a:輪積み→口ク口 b:灰色 砂粒・白色粒・黒色粒 c:灰色 d:口縁部内面に自 然降灰 e:良好・硬質 f:口縁部片 g:6a型式
8	32	第1面 遺構18	かわらけ	(8.3)	(6.0)	2.1	a:口ク口・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂多・雲母・海綿骨針・赤色 粒・砂質気味やや良土 c:黄褐色 e:良好 f:1/4
8	33	第1面 遺構19	滑石鍋 転用品	4.1	1.5	1.2	b:乳灰白色 c:銀灰白色 e:軟質 f:完形 g:3面に横位のノミ痕・1面はノミ痕 →スリ痕・下端に使用痕か・重量11.4g
8	34	第1面 遺構24	瀬戸 折縁中皿			[1.8]	a:口ク口 b:明灰色 砂粒・良土 c:明灰色 e:良好・硬質 d:淡灰緑色の灰釉 漬け掛け f:口縁部片 g:中期
8	35	第1面 遺構27	かわらけ	(13.2)	(8.6)	3.2	a:口ク口・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂多・雲母・海綿骨針・赤色 粒多・泥岩粒・小石粒・砂質気味やや粗土 c:褐色 e:良好 f:1/5
8	36	第1面 遺構28	青磁 双魚文鉢(坏)			[0.8]	a:口ク口 b:灰白色 黒色粒・精良緻密土 d:暗灰緑色透明釉を厚く施釉・気泡 ・貫入 e:堅緻 f:底部片 g:大宰府坏Ⅲ-c類か 内底面に双魚文貼付 龍泉 窯
8	37	第1面 遺構30	山茶碗			[2.1]	a:輪積み→口ク口 b:灰色 砂粒・黒色粒・白色粒・石英 c:灰色 e:良好・硬質 f:口縁部片 g:6型式 尾張型
8	38	第1面 遺構30	常滑 壺		(7.3)	[5.6]	a:輪積み→外面に板状工具の縦位ナデ b:暗灰色 砂粒・黒色粒・白色粒 c: 暗褐色 d:内底部辺に淡緑色の自然降灰 e:良好・硬質 f:底部1/4片 外面下 部篋状工具による整形痕
8	39	第1面 遺構33	青磁 碗			[2.5]	a:口ク口 b:灰色 黒色粒・精良緻密土 d:灰緑色半透明釉を厚く施釉・気泡 e:堅緻 f:口縁部片 g:大宰府碗Ⅲ類か 内面無文 外面鑄連弁文 龍泉窯
8	40	第1面 遺構34	かわらけ	(7.4)	(5.6)	1.6	a:口ク口・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色 粒・やや良土 c:黄褐色 e:良好 f:1/3
8	41	第1面 遺構36	かわらけ	8.0	6.7	1.85	a:口ク口・外底回転系切・板状圧痕強・内底ナデ b:微砂多・雲母・海綿骨針・赤 色粒・やや粗土 c:褐色 e:良好 f:ほぼ完形



出土遺物観察表

図版番号	枝番	出土層位 出土層位	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
				単位:cm/( ) :復元値	( ) :残存値	( ) :残存値	
8	42	第1面 遺構36	青磁 折縁鉢(坏)	(12.0)		[3.6]	a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考 a:口ク b:灰白色 黒色粒・精良緻密土 d:暗灰緑色半透明釉を厚く全面施釉→高 台端部周辺の釉を掻き取り・気泡 e:堅緻 f:口縁部片 g:大宰府坏Ⅲ-3a類 龍泉窯
8	43	第1面 遺構36	青磁 碗			[2.3]	a:口ク b:灰白色 黒色粒・精良緻密土 d:暗灰緑色半透明釉を厚く施釉・ 気泡・貫入 e:堅緻 f:底部片 g:椀Ⅰ類か 内外面無文
8	44	第1面 遺構36	白磁 口兀皿	(10.6)		[3.2]	a:口ク b:灰白色 黒色粒・精良緻密土 d:灰白色不透明釉を薄く施釉・気泡 e:堅緻 f:口縁部~体部下位1/6 g:大宰府白磁皿Ⅺ類
8	45	第1面 遺構36	常滑 片口鉢Ⅰ類			[3.5]	a:輪積み→口ク b:灰白色 長石・白色粒・小石粒多 c:灰色 e:良好・硬質 f: 口縁部片 g:5~6a型式
8	46	第1面 遺構36	瓦 丸瓦	[17.0]		2.0	a:凹面は糸切り痕+縦位ヘラナデ・凸面は叩きを縦位ナデ消し・側縁はヘラ整 形で面取りの幅が広い b:淡灰色 砂粒・小石粒多 c:灰色 e:軟質 f:側縁部 小片 g:Ⅱ期b類
9	47	第1面 遺構37	青磁 鑊蓮弁文碗		4.8	[1.9]	a:口ク b:灰白色 黒色粒・精良緻密土 d:暗灰緑色半透明釉を厚く全面施釉→ 高台端部周辺の釉を掻き取り・貫入 e:堅緻 f:底部1/2 g:大宰府碗Ⅲ類 龍 泉窯
9	48	第1面 遺構37	青磁 碗		3.9	[5.6]	a:口ク b:灰色 黒色粒多・精良緻密土 d:暗灰緑色半透明釉を厚く施釉・気 泡 e:堅緻 f:体部~底部1/2 g:大宰府碗Ⅱ類 内底面見込み部に草花文 外 面鑊蓮弁文 龍泉窯
9	49	第1面 遺構39	青磁 碗			[2.4]	a:口ク b:灰白色 黒色粒・精良緻密土 d:暗灰青色不透明釉をやや厚く施 釉・気泡・貫入 e:堅緻 f:口縁部片 g:大宰府碗Ⅲ類か 外面鑊蓮弁文 龍泉 窯
9	50	第1面 遺構40	常滑 片口鉢Ⅰ類			[3.1]	a:輪積み b:灰褐色 白色砂粒・小石粒・石英 c:褐色 d:口唇部に自然降灰 e:良好・硬質 f:口縁部片 g:6b型式か
9	51	第1面 遺構41	かわらけ	(7.8)	(6.2)	1.4	a:口ク/外底回転系切→ナデ・板状圧痕不明・内底ナデ b:微砂・雲母多・海綿 骨針・赤色粒・泥岩粒・やや良土 c:黄褐色 e:良好 f:1/3
9	52	第1面 遺構41	かわらけ	(12.8)	(7.0)	3.1	a:口ク/外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂多・雲母多・海綿骨針・赤 色粒・泥岩粒・砂質気味やや良土 c:黄褐色 e:良好 f:1/2
9	53	第1面 遺構41	青磁 小碗			[3.5]	a:口ク b:灰白色 黒色粒・精良緻密土 d:暗灰青色半透明釉をやや厚く施 釉・気泡 e:堅緻 f:口縁部片 g:大宰府小碗Ⅰ-1b類 口唇部輪花型 龍泉窯
9	54	第1面 遺構41	瀬戸 卸皿			[3.5]	a:口ク 底部回転系切 b:明灰色 黒色粒・良土 c:灰色 d:内底面に自然降 灰 e:良好・硬質 f:1/8 g:前期後半~中期前半
9	55	第1面 遺構41	常滑 片口鉢Ⅰ類			[4.3]	a:輪積み→口ク b:暗灰色 長石・白色粒多・小石粒 c:暗灰色 e:良好・硬 質 f:口縁部片 g:5~6a型式
9	56	第1面 遺構41	常滑 甕				a:輪積み b:灰黄色 砂粒・白色粒・黒色粒・小石粒・長石 c:赤褐色 e:良好・硬 質 f:肩部片 g:格子状
9	57	第1面 遺構41	金属製品 銅銭	外径2.40・内径1.92・孔径0.74・厚0.88			f:完形 g:皇宋通寶 篆書 初鑄年:北宋1038年
9	58	第1面 遺構43	かわらけ	(8.2)	(5.4)	1.4	a:口ク/外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色 粒・泥岩粒・砂質気味やや良土 c:橙褐色 e:良好 f:1/3 g:口唇部に油煤痕・灯 明皿
9	59	第1面 遺構43	かわらけ	(12.3)	(8.1)	3.3	a:口ク/外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色 粒・白色粒・泥岩粒多・やや良土 c:黄褐色 e:良好 f:1/3
9	60	第1面 遺構43	瀬戸 壺			[1.7]	a:輪積み→口ク b:明灰色 砂礫わずか 良土 c:明灰色 d:淡灰緑色の灰礫 ハケ塗りか e:良好・硬質 f:口縁部片 g:前期後半~中期前半
9	61	第1面 遺構43	瀬戸 小壺		(5.4)	[2.9]	a:口クか b:明灰色 砂礫わずか 良土 c:明灰色 d:淡灰緑色の灰礫ハケ塗 りか e:良好・硬質 f:口縁部1/4片 g:中期前半
9	62	第1面 遺構43	常滑 甕			[3.9]	a:輪積み b:灰色 砂粒・白色粒 c:灰色 d:外面に自然降灰 e:良好・硬質 f:肩部片 g:肩部外面に線刻あり
9	63	第1面 遺構44	かわらけ	7.9	6.1	1.6	a:口ク/外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色 粒・泥岩粒・砂質気味やや良土 c:黄褐色 e:良好 f:ほぼ完形 g:口唇部に煤 痕又は部分的に黒く変色・灯明皿か
9	64	第1面 遺構45	白磁 口兀皿	(11.5)		[3.1]	a:口ク b:灰白色 黒色粒・精良緻密土 d:灰白色不透明釉をやや薄く施釉・ 気泡・気孔 e:堅緻 f:口縁部1/4片 g:大宰府白磁皿Ⅺ類
9	65	第1面 遺構45	常滑 片口鉢Ⅰ類			[3.1]	a:輪積み→口ク b:暗灰色 砂粒・白色粒多 c:灰褐色 d:口唇部と内面体 部に自然降灰 e:良好・硬質 f:口縁部片 g:6a型式
9	66	第1面 遺構49	常滑 広口壺			[2.1]	a:輪積み b:灰色 白色粒多・小石粒 c:褐色 d:口縁部~内面に自然降灰 e 良好・硬質 f:口縁部片
9	67	第1面 遺構51	青磁 折縁鉢(坏)	(5.9)		[2.4]	a:口ク b:明白色 精良緻密土 d:青緑色の白濁した不透明釉をやや厚めに 施釉・貫入 e:堅緻 f:底部1/3片 量付部に擦り痕による欠落箇所あり g:大宰 府坏Ⅳ-4a類
9	68	第1面 遺構51	金属製品 銅銭	外径2.43・内径1.97・孔径0.69・厚0.09			f:完形 g:嘉祐通寶 篆書 初鑄年:北宋1056年
9	69	第1面 遺構50	かわらけ	(12.6)	(8.0)	3.3	a:口ク/外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色 粒・泥岩粒・やや粗土 c:黄褐色 e:良好 f:1/5
9	70	第1面 遺構50	山茶碗			[2.7]	a:輪積み→口ク b:灰色 白色粒多 c:灰色 e良好・硬質 f:口縁部片 g:8 型式 尾張型
9	71	第1面 遺構50	常滑 片口鉢Ⅰ類			[3.6]	a:輪積み→口ク b:明灰色 白色粒・黒色粒 c:明灰色 d:口唇部~内面体 部に自然降灰 e:良好・硬質 f:口縁部片 g:6b型式
9	72	第1面 遺構50	常滑 片口鉢Ⅱ類			[5.0]	a:輪積み b:赤褐色 白色粒・黒色粒・長石 c:赤褐色 d:口唇部~体部内面に 自然降灰 e:良好・硬質 f:口縁部片 g:8型式か 体部内面に円形を呈する線 刻文
9	73	第1面 遺構50	常滑 甕			[9.4]	a:輪積み b:暗灰色 砂粒・白色粒・黒色粒 c:灰褐色 d:口縁部~肩部外面に 自然降灰 e:良好・硬質 f:口縁部片 g:6b型式
10	74	第1面 遺構55	かわらけ	(8.7)	(7.1)	1.6	a:口ク/外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色 粒・泥岩粒・やや粗土 c:黄褐色 e:良好 f:1/3
10	75	第1面 遺構55	かわらけ	8.2	6.3	1.65	a:口ク/外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色 粒・良土 c:黄褐色 e:良好 f:1/2
10	76	第1面 遺構55	かわらけ	7.8	5.5	1.75	a:口ク/外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色 粒・泥岩粒・砂質気味やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:1/2
10	77	第1面 遺構55	かわらけ	7.4	5.2	1.85	a:口ク/外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂多・雲母多・海綿骨針・赤 色粒・泥岩粒・砂質気味やや粗土 c:黄褐色 e:やや甘い f:3/4
10	78	第1面 遺構55	かわらけ	6.9	4.6	2.2	a:口ク/外底回転系切・板状圧痕強・内底ナデ強 b:微砂・雲母・海綿骨針・赤 色粒・粉質良土 c:黄褐色 e:良好 f:ほぼ完形 g:口唇部にかすかに油煤痕
10	79	第1面 遺構55	かわらけ	(12.5)	8.0	3.4	a:口ク/外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色 粒・泥岩粒多・粉質気味粗土 c:黄褐色 e:やや甘い f:口縁部~底部完形
10	80	第1面 遺構55	かわらけ	(13.2)	(8.8)	3.2	a:口ク/外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色 粒・泥岩粒・粉質気味やや粗土 c:黄褐色 e:良好 f:1/4



出土遺物観察表

図版番号	枝番	出土層位 出土層位	種別	口径／長さ 単位:cm/( ) : 復元値	底径／幅	器高／厚さ [ ] : 残存値		観察内容	
								a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考	
10	81	第1面 遺構55	船載陶器 青磁釉壺	(8.5)				a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考 a:内外面ロクロナデー胴下部外面回転ヘラ整形 b:灰色(一部焼成不良により淡褐色) 微砂・白色粒・黒色粒 d:口縁部外面は灰黄緑色・胴下部外面は黄褐色・内面は白濁した褐色を呈する青磁釉 e:やや甘い・硬質 f:口縁部1/2+頸部1/5+胴下部1/5より推定復元・耳部欠損 産地不明	
10	82	第1面 遺構55	瀬戸 四耳壺		内径(7.5) 外径(8.9)	[4.0]		a:輪積み→ロクロ b:淡灰色 微砂・白色粒・黒色粒 c:淡灰色 d:灰白色灰釉を薄くハケ塗り・釉層が薄く不安定で部分的に剥落 e:良好・硬質 f:胴部+底部1/2より推定復元 g:前期	
10	83	第1面 遺構55	山茶碗	[12.6]		[3.7]		a:輪積み→ロクロ b:灰白色 黒色粒・良土 c:灰白色 d:口縁～内面体部に自然降灰 e:良好・硬質 f:口縁部片 g:7型式 東濃型	
10	84	第1面 遺構55	山茶碗			[3.6]		a:輪積み→ロクロ b:灰色 砂粒・白色粒・小石粒 c:灰色 e:良好・硬質 f:口縁部片 g:8型式 尾張型	
10	85	第1面 遺構55	山茶碗			[3.9]		a:輪積み→ロクロ b:暗灰色 砂粒・白色粒・小石粒 c:暗灰色 d:口唇部に自然降灰 e:良好・硬質 f:口縁部片 g:7型式 尾張型	
10	86	第1面 遺構55	常滑 片口鉢Ⅰ類	(25.8)		[5.1]		a:輪積み→ロクロ b:灰色 砂粒・白色粒・長石 c:灰褐色 d:口縁～内面体部に自然降灰 e:良好・硬質 f:口縁部1/6片 g:6a型式か	
10	87	第1面 遺構55	常滑 片口鉢Ⅱ類			[5.2]		a:輪積み b:黒灰色 砂粒・白色粒・長石 c:褐色 d:口縁～内面体部に僅かに自然降灰 e:良好・硬質 f:口縁部片 g:7～8型式か	
10	88	第1面 遺構55	常滑 甕					a:輪積み b:灰黄褐色 砂粒・白色粒・赤色粒・小石粒 c:黄褐色～暗灰褐色 e:やや不良・硬質 f:胴部片 g:縦長格子文	
10	89	第1面 遺構55	須恵器 高坏		脚部最大径(5.6)	器高[6.6]		a:脚部へ切り成形→ロクロナデか b:灰色 白色粒・黒色粒・小石粒 c:灰色 e:良好・硬質 f:高坏脚部上半部のうちの1脚が 切込み3方向として推定復元 g:6～7世紀(古墳時代後期)	
10	90	第1面 遺構55	石製品 砥石	[4.4]	3.0	0.9～1.7		a:砥面は3面使用 側面・小口はカワ+削り出し痕 b:流紋岩質細粒凝灰岩 c:黄白色マーブル g:伊予産 中砥	
10	91	第1面 遺構55	石製品 砥石	[5.9]	5.3	[0.5～0.9]		a:砥面は表裏2面使用 側面・小口はカワ+削り出し痕 b:流紋岩質細粒凝灰岩 c:銀灰色 g:鳴滝産奥殿か 仕上砥	
10	92	第1面 遺構55	木製品 箸状	20.5	0.5	0.35		g:断面方形	
10	93	第1面 遺構55	木製品 箸状	[20.7]	0.5	0.45		g:断面方形	
10	94	第1面 遺構55	滑石鍋 転用品	15.3	11.2	2.3		a:温石 b:流紋岩質細粒凝灰岩 c:褐灰色 g:西彼竹産	
11	1	第1面 面上	かわらけ	(8.0)	(5.6)	1.9		a:ロクロ・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ強 b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒多・泥岩粒・やや粗土 c:黄褐色 e:良好 f:1/4	
11	2	第1面 面上	かわらけ	(12.4)	(8.0)	3.1		a:ロクロ・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒・白色粒・泥岩粒・やや良土 c:褐色 e:良好 f:1/2	
11	3	第1面 面上	白磁 口兀椀			[3.2]		a:ロクロ b:灰白色 黒色粒・精良緻密土 d:乳白色半透明釉を薄く施釉 e:堅緻 f:口縁部片 g:大宰府白磁椀Ⅱ類	
11	4	第1面 面上	白磁 口兀皿	(10.6)	5.8	[2.4]		a:ロクロ b:灰白色 黒色粒・精良緻密土 d:乳白色半透明釉を薄く施釉 e:堅緻 f:口縁部片 g:大宰府白磁皿Ⅱ類	
11	5	第1面 面上	船載 天目茶碗			[3.5]		a:ロクロ b:暗灰色 黒色粒・白色粒・精良緻密土 c:黄褐色 d:黒褐色の鉄釉をやや薄く施釉 e:良好 f:口縁部片 産地不明	
11	6	第1面 面上	瀬戸 卸皿	(15.2)	(7.8)	(4.7)		a:ロクロ b:淡黄色 黒色粒・良土 c:明灰色 d:淡黄白色の灰釉を薄くハケ塗り・釉調が不安定で部分的に剥落 e:やや軟質 f:口縁部片 g:中期Ⅰ期 底部厚くて卸目が深い 未使用か	
11	7	第1面 面上	瀬戸 小壺	肩部径(5.8)		[2.0]		a:輪積み→ロクロ b:灰色 黒色粒・白色粒・良土 c:明灰色 d:淡黄緑色の灰釉を薄くハケ塗り e:硬質 f:口縁部片 g:前期か	
11	8	第1面 面上	渥美 片口鉢			[2.8]		a:輪積み b:淡灰～黒灰色 砂粒・黒色粒・白色粒 c:灰色 d:口縁部外面に灰褐色釉をハケ塗り e:硬質 f:口縁部片 g:2b型式か	
11	9	第1面 面上	常滑 片口鉢Ⅰ類		(11.4)	[4.7]		a:輪積み→ロクロ 外面体部下位回転ヘラ整形 b:灰色 砂粒・白色粒・小石粒・長石・石英 c:灰色 e:硬質 f:底部1/4 g:高台欠損	
11	10	第1面 面上	東播磨 片口鉢			[3.5]		a:輪積み→ロクロ b:灰色 砂粒・白色粒・小石粒 c:灰色(口縁外部は灰黒色) e:硬質 f:口縁部片	
11	11	第1面 面上	金属製品 銅銭	外径2.52・内径2.08・孔径0.78・厚0.1				f:完形 g:景祐元寶 真書 初鑄年:北宋1034年	
11	12	第1面 面上	金属製品 銅銭	外径2.47・内径1.97・孔径0.63・厚0.11				f:完形 g:皇宋通寶か 真書 初鑄年:北宋1038年	
11	13	第1面 面上	金属製品 銅銭	外径2.53・内径1.95・孔径0.78・厚0.08				f:完形 g:嘉祐通寶 真書 初鑄年:北宋1056年	
11	14	第1面 構成土	かわらけ	(8.0)	(6.2)	1.8		a:ロクロ・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母多・海綿骨針・赤色粒・泥岩粒・やや粗土 c:褐色 e:良好 f:1/3	
11	15	第1面 構成土	かわらけ	(7.4)	(5.4)	1.6		a:ロクロ・外底回転系切・板状圧痕強・内底ナデ不明 b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒・泥岩粒・やや粗土 c:黄褐色 e:良好 f:1/3 g:口唇部に僅かに油煤痕	
11	16	第1面 構成土	かわらけ	(8.0)	(5.6)	1.4		a:ロクロ・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒・泥岩粒・砂質気味やや粗土 c:黄褐色 e:良好 f:1/2	
11	17	第1面 構成土	かわらけ	(7.6)	(4.6)	1.7		a:ロクロ・外底回転系切・板状圧痕不明・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒・白色粒・泥岩粒・やや良土 c:褐色 e:良好 f:1/4	
11	18	第1面 構成土	かわらけ	(8.8)	(5.4)	1.9		a:ロクロ・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:1/3	
11	19	第1面 構成土	かわらけ	(8.0)	(5.4)	2.0		a:ロクロ・外底回転系切(回転速度遅め)・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒・白色粒・泥岩粒・やや粗土 c:褐色 e:良好 f:1/2	
11	20	第1面 構成土	かわらけ	(7.6)	(5.2)	1.9		a:ロクロ・外底回転系切・板状圧痕不明・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・泥岩粒多・やや粗土 c:黄褐色 e:良好 f:1/2 g:口唇部に僅かに油煤痕	
11	21	第1面 構成土	かわらけ	(10.0)	(4.8)	3.0		a:ロクロ・外底回転系切・板状圧痕不明・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒多・粉質良土 c:褐色 e:良好 f:1/4 g:薄手丸深型(中)	
11	22	第1面 構成土	かわらけ	(11.8)	(8.0)	3.2		a:ロクロ・外底回転系切・板状圧痕強・内底ナデ b:微砂多・雲母・海綿骨針・赤色粒・白色粒・砂質気味やや良土 c:黄褐色 e:良好 f:1/2	
11	23	第1面 構成土	かわらけ	(13.4)	(7.4)	3.2		a:ロクロ・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒・粉質気味やや良土 c:褐色 e:良好 f:1/3	
11	24	第1面 構成土	かわらけ	(13.4)	(7.4)	3.2		a:ロクロ・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒・泥岩粒・小石粒・砂質気味やや粗土 c:黄褐色 e:良好 f:1/3	
11	25	第1面 構成土	青磁 折縁鉢(坏)			[2.7]		a:ロクロ b:灰白色 黒色粒・精良緻密土 d:灰青色半透明釉薬を厚く施釉・気泡 e:堅緻 f:口縁部片 g:大宰府坏Ⅲa類 龍泉窯	
11	26	第1面 構成土	青磁 碗			[2.2]		a:ロクロ b:灰白色 黒色粒・精良緻密土 d:青味淡灰緑色透明釉をやや厚く施釉・気泡 e:堅緻 f:口縁部片 g:大宰府碗Ⅱ類 内面無文 外面鑄蓮弁文龍泉窯	

出土遺物観察表

図版 番号	枝番	出土層位 出土層位	種別	口径/長さ 単位:cm/( )	底径/幅 ( )	器高/厚さ ( )	残存値	観察内容	
								口径/長さ 単位:cm/( )	底径/幅 ( )
11	27	第1面 構成土	青磁 碗				[3.5]	a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考 a:口ク b:灰白色 黒色粒・精良緻密土 d:暗緑灰色半透明釉をやや厚く施釉・ 気泡 e:堅緻 f:口縁部片 g:大宰府碗Ⅱ類 内面無文 外面鎚連弁文 龍泉窯	
11	28	第1面 構成土	青磁 碗				[3.2]	a:口ク b:灰白色 黒色粒・精良緻密土 d:青味淡灰緑色透明釉を厚く施釉・ 気泡・気孔 e:堅緻 f:口縁部片 g:大宰府碗Ⅱ類 内面無文 外面鎚連弁文 龍泉窯	
11	29	第1面 構成土	青磁 碗				[5.8]	a:口ク b:灰白色 黒色粒・精良緻密土 d:暗灰緑色半透明釉をやや厚く施釉・ 気孔・貫入 e:堅緻 f:口縁部片 g:内面劃花文・外面蓮弁文→大宰府Ⅲ類か 龍泉窯	
11	30	第1面 構成土	青磁 碗				[4.3]	a:口ク b:灰白色 黒色粒・精良緻密土 d:青味淡灰緑色透明釉を厚く施釉・ 気泡 e:堅緻 f:口縁部片 g:大宰府碗Ⅱ類 内面にキズ多く、使用痕顕著・断 面に漆継ぎの痕跡あり 内面無文 外面鎚連弁文 龍泉窯	
11	31	第1面 構成土	青磁 碗				[5.7]	a:口ク b:灰白色 黒色粒・精良緻密土 d:青味淡灰緑色透明釉を厚く施釉 e: 堅緻 f:口縁部片 g:大宰府碗Ⅱ類 内面無文 外面鎚連弁文 龍泉窯	
11	32	第1面 構成土	青磁 碗		(6.4)		[1.9]	a:口ク 外底面へラ切り b:灰白色 黒色粒・精良緻密土 d:暗灰緑色半透明釉 を厚く施釉 e:堅緻 f:底部 g:大宰府碗Ⅰ-1c類 内外面無文 内面見込みに 「金玉満堂」の印刻文 龍泉窯	
11	33	第1面 構成土	白磁 壺	(12.8)			[3.4]	a:口ク b:灰白色 黒色粒・精良緻密土 d:灰味緑白色半透明釉をやや薄く施 釉・貫入 e:堅緻 f:口縁部1/6 g:大宰府白磁壺Ⅲ類	
11	34	第1面 構成土	白磁 口元皿				[3.2]	a:口ク b:灰白色 黒色粒・精良緻密土 d:乳白色半透明釉を薄く施釉 e:堅 緻 f:口縁部片 g:大宰府白磁碗Ⅱ類	
11	35	第1面 構成土	白磁 口元皿				[2.8]	a:口ク b:灰白色 黒色粒・精良緻密土 d:青味乳白色半透明釉を薄く施釉 e:堅緻 f:口縁部片 g:大宰府白磁碗Ⅱ類	
11	36	第1面 構成土	青白磁 合子蓋	(5.2)			1.3	a:型作り b:灰白色 黒色粒・精良緻密土 d:灰味水青色透明を薄く施釉・気泡 e:硬質 f:1/3 g:側面は幅の狭い蓮弁文 頂部は草花文	
11	37	第1面 構成土	青白磁 青白磁 身子	(4.0)	(3.4)		1.5	a:型作り b:黄味灰白色 黒色粒・緻密土 d:黄緑味乳白色半透明釉を薄く施 釉・身受部と胴部下位は露胎 e:堅緻 f:口縁部1/6片 g:側面に幅の広い蓮 弁文の型押し 断面に漆継痕あり	
11	38	第1面 構成土	青白磁 器種不明		(6.6)		[2.4]	a:口ク b:灰白色 黒色粒・精良緻密土 d:水青色透明をやや厚く全面に施釉 e:硬質 f:底部 香炉か	
11	39	第1面 構成土	瀬戸 入子	(7.6)	(4.2)		2.6	a:口ク・外底面へラ削り b:明灰色 砂礫わずかな精良均質土 c:明灰色 d: 口唇部～内底にかけて自然降灰 e:良好・硬質 f:口縁～底部1/3片 g:前期	
11	40	第1面 構成土	瀬戸 卸皿				[3.6]	a:口ク b:黄灰色 砂粒多・白色粒含む粉質土 c:黄灰色 e:やや軟質 d:全 体的にまばらな施釉で白濁 f:口縁部片 g:後期前半	
11	41	第1面 構成土	瀬戸 器種不明				[2.3]	b:淡黄色 砂礫わずかな粉質土 c:淡黄色 d:体部内面と口縁部外面に淡灰緑 色灰釉を漬け掛けか e:やや軟質 f:口縁部片 g:後期か 香炉か	
11	42	第1面 構成土	常滑 片口鉢Ⅰ類				[3.4]	a:輪積み→口ク b:灰白色 砂粒・白色粒・黒色粒・小石粒 c:灰色 e:硬質 f: 口縁部片 g:6a型式	
11	43	第1面 構成土	常滑 片口鉢Ⅰ類				[3.5]	a:輪積み→口ク b:灰白色 砂粒・白色粒・黒色粒・石英 c:灰色 e:硬質 f:口 縁部片 g:6b型式	
11	44	第1面 構成土	常滑 片口鉢Ⅰ類				[4.6]	a:輪積み→口ク b:明灰色 砂粒・白色粒・石英 c:明灰色 d:口唇部に自然 降灰 e:硬質 f:口縁部片 g:6a型式	
11	45	第1面 構成土	常滑 片口鉢Ⅰ類				[4.1]	a:輪積み→口ク b:灰白色 砂粒・白色粒・小石粒 c:灰色 d:口唇部に自然降 灰 e:硬質 f:口縁部片 g:6b型式	
11	46	第1面 構成土	常滑 片口鉢Ⅱ類				[4.3]	a:輪積み ヨコナデ+板状工具の縦位ナデ b:黒褐色 砂粒・白色粒・長石 c: 暗褐色 e:良好・硬質 f:口縁部片 g:7~8型式	
11	47	第1面 構成土	常滑 壺		(9.0)			a:輪積み→口ク 外面体部下位横位のへら整形 b:暗灰色 砂粒・白色粒・小 石粒 c:黒褐色 e:良好・硬質 f:体部～底部1/6	
11	48	第1面 構成土	常滑 甕				[4.4]	a:輪積み b:灰色 砂粒・白色粒・黒色粒・長石・石英 c:黄褐色～暗褐色 d: 口縁部に自然降灰 e:硬質 f:口縁部片 g:内面部分的にマメツ 6a型式	
11	49	第1面 構成土	常滑 甕					a:輪積み b:黄灰色 砂粒・白色粒・長石・石英 c:黒褐色 e:硬質 f:肩部片 g:縦長格子文+×文	
11	50	第1面 構成土	常滑 甕					a:輪積み b:灰色 砂粒・白色粒・石英・小石粒 c:黒灰色 e:硬質 f:肩部片 g:縦長格子文	
11	51	第1面 構成土	常滑 甕					a:輪積み b:黒灰色 砂粒・白色粒・小石粒 c:黒褐色 e:硬質 f:肩部片 g: 縦長格子文+×文	
11	52	第1面 構成土	常滑 甕					a:輪積み b:暗灰色 砂粒・白色粒・長石・石英・小石粒 c:暗褐色 e:硬質 f: 肩部片 g:外側面線刻文 窯印か	
12	53	第1面 構成土	産地不明 器種不明					a:輪積み→口ク 内面指頭痕+縦位ハケ状工具のナデ+外面へら整形か b: 灰黄色 砂粒・黒色粒 d:淡黄色 e:硬質 f:胴部片 g:胎土・釉調が瀬戸に 近い	
12	54	第1面 構成土	東播系 片口鉢				[3.4]	a:輪積み b:灰褐色 砂粒・白色粒・黒色粒・小石粒 c:灰色 帯体部黒灰色 e:やや軟質 f:口縁部片	
12	55	第1面 構成土	瓦器質 火鉢					a:輪積み 口縁部内外面横位ナデ b:赤褐色 砂粒・白色粒・赤色粒・雲母・礫 多く粗土 c:赤褐色 e:軟質 f:口縁部片 g:1b類	
12	56	第1面 構成土	瓦器質 火鉢					a:輪積み 口縁部内外面横位ナデ b:灰白色 砂粒・白色粒・赤色粒・雲母・や や粗土 c:赤褐色 e:軟質 f:口縁部片 g:1b類	
12	57	第1面 構成土	瓦器質 黒縁皿	(7.2)	(5.2)		[1.3]	a:口ク 外底面回転糸切 b:灰白色 微砂・白色粒・良土 c:灰白色 e:良好 f: 1/4 g:口唇部は重ね焼きにより黒色を呈す	
12	58	第1面 構成土	かわらけ質 ミニチュア不明品		2.6		(4.3)	a:ナデ成形+へら状工具等で外側面下部を調整 b:微砂・雲母・赤色粒・白色 粒・粉質気味良土 c:黄褐色 e:良好 f:口縁部欠損のみ g:小壺か 外底部に 貫通しない穿孔あり	
12	59	第1面 構成土	石製品 滑石鍋	(22.4)	(12.8)		9.7	a:外面に△痕、内面に強く掻き削った条痕 b:流紋岩質細粒凝灰岩 c:銀灰色 f:1/4 g:西彼杵産	
12	60	第1面 構成土	石製品 砥石	20.8	6.4		6.6	a:砥面は3面使用 b:凝灰岩系砂岩 c:黄灰色 g:笹口産 鉄分を多く含む 荒 砥	
12	61	第1面 構成土	金属製品 銅銭	外径2.32・内径1.90・孔径0.64・厚0.09				f:完形 g:開元通寶 真書 初鑄年:唐621年	
12	62	第1面 構成土	金属製品 銅銭	外径2.51・内径2.02・孔径0.69・厚0.11				f:完形 g:天聖元寶 真書 初鑄年:北宋1023年	
12	63	第1面 構成土	金属製品 銅銭	外径2.35・内径1.94・孔径0.72・厚0.11				f:完形 g:皇宋通寶 篆書 初鑄年:北宋1039年	
12	64	第1面 構成土	金属製品 銅銭	外径2.42・内径1.90・孔径0.67・厚0.10				f:完形 g:皇宋通寶 真書 初鑄年:北宋1038年	
12	65	第1面 構成土	金属製品 銅銭	外径2.42・内径2.12・孔径0.75・厚0.12				f:完形 g:熙寧元寶 真書 初鑄年:北宋1068年	

出土遺物観察表

図版 番号	枝番	出土層位 出土層位	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
				単位:cm/( ):復元値 [ ]:残存値			
12	66	第1面 構成土	金属製品 銅銭	外径2.46・内径1.72・孔径0.56・厚0.13			a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考 f:完形 g:元祐通寶 篆書 初鑄年:北宋1086年
12	67	第1面 構成土	金属製品 銅銭	外径2.42・内径2.06・孔径0.64・厚0.14			f:完形 g:大観通寶 真書 初鑄年:北宋1107年
12	68	第1面 構成土	漆製品 皿		(6.6)	[1.0]	g:内外面黒色漆髹漆・内面漆絵・手描き・笹文・輪高台
15	1	第2面 遺構58	青磁 碗			[4.7]	a:口ク b:淡灰色 黒色粒・精良緻密土 d:灰緑色半透明釉をやや厚く施釉・ 気泡・貫入 e:堅緻 f:口縁部片 g:大宰府碗I-6類 内面劃花文 外面に櫛搔 を配した後に蓮弁文・龍泉窯
15	2	第2面 遺構65	青磁 碗			[3.7]	a:口ク b:灰色 黒色粒・精良緻密土 d:暗灰青色半透明釉をやや厚く施釉・ 気泡 e:堅緻 f:口縁部片 g:大宰府碗II類 内面無文 外面蓮弁文 龍泉窯
15	3	第2面 遺構68	常滑 片口鉢I類			[3.3]	a:輪積み→口ク b:灰色 砂粒・白色粒・石英・小石粒多 c:灰色 e:硬質 f: 口縁部片 g:6a型式
15	4	第2面 遺構68	金属製品 銅銭	外径2.36・内径1.90・孔径0.65・厚0.11			f:完形 g:聖大通寶 行書 初鑄年:北宋1101年
15	5	第2面 遺構60	常滑 甕				a:輪積み b:灰〜黄橙色 砂粒・白色粒多・長石・石英・小石粒 c:灰〜灰褐色 e:硬質 f:肩部片 g:縦長格子文
15	6	第2面 遺構71	常滑 甕				a:輪積み b:黄橙色 砂粒・白色粒・赤色粒多・石英 c:黄橙〜褐色 e:硬質 f:胴部片 g:縦長格子文
15	7	第2面 遺構74	常滑 甕				a:輪積み b:暗灰色 砂粒・白色粒・石英 c:暗褐色 e:硬質 f:肩部片 g: 格子文
15	8	第2面 遺構75	青磁 鉢(坏)				a:口ク b:灰白色 黒色粒・精良緻密土 d:暗灰緑色透明釉を厚く施釉・気泡・ 貫入 e:堅緻 f:底部片 g:大宰府坏III-3c類か 内底面に双鱼文の貼付文 龍泉窯
15	9	第2面 遺構80	常滑 片口鉢II類				a:輪積み→ヨコナデ+板状工具の縦ナデ b:明灰色 砂粒・白色粒・長石・石 英 c:褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:6b〜7型式
15	10	第2面 遺構80	石製品 滑石鍋			[4.2]	a:口縁外面に細かいスリ痕・鏽+鏽下にノミ痕・内面は平に仕上げている→滑石 スタンブ未成品か b:流紋岩質細粒凝灰岩 c:銀灰黄色 f:口縁部片 g:西彼 杵産
15	11	第2面 遺構83	常滑 甕				a:摩擦常滑 b:黄橙色 砂粒・白色粒・赤色粒多・石英 c:黄橙〜褐色 e:硬質 f:肩部片 g:縦長格子文
15	12	第2面 遺構91	白磁 口兀皿			[2.5]	a:口ク b:灰白色 黒色粒・精良緻密土 d:灰味乳白色半透明釉を薄く施釉 e:堅緻 f:口縁部片 g:大宰府白磁碗II類
15	13	第2面 遺構91	常滑 広口壺			[6.3]	a:輪積み b:暗灰色 砂粒・白色粒・石英 c:褐色〜黒褐色 d:口唇部内外面と 肩部に自然降灰 e:硬質 f:口縁部片 g:7型式
15	14	第2面 遺構93	かわらけ	(7.2)	(4.8)	1.8	a:口ク/外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂多・雲母多・海綿骨針・赤 色粒・泥岩粒・砂質気味やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:1/4
15	15	第2面 遺構97	青磁 折縁鉢(坏)			[3.0]	a:口ク b:灰白色 黒色粒・精良緻密土 d:淡灰緑色透明釉を厚く施釉・貫入 e:堅緻 f:底部片 g:大宰府坏III類 外面に鑄蓮弁文 龍泉窯
15	16	第2面 遺構98	白磁 口兀碗			[3.0]	a:口ク b:白色 黒色粒・精良緻密土 d:乳白色不透明釉を薄く施釉 e:堅緻 f:口縁部片 g:大宰府白磁碗II類
15	17	第2面 遺構100	かわらけ	(7.0)	(4.2)	2.1	a:口ク/外底回転系切・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒多・粉質 気味良土 c:黄橙色 e:良好 f:1/4 g:鉄分付着 薄手丸深型
15	18	第2面 遺構100	常滑 広口壺	(20.8)		[5.9]	a:輪積み b:灰色 砂粒・黒色粒多・白色粒多・長石・石英 c:褐色 d:口縁部内 外面と頸部に自然降灰 e:硬質 f:口縁部片 g:6a〜6b型式
15	19	第2面 遺構101	かわらけ	8.2	5.8	1.6	a:口ク/外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂多・雲母・海綿骨針・赤 色粒・泥岩粒・砂質やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:ほぼ完形 g:口唇部に僅かに 油煤痕
15	20	第2面 遺構101	かわらけ	(11.8)	(8.2)	2.8	a:口ク 底部欠損の為、調整不明 b:微砂多・雲母多・海綿骨針・赤色粒・泥 岩粒・砂質やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:1/4 g:全体的に融着物付着 部分的 に黒く変色
15	21	第2面 遺構108	金属製品 銅銭	外径2.34・内径1.80・孔径0.65・厚0.12			f:完形 g:皇大通寶 真書 初鑄年:北宋1038年
15	22	第2面 遺構108	金属製品 銅銭	外径2.03・内径1.80・孔径0.69・厚0.11			f:完形 g:元豊通寶 篆書 初鑄年:北宋1078年
15	23	第2面 遺構109	かわらけ	(8.0)	(5.0)	1.5	a:口ク/外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤 色粒・泥岩粒・粉質気味やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:1/3
15	24	第2面 遺構112	常滑 甕		(9.4)	[7.0]	a:輪積み→外面体部下位へう整形 b:灰色 砂粒・黒色粒・白色粒多・長石・石 英 c:褐色 d:肩部外面と内底面に自然降灰 e:硬質 f:胴部〜底部1/3
15	25	第2面 遺構240	かわらけ	(9.2)	(7.8)	1.6	a:口ク/外底回転系切・内底ナデ b:微砂多・雲母・海綿骨針・赤色粒多・砂 質気味良土 c:黄橙色 e:良好 f:1/4
15	26	第2面 遺構242	常滑 片口鉢I類		(13.2)	[6.5]	a:輪積み→口ク/外面下位回転へう整形 b:灰色 砂粒・黒色粒・白色粒・石 英・長石 c:灰色 d:内面に自然降灰 e:硬質 f:底部1/2 g:6a〜6b型式 内 底面マツ+重ね焼き痕あり
15	27	第2面 遺構243	かわらけ	(7.6)	(7.0)	1.0	a:口ク/外底回転系切・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・白色粒・赤色粒・ 小石粒・粉質気味やや粗土 c:褐色 e:良好 f:1/2 口唇部内折れ
15	28	第2面 遺構243	石製品 砥石	(5.3)	3.5	1.0	a:砥面は表裏2面使用・側面は生産地加工痕 b:流紋岩質細粒凝灰岩 c:淡黄 白色 g:鳴滝産中山か 仕上げ
15	29	第2面 遺構244	青磁 碗			[3.6]	a:口ク b:灰白色 黒色粒・精良緻密土 d:青灰緑色半透明釉を厚く施釉・気 泡 e:堅緻 f:口縁部片 g:大宰府碗II類 内面無文 外面鑄蓮弁文 龍泉窯
15	30	第2面 遺構245	かわらけ	(4.2)	(3.6)	0.7	a:口ク/外底回転系切・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・白色粒・赤色粒・ 粉質良土 c:褐色 e:良好 f:1/2 口唇部内折れ 小型
15	31	第2面 遺構245	常滑 甕			[4.3]	a:輪積み b:淡灰色 砂粒・黒色粒・白色粒 c:褐色 d:口縁部内面に自然降灰 e:硬質 f:口縁部片 g:5〜6a型式
15	32	第2面 遺構246	かわらけ	(6.8)	(4.2)	1.8	a:口ク/外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤 色粒・粉質気味良土 c:黄橙色(部分的に黒く変色) e:良好 f:1/3
15	33	第2面 遺構246	常滑 甕			[6.7]	a:輪積み b:灰色 砂粒・白色粒・長石・石英 c:黒灰色 d:口縁部内外面に自 然降灰 e:硬質 f:口縁部片 g:7型式
15	34	第2面 遺構247	常滑 片口鉢I類			[2.6]	a:輪積み→口ク b:黒灰色 砂粒・白色粒・小石粒 c:灰褐色 d:口唇部に自 然降灰 e:硬質 f:口縁部片 g:6a〜6b型式
15	35	第2面 遺構248	かわらけ	(6.6)	(6.8)	1.0	a:口ク/外底回転系切・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒・粉質気 味やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:1/6 口唇部内折れ
15	36	第2面 遺構248	かわらけ	(8.2)	(5.6)	1.6	a:口ク/外底回転系切・板状圧痕不明・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・白 色粒・赤色粒・粉質気味良土 c:黄橙色 e:良好 f:1/4



出土遺物観察表

図版番号	枝番	出土層位 出土層位	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
				単位: cm/( ): 復元値	[ ]: 残存値		
15	37	第2面 遺構248	青白磁 合子身	(5.8)	(3.8)	1.5	a: 成形・調整 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 遺存値 g: 備考 a: 型作り b: 灰白色 黒色粒・精良緻密土 d: 灰白色不透明釉を薄く施釉、身受部と胴部下位は露胎・貫入 e: 堅緻 f: 口縁部1/3片 g: 外面に蓮弁文型押し
16	38	第2面 遺構250	常滑 蓋口壺			[5.6]	a: 輪積み→外面丁寧なナデ+下位へラ削り b: 暗灰色 砂粒・黒色粒・白色粒・長石・石英 c: 暗褐色 d: 肩部外面に自然降灰 e: 硬質 f: 肩部→底部小片
16	39	第2面 遺構258	かわらけ	(6.8)	(5.2)	1.5	a: ロク口 外底回転系切・底部欠損により調整不明 b: 微砂・雲母・海綿骨針・白色粒・赤色粒・粉質気味良土 c: 黄褐色 e: 良好 f: 1/4
16	40	第2面 遺構258	かわらけ	(13.0)	(7.2)	3.3	a: ロク口 外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ+口口痕残り b: 微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒・粉質精良土 c: 褐色 e: 良好 f: 1/3 薄手丸深型似
16	41	第2面 遺構258	かわらけ	(13.2)	(7.2)	3.6	a: ロク口 外底回転系切・内底ナデ b: 微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒・粉質精良土 c: 橙～黄褐色 e: 良好 f: 1/3 g: 薄手丸深型 内面二次焼成か
16	42	第2面 遺構260	白磁 口元皿			[3.0]	a: ロク口 b: 白色 黒色粒・精良緻密土 d: 乳白色不透明釉を薄く施釉・貫入・気泡 e: 堅緻 f: 口縁部片 g: 大宰府白磁碗Ⅱ類
16	43	第2面 遺構261	かわらけ	(8.4)	—	[1.8]	a: 手づくね 体部外面下位指頭痕→ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ b: 微砂・雲母多・海綿骨針・赤色粒・粉質良土 c: 黄褐色 e: 良好 f: 1/6
16	44	第2面 遺構261	かわらけ	(12.4)	(8.6)	3.2	a: ロク口 外底回転系切・底部欠損により調整不明 b: 微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒・泥岩粒・小石粒・砂質気味やや粗土 c: 黄褐色 e: 良好 f: 1/3
16	45	第2面 遺構261	青磁 碗			[3.6]	a: ロク口 b: 灰白色 黒色粒・精良緻密土 d: 淡灰青色不透明釉をやや厚く施釉・貫入・気泡・光沢なし e: 堅緻 f: 口縁部片 g: 大宰府碗Ⅱ～Ⅲ類 内面無文 外面鑄蓮弁文 龍泉窯
16	46	第2面 遺構261	石製品 硯	[5.1]	[5.5]	[1.8]	a: 内面はマメツ、裏面にケズリ痕あり(硯として転用加工途中か) b: 紫金石 c: 暗赤褐色 g: 赤間ヶ開産
16	47	第2面 遺構262	かわらけ	(7.6)	(5.8)	1.5	a: ロク口 外底回転系切・板状圧痕不明・内底ナデ b: 微砂・雲母多・海綿骨針・赤色粒・粉質気味良土 c: 淡褐色 e: 良好 f: 1/4
16	48	第2面 遺構262	かわらけ	(11.8)	(6.6)	3.3	a: ロク口 外底回転系切・板状圧痕強・内底ナデ+口口痕あり b: 微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒・泥岩粒・粉質気味良土 c: 黄褐色 e: 良好 f: 1/3
16	49	第2面 遺構262	かわらけ 転用品	3.2	2.8	0.6~0.8	a: ロク口系切り底面転用 b: 微砂・雲母・赤色粒・海綿骨針・良土 c: 黄褐色 e: 良好 f: 完形 円盤状 側縁部丁寧整形している
16	50	第2面 遺構263	かわらけ	(8.0)	(5.6)	1.6	a: ロク口 外底回転系切(回転遅め)・板状圧痕不明・内底ナデ b: 微砂・雲母多・海綿骨針・赤色粒・粉質気味良土 c: 黄褐色 e: 良好 f: 1/3 g: 口唇部黒く変色
16	51	第2面 遺構263	かわらけ	(11.8)	(7.0)	3.6	a: ロク口 外底回転系切・板状圧痕不明・内底ナデ b: 微砂多・雲母・海綿骨針・赤色粒・泥岩粒多・砂質気味粗土 c: 黄褐色 e: 良好 f: 1/3
16	52	第2面 遺構263	かわらけ	(12.4)	(8.8)	2.9	a: ロク口 外底回転系切→ナデ・板状圧痕不明・内底ナデ b: 微砂多・雲母・海綿骨針・赤色粒・泥岩粒多・砂質気味粗土 c: 黄褐色 e: 良好 f: 1/3
16	53	第2面 遺構263	常滑 甕				a: 輪積み b: 灰～褐色 砂粒・白色粒多・長石・石英 c: 黄褐～褐色 e: 硬質 f: 肩部片 g: 格子文+×文
16	54	第2面 遺構263	木製品 礎板	13.8	8.3	6.0	g: 納穴があいている・柱材の転用品か
16	55	第2面 遺構265	木製品 遊戯具	4.0	4.4	3.7	g: 毬杖の玉・丁寧な成形
16	56	第2面 遺構268	かわらけ	(8.2)	(6.0)	1.7	a: ロク口 外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒・泥岩粒・粉質気味やや粗土 c: 黄褐色 e: 良好 f: 1/2
16	57	第2面 遺構269	常滑 甕			[2.0]	a: 輪積み b: 褐色 砂粒・白色粒・小石粒 c: 褐色 d: 口縁部内面に自然降灰 e: 硬質 f: 口縁部片 g: 5型式
16	58	第2面 遺構271	かわらけ	(7.6)	(6.4)	1.7	a: ロク口 外底回転系切・板状圧痕不明・内底ナデ b: 微砂・雲母多・海綿骨針・赤色粒・泥岩粒・砂質気味やや粗土 c: 橙～黄褐色 e: 良好 f: 1/4
16	59	第2面 遺構271	常滑 蓋口壺			[4.8]	a: 輪積み 外面丁寧なナデ+下位へラ削り b: 暗灰色 砂粒・黒色粒・白色粒・長石・石英 c: 暗褐色 d: 肩部外面に自然降灰 e: 硬質 f: 肩部→底部1/6片
16	60	第2面 遺構275	常滑 蓋口壺			[4.9]	a: 輪積み b: 暗灰色 砂粒・黒色粒・白色粒・長石・石英 c: 暗褐色 d: 肩部外面に自然降灰 e: 硬質 f: 口縁部片
16	61	第2面 遺構276	常滑 片口碗			[4.5]	a: 輪積み b: 黒灰色 砂粒・白色粒・石英・小石粒 c: 青灰色 d: 胴部内面に自然降灰 e: 硬質 f: 口縁～体部片 g: 5～6a型式
16	62	第2面 遺構278	かわらけ	(7.6)	(6.4)	1.7	a: ロク口 外底回転系切・板状圧痕不明・内底ナデ b: 微砂・雲母多・海綿骨針・赤色粒・泥岩粒・粉質気味やや粗土 c: 破壊後に二次焼成した為、全体的に黒く変色 e: 良好 f: 1/3
16	63	第2面 遺構278	常滑 片口鉢Ⅰ類			[5.0]	a: 輪積み→ロク口 b: 淡灰色 砂粒・黒色粒・白色粒・長石・石英 c: 暗褐色 d: 口唇部～内面に自然降灰 e: 硬質 f: 口縁部片 g: 6a～6b型式
16	64	第2面 遺構280	常滑 蓋口壺		(9.2)	[5.5]	a: 輪積み→外面丁寧なナデ+下位へラ削り b: 暗灰色 砂粒・黒色粒・白色粒・長石・石英 c: 暗褐色 d: 肩部外面に自然降灰 e: 硬質 f: 肩部→底部1/6片
16	65	第2面 遺構281	青磁 碗			[1.8]	a: ロク口 b: 灰白色 黒色粒・精良緻密土 d: 淡灰青色不透明釉をやや厚く施釉 e: 堅緻 f: 口縁部片 g: 大宰府碗Ⅱ～Ⅲ類 内面無文 外面鑄蓮弁文 龍泉窯
16	66	第2面 遺構285	金属製品 銅銭	外径2.35・内径1.88・孔径0.66・厚0.13			f: 完形 g: 熙寧元寶 北宋 篆書 初鑄年: 北宋1068年
16	67	第2面 遺構292	かわらけ	(8.8)	(6.8)	1.8	a: ロク口 外底回転系切→ナデ・板状圧痕不明・内底ナデ b: 微砂多・雲母・海綿骨針・赤色粒・砂質気味良土 c: 褐色 e: 良好 f: 1/4
16	68	第2面 遺構293	常滑 甕				a: 輪積み b: 灰色 砂粒・白色粒・長石・石英・小石粒 c: 暗灰色 e: 硬質 f: 肩部片 g: 縦長格子文
16	69	第2面 遺構293	土製品 土錘	長さ6.1	径3.4	孔径1.1	b: かわらけ質 微砂多・雲母・白色粒・砂質気味良土 c: 灰黄色 e: 良好 f: 完形 g: 外面部分的に黒く変色+鉄分付着
16	70	第2面 遺構294	常滑 甕				a: 輪積み b: 黄褐色 砂粒・白色粒・小石粒 c: 黄褐色 e: 硬質 f: 肩部片 g: 格子文
17	71	第2面 遺構296	青磁 皿		(4.0)	[3.6]	a: ロク口 b: 灰色 黒色粒・精良緻密土 d: 灰黄緑色透明釉を全面施釉後、底部外面の釉を掻き取り・貫入・気泡 e: 堅緻 f: 底部1/4 g: 大宰府皿Ⅰ-2b類 内面見込みに櫛搔文 外面無文 同安窯系
17	72	第2面 遺構300	かわらけ	(8.8)	(7.8)	1.7	a: ロク口 外底回転系切→ナデ・板状圧痕不明・内底ナデ b: 微砂多・雲母・海綿骨針・赤色粒・砂質気味良土 c: 黄褐色 e: 良好 f: 1/4
17	73	第2面 遺構304	かわらけ	(11.4)	(8.4)	3.2	a: ロク口 外底回転系切→ナデ・板状圧痕不明・内底ナデ b: 微砂多・雲母・海綿骨針・赤色粒・泥岩粒多・砂質気味粗土 c: 黄褐色 e: 良好 f: 1/3
17	74	第2面 遺構305	かわらけ	(7.6)	(7.4)	1.1	a: ロク口 外底回転系切→ナデ・板状圧痕不明・内底ナデ b: 微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒多泥岩粒・砂質気味やや粗土 c: 褐色 e: やや甘い f: 1/3
17	75	第2面 遺構305	かわらけ	(8.0)	(5.2)	1.9	a: ロク口 外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂多・雲母・海綿骨針・赤色粒・泥岩粒・砂質気味やや粗土 c: 灰黄色 e: 良好 f: 1/4 g: 口唇部黒く変色
17	76	第2面 遺構305	青磁 碗			[1.9]	a: ロク口 b: 灰色 精良緻密土 d: 暗灰緑色不透明釉を薄く施釉・気泡・光沢なし e: 堅緻 f: 口縁部片 g: 大宰府碗Ⅱ類 内面無文 外面鑄蓮弁文 龍泉窯
17	77	第2面 遺構305	石製品 砥石	[4.2]	3.7	1.1	a: 砥面は表裏2面使用、側面は生産地加工痕 b: 流紋岩質細粒凝灰岩 c: 淡黄白色 g: 鳴滝産中山か 仕上砥

出土遺物観察表

図版番号	枝番	出土層位 出土層位	種別	口径／長さ 単位:cm/( ):復元値	底径／幅	器高／厚さ ]:残存値		観察内容
								a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考 a:口ク b:黄味灰色 精良緻密土 d:灰黄緑色透明釉を薄く施釉・貫入・気泡 e:堅緻 f:口縁部片 g:大宰府椀I類 内面劃花文 外面無文 龍泉窯
17	78	第2面 遺構307	青磁 碗			[3.0]		a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考 a:口ク b:黄味灰色 精良緻密土 d:灰黄緑色透明釉を薄く施釉・貫入・気泡 e:堅緻 f:口縁部片 g:大宰府椀I類 内面劃花文 外面無文 龍泉窯
17	79	第2面 遺構311	常滑 甕			[8.0]		a:輪積み b:暗灰色 砂粒・黒色粒・白色粒 c:暗褐色 d:口縁部内面と肩部に 自然降灰 e:硬質 f:口縁部片 g:6a型式
17	80	第2面 遺構333	木製品 礎板	20.9	7.1	2.7		g: 納穴があいている・柱材の転用品か
18	1	第2面 面上	かわらけ	(7.5)	(5.8)	1.65		a:口ク・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色 粒・泥岩粒・粉質気味やや粗土 c:暗褐色 e:良好 f:1/2
18	2	第2面 面上	かわらけ	(9.2)	(6.2)	1.9		a:口ク・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ不明(全体的にマツして調整不 明) b:微砂多・雲母・海綿骨針・赤色粒・白色粒・砂質気味やや良土 c:褐色 e:良好 f:1/5
18	3	第2面 面上	かわらけ	(11.1)	(8.4)	3.05		a:口ク・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂多・雲母多・海綿骨針・赤 色粒多・泥岩粒・砂質気味やや粗土 c:褐色 e:良好 f:1/6
18	4	第2面 面上	かわらけ	(12.7)	(8.0)	2.9		a:口ク・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂多・雲母多・海綿骨針・赤 色粒・泥岩粒・粉質気味やや粗土 c:暗褐色 e:良好 f:2/3
18	5	第2面 面上	かわらけ	(12.4)	(7.3)	2.8		a:口ク・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色 粒・粉質気味やや良土 c:黄褐色 e:良好 f:1/4
18	6	第2面 面上	青磁 碗			[3.2]		a:口ク b:灰色 黒色粒・精良緻密土 d:暗灰緑色不透明釉をやや厚く施釉・気泡 ・気孔 e:堅緻 f:口縁部片 g:大宰府椀II類 内面無文 外面鑄蓮弁文 龍泉窯
18	7	第2面 面上	白磁 口元皿			[1.5]		a:口ク b:白色 黒色粒・精良緻密土 d:青色味白色透明釉を薄く施釉・気泡 e:堅緻 f:口縁部片 g:大宰府白磁皿X類
18	8	第2面 面上	白磁 口元皿			[2.3]		a:口ク b:白色 黒色粒・精良緻密土 d:灰白色半透明釉を薄く施釉 e:堅緻 f:口縁部片 g:大宰府白磁皿X類
18	9	第2面 面上	青白磁 梅瓶			[3.2]		a:口ク b:灰色 黒色粒・精良緻密土 c:灰色 d:灰色味水青色半透明を薄く 施釉・被火で失透 e:硬質 f:底縁部片 g:渦状文型押し
18	10	第2面 面上	瀬戸 入子			[1.7]		a:口ク b:淡黄灰色 微砂・良土 c:淡黄灰色 d:口縁部に自然降灰 e:やや 軟質 f:口縁部小片 g:中期
18	11	第2面 面上	瀬戸 筒型香炉			[3.1]		a:口ク b:淡黄色 微砂・白色粒・粉質気味 c:淡灰色 d:暗灰緑色の灰釉を 漬け掛け e:やや軟質 f:口縁部片 g:中期か
18	12	第2面 面上	瀬戸 花瓶	8.0	6.7	1.85		a:口ク b:淡灰色 微砂・良土 c:淡灰色 d:暗灰緑色の灰釉を漬け掛け e: やや硬質 f:口縁部片 g:中期
18	13	第2面 面上	常滑 片口鉢II類			[3.0]		a:輪積み b:灰色 砂粒・白色粒・黒色粒・小石粒 c:褐色 d:口唇部に自然降 灰 e:硬質 f:口縁部片 g:7~8型式
18	14	第2面 面上	常滑 片口鉢II類			[7.0]		a:輪積み b:灰色 砂粒・白色粒・黒色粒・小石粒 c:褐色 d:口唇部に自然降 灰 e:硬質 f:口縁部片 g:8~9型式
18	15	第2面 面上	常滑 片口碗			[3.7]		a:輪積み b:灰色 砂粒・白色粒・黒色粒・小石粒 c:灰色 d:口縁部に自然後 灰 e:硬質 f:口縁部片 g:4型式
18	16	第2面 面上	常滑 壺	(10.0)	[4.5]			a:輪積み b:灰色 砂粒・白色粒・小石粒・石英 c:黒褐色 d:口縁部に自然降 灰 e:硬質 f:口縁部片 g:6a~6b型式
18	17	第2面 面上	常滑 壺	(8.4)	[4.3]	[5.6]		a:輪積み・内面の調整は雑 b:暗灰色 砂粒・白色粒・長石・石英 c:暗灰褐色 d:内外面口縁部と肩部に自然降灰 e:硬質 f:口縁部片
18	18	第2面 面上	常滑 広口壺	(10.1)	[4.4]			a:輪積み b:灰色 砂粒・白色粒・黒色粒 c:黒褐色 d:口縁部に自然降灰 e: 硬質 f:口縁部片 g:6a~6b型式
18	19	第2面 面上	常滑 甕			[3.6]		a:輪積み b:灰色 砂粒・白色粒・小石粒 c:褐色 d:口縁部縁部と肩部に灰 緑色の自然後灰 e:硬質 f:口縁部片 g:7~8型式
18	20	第2面 面上	常滑 甕					a:輪積み b:灰色 砂粒・白色粒・小石粒 c:黒灰色 d:口縁部縁部と肩部に自 然降灰 e:硬質 f:口縁部片 g:6a~6b型式
18	21	第2面 面上	瓦器質 火鉢			[5.1]		a:輪積み 口縁部内外面横位ナデ・外面指頭痕ナデ b:赤褐色 砂粒・白色 粒・黒色粒 c:黒褐色 e:軟質 f:口縁部片 g:Ib類
18	22	第2面 面上	鉄製品 釘	7.6	0.8	0.7		a:断面形状に鑄造・頭部は叩き折り曲げている f:ほぼ完形 g:錆の付着激 しい
18	23	第2面 面上	滑石鍋 転用品	[6.2]	[9.3]	1.1		c:銀灰色 g:加工途中で表裏面無数のキズ痕・側面刃物によるケズリあり 製 作途中
18	24	第2面 面上	石製品 砥石	[10.8]	[5.3]	0.6		a:砥面は1面使用かか側面に刃物に刃物痕 b:流紋岩質粗粒凝灰岩 c:赤と黄 白色マーブル(水分含んで黒く変色する箇所あり) g:天草産 中砥
18	25	第2面 面上	木製品 経木折敷	28.0		0.1		g:経木折敷の束・未使用品と思われるが、遺存状況が悪く1枚1枚割がして計測 することは不可能。残存状況の厚さから、50枚近くの折敷が重なっていると考え られる。遺構68と遺構432の間、第2面面上で検出し、遺構を伴っていない(図4・ 図13-出土状況報告)
19	1	第2面 構成土	かわらけ	(9.9)		(1.8)		a:手づくね 体部外面下位指頭痕→ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒・泥岩粒・やや粗土 c:黄褐色 e:やや甘い f: 1/4
19	2	第2面 構成土	かわらけ	(7.7)	(6.4)	1.85		a:口ク・外底回転系切・板状圧痕強・内底ナデ b:微砂多・雲母多・海綿骨針・赤 色粒・白色粒・泥岩粒・砂質気味やや粗土 c:黄褐色 e:良好 f:1/4
19	3	第2面 構成土	かわらけ	(8.7)	(5.4)	1.6		a:口ク・外底回転系切・板状圧痕強・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤 色粒・泥岩粒・粉質気味やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:1/4
19	4	第2面 構成土	かわらけ	(7.9)	(6.2)	1.55		a:口ク・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・ 粉質気味やや粗土 c:黄褐色 e:良好 f:1/4
19	5	第2面 構成土	かわらけ	(9.5)	(7.6)	1.7		a:口ク・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤 色粒・泥岩粒・小石粒・粉質粗土 c:黄褐色 e:良好 f:1/4
19	6	第2面 構成土	かわらけ	(8.1)	(6.0)	1.65		a:口ク・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤 色粒多・泥岩粒・粉質気味やや粗土 c:褐色 e:良好 f:1/4
19	7	第2面 構成土	かわらけ	8.4	5.9	1.8		a:口ク・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ弱 b:微砂・雲母・海綿骨針・赤 色粒・泥岩粒・粉質気味やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:1/2
19	8	第2面 構成土	かわらけ	8.8	5.8	1.65		a:口ク・外底回転系切・板状圧痕強・内底ナデ強 b:微砂・雲母・海綿骨針・赤 色粒・白色粒・泥岩粒・粉質気味やや粗土 c:暗灰黄色 e:良好 f:4/5 g:口唇 部に油煤痕・灯明皿か
19	9	第2面 構成土	かわらけ	(9.2)	(6.8)	1.65		a:口ク・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・粉質気味 良土 c:赤褐色 e:良好 f:1/4
19	10	第2面 構成土	かわらけ	8.2	5.8	2.15		a:口ク・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤 色粒多・泥岩粒多・砂質気味粗土 c:黄褐色 e:良好 f:完形
19	11	第2面 構成土	青磁 碗			[3.8]		a:口ク b:褐色 黒色粒・精良緻密土 d:暗灰緑色透明釉を薄く施釉・貫 入・気泡 e:堅緻 f:口縁部片 g:大宰府椀I類 内外面無文 龍泉窯
19	12	第2面 構成土	青磁 碗			[4.6]		a:口ク b:灰白色 黒色粒・精良緻密土 d:くすんだ青緑色半透明釉をやや 薄く施釉・気泡 e:堅緻 f:口縁部片 g:大宰府椀I類か 内外面無文 龍泉窯



出土遺物観察表

図版番号	枝番	出土層位 出土層位	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容
				単位:cm/( ):復元値		]:残存値	
19	13	第2面 構成土	青磁 碗		(5.0)	[2.2]	a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考 a:口クワ b:灰色 黒色粒・精良緻密土 d:暗灰緑色透明釉を薄く施釉・貫入・ 気泡 e:堅緻 f:底部1/3片 g:大宰府碗I類か 内外面無文 龍泉窯
19	14	第2面 構成土	白磁 口兀皿			[1.8]	a:口クワ b:白色 黒色粒・精良緻密土 d:灰白色透明釉を薄く施釉 e:堅緻 f: 口縁部片 g:大宰府白磁皿X類
19	15	第2面 構成土	白磁 口兀皿	(6.2)	(6.4)	[3.2]	a:口クワ b:灰白色 黒色粒・精良緻密土 d:青味を帯びた灰白色不透明釉をや や薄く全面施釉、外底部は板状工具で釉をのぼす・気泡 e:堅緻 f:底部1/5片 g:大宰府白磁皿X-1c類
19	16	第2面 構成土	青白磁 合子身		(6.5)	[3.3]	a:型作り b:白色 黒色粒・精良緻密土 d:淡水青色青味不透明釉を薄く施釉、 身受部と胴部下位は露胎 e:堅緻 f:口縁部1/5片 g:外側面に幅の狭い蓮弁 文
19	17	第2面 構成土	青白磁 器種不明		(3.8)	[1.3]	a:型作り 高台外底部へラ整形 b:白色～肌色(高台部 黒色粒・精良緻密土 d:水青色不透明釉を薄く施釉 e:堅緻 f:底部2/3
19	18	第2面 構成土	常滑 山茶碗		(7.0)	[2.3]	a:輪積み→口クワ b:灰色 砂粒・白色粒・小石粒 c:灰色 e:良好・硬質 f:底 部1/3片 g:低い貼付高台量付部に靱殻痕
19	19	第2面 構成土	常滑 片口碗			[4.4]	a:輪積み b:黄褐色 砂粒・白色粒・赤色粒 c:褐色 d:肩部に白濁の自然後灰 e:良好・硬質 f:口縁部1/6
19	20	第2面 構成土	渥美 甕				a:輪積み b:灰色 砂粒・白色粒・石英 c:灰色 e:良好・硬質 f:肩部片 g:斜 線文
19	21	第2面 構成土	常滑 甕				a:輪積み b:灰褐色 砂粒・白色粒・小石粒・長石・石英 c:茶褐色 e:良好・硬 質 f:肩部片 g:縦線+横線2本の縦長格子文
19	22	第2面 構成土	常滑 甕			[5.7]	a:輪積み b:暗灰色 砂粒・白色粒・小石粒 c:暗茶褐色 d:口縁部外面と肩部 に自然後灰 e:良好・硬質 f:口縁部片 g:6b型式
19	23	第2面 構成土	常滑 甕			[9.3]	a:輪積み b:灰色 砂粒・白色粒・小石粒多・長石 c:茶褐色 d:口縁部内外面 と肩部に自然後灰 e:良好・硬質 f:口縁部片 g:5型式
19	24	第2面 構成土	瓦 丸瓦	[10.6]	[8.6]	1.9	a:凹面は布目痕 凸面は縄目叩き→ナデ消し 側縁はへら整形成形で面取り b:灰色 砂粒・白色粒 c:黒灰色 e:軟質 g:I期A類
19	25	第2面 構成土	瓦 丸瓦	[9.6]	[8.6]	3.2	a:凹面は布目痕 凸面は縄目叩き→ナデ消し 側縁はへら整形成形 b:淡灰色 砂粒・白色粒・黒色粒・小石粒 c:淡灰色～黒灰色 e:軟質 g:II期B類
19	26	第2面 構成土	灰釉陶器 碗		(5.6)		a:口クワ b:暗灰色 砂粒・白色粒 c:灰色 e:良好・硬質 f:底部1/4片 g:高 台貼付「ハ」の字型
19	27	第2面 構成土	須恵器 甕				a:外面平行叩き、内面ナデ成形 b:茶褐色 白色粒・堅緻 c:灰黒色 e:硬質 f:胴部片 g:関東系の製品
19	28	第2面 構成土	金属製品 銅銭	外径2.43・内径1.79・孔径0.57・厚0.1			f:完形 g:元符通寶 篆書 初鑄年:北宋1098年
19	29	第2面 構成土	石製品 砥石	[2.9]	3.85	[0.6]	a:砥面は裏裏2面使用 側面は削りだし痕 b:流紋岩質細粒凝灰岩 c:薄桃色 e:軟質 g:鳴滝産葛蒲ヶ谷か 仕上砥
19	30	第2面 構成土	木製品 棒状	13.5	0.5	0.4	g:断面方形
19	31	第2面 構成土	木製品 棒状	22.5	0.55	0.35	g:断面方形
19	32	第2面 構成土	木製品 棒状	24.3	0.7	0.25	g:断面方形
19	33	第2面 構成土	木製品 棒状	[20.9]	0.6	0.35	g:断面方形
19	34	第2面 構成土	木製品 棒状	21.6	0.55	0.35	g:断面方形
19	35	第2面 構成土	木製品 経木折敷	[19.6]	[14.0]	0.1	g:柱目材使用・端部意図的にV字の加工・両面に墨書が遺存しているが判読不 明
22	1	第3面 遺構326	かわらけ	(9.6)	(8.0)	2.1	a:口クワ・外底回転系切・板状圧痕強・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色 粒・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙～橙褐色 e:良好 f:1/2
22	2	第3面 遺構326	かわらけ	(8.6)	(6.5)	1.5	a:口クワ・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・ 泥岩粒・粉質気味やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:1/4
22	3	第3面 遺構326	かわらけ	(8.9)	(6.8)	1.6	a:口クワ・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色 粒・粉質気味やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/4
22	4	第3面 遺構326	かわらけ	8.7	7.0	1.6	a:口クワ・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色 粒・白色粒・粉質気味粗土 c:灰黄～黄褐色 e:良好 f:ほぼ完形
22	5	第3面 遺構326	青磁 皿		(5.8)	[1.7]	a:口クワ b:淡灰黄色 黒色粒・精良緻密土 d:暗灰黄色透明釉を体部外面中 位まで施釉・外面底部へラ削り・貫入・気泡・気孔 e:堅緻 f:底部1/4 g:大宰 府皿I-1b類 内面見込み櫛搔文 外面無文 同安窯系
22	6	第3面 遺構326	青磁 碗			[3.6]	a:口クワ b:灰色 黒色粒・精良緻密土 d:明黄灰色透明釉を薄く施釉・気泡 e:堅緻 f: 口縁部片 g:大宰府碗I-4a類 内面劃花文 外面無文 龍泉窯
22	7	第3面 遺構326	白磁 口兀皿			[1.9]	a:口クワ b:灰白色 黒色粒・精良緻密土 d:乳白色不透明釉を薄く底部まで全 面施釉 e:堅緻 f:口縁部～底部1/6片 g:白磁皿XI-1a類か
22	8	第3面 遺構326	青白磁 小壺			[2.5]	a:型作り b:灰白色 黒色粒・精良緻密土 d:青味乳白色不透明釉を薄く施釉、 口縁内外は露胎 貫入 e:堅緻 f:上部1/6片 g:外面に連珠文が巡る
22	9	第3面 遺構326	常滑 甕			[3.6]	a:輪積み b:明灰色 砂粒・白色粒・黒色粒・長石 c:暗褐色 d:口縁部内面に 自然降灰 e:硬質 f:口縁部片 g:3～4型式か 口縁端部が削尖
22	10	第3面 遺構326	常滑 片口鉢I類			[8.0]	a:輪積み→口クワ・外面体部下位回転へら整形 b:黄灰色 砂粒多・黒色粒・白 色粒・石英・長石 c:黄灰色 d:内面に自然降灰 e:硬質 f:口縁部片 g:6a～ 6b型式か
22	11	第3面 遺構326	常滑 甕				a:輪積み b:明灰色 砂粒・小石粒 c:茶褐色 e:硬質 f:体部片 g:矢羽根+ 格子文
22	12	第3面 遺構326	常滑 甕				a:輪積み b:明灰色 砂粒・黒色粒・白色粒・長石・石英・小石粒 c:暗灰色 e: 硬質 f:肩部片 g:縦長格子文
23	13	第3面 遺構326	木製品 経木折敷	[10.7]	[2.7]	0.2	
23	14	第3面 遺構326	木製品 用途不明	[10.4]	2.0	0.9	g:断面かまぼこ型・丁寧な整形痕
23	15	第3面 遺構326	木製品 串状	22.2	1.2	0.7	g:断面方形・丁寧な整形
23	16	第3面 遺構326	木製品 串状	[21.9]	1.0	0.3	g:端部斜めに切断
23	17	第3面 遺構326	木製品 串状	21.8	1.1	0.8	g:断面方形・丁寧な整形
23	18	第3面 遺構326	木製品 棒状	[6.5]	0.9	0.5	g:断面方形
23	19	第3面 遺構326	木製品 棒状	[6.4]	0.7	0.5	g:断面方形

出土遺物観察表

図版番号	枝番	出土層位 出土層位	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容
				単位:cm/( ):復元値	[ ]:残存値	a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考	
23	20	第3面 遺構326	木製品 棒状	[6.9]	0.9	0.4	g: 端部焼痕・小穴あり
23	21	第3面 遺構326	木製品 棒状	14.1	1.1	0.8	g: 端部焼痕・火きり棒として使用か
23	22	第3面 遺構326	木製品 棒状	12.6	0.7	0.3	g: 断面方形
23	23	第3面 遺構326	木製品 棒状	[13.0]	1.4	0.7	g: 断面方形
23	24	第3面 遺構326	木製品 棒状	13.6	0.9	0.6	g: 断面三角形
23	25	第3面 遺構326	木製品 棒状	14.2	0.6	0.6	g: 断面方形
23	26	第3面 遺構326	木製品 棒状	[18.7]	0.9	0.4	g: 端部斜めに切断
23	27	第3面 遺構326	木製品 端材	4.5	4.3	3.5	g: 断面方形
23	28	第3面 遺構326	木製品 杭	[25.2]	4.4	1.7	g: 遺存状態悪い
23	29	第3面 遺構326	木製品 杭	33.4	6.4	2.5	g: 端部鋭角に削り出す 雑な整形
23	30	第3面 遺構326	木製品 杭	[31.4]	5.5	2.4	g: 遺存状態悪い 端部鋭角に削り出す 雑な整形
23	31	第3面 溝362下層	かわらけ	(8.9)		1.6	a: 手づくね 体部外面下位指頭痕→内外面体部ヨコナデ・内底ナデ b: 微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒・粉質良土 c: 橙色 e: 良好 f: 1/4
23	32	第3面 溝362下層	青磁 碗			[4.6]	a: 口ク口 b: 暗灰色 黒色粒・精良緻密土 d: 暗灰緑)色半透明釉を施釉 e: 堅緻 f: 口縁部片 g: 大宰府碗Ⅱ類か 内面無文 外面広弁の蓮弁文 龍泉窯
23	33	第3面 溝362下層	青白磁 合子蓋			[1.3]	a: 型押し b: 白色 精良緻密土 d: 淡水青色透明釉を薄く施釉・内面～合わせ口部は露胎 e: 堅緻 f: 口縁部1/6片 g: 輪花型 側面に蓮弁文を配す
23	34	第3面 溝362下層	渥美 片口鉢			[8.0]	a: 輪積み b: 明灰色 砂粒・白色粒・小石粒 c: 灰色 d: 口縁部外面に灰褐色釉をハケ塗り e: 硬質 f: 口縁部片 g: 内面口縁部付近までマメツ 2a～2b型式か
23	35	第3面 溝362下層	常滑 甕				a: 輪積み b: 灰褐色 砂粒・白色粒・黒色粒・石英 c: 明褐色 e: 硬質 f: 体部片 g: 菊花文
23	36	第3面 溝362下層	木製品 礎板	14.7	[12.5]	[3.2]	g: 建材転用品・一部に削りが入る
24	1	第3面 遺構121	渥美 甕				a: 輪積み b: 淡灰黄色 砂粒・白色粒・小石粒 c: 暗灰色 d: 肩部外面に自然降灰 e: 硬質 f: 肩部片 g: 縦線文
24	2	第3面 遺構124	金属製品 銅銭	外径2.48・内径2.15・孔径0.76・厚0.11			f: 完形 g: 元豊通寶 行書 初鑄年: 北宋1078年
24	3	第3面 遺構130	かわらけ	(12.1)	(7.6)	2.9	a: 口ク口・外底回転系切・板状圧痕不明・内底ナデ b: 微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒・泥岩粒多・粗土 c: 灰黄色 e: 良好 f: 1/3
24	4	第3面 遺構135	須恵器 甕				a: 外面: 平行状のタタキ 内面: ナデ b: 暗赤褐色 白色粒・密 c: 暗灰色 e: 良好・硬質 f: 胴部片 g: 関東系
24	5	第3面 遺構139	常滑 広口壺			[4.0]	a: 輪積み b: 褐灰色 砂粒・白色粒・長石・石英 c: 暗褐色 d: 口縁部内面に黒褐色の自然降灰 e: 硬質 f: 口縁部片 g: 5型式
24	6	第3面 遺構142	かわらけ	(8.6)	(6.4)	1.4	a: 口ク口・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂多・雲母・海綿骨針・赤色粒多・泥岩粒・砂質気味やや粗土 c: 灰黄色 e: 良好 f: 1/4 g: 口唇部に僅かに油煤痕
24	7	第3面 遺構143	かわらけ	(12.1)	(8.4)	2.9	a: 口ク口・外底回転系切・板状圧痕強・内底ナデ b: 微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒多・泥岩粒・やや粗土 c: 橙色～灰褐色 e: 良好 f: 1/3 g: 全体的に煤けており、特に内底面は黒く変色
24	8	第3面 遺構143	木製品 用途不明	19.0	5.2	1.1	g: 礎板か
24	9	第3面 遺構149	かわらけ	(7.8)	(5.2)	1.9	a: 口ク口・外底回転系切・板状圧痕不明・内底ナデ b: 微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒・泥岩粒・砂質気味やや粗土 c: 橙色 e: やや甘い f: 1/4
24	10	第3面 遺構153	かわらけ	(8.7)	(7.2)	1.6	a: 口ク口・外底回転系切 b: 微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒・泥岩粒・砂質気味やや粗土 c: 灰黄色 e: 良好 f: 1/3 外側面口唇部黒色に変色
24	11	第3面 遺構153	木製品 棒状	21.3	1.4	1.1	g: 遺存状態悪い
24	12	第3面 遺構155	木製品 端材	5.4	3.3	2.0	g: 断面三角形・深さ0.1cmの直線的な切り込みあり
24	13	第3面 遺構155	木製品 端材	14.6	5.6	1.4	g: 側縁部一部に焼痕
24	14	第3面 遺構158	常滑 片口鉢Ⅱ類				a: 輪積み b: 灰色 砂粒・白色粒・長石・石英・粘性ある良土 c: 褐灰色～黒灰色(二次焼成の為) e: 硬質 f: 口縁部片 g: 5型式
24	15	第3面 遺構158	常滑 広口壺			[1.7]	a: 輪積み b: 褐灰色 砂粒・白色粒・石英・粘性ある良土 c: 灰色 d: 口縁部に自然降灰 e: 硬質 f: 口縁部片 g: 4～5型式
24	16	第3面 遺構158	木製品 礎板	[20.0]	[10.8]	5.7	g: 端部焼痕
24	17	第3面 遺構164	かわらけ	8.2	6.4	1.8	a: 口ク口・外底回転系切・板状圧痕強・内底ナデ b: 微砂多・雲母・海綿骨針・赤色粒・泥岩粒・砂質気味良土 c: 灰黄色 e: 良好 f: 完形
24	18	第3面 遺構166	かわらけ	(5.3)	(3.1)	1.0	a: 口ク口・外底回転系切 b: 微砂・雲母・赤色粒・良土 c: 黄褐色 e: 良好 f: 1/6 口唇部内折れ
24	19	第3面 遺構166	かわらけ	8.0	5.6	1.7	a: 口ク口・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ強 b: 微砂・雲母・海綿骨針多・赤色粒多・泥岩粒・砂質気味やや粗土 c: 橙色 e: 良好 f: 完形
24	20	第3面 遺構166	青白磁 皿			[1.6]	a: 口ク口 b: 白色 黒色粒・精良緻密土 d: 淡青灰色不透明釉を薄く施釉 e: 堅緻 f: 口縁部片
24	21	第3面 遺構166	白磁 口兀碗	(11.4)		[2.8]	a: 口ク口 b: 灰白色 黒色粒・精良緻密土 d: 灰味乳白色不透明釉を薄く施釉・気泡 e: 堅緻 f: 口縁部片 g: 大宰府白磁碗Ⅱ類
24	22	第3面 遺構166	常滑 片口鉢Ⅰ類			[2.8]	a: 輪積み→口ク口 b: 灰色 砂粒・白色粒・黒色粒多・長石・石英 c: 灰色 d: 口縁部に自然降灰 e: 硬質 f: 口縁部片 g: 6a型式
24	23	第3面 遺構166	常滑 片口鉢Ⅱ類			[4.1]	a: 輪積み b: 茶褐色 砂粒・白色粒・長石・石英 c: 茶褐色 d: 口縁部内面に自然降灰 e: 硬質 f: 口縁部片 g: 9型式か
24	24	第1面 遺構166	常滑 甕			[4.4]	a: 輪積み b: 暗灰色 砂粒・白色粒・長石・石英 c: 黒灰色 d: 口縁部内外面に自然降灰 e: 良好・硬質 f: 口縁部片 g: 6b型式
24	25	第3面 遺構166	常滑 甕			[6.2]	a: 輪積み b: 橙色 砂粒・白色粒・長石・石英・小石粒 c: 褐色 e: 硬質 f: 胴部片 g: 縦長格子文

出土遺物観察表

図版 番号	枝番	出土層位 出土層位	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容
				単位:cm/( ):復元値	[ ]:残存値		
24	26	第3面 遺構166	常滑 甕			[5.4]	a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考 a:輪積み b:灰色 砂粒・白色粒・石英 c:淡褐色 d:口縁部内面と縁帯 部に自然降灰 e:硬質 f:口縁部片 g:傾き不安あり
24	27	第3面 遺構166	産地不明 壺甕類			[1.8]	a:輪積み b:灰黄色 砂粒・粘性のある良土 c:茶褐色 d:口縁部内面と縁帯 部に自然降灰 e:硬質 f:口縁部片 g:傾き不安あり
24	28	第3面 遺構166	漆製品 皿				g:内外面黒色漆髹漆・内面漆絵・スタンプ・窠文
25	29	第3面 遺構166	木製品 箸状	19.1	0.7	0.5	g:断面円形 丁寧な整形
25	30	第3面 遺構166	木製品 箸状	19.3	0.5	0.4	g:断面方形 丁寧な整形
25	31	第3面 遺構166	木製品 箸状	21.5	0.55	0.5	g:断面円形 丁寧な整形
25	32	第3面 遺構166	木製品 箸状	21.5	0.6	0.4	g:断面方形
25	33	第3面 遺構166	木製品 箸状	22.2	0.8	0.65	g:断面不整形
25	34	第3面 遺構166	木製品 箸状	22.3	0.6	0.45	g:断面方形
25	35	第3面 遺構166	木製品 箸状	25.0	0.6	0.5	g:断面不整形
25	36	第3面 遺構166	木製品 箸状	23.0	0.8	0.3	g:断面方形
25	37	第3面 遺構166	木製品 箸状	27.8	0.9	0.6	g:断面不整形
25	38	第3面 遺構166	木製品 棒状	12.7	0.45	0.6	g:断面方形
25	39	第3面 遺構166	木製品 棒状	17.1	0.9	0.5	g:断面方形
25	40	第3面 遺構166	木製品 棒状	16.9	0.9	0.5	g:側面丁寧な整形
25	41	第3面 遺構166	木製品 棒状	17.0	0.7	0.6	g:断面方形
25	42	第3面 遺構166	木製品 棒状	17.05	0.7	0.6	g:断面方形
25	43	第3面 遺構166	木製品 棒状	17.8	0.7	0.95	g:建材か
25	44	第3面 遺構166	木製品 曲物	[11.9]	[2.3]	0.5	g:曲物底板
25	45	第3面 遺構166	木製品 曲物	[11.4]	[3.0]	0.5	g:曲物底板
25	46	第3面 遺構166	木製品 手押木	16.0	4.5	3.6	g:形状はカマボコ型を呈し、断面は上端が丸味を帯びた台形に近い
25	47	第3面 遺構166	木製品 草履芯	22.4	5.1	0.35	g:稟痕残る・側縁部曲線的・端部合わせの部分が最先端となり直線的・端部に 穿孔・切り取り部平行四辺形で前方に深く切り込む
25	48	第3面 遺構166	木製品 草履芯	[13.5]	[5.5]	0.4	g:稟痕残る・側縁部曲線的・端部合わせの部分が最先端となり直線的・端部に 穿孔・切り取り部は遺存していない
25	49	第3面 遺構166	木製品 工具	[18.7]	[1.5]	0.9	g:錐の柄・側面丁寧な整形
25	50	第3面 遺構166	木製品 部材	13.7	1.1	1.85	g:両端に小孔あり・仕口が残る
25	51	第3面 遺構166	木製品 部材	[13.5]	3.9	0.75	g:端部焼痕
25	52	第3面 遺構166	木製品 部材	[19.0]	[4.3]	2.8	g:端部焼痕・仕口が残る
25	53	第3面 遺構166	木製品 部材	[22.8]	2.4	1.4	g:端部に仕口が残る
25	54	第3面 遺構166	木製品 部材	[17.9]	[3.5]	1.7	g:端部焼痕
25	55	第3面 遺構166	木製品 部材	[16.6]	[3.2]	0.9	g:端部焼痕
25	56	第3面 遺構166	木製品 部材	21.2	3.0	1.4	g:側面にまばらな間隔で4ヶ所圧痕が残る
25	57	第3面 遺構166	木製品 部材	[20.7]	[4.1]	2.3	g:遺存状態が悪く形状不明
25	58	第3面 遺構166	木製品 形代か	[11.2]	[1.15]	0.8	g:形代か・陽物(両端とも亀頭部に見える)・側面丁寧な整形
25	59	第3面 遺構166	木製品 用途不明	[20.3]	1.3	0.45	g:篋として使用か
25	60	第3面 遺構166	木製品 用途不明	[14.8]	[1.3]	[0.7]	g:部材か
25	61	第3面 遺構166	木製品 用途不明	[9.9]	[2.15]	0.65	
25	62	第3面 遺構166	木製品 用途不明	[10.0]	3.2	0.4	g:側面に線刻が入る
25	63	第3面 遺構166	木製品 用途不明	[14.0]	[3.9]	0.6	g:端部焼痕
25	64	第3面 遺構166	木製品 用途不明	[31.8]	4.8	0.7	
26	65	第3面 遺構167	木製品 礎板	[23.6]	5.9	2.5	g:建材の転用品・柱目材使用
26	66	第3面 遺構169	常滑 片口鉢I類			[4.2]	a:輪積み→口口 b:灰色 砂粒・白色粒・長石・石英 c:灰色 d:口縁部内面 に自然降灰 e:硬質 f:口縁部片 g:6b型式
26	67	第3面 遺構177	木製品 箸状	23.4	0.55	0.45	g:断面不整形 丁寧な整形
26	68	第3面 遺構177	木製品 箸状	25.8	0.65	0.4	g:断面方形
26	69	第3面 遺構179	かわらけ	(8.8)	(7.1)	1.7	a:口口・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ不明 b:微砂・雲母・海綿骨針・粉 質気味良土 c:暗褐色 e:やや不良 f:1/6

出土遺物観察表

図版番号	枝番	出土層位 出土層位	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容
				単位:cm/( ):復元値	[ ]:残存値		
26	70	第3面 遺構179	常滑 片口鉢Ⅰ類			[2.8]	a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考 a:輪積み輪積み→口ク口 b:灰色 砂粒・白色粒・黒色粒・長石・石英 c:灰色 d:口唇と口縁部内面に自然降灰 e:硬質 f:口縁部片 g:6a型式
26	71	第3面 遺構179	常滑 甕			[5.3]	a:輪積み b:青灰色 砂粒・白色粒・黒色粒・長石・石英 c:黒褐色 d:口縁部と 肩部に自然降灰 e:硬質 f:口縁部片 g:6a型式
26	72	第3面 遺構179	木製品 箸状	[23.7]	0.6	0.45	g:丁寧な整形
26	73	第3面 遺構179	木製品 用途不明	[35.8]	2.7	0.5	g:端部折取り痕
26	74	第3面 遺構179	木製品 用途不明	[37.4]	4.05	0.5	
27	75	第3面 遺構335	かわらけ	(8.1)	(6.4)	1.5	a:手づくね 体部外面下位指頭痕→ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒多・泥岩粒・砂質気味 c:橙色 e:やや甘い f: 1/4
27	76	第3面 遺構335	かわらけ	(9.0)	(6.8)	1.9	a:口ク口・外底回転系切・板状圧痕強・内底ナデ強 b:微砂・雲母多・海綿骨針・ 赤色粒・白色粒・泥岩粒・やや粗土 c:灰黄色 e:やや不良 f:1/6 内底面一部 黒色に変色
27	77	第3面 遺構335	かわらけ	(12.6)	(9.8)	2.9	a:口ク口・外底回転系切・板状圧痕強・内底ナデ強 b:微砂多・雲母多・海綿骨 針・赤色粒多・白色粒・泥岩粒多・小石粒・砂質粗土 c:黄褐色 e:良好 f:1/3 a:口ク口・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母多・海綿骨針・赤 色粒・泥岩粒・小石粒・砂質気味粗土 c:黄褐色 e:やや甘い f:1/3 内底面に油 煤痕付着 灯明皿か
27	78	第3面 遺構335	かわらけ	(13.2)	(7.2)	3.2	
27	79	第3面 遺構335	青磁 碗	(15.2)		[2.3]	a:口ク口 b:灰色 黒色粒・精良緻密土 d:灰青色半透明釉をやや厚く施釉 e: 堅緻 f:口縁部片 g:大宰府碗Ⅱ類 内面無文 外面鎊連弁文 龍泉蓋
27	80	第3面 遺構335	常滑 壺	(5.2)		[2.8]	a:輪積み b:灰色 砂粒・白色粒・黒色粒・小石粒 c:灰褐色 d:内底部と頸部 に自然降灰 e:硬質 f:口縁部片
27	81	第3面 遺構335	漆製品 皿		7.4	[0.6]	g:内外面黒色漆髹漆・内面赤色系漆の漆絵・手描き・笹文・無高台
27	82	第3面 遺構335	漆製品 膳	[5.9]	[3.0]	[0.9]	g:焼痕あり 小片
27	83	第3面 遺構335	木製品 箸状	18.7	0.6	0.4	g:断面方形
27	84	第3面 遺構335	木製品 箸状	21.3	0.65	0.4	g:断面方形
27	85	第3面 遺構335	木製品 箸状	21.8	0.6	0.5	g:断面方形
27	86	第3面 遺構335	木製品 箸状	23.2	0.5	0.5	g:断面円形 丁寧な整形
27	87	第3面 遺構335	木製品 箸状	[22.1]	1.0	0.6	g:断面楕円形・丁寧な整形
27	88	第3面 遺構335	木製品 棒状	18.0	0.6	0.4	g:断面方形
27	89	第3面 遺構335	木製品 棒状	18.5	0.7	0.6	g:断面方形
27	90	第3面 遺構335	木製品 棒状	[20.0]	0.8	0.5	g:側面丁寧な整形
27	91	第3面 遺構335	木製品 草履芯	22.8	[3.8]	0.3	g:薬痕残る・側縁部直線的・端部合わせの部分最先端となり直線的・端部に 穿孔・切り取り部は遺存していない
27	92	第3面 遺構335	木製品 端材	6.0	4.3	2.6	
27	93	第3面 遺構335	木製品 端材	5.4	6.3	4.1	
27	94	第3面 遺構335	木製品 柱	[36.8]	13.9	11.0	g:ほぞ穴痕有り
27	95	第3面 遺構335	木製品 用途不明	15.2	6.0	1.5	g:端部加工痕 仕口か
27	96	第3面 遺構335	木製品 用途不明	9.2	10.2	0.5	g:両端を斜めに加工
27	97	第3面 遺構335	木製品 用途不明	14.6	4.05	1.1	g:断面楕円形 串状製品か
27	98	第3面 遺構335	木製品 用途不明	14.6	4.05	1.1	
27	99	第3面 遺構335	木製品 用途不明	15.1	5.8	3.3	g:端部加工痕 礎板転用品か
27	100	第3面 遺構335	木製品 用途不明	[28.4]	径1.6~2.2		g:自然木を加工・端部焼痕・稗杖の杖か
27	101	第3面 遺構335	木製品 用途不明	[28.5]	2.6	0.45	g:端部斜めに切断
27	102	第3面 遺構335	木製品 用途不明	[36.3]	[7.2]	1.0	g:調度具か・側面裝飾的に整形痕
28	103	第3面 遺構337	かわらけ	12.3		3.4	a:手づくね 体部外面下位指頭痕→ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒・白色粒・泥岩粒・粉質やや粗土 c:灰褐色 e: 良好 f:ほぼ完形 内外面黒く変色
28	104	第3面 遺構337	かわらけ	(12.6)		3.3	a:手づくね 体部外面下位指頭痕→ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒多・泥岩粒・粉質やや粗土 c:橙色 e:良好 f: 1/4 内面一部黒く変色
28	105	第3面 遺構337	かわらけ	(8.2)	(6.3)	2.1	a:口ク口・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・ 土丹粒・砂質気味やや粗土 c:黄灰色 e:やや甘い f:1/3・全体的に黒く変色
28	106	第3面 遺構337	かわらけ	8.4	6.8	1.6	a:口ク口・外底回転系切・板状圧痕強・内底ナデ b:微砂多・雲母・白色粒・土丹 粒・砂質やや粗土 c:黄灰色 e:良好 f:1/2・全体的に黒く変色
28	107	第3面 遺構337	かわらけ	9.2	7.5	1.8	a:口ク口・外底回転系切・板状圧痕強・内底ナデ b:微砂多・雲母・海綿骨針・白 色粒・土丹粒・砂質やや粗土 c:黄灰色 e:良好 f:1/3・全体的に黒く変色
28	108	第3面 遺構337	かわらけ	(8.6)	(6.4)	1.4	a:口ク口・外底回転系切・板状圧痕強・内底ナデ b:微砂・雲母多・海綿骨針・赤 色粒・泥岩粒・やや砂質土 c:灰黄色 e:良好 f:1/3
28	109	第3面 遺構337	かわらけ	8.2	6.4	1.9	a:口ク口・外底回転系切・板状圧痕強・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・白 色粒・土丹粒・砂質気味やや粗土 c:黄灰色 e:良好 f:1/2・全体的に黒く変色
28	110	第3面 遺構337	かわらけ	12.1	8.2	2.9	a:口ク口・外底回転系切・板状圧痕強・内底ナデ強 b:微砂多・雲母・海綿骨針・ 赤色粒・白色粒・土丹粒・砂質やや粗土 c:黄褐色 e:良好 f:3/4 部分的に黒 く変色



出土遺物観察表

図版 番号	枝番	出土層位 出土層位	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容
				単位:cm/( ):復元値	[ ]:残存値		
28	111	第3面 遺構337	かわらけ	(11.8)	(7.8)	3.1	a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考 a:口ウロ・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂多・雲母・海綿骨針・赤色 粒・白色粒・土丹粒・砂質やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/4部分的に黒く変 色
28	112	第3面 遺構337	かわらけ	(11.7)	(7.9)	3.3	a:口ウロ・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂多・雲母・赤色粒・白色 粒・土丹粒・砂質やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/4部分的に黒く変色
28	113	第3面 遺構337	漆製品 椀	(17.2)	7.1	(3.5)	g:内外面黒色漆髹漆・無文・輪高台・薄手の器壁
28	114	第3面 遺構337	木製品 箸状	23.7	0.7	0.5	g:断面円形 丁寧な整形
28	115	第3面 遺構337	木製品 箸状	23.9	0.6	0.4	g:断面方形
28	116	第3面 遺構337	木製品 箸状	24.0	0.6	0.3	g:断面方形
28	117	第3面 遺構337	木製品 箸状	23.6	0.8	0.4	g:断面方形
28	118	第3面 遺構337	木製品 箸状	23.4	0.5	0.3	g:断面方形
28	119	第3面 遺構337	木製品 箸状	23.7	0.7	0.3	g:断面方形
28	120	第3面 遺構337	木製品 箸状	23.6	0.7	0.4	g:断面方形
28	121	第3面 遺構337	木製品 箸状	23.1	0.7	0.4	g:断面楕円形 端部焼痕
28	122	第3面 遺構337	木製品 箸状	22.9	0.7	0.4	g:断面方形 丁寧な整形
28	123	第3面 遺構337	木製品 箸状	22.1	0.5	0.4	g:断面円形 丁寧な整形
28	124	第3面 遺構337	木製品 箸状	22.2	0.5	0.4	g:断面円形 丁寧な整形
28	125	第3面 遺構337	木製品 箸状	23.7	0.7	0.5	g:断面不整形
28	126	第3面 遺構337	木製品 箸状	14.0	0.7	0.3	g:断面円形 丁寧な整形
28	127	第3面 遺構337	木製品 箸状	21.0	0.5	0.5	g:断面円形 丁寧な整形
28	128	第3面 遺構337	木製品 箸状	21.4	0.6	0.5	g:断面円形 丁寧な整形
28	129	第3面 遺構337	木製品 箸状	20.9	0.8	0.4	g:断面楕円形
28	130	第3面 遺構337	木製品 箸状	21.3	0.7	0.3	g:断面円形 丁寧な整形
28	131	第3面 遺構337	木製品 箸状	20.8	0.6	0.55	g:断面円形 丁寧な整形
28	132	第3面 遺構337	木製品 箸状	21.9	0.6	0.5	g:断面円形 丁寧な整形
28	133	第3面 遺構337	木製品 箸状	19.8	0.6	0.5	g:断面円形 丁寧な整形
28	134	第3面 遺構337	木製品 箸状	18.3	0.7	0.5	g:断面円形 丁寧な整形
28	135	第3面 遺構337	木製品 箸状	15.2	0.8	0.3	g:断面方形
28	136	第3面 遺構337	木製品 箸状	15.6	0.6	0.5	g:断面不整形
28	137	第3面 遺構337	木製品 箸状	11.1	0.7	0.4	g:断面不整形
28	138	第3面 遺構337	木製品 箸状	11.1	0.7	0.4	g:断面楕円形
28	139	第3面 遺構337	木製品 串状	28.4	1.0	0.6	g:端部鋭角に整形 丁寧な整形
28	140	第3面 遺構337	木製品 経木折敷	24.3	[5.9]	0.2	g:側縁部小孔
28	141	第3面 遺構337	木製品 経木折敷	14.3	[3.1]	0.15	g:小孔あり
28	142	第3面 遺構337	木製品 用途不明	[19.5]	[0.7]	0.3	g:判読不明の墨痕・断面方形
28	143	第3面 遺構337	木製品 用途不明	[22.9]	[5.7]	0.3	g:盆か・一部に装飾的な加工痕残る
28	144	第3面 遺構337	木製品 板草履芯	22.9	9.6	0.3	f:ほぼ完形 g:表裏に墨痕・側縁部—グビーボール状に曲線的・端部—合わせ 部分が最先端となり側縁部にかけて丸みを帯びる・端部小孔
28	145	第3面 遺構337	木製品 板草履芯	[11.2]	7.6	0.2	g:墨痕・側縁部—ラグビーボール状に曲線的・端部—合わせ部分が最先端とな り側縁部にかけて丸みを帯びる・端部小孔・子供用か
28	146	第3面 遺構337	木製品 板草履芯	[15.9]	5.0	0.3	g:墨痕・側縁部—ラグビーボール状に曲線的・端部—合わせ部分が最先端とな り側縁部にかけて丸みを帯びる・幅は半分の寸法
29	147	第3面 遺構337	木製品 用途不明	[9.6]	1.7	1.8	g:人形代か、丁寧な整形痕
29	148	第3面 遺構337	木製品 用途不明	[15.0]	2.0	0.6	g:装身具の刀子の柄か・穿孔あり(目釘加工か)
29	149	第3面 遺構337	木製品 篋状	17.8	1.3	0.9	g:端部鋭角に整形
29	150	第3面 遺構337	木製品 篋状	16.2	1.5	0.8	g:端部平らに成形 断面方形 雑な整形
29	151	第3面 遺構337	木製品 篋状	[17.6]	1.0	0.6	g:端部平らに成形 断面方形
29	152	第3面 遺構337	木製品 杭	[18.9]	2.0	1.0	g:端部鋭角に整形 丁寧な整形
29	153	第3面 遺構337	木製品 用途不明	22.6	2.5	0.5	g:染・紡織具の杼か



出土遺物観察表

図版 番号	枝番	出土層位 出土層位	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容 a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考
				単位:cm/( ):復元値	[ ]:残存値		
29	154	第3面 遺構337	木製品 用途不明	[21.5]	[3.4]	0.5	g:全体に焼痕
29	155	第3面 遺構337	木製品 用途不明	[14.25]	2.0	0.7	g:片端を斜めに整形
29	156	第3面 遺構337	木製品 用途不明	13.7	2.5	0.8	g:端部焼痕
29	157	第3面 遺構337	木製品 用途不明	11.1	2.7	0.6	
29	158	第3面 遺構337	木製品 用途不明	8.6	1.7	0.8	
29	159	第3面 遺構337	木製品 用途不明	10.0	1.3	0.4	g:端部斜めに整形 籠状製品か
29	160	第3面 遺構337	木製品 用途不明	[11.1]	0.9	0.4	g:両端部鋭角に整形
29	161	第3面 遺構337	木製品 用途不明	[9.0]	1.4	0.7	g:端部丁寧な整形痕
29	162	第3面 遺構337	木製品 用途不明	8.4	1.1	0.4	g:端部鋭角に整形
29	163	第3面 遺構337	木製品 用途不明	11.1	2.7	0.6	g:端部鋭角に整形
29	164	第3面 遺構337	木製品 用途不明	9.7	1.9	0.3	g:端部鋭角に整形
29	165	第3面 遺構337	木製品 用途不明	[28.2]	[1.5~2.1]	[1.2~2.15]	g:四隅を面取り整形している
29	166	第3面 遺構337	木製品 用途不明	21.3	0.6	0.3	g:両端部斜めに切断
29	167	第3面 遺構337	木製品 棒状	19.2	1.0	0.4	g:端部焼痕
29	168	第3面 遺構337	木製品 棒状	16.1	0.7	0.5	g:断面方形
29	169	第3面 遺構337	木製品 棒状	17.3	0.8	0.3	g:断面かまぼこ型
29	170	第3面 遺構337	木製品 棒状	16.7	1.0	0.5	g:断面方形
29	171	第3面 遺構337	木製品 棒状	17.9	0.7	0.5	g:断面方形
29	172	第3面 遺構337	木製品 棒状	[17.9]	0.8	0.7	g:断面かまぼこ型
29	173	第3面 遺構337	木製品 棒状	[20.6]	1.1	0.5	g:端部と胴部に2箇所焼痕・火きり棒か
29	174	第3面 遺構337	木製品 棒状	[18.9]	1.1	1.0	g:断面円形 丁寧な整形
29	175	第3面 遺構337	木製品 棒状	12.7	0.45	0.6	g:断面方形
29	176	第3面 遺構337	木製品 棒状	[22.9]	0.8	0.4	g:断面楕円形
29	177	第3面 遺構337	木製品 棒状	23.9	0.7	0.5	g:断面方形
29	178	第3面 遺構337	木製品 棒状	15.0	0.8	0.6	g:断面方形
29	179	第3面 遺構337	木製品 棒状	15.1	0.5	0.4	g:断面方形
29	180	第3面 遺構337	木製品 棒状	[11.1]	0.7	0.5	g:断面方形
29	181	第3面 遺構337	木製品 棒状	15.4	0.8	0.35	g:端部斜めに整形
29	182	第3面 遺構337	木製品 棒状	14.0	0.7	0.3	g:断面方形
29	183	第3面 遺構337	木製品 棒状	11.3	0.6	0.3	g:断面方形
29	184	第3面 遺構337	木製品 棒状	11.2	0.8	0.4	g:断面方形
29	185	第3面 遺構337	木製品 棒状	[11.1]	0.7	0.5	g:断面台形
29	186	第3面 遺構337	木製品 棒状	9.4	0.8	0.9	g:断面方形
29	187	第3面 遺構337	木製品 棒状	9.2	1.0	0.5	g:断面方形
29	188	第3面 遺構337	木製品 棒状	8.5	0.7	0.3	g:断面台形
29	189	第3面 遺構337	木製品 棒状	6.7	1.1	0.7	g:断面楕円形 丁寧な整形
29	190	第3面 遺構337	木製品 用途不明	[15.1]	1.15	0.1	g:自然木加工品・両端を斜めに整形
29	191	第3面 遺構337	漆製品 用途不明	[13.5]	[1.2]	0.6	g:黒色漆髹漆・部材か
29	192	第3面 遺構337	漆製品 用途不明	(32.3)	1.95	0.6	g:調度具部材か・黒色漆髹漆・片端部に仕口が残る
30	193	第3面 遺構345	須恵器 壺				a:外面:平行状のタタキ 内面:ナデ b:暗赤褐色 白色粒・密 c:暗灰色 e:良好・硬質 f:胴部片 g:関東系
30	194	第3面 遺構346	木製品 礎板	23.1	10.3	3.0	g:不整形・筋状に圧痕
30	195	第3面 遺構346	木製品 礎板	25.3	11.4	3.5	g:両面に圧痕残る
30	196	第3面 遺構348	木製品 礎板	14.0	7.5	1.2	g:端部焼痕
30	197	第3面 遺構348	木製品 建材	27.9	2.7	5.8	g:端部仕口痕

出土遺物観察表

図版 番号	枝番	出土層位 出土層位	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容
				単位:cm/( ):復元値	[ ]:残存値	a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考	
30	198	第3面 遺構351	木製品 礎板	[15.5]	[12.5]	3.2	g: 片面に刃物痕
30	199	遺構351	木製品 礎板	18.6	13.4	2.5	g: 一部折取り痕
30	200	第3面 遺構352	かわらけ	(9.1)		1.6	a: 手づくね 体部外面下位指頭痕→内外面体部ヨコナデ・内底ナデ b: 微砂・雲母・海綿骨針・粉質良土 c: 灰黄色 e: 良好 f: 1/4・内面全体的に黒く変色
30	201	第3面 遺構352	かわらけ	(12.8)		3.3	a: 手づくね 体部外面下位指頭痕→内外面体部ヨコナデ・内底ナデ b: 微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒・粉質良土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 1/3
30	202	第3面 遺構352	かわらけ	13.2		3.6	a: 手づくね 体部外面下位指頭痕→ナデ消し・板状圧痕か内外面体部ヨコナデ・内底ナデ b: 微砂・雲母・海綿骨針・粉質良土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 4/5 g: 内外面一部黒く変色・歪み激しい
30	203	第3面 遺構352	常滑 甕			[5.4]	a: 輪積み b: 暗灰色 砂粒多・白色粒多・黒色粒・小石粒・長石 c: 暗褐色 d: 口縁部と肩部に自然降灰 e: 硬質 f: 口縁部片 g: 5~6a型式
30	204	第3面 遺構352	常滑 甕			[2.8]	a: 輪積み b: 黄灰色 砂粒・黒色粒・小石粒 c: 茶褐色 d: 口縁部内面に自然降灰 e: 硬質 f: 口縁部片 g: 4型式
31	205	第3面 遺構353	木製品 礎板	18.2	7.6	3.4	g: 建材の転用品・柱目材使用
31	206	第3面 遺構353	木製品 杭	[36.1]	6.3	0.9	g: 釘痕・端部鋭角に整形
31	207	第3面 遺構353	木製品 杭	[36.1]	6.3	0.9	g: 釘痕・端部鋭角に整形
31	208	第3面 遺構356	木製品 礎板	17.0	13.7	2.5	g: 一部折取り痕
31	209	第3面 遺構356	木製品 礎板	17.5	13.7	5.1	g: 手斧痕あり・図38-58・59と接合
31	210	第3面 遺構358	木製品 礎板	43.2	11.6	3.5	g: 建材の転用品・柱目材使用 ・図38-57と接合
31	211	第3面 遺構358	木製品 箸状	[20.6]	0.8	0.5	g: 断面楕円形・丁寧な整形
31	212	第3面 遺構358	木製品 棒状	[15.1]	0.8	0.5	g: 端部焼痕・火きり棒か
31	213	第3面 遺構358	木製品 棒状	[14.1]	1.4	0.7	g: 丁寧に角を面取り整形
31	214	第3面 遺構358	木製品 用途不明	[7.4]	径1.5		g: 自然木を加工・端部斜めに切断
32	215	第3面 遺構372	木製品 下駄	17.5	8.6	1.0	g: 連歯下駄 遺存状況を観察すると、前歯があった痕跡がない。前歯があったと考えられる辺に小孔が2か所開き、前歯を釘で固定して使用したのか。ただし、小孔のうち一つは貫通していない・板目材使用
32	216	第3面 遺構372	木製品 礎板	14.5	8.5	1.9	g: 端部円形に加工した痕跡あり
32	217	第3面 遺構375	木製品 礎板	17.5	13.5	3.1	g: 片面に平行した2本の割りが入る
32	218	第3面 遺構377	木製品 杭	[31.7]	3.4	2.2	g: 断面方形 端部鋭角に整形
32	219	第3面 遺構378	常滑 甕			[4.6]	a: 輪積み b: 灰色 砂粒・白色粒・長石・石英 c: 黒灰色 d: 口縁部外面に自然降灰 e: 硬質 f: 口縁部片 g: 6a~6b型式
33	1	第3面 面上	かわらけ	(13.1)	—	3.0	a: 手づくね 体部外面下位指頭痕→内外面体部ヨコナデ・内底ナデ b: 微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒・泥岩粒・粉質気味やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 1/2
33	2	第3面 面上	かわらけ	(8.2)	(5.8)	1.9	a: ロク口・外底回転系切→ナデ消しか・板状圧痕不明・内底ナデ b: 微砂多・雲母・海綿骨針・赤色粒・白色粒・泥岩粒・砂質気味やや粗土 c: 淡黄橙色 e: 良好 f: 1/3
33	3	第3面 面上	かわらけ	(7.9)	(6.0)	1.7	a: ロク口・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒・泥岩粒 砂質気味やや良土 c: 黄橙色 e: 良好 f: ほぼ完形 g: 口唇部に煤痕か部分的に黒く変色・灯明皿か
33	4	第3面 面上	常滑 片口鉢Ⅰ類			[4.9]	a: 輪積み→ロク口調整 b: 砂粒・白色粒・小石粒 c: 明灰色 e: 硬質 f: 口縁部片 g: 6a型式
33	5	第3面 面上	亀山 甕				a: 外面格子叩き文 b: 灰色(胎動あり) 白色粒 c: 暗灰色 e: 硬質 f: 胴部片
33	6	第3面 面上	瓦 丸瓦	[18.7]	[10.2]	2.6~2.8	a: 凸面: 縄目叩き→縦方向のへら削りとナデ消し 凹面: 布目痕・糸切り痕 側面の他に凹凸部側縁共に3面へら削りで面取り(面取り幅広い) b: 灰色 微砂・黒色粒・良土 d: 黒灰色 e: 硬質 g: 永福寺A類Ⅰ~Ⅱ期
33	7	第3面 面上	金属製品 銅銭	外径1.64・孔径0.58・厚0.08			f: 擦り銭 g: 祥符通寶 真書 初铸年: 北宋1008年 周縁擦り
33	8	第3面 面上	木製品 礎板	22.5	15.1	5.0	g: 二条の段が入るが、加工痕か不明
33	9	第3面 面上	木製品 礎板	14.4	6.8	1.9	g: 一部焼痕・刃物痕多く残る 一部線状に割りが入る
33	10	第3面 構成土	かわらけ	(8.0)	—	1.4	a: 手づくね 体部外面下位指頭痕→内外面体部ヨコナデ・内底ナデ b: 微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒・良土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 1/4
33	11	第3面 構成土	かわらけ	(9.0)	(7.1)	1.6	a: ロク口・外底回転系切(回転速度遅め)・板状圧痕不明・内底ナデ b: 微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒・粉質気味やや良土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 1/3
33	12	第3面 構成土	かわらけ	10.1	5.5	3.2	a: ロク口 外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒・粉質精良土 c: 淡黄橙色 e: 良好 f: 2/3 g: 薄手丸深型・口唇部に油煤痕・灯明皿
33	13	第3面 構成土	常滑 片口鉢Ⅱ類			[3.7]	a: 輪積み b: 灰色 砂粒・白色粒・黒色粒 c: 褐色 d: 口縁部内面に自然降灰 e: 良好・硬質 f: 口縁部片 g: 7~8型式
33	14	第3面 構成土	木製品 篋状	[17.1]	[1.1]	[0.7]	g: 断面楕円形
33	15	第3面 構成土	木製品 棒状	[22.2]	0.6	0.4	g: 断面方形
33	16	第3面 構成土	木製品 礎板	18.0	11.5	3.0	g: 建材転用品・一部に割りが入る
35	1	第4面 遺構181	かわらけ	(12.7)	(7.8)	3.4	a: ロク口・外底回転系切・底部欠損の為、板状圧痕・内底ナデ不明 b: 微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒・泥岩粒 弱粉質気味やや粗土 c: 灰黄色 e: 良好 f: 1/4
35	2	第4面 遺構181	青磁 皿		(4.6)	[1.2]	a: ロク口 b: 淡灰色 黒色粒・精良緻密土 d: 灰黄緑色透明釉を全面施釉後、底部外面の釉を掻き取り・気泡・気孔 e: 堅緻 f: 底部1/5 g: 大宰府Ⅱ-2b類 内面見込みに櫛搔文 外面無文 同安窯系

出土遺物観察表

図版 番号	枝番	出土層位 出土層位	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容 a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考
				単位:cm/( ):復元値 [ ]:残存値			
35	3	第4面 遺構182	木製品 礎板	17.3	10.3	4.5	g:中央に納穴あり・建材転用品
35	4	第4面 遺構187	木製品 板折敷	26.8	[14.7]	0.3	g:側縁小孔
35	5	第4面 遺構187	木製品 板折敷	27.8	26.3	0.2	g:中央に刃物痕・側縁四周中央に小孔
35	6	第4面 遺構187	木製品 箸状	25.0	0.7	0.4	g:遺存状態が悪い
35	7	第4面 遺構187	木製品 箸状	24.0	0.8	0.7	g:断面不整形
35	8	第4面 遺構187	木製品 箸状	23.8	0.7	0.4	g:断面方形
35	9	第4面 遺構187	木製品 箸状	22.5	0.7	0.4	g:断面方形
35	10	第4面 遺構187	木製品 箸状	22.6	0.6	0.4	g:断面不整形
35	11	第4面 遺構187	木製品 箸状	23.7	0.5	0.4	g:断面不整形
35	12	第4面 遺構187	木製品 箸状	22.3	0.7	0.6	g:断面方形
35	13	第4面 遺構187	木製品 箸状	22.2	0.8	0.6	g:断面不整形
35	14	第4面 遺構187	木製品 箸状	19.3	0.5	0.6	g:断面不整形
35	15	第4面 遺構187	木製品 棒状	18.3	0.8	0.5	g:両端部斜めに整形
35	16	第4面 遺構187	木製品 棒状	13.0	0.6	0.4	g:片端部斜めに整形
35	17	第4面 遺構187	木製品 棒状	10.4	0.6	0.3	g:断面かまぼこ型
35	18	第4面 遺構187	木製品 棒状	13.1	0.6	0.5	g:断面方形
35	19	第4面 遺構187	木製品 棒状	14.0	0.8	0.5	g:断面方形
35	20	第4面 遺構187	木製品 棒状	14.2	0.8	0.3	g:断面方形
35	21	第4面 遺構187	木製品 棒状	15.6	0.8	0.5	g:断面方形
35	22	第4面 遺構187	木製品 棒状	16.1	0.7	0.4	g:断面方形
36	23	第4面 遺構187	木製品 棒状	17.2	0.9	0.6	g:断面方形
36	24	第4面 遺構187	木製品 棒状	17.2	0.9	0.6	g:断面方形
36	25	第4面 遺構187	木製品 棒状	17.6	0.9	0.6	g:片端部斜めに整形
36	26	第4面 遺構187	木製品 棒状	18.1	0.7	0.7	g:断面方形
36	27	第4面 遺構187	木製品 棒状	20.1	0.6	0.6	g:断面方形
36	28	第4面 遺構187	木製品 棒状	19.8	0.9	0.6	g:断面方形
36	29	第4面 遺構187	木製品 杭状	34.3	1.7	1.7	g:端部焼痕・自然木を整形
36	30	第4面 遺構187	木製品 曲物	[42.8]	[12.7]	1.4	g:曲物底板・径約42.8cm・断面釘痕
36	31	第4面 遺構187	木製品 用途不明	[57.7]	[6.6]	1.5	g:側面装飾的に整形を試みた痕跡
36	32	第4面 遺構187	木製品 用途不明	25.0	2.9	0.7	g:釘痕・メモリ状の線刻あり→物差しとして使用か。上端から3.3cm-4.65cm-3.05cm-4.65cm-3.05cm-4.65cm-1.6cmの間隔で刻みが入る。1寸又は1寸半の間尺で使用か。
36	33	第4面 遺構187	漆製品 櫛	[3.9]	[2.5]	1.0	g:黒色漆髹漆・1cm幅に4~5本の歯・梳櫛
36	34	第4面 遺構187	木製品 端材	11.5	11.1	2.9	g:建材か
37	35	第4面 遺構201	木製品 礎板	15.3	10.6	7.0	g:建材転用品 仕口が残る
37	36	第4面 遺構206	かわらけ	(14.4)	—	[3.1]	a:手づくね 体部外面下位指頭痕→内外面体部ヨコナデ・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒・小石粒・やや粗土 c:暗黄橙色 e:良好 f:1/4
37	37	第4面 遺構206	かわらけ	(6.7)	(6.0)	1.8	a:口ク口・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒・泥岩粒 やや粗土 c:橙~赤橙色 e:良好 f:1/5
37	38	第4面 遺構206	木製品 板杓子	20.0	7.1	[0.5~0.9]	
37	39	第4面 遺構206	木製品 礎板	17.7	12.6	2.75	g:建材転用品
37	40	第4面 遺構213	木製品 曲物	径8.6		0.5	g:曲物底板
37	41	第4面 遺構213	木製品 曲物	径8.6		0.7	g:曲物底板
37	42	第4面 遺構213	木製品 用途不明	8.0	3.0	[1.2]	g:中央付近に線刻あり・厚みが一定しないのは遺存状態が悪く木材が痩せてしまった為
37	43	第4面 遺構213	木製品 用途不明	[2.6]	3.9	0.8	g:調度具部材か・端部丁寧な成形
37	44	第4面 遺構213	木製品 用途不明	3.0	3.4	1.2	g:調度具部材か・端部丁寧な成形
37	45	第4面 遺構213	木製品 用途不明	[9.4]	1.8	0.6	g:端部・側面丁寧な整形痕

出土遺物観察表

図版 番号	枝番	出土層位 出土層位	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容
				単位:cm/( ):復元値	[ ]:残存値	a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考	
37	46	第4面 遺構213	木製品 用途不明	[7.4]	[1.7]	[0.6]	g: 端部焼痕
37	47	第4面 遺構213	木製品 用途不明	[6.8]	[2.6]	[1.6]	g: 加工途中か
37	48	第4面 遺構213	木製品 礎板	15.5	[11.6]	[3.5]	g: 建材転用品・一部に削りが入る
37	49	第4面 遺構213	木製品 部材	15.4	4.4	[1.7]	
37	50	第4面 遺構213	木製品 部材	19.7	1.9	1.3	
37	51	第4面 遺構213	木製品 杭	[19.2]	2.0	0.3	g: 端材・先端斜めに削り出し
37	52	第4面 遺構213	木製品 杭	[15.5]	[1.7]	[0.7]	g: 端部鋭角に整形
37	53	第4面 遺構213	木製品 用途不明	19.5	4.5	[1.2]	g: 片面一部に圧痕あり・紐状の痕跡
37	54	第4面 遺構213	木製品 串状	24.4	1.1	1.0	g: 丁寧な整形
38	55	第4面 遺構216	木製品 用途不明	[21.6]	[2.6]	[1.5]	g: 端部鋭角に整形・杭か
38	56	第4面 遺構218	木製品 用途不明	[9.8]	[6.8]	1.35	g: 側面丁寧な面取り整形
38	57	第4面 遺構220	木製品 礎板	27.0	11.3	3.5	g: 建材の転用品・柱目材使用 図31-210と接合
38	58	第4面 遺構225	木製品 礎板	17.6	13.8	2.4	g: 柱痕か、板上に線状の圧痕が残る 図31-209・図38-59と接合
38	59	第4面 遺構225	木製品 礎板	[22.6]	[13.5]	2.7	g: 板目材使用 図31-209・図38-58と接合
38	60	第4面 遺構230	木製品 礎板	21.5	19.8	2.0	g: 手斧痕あり
38	61	第4面 遺構229	木製品 曲物	[9.8]	[3.9]	0.55	g: 曲物底板・片面に刃物痕
39	62	第4面 遺構395	木製品 杭	[59.7]	6.5	3.2	g: 先端四方から鋭角に整形・端部焼痕
39	63	第4面 遺構401	木製品 礎板	19.2	4.1	4.6	g: 建材の転用品・仕口が残る
39	64	第4面 遺構401	木製品 礎板	12.4	7.2	3.3	g: 建材の転用品
40	1	表探	かわらけ	(8.8)	—	2.1	a: 手づくね 体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・海綿骨針・やや良土 c: 黄橙色 e: やや甘い f: 1/4
40	2	表探	かわらけ	7.45	5.7	1.55	a: ロク口・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒・泥岩粒・粉質気味やや良土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 3/5
40	3	表探	かわらけ	(8.4)	6.4	1.5	a: ロク口・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂多・雲母多・海綿骨針・砂質気味やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 1/3
40	4	表探	かわらけ	7.4	4.8	1.65	a: ロク口・外底回転系切・板状圧痕強・内底ナデ b: 微砂多・雲母・海綿骨針・赤色粒・泥岩粒・砂質気味やや粗土 c: 赤橙色 e: 良好 f: ほぼ完形
40	5	表探	かわらけ	(7.6)	5.5	1.7	a: ロク口・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒・泥岩粒・小石粒・粉質気味やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 1/2
40	6	表探	かわらけ	7.5	5.6	1.85	a: ロク口・外底回転系切・板状圧痕強・内底ナデ b: 微砂多・雲母・海綿骨針・赤色粒・泥岩粒・砂質気味やや粗土 c: 橙色 e: 良好 f: ほぼ完形
40	7	表探	かわらけ	7.9	5.6	1.65	a: ロク口・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂多・雲母・海綿骨針・赤色粒・泥岩粒・砂質気味やや粗土 c: 灰黄色 e: 良好 f: 3/5
40	8	表探	かわらけ	7.5	5.0	2.05	a: ロク口・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒・泥岩粒・小石粒・粉質気味やや粗土 c: 黄橙色 e: やや甘い f: 3/4
40	9	表探	かわらけ	(11.4)	(6.7)	2.7	a: ロク口・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・雲母多・海綿骨針・赤色粒・白色粒・泥岩粒多・砂質気味やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 1/4
40	10	表探	かわらけ	12.7	8.2	3.2	a: ロク口・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ強 b: 微砂多・雲母・海綿骨針・赤色粒・泥岩粒・小石粒・砂質気味粗土 c: 淡橙色 e: 良好 f: 5/6
40	11	表探	青磁 碗	(16.9)		[4.3]	a: ロク口 b: 明灰色 黒色粒・精良緻密土 d: 暗灰黄緑色透明釉を薄く施釉・気孔・貫入 e: 堅緻 f: 口縁部片 g: 大宰府柳Ⅱ類 内面無文 外面鑄蓮弁文龍泉窯
40	12	表探	青磁 小碗	(10.2)		[3.1]	a: ロク口 b: 明灰色 黒色粒・精良緻密土 d: 暗灰黄緑色透明釉を薄く施釉・気孔・貫入 e: 堅緻 f: 口縁部片 g: 大宰府小碗Ⅲ類 外面体部下位に線刻あり龍泉窯
40	13	表探	青磁 碗			[3.0]	a: ロク口 b: 灰白色 黒色粒・精良緻密土 d: 黄味緑灰色透明釉を薄く施釉・内面に貫入 e: 堅緻 f: 口縁部片 g: 大宰府柳Ⅱ類 内面無文 外面蓮弁文龍泉窯
40	14	表探	青磁 碗		(4.0)	[2.3]	a: ロク口 b: 灰白色 黒色粒・精良緻密土 d: 青緑色透明釉を厚く施釉・気泡 e: 堅緻 f: 底部片 g: 大宰府大宰府柳Ⅲ類 内面無文 外面蓮弁文龍泉窯
40	15	表探	青磁 折腰鉢(坏)			[2.2]	a: ロク口 b: 灰白色 黒色粒・精良緻密土 d: 緑灰色透明釉を厚く施釉・気泡 e: 堅緻 f: 底部片 g: 大宰府坏Ⅲ-1類 内外面無文
40	16	表探	白磁 口兀皿	(11.4)		[2.8]	a: ロク口 b: 灰白色 黒色粒・精良緻密土 d: 乳灰白色不透明釉を薄く施釉・気孔・貫入 e: 堅緻 f: 口縁部1/4 g: 大宰府白磁皿Ⅺ類
40	17	表探	白磁 器種不明	(11.4)		[2.8]	a: ロク口 b: 灰白色 黒色粒・精良緻密土 d: 乳灰白色不透明釉を薄く施釉・気孔 e: 堅緻 f: 底部1/6 g: 脚の痕跡あるとすれば香炉・ない場合小壺か
40	18	表探	青白磁 梅瓶			[6.2]	a: ロク口 b: 灰白色 黒色粒・精良緻密土 c: 灰白色 d: 水青色透明を薄く施釉 e: 硬質 f: 胴部片 g: 牡丹唐草文型押し
40	19	表探	瀬戸 入子	(7.0)	4.3	[2.5]	a: ロク口 外底面回転系切り後一へう整形 b: 淡黄白色 微砂・小石粒含む粉質土 c: 淡黄白色～淡黄褐色 e: やや軟質 f: 口縁部一部～底部3/4 g: 中期口唇部をへうで輪花状
40	20	表探	瀬戸 入子	(4.3)	(3.2)	0.9	a: ロク口 外底面回転系切り後一へう整形 b: 灰色 微砂・黒色粒・緻密 c: 灰色 d: 口唇部内外面に淡灰緑色の自然釉 e: 硬質 f: 1/5 g: 前期か
40	21	表探	瀬戸 卸皿			[2.5]	a: ロク口 b: 明灰色 砂礫わずか 良土 c: 明灰色 e: やや軟質 d: 口唇部～体部内面に淡灰緑～白色の灰釉ハケ塗りか自然釉か判別不明 f: 口縁部片 g: 前期後半～中期前半
40	22	表探	瀬戸 水注	(5.6)		[1.7]	a: 輪積み→ロク口 b: 灰色 黒色粒・白色粒・良土 c: 明灰色 d: 淡黄緑色の灰釉ハケ塗り・口唇部辺りは剥落 e: 硬質 f: 口縁部片 g: 前期後半～中期前半



出土遺物観察表

図版 番号	枝番	出土層位 出土層位	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容
				単位:cm/( ):復元値	[ ]:残存値	[ ]:残存値	
40	23	表探	瀬戸 柄付片口			[5.1]	a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考 a:口くろ b:淡黄色 砂礫わずか 粉っぽい良土 c:淡黄色 e:良好・やや軟質 d:黄灰白色の灰釉ハケ塗り一部分的に釉剥離し白濁 f:口縁部片 g:中期
40	24	表探	渥美 甕			[3.8]	a:輪積み b:灰色 砂粒・白色粒・小石粒 c:黒灰色 d:外面肩部に灰褐色釉を ハケ塗り、内面に自然降灰 e:硬質 f:口縁部片 g:2b型式か
40	25	表探	常滑 片口鉢Ⅰ類			[3.9]	a:輪積み→口くろ b:灰色 砂粒・白色粒・小石粒 c:灰色 e:硬質 f:口縁部 片 g:4型式か
40	26	表探	常滑 片口鉢Ⅰ類			[2.8]	a:輪積み→口くろ b:灰色 砂粒・黒色粒多・白色粒・長石・石英 c:灰色 d:口 縁部に自然降灰 e:硬質 f:口縁部片 g:6a型式
40	27	表探	常滑 片口鉢Ⅰ類			[2.1]	a:輪積み→口くろ b:灰色 砂粒・黒色粒・白色粒 c:灰色 e:硬質 f:底部片 g:調整より山茶碗と悩んだが、内面のマツ痕顕著な為に片口鉢Ⅰ類とした
40	28	表探	常滑 片口鉢Ⅰ類			[6.4]	a:輪積み→口くろ・外面体部下位回転へラ整形 b:灰色 砂粒・白色粒多・小石 粒 c:灰色 e:硬質 f:底部片 g:6a型式か
40	29	表探	常滑 壺	(9.2)		[4.0]	a:輪積み b:灰色 砂粒・白色粒・長石・石英 c:褐色～灰褐色 d:肩部に自然 降灰 e:硬質 f:口縁部～頸部1/5 g:6a～6b型式
40	30	表探	常滑 甕			[6.8]	a:輪積み b:淡褐色～灰色 砂粒・白色粒・長石・石英 c:褐色～灰褐色 d:口 縁部内面に自然降灰 e:硬質 f:口縁部片 g:7型式
40	31	表探	常滑 甕			[8.4]	a:輪積み b:淡褐色～灰色 砂粒・白色粒・長石・石英 c:褐色～灰褐色 d:口 縁部と肩部に自然降灰 e:硬質 f:口縁部片 g:6a～6b型式
40	32	表探	常滑 甕			[8.4]	a:輪積み b:明褐色～暗灰色 砂粒・白色粒・赤色粒・小石粒 c:褐色 d:口縁 部と肩部に自然降灰 e:硬質 f:口縁部片 g:内面部分的にマツ 6a型式
40	33	表探	常滑 甕			[3.7]	a:輪積み b:灰色 砂粒・白色粒・長石・石英 c:褐色～褐灰色 e:硬質 f:肩 部片 g:縦長格子文
40	34	表探	常滑 甕			[6.2]	a:輪積み b:淡褐色～暗灰色 砂粒・白色粒・赤色粒 c:褐色～灰褐色 d:内 面に薄く自然降灰 e:やや不良・硬質 f:胴部片 g:縦長格子文
40	35	表探	常滑甕 転用品	5.2	8.4	厚さ1.3	a:輪積み b:灰色 砂粒・白色粒・赤色粒・長石・石英 c:褐色 d:口縁部内面 に自然降灰 e:硬質 f:口縁部片 g:割れ口2面を砥面として使用 摩耗常滑
40	36	表探	龜山 甕				a:外面格子叩き・内面同心円弧の叩き目文 b:灰色(胎芯は黒色)・白色粒 c: 灰黒色 e:軟質 f:胴部片
40	37	表探	瓦器質 火鉢			[5.7]	a:輪積み b:灰白色～灰色 砂粒・白色粒・小石粒(礫) c:灰色～灰白色 e: 軟質 f:口縁部片 g:火鉢Ⅲ類・菊花文スタンプ
40	38	表探	土製品 南伊勢系土鍋			[1.7]	a:輪積み b:粗砂・小石粒・金雲母多量 c:肌色味灰白色(胎芯灰色) e:硬質 f:口縁部片
40	39	表探	金属製品 銅銭	外径2.49・内径2.02・孔径0.70・厚0.13			f:完形 g:天聖元寶 真書 初鑄年:北宋1023年
40	40	表探	金属製品 銅銭	外径2.45・内径1.89・孔径0.73・厚0.12			f:一部欠け g:皇崇通寶 真書 初鑄年:北宋1038年
40	41	表探	金属製品 銅銭	外径2.35・内径1.89・孔径0.68・厚0.12			f:完形 g:熙寧元寶 真書 初鑄年:北宋1068年
40	42	表探	金属製品 銅銭	外径2.40・内径1.98・孔径0.61・厚0.1			f:完形 g:熙寧元寶 真書 初鑄年:北宋1068年
40	43	表探	金属製品 銅銭	外径2.40・内径1.89・孔径0.67・厚0.13			f:完形 g:元祐通寶 行書 初鑄年:北宋1086年
40	44	表探	金属製品 銅銭	外径2.45・内径2.09・孔径0.65・厚0.13			f:完形 g:政和通寶 真書 初鑄年:北宋1111年
40	45	表探	滑石銅 転用品	5.2	5.1	1.3	a:温石転用加工途中品か c:銀灰色 g:西彼杵産
40	46	表探	石製品 砥石	[9.0]	2.3	1.2	a:砥面は表裏2面使用 側面は生産地加工痕(削り出し痕やカワが顕著に遺存) b:流紋岩質細粒凝灰岩 c:淡黄白色 g:鳴滝産中山か 仕上砥
40	47	表探	石製品 砥石	[5.3]	5.2	0.9～1.2	a:砥面は表裏2面使用 側面は生産地加工痕(砥面の可能性もあり) b:流紋岩 質細粒凝灰岩 c:黄白色 g:鳴滝産・規格より近世か 仕上砥
40	48	表探	石製品 砥石	8.0	最大幅4.4	最大厚3.5	a:砥面は4面使用 b:流紋岩質粗粒凝灰岩 c:灰色味黄白色 g:伊予産 中砥



遺物破片数表

		第1面			第2面			第3面			第4面		表土採集	合計	%	
		面上	遺構	構成土	面上	遺構	構成土	面上	遺構	構成土	面上	遺構				
かわらけ	糸・大(中含)	195	426	596	339	678	410	86	351	53	21	71	430	3,656	47.04	
	糸・小	29	72	117	71	126	127	31	76	10		8	86	753	9.69	
	手・大		2		13	18	40	15	59	4		5	2	158	2.03	
	手・小		1		3	9	4		14	1		3		35	0.45	
	白かわらけ			1		1	1				1			4	0.05	
	内折れ						4	2		1				7	0.09	
船載陶磁器	青磁同安窯系	靱用円盤					1			1				2	0.03	
		皿					1					1		3	0.04	
		I類	小碗		1									1	2	0.03
			無文碗		2	1			3						6	0.08
		II類	劃花文碗		2			3	2	4					11	0.14
			蓮弁文碗		17	13	9	14	9		5			12	79	1.02
		III類	蓮弁文碗		4	1		3	1						9	0.12
			折縁鉢(坏)		3	1		3						1	8	0.10
		小碗												1	1	0.01
		碗・皿		3	1		1	2	8		1			10	26	0.33
	壺			1										1	0.01	
	器種不明			3										3	0.04	
	青白磁	皿			2	1	2	2		1				8	0.10	
		合子			2		1	3		2			2	10	0.13	
		香炉			1									1	0.01	
		壺					1			1				2	0.03	
		梅瓶		3	3	5	1						2	14	0.18	
	器種不明					1	2						3	0.04		
	白磁	口兀	皿	1	4	9	3	4	5		2			11	39	0.50
			碗	1	1			1			1			1	5	0.06
皿・碗								6		2			8	0.10		
壺・瓶類			2	1	2	1				1			2	9	0.12	
褐釉	壺												0	0.00		
	天目碗	1					1					1	3	0.04		
青磁釉	壺		1										1	0.01		
国産陶器	瀬戸	入子		1	1	2							4	8	0.10	
		節皿	1	1	1								6	9	0.12	
		唐節目皿		1										1	0.01	
		折縁皿		1	1									2	0.03	
		柄付片口								1				2	3	0.04
		香炉					2							2	0.03	
		花瓶	1				2							2	5	0.06
		水注	1		1									1	3	0.04
		四耳壺		2											2	0.03
		壺・瓶類	1	9	2	2	4	3		2		1		10	34	0.44
	器種不明		1		1									2	0.03	
	常滑	片口鉢	I類	6	22	28	13	12	4	3	9	1	2	28	128	1.65
			II類	3	9	3	2	3			3	1		4	28	0.36
		片口碗・碗				1	1	1						1	4	0.05
		蓋口壺	1	2	1	2	10			2				3	21	0.27
		広口壺		5	5	3	1			3				1	18	0.23
		壺	39	244	210	91	121	151	21	93	17	3	13	166	1,169	15.04
	靱用研磨製品												1	1	0.01	
	東濃	山茶碗		7			1	3		1				1	13	0.17
		山茶碗		1											1	0.01
		片口鉢								1					1	0.01
		壺	1		2	2	2	1	1	4		1		15	0.19	
		龜山							1	1				1	3	0.04
東濃系		1		1					1				3	0.04		
産地不明				1		1			1				3	0.04		
器種不明陶器									1					3	0.04	
土器・土製品	瓦質	火鉢		3	10	5			1				7	33	0.42	
		黒縁皿			1									1	0.01	
	瓦	香炉											1	1	0.01	
		平瓦	1	4										6	0.08	
	南伊勢系	丸瓦	1	2	1			3	2					1	10	0.13
		土鍋		1			1							1	3	0.04
かわらけ質	小壺			1									1	0.01		
土鉢						1							1	0.01		
金属製品	鉄	釘				2								2	0.03	
		鉢(擦り鉢含む)	3	7	7		3	1	1	1			7	30	0.39	
	銅	不明品												1	0.01	
		碓		4	4	1	4	1					5	19	0.24	
石製品	滑石	碓		0										1	0.01	
		チャート	1	1										2	0.03	
	鍋	鍋		1	1	1	1							4	0.05	
		温石		1										1	0.01	
漆器	飲食具	不明品		2		1						3	6	0.08		
		皿			1					2			1	4	0.05	
		碗								3				3	0.04	
		膳								1				1	0.01	
		不明					3			2				5	0.06	
		箸状		4				10		293		2	34	343	4.41	
	容器	杓子状										1		1	0.01	
		折敷				1		1		44	1	8		55	0.71	
		板折敷				1		1		28	1	4		35	0.45	
		経木折敷								2	3	5		10	0.13	
木製品	装身具	曲物											1	1	0.01	
		櫛												1	0.01	
	履物	草履							27	2		2		31	0.40	
		下駄							3			1		4	0.05	
	工具	篋					1		26	1		20		48	0.62	
		不明							1					1	0.01	
	染・織具	手押木							1					1	0.01	
		建材							35			1		36	0.46	
	建築部材	部材						1	22			10		33	0.42	
		柱						2	1					1	0.01	
杭								18	2		6		28	0.36		
杭状礎板					2	32	1	5	51	4	28		123	1.58		
形代	陽物?							2					2	0.03		
	人形?							1					1	0.01		
遊戯具	木球	木球				1							1	0.01		
		棒状							19			84		255	3.28	
	不明	串状							36			7		44	0.57	
		礎材							45			1		46	0.59	
自然遺物	貝	自然木						2			3		5	0.06		
		不明品					2	1		64	8	39		114	1.47	
	果核	貝							17					17	0.22	
		人骨・獣骨			1		2		3	2		1		9	0.12	
中世以前	土師器	壺・甕			1									2	0.03	
		須恵器			1		1	2		2				6	0.08	
	灰釉陶器	高坏			1									1	0.01	
		碗							1					1	0.01	
合計	291	884	1,039	587	1,096	842	166	1,542	109	37	360	819	7,772	100.00		
%	3.74	11.37	13.37	7.55	14.10	10.83	2.14	19.84	1.40	0.48	4.63	10.54	100.00			

実測外木製品計測表

区	面	遺構	種別	長さ(残存長)	幅[残存幅]	厚	備考
I	1	55	箸状	(13.6)	0.6	0.4	
I	1	55	箸状	(16.8)	0.6	0.25	
I	2	87	用途不明				樹皮か
I	2	89	漆器・器種不明				黒色系漆髹漆・漆絵・手描き・楓文
II	2	246	果核(?)				
II	2	258	漆器・器種不明				内外面黒色漆髹漆・無文
II	2	283	漆器・器種不明				内外面黒色漆髹漆・赤色系漆でスタンプ施文・鶴文
II	2	構成土	杭	(24.5)	3.3	1.75	3面ケズリ成形
II	2	構成土	杭	(29.5)	3.8	2	3面ケズリ成形
II	2	構成土	棒状	(13.2)	0.9	0.35	
I	3	166	篋状	(27.8)	1.5	0.6	
I	3	166	篋状	13.7	1.4	0.4	
I	3	166	篋状	(8.9)	1.4	0.45	
I	3	166	篋状	(14.8)	0.7	0.2	
I	3	166	篋状	(24.0)	0.9	0.4	
I	3	166	篋状	(7.0)	1.75	0.3	
I	3	166	篋状	(11.9)	0.8	0.7	
I	3	166	篋状	15.8	0.8	0.2	
I	3	166	篋状	(3.7)	1.0	0.4	
I	3	166	篋状	(16.0)	0.9	0.3	
I	3	166	篋状	17.7	1.0	0.5	
I	3	166	部材	(39.6)	2.1	0.8	
I	3	166	部材	(15.0)	3.1	1.1	
I	3	166	部材	(13.5)	2.4	1.4	片先端焼痕
I	3	166	部材	(9.8)	2.9	1.5	
I	3	166	部材	17.4	4.0	1.3	
I	3	166	部材	(8.3)	(3.9)	0.5	
I	3	166	部材	(15.3)	3.3	1.0	
I	3	166	板状	(17.7)	(3.3)	0.8	
I	3	166	板状	(27.1)	(2.3)	0.4	
I	3	166	板状	(19.0)	(1.0)	0.4	
I	3	166	板状	(20.5)	1.6	0.4	
I	3	166	杭状	(26.0)	1.9	1.2	片先端尖る
I	3	166	杭状	(16.1)	4.3	1.3	片先端尖る
I	3	166	杭状	(18.2)	1.8	0.8	
I	3	166	板草履芯	12.6	2.8	0.5	
I	3	166	板草履芯	(12.8)	(3.4)	0.45	
I	3	166	板草履芯	(11.0)	4.8	0.5	
I	3	166	板草履芯	(10.9)	3.1	0.3	
I	3	166	用途不明	(12.4)	2.4	0.7	装身具か
I	3	166	用途不明	14.8	2.0	1.1	縦一辺下方にケズリあり
I	3	166	棒状	(15.3)	3.3	1.0	
I	3	166	棒状	(8.9)	1.3	0.7	
I	3	166	棒状	(14.0)	(1.2)	0.7	
I	3	166	棒状	(38.9)	1.0	0.4	
I	3	166	棒状	(16.9)	1.1	0.4	
I	3	166	棒状	(16.4)	(0.7)	0.35	
I	3	166	棒状	(13.1)	(0.9)	0.5	
I	3	166	棒状	9.2	0.9	0.8	
I	3	166	棒状	7.2	1.0	0.6	
I	3	166	箸状	(14.5)	0.6	0.5	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(8.9)	0.8	0.6	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(7.0)	0.6	0.3	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(7.5)	0.6	0.5	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(15.5)	0.8	0.5	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(7.9)	0.6	0.4	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(10.0)	0.7	0.4	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(11.5)	0.6	0.35	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(7.8)	0.5	0.4	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(10.0)	0.5	0.3	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(5.8)	0.7	0.5	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(13.5)	0.9	0.5	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(8.8)	0.6	0.5	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(11.0)	0.8	0.4	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(11.8)	0.8	0.6	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(13.2)	0.7	0.6	丁寧な整形

実測外木製品計測表

区	面	遺構	種別	長さ(残存長)	幅[残存幅]	厚	備考
I	3	166	箸状	(6.7)	0.7	0.4	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(15.1)	0.6	0.4	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(8.3)	0.55	0.4	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(16.4)	0.7	0.4	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(9.8)	0.5	0.3	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(23.7)	0.7	0.35	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(17.9)	0.6	0.45	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(21.5)	0.5	0.4	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(18.9)	0.6	0.5	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(17.8)	0.6	0.6	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(16.5)	0.7	0.3	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(17.3)	0.7	0.6	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(9.6)	0.6	0.5	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(20.5)	0.6	0.5	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(13.4)	0.7	0.4	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(13.0)	0.5	0.45	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(9.5)	0.6	0.4	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(4.9)	0.4	0.4	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(11.0)	0.6	0.5	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(17.2)	0.6	0.35	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(10.5)	0.7	0.6	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(9.0)	0.7	0.5	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(19.8)	0.8	0.6	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(9.2)	0.9	0.3	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(9.2)	0.7	0.5	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(8.7)	0.6	0.3	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(11.2)	0.5	0.6	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(6.7)	0.7	0.5	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(9.6)	0.7	0.35	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(14.5)	0.6	0.4	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(7.9)	0.7	0.45	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(17.3)	0.6	0.4	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(11.2)	0.6	0.4	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(5.7)	0.5	0.5	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(20.6)	0.7	0.6	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(9.2)	0.6	0.5	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(10.7)	0.7	0.5	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(7.4)	0.6	0.5	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(8.2)	0.65	0.4	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(10.9)	0.6	0.45	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(14.0)	0.6	0.5	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(15.1)	0.8	0.5	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(14.9)	0.7	0.5	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(14.0)	0.5	0.5	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(12.2)	0.5	0.5	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(13.1)	0.8	0.5	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(14.5)	0.6	0.4	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(9.6)	0.8	0.6	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(12.7)	0.9	0.3	丁寧な整形
I	3	166	箸状	(12.6)	0.7	0.3	丁寧な整形
I	3	166	棒状	(15.2)	1.1	0.8	
I	3	166	棒状	17.9	1.0	0.5	
I	3	166	棒状	20.2	1.0	0.7	
I	3	166	棒状	14.2	0.75	0.4	
I	3	166	棒状	14.3	1.0	0.5	
I	3	166	棒状	(23.4)	1.1	0.6	
I	3	166	棒状	(17.2)	0.5	0.6	
I	3	166	棒状	(14.2)	0.75	0.6	
I	3	166	棒状	(16.6)	0.9	0.5	
I	3	166	棒状	(9.2)	0.8	0.6	
I	3	166	棒状	15.6	0.7	0.5	
I	3	166	棒状	22.5	2.2	1.5	
I	3	166	棒状	(13.1)	0.8	0.4	
I	3	166	棒状	(6.7)	0.5	0.4	
I	3	166	棒状	15.9	0.8	0.6	
I	3	166	棒状	(7.1)	0.7	0.4	

実測外木製品計測表

区	面	遺構	種別	長さ(残存長)	幅(残存幅)	厚	備考
I	3	166	棒状	(22.7)	(1.9)	1.2	
I	3	166	棒状	20.5	1.0	0.8	
I	3	166	棒状	(17.5)	1.0	0.8	
I	3	166	棒状	(14.8)	0.6	0.6	
I	3	166	棒状	24.7	1.6	0.5	片先端焼痕
I	3	166	棒状	(20.6)	2.9	0.6	
I	3	166	棒状	(20.5)	1.3	0.6	
I	3	166	棒状	(15.2)	0.8	0.5	
I	3	166	棒状	(21.5)	1.4	0.6	
I	3	166	棒状	18.9	0.6	0.3	
I	3	166	棒状	(17.8)	0.8	0.4	
I	3	166	棒状	(15.7)	1.0	0.5	
I	3	166	棒状	(9.5)	0.6	0.55	
I	3	166	棒状	(22.7)	1.8	0.6	丁寧に4面面取り
I	3	166	棒状	(5.0)	0.7	0.4	
I	3	166	棒状	(16.5)	0.8	0.4	丁寧に4面面取り
I	3	166	棒状	(12.3)	1.3	0.5	
I	3	166	棒状	(11.6)	0.8	0.4	
I	3	166	棒状	(18.1)	0.9	0.6	
I	3	166	棒状	(9.9)	0.9	0.6	
I	3	166	棒状	(15.6)	0.7	0.4	
I	3	166	棒状	(16.4)	0.8	0.4	
I	3	166	棒状	(9.6)	0.9	0.3	
I	3	166	棒状	(11.8)	1.4	0.6	
I	3	166	棒状	(14.0)	0.9	0.6	
I	3	166	棒状	(17.1)	1.0	0.8	
I	3	166	棒状	(15.5)	0.6	0.6	
I	3	166	棒状	(17.9)	0.8	0.4	
I	3	166	棒状	(15.4)	0.7	0.5	
I	3	166	棒状	(9.7)	0.9	0.4	
I	3	166	棒状	(13.0)	0.85	0.4	
I	3	166	棒状	(9.7)	1.0	0.7	
I	3	166	棒状	(18.5)	1.3	0.7	
I	3	166	棒状	(11.7)	0.7	0.5	
I	3	166	棒状	(16.0)	0.7	0.6	
I	3	166	棒状	(9.1)	0.95	0.3	
I	3	166	棒状	(13.4)	0.9	0.6	
I	3	166	棒状	(18.4)	1.7	0.6	
I	3	166	棒状	(14.6)	0.8	0.4	
I	3	166	棒状	(9.3)	0.7	0.45	
I	3	166	棒状	(10.6)	1.0	0.8	
I	3	166	棒状	(13.7)	1.1	0.7	
I	3	166	棒状	(13.5)	0.8	0.4	
I	3	166	棒状	(13.6)	0.7	0.5	
I	3	166	棒状	(20.1)	1.1	0.6	
I	3	166	板折敷	(23.0)	(2.0)	0.3	
I	3	166	板折敷	(21.0)	2.3	0.4	中央に穿孔
I	3	166	板折敷	(16.9)	(1.4)	0.2	
I	3	166	板折敷	(20.1)	2.2	0.4	
I	3	166	板折敷	13.5	(1.2)	0.3	
I	3	166	板折敷	16.4	0.8	0.3	
I	3	166	板折敷	12.0	(1.3)	0.35	
I	3	166	板折敷	(13.5)	(1.2)	0.3	
I	3	166	板折敷	(8.6)	(2.0)	0.3	上端に穿孔
I	3	166	板折敷	(14.8)	(2.1)	0.4	
I	3	166	板折敷	(13.6)	(1.1)	0.5	
I	3	166	板折敷	(17.1)	0.7	0.2	
I	3	166	板折敷	(15.8)	0.8	0.3	
I	3	166	経木折敷	(7.6)	(2.5)	0.1	漆がわずかに付着
I	3	177	折敷	14.8	2.3	0.1	
I	3	177	箸状	(14.7)	0.6	0.35	
I	3	177	箸状	(16.7)	0.6	0.55	
I	3	177	箸状	(17.6)	0.5	0.28	
I	3	177	箸状	(15.5)	0.4	0.35	
I	3	177	箸状	(21.5)	0.6	0.45	
I	3	177	箸状	(12.5)	0.5	0.35	



実測外木製品計測表

区	面	遺構	種別	長さ(残存長)	幅[残存幅]	厚	備考
I	3	177	箸状	(8.5)	0.5	0.45	
I	3	177	箸状	(13.2)	0.7	0.25	
I	3	177	箸状	(23.0)	0.5	0.4	
I	3	177	棒状	(17.0)	0.3	0.15	
I	3	179	棒状	(15.6)	0.7	0.55	
I	3	179	棒状	(14.0)	0.8	0.55	
I	3	179	串状	(32.0)	1.3	1.1	
I	3	179	用途不明	(15.8)	1.4	0.75	
I	3	179	用途不明	(21.5)	1.6	0.25	
I	3	179	用途不明	(21.1)	1.3	0.4	
II	3	325	棒状	(10.9)	0.8	0.5	
II	3	335	箸状	(16.8)	0.8	0.45	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(17.0)	0.7	0.4	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(7.7)	0.5	0.4	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(8.1)	0.55	0.35	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(8.5)	0.7	0.45	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(11.5)	0.5	0.55	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(10.5)	0.6	0.5	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(17.4)	0.8	0.45	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(10.3)	0.6	0.45	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(15.8)	0.7	0.4	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(10.2)	0.65	0.4	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(8.2)	0.45	0.35	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(10.1)	0.7	0.5	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(11.8)	0.6	0.4	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(15.3)	0.7	0.4	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(12.3)	0.7	0.5	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(11.8)	0.6	0.5	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(14.5)	0.6	0.4	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(13.6)	0.6	0.4	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(11.0)	0.6	0.4	丁寧な整形
II	3	335	箸状	16.5	0.6	0.4	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(13.2)	0.7	0.4	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(8.0)	0.7	0.4	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(11.3)	0.8	0.3	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(10.4)	0.5	0.45	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(7.8)	0.6	0.3	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(13.0)	0.6	0.5	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(11.4)	0.7	0.3	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(13.1)	0.6	0.4	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(10.5)	0.7	0.3	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(12.5)	0.7	0.35	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(8.5)	0.6	0.6	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(12.4)	0.6	0.3	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(9.2)	0.6	0.4	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(10.3)	0.6	0.3	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(14.1)	0.8	0.6	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(7.5)	0.6	0.4	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(10.5)	0.7	0.45	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(6.5)	0.7	0.4	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(11.9)	0.8	0.4	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(8.2)	0.7	0.4	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(9.2)	0.6	0.3	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(14.2)	0.7	0.5	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(13.2)	0.7	0.5	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(11.8)	0.7	0.4	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(14.6)	0.8	0.4	丁寧な整形
II	3	335	箸状	(10.2)	0.8	0.5	丁寧な整形
II	3	335	箸状	25.6	0.5	0.45	丁寧な整形
II	3	335	箸状	16.2	0.6	0.4	丁寧な整形
II	3	335	箸状	20.0	0.65	0.5	丁寧な整形
II	3	335	板状	(34.5)	5.3	0.8	
II	3	335	板状	(21.5)	2.0	0.3	板折敷か
II	3	335	板状	(15.4)	0.6	0.4	
II	3	335	板状	(12.3)	3.0	0.5	
II	3	335	板状	(34.0)	3.5	0.8	

実測外木製品計測表

区	面	遺構	種別	長さ(残存長)	幅[残存幅]	厚	備考
II	3	335	板状	(16.1)	0.6	0.3	
II	3	335	籠状	(15.0)	1.0	0.6	
II	3	335	籠状	(9.4)	1.3	0.6	形代か
II	3	335	籠状	9.7	1.3	0.8	
II	3	335	棒状	(14.4)	0.8	0.8	
II	3	335	棒状	28.9	1.4	0.65	
II	3	335	棒状	(14.9)	2.4	1.6	自然木か、片先端焼痕
II	3	335	斉串状	(21.0)	0.8	0.6	
II	3	335	斉串状	(15.2)	1.0	0.6	
II	3	335	斉串状	(17.9)	0.9	0.5	
II	3	335	斉串状	(9.5)	0.7	0.5	
II	3	335	棒状	(10.9)	0.8	0.45	
II	3	335	棒状	(17.7)	0.8	0.9	
II	3	335	棒状	(8.4)	1.0	0.8	
II	3	335	経木折敷	(12.4)	3.5	0.15	
II	3	335	板折敷	(9.3)	2.9	0.4	
II	3	335	板折敷	(18.7)	1.3	0.3	
II	3	335	斉串状	(12.5)	3.1	0.7	形代か
II	3	337	斉串	(17.1)	0.7	0.6	
II	3	337	斉串	(13.2)	0.7	0.7	
II	3	337	斉串	(17.0)	0.7	0.6	
II	3	337	籠状	(19.0)	0.9	0.5	
II	3	337	籠状	(13.6)	0.9	0.5	
II	3	337	籠状	(7.7)	0.9	0.5	
II	3	337	籠状	(9.7)	0.7	0.3	
II	3	337	棒状	(17.2)	0.6	0.2	
II	3	337	棒状	(12.4)	0.7	0.6	
II	3	337	棒状	13.2	0.7	0.5	片先端尖る
II	3	337	棒状	(9.4)	0.8	0.5	片先端斜めに尖る
II	3	337	棒状	7.4	0.7	0.4	片先端斜めに尖る
II	3	337	棒状	(8.7)	0.7	0.3	
II	3	337	棒状	(13.2)	0.7	0.8	菜箸の可能性あり
II	3	337	棒状	(10.0)	0.8	0.7	片先端尖る
II	3	337	棒状	(15.9)	0.7	0.4	
II	3	337	棒状	20.6	0.6	0.3	
II	3	337	棒状	(12.2)	0.7	0.6	
II	3	337	棒状	(16.4)	0.7	0.3	
II	3	337	棒状	16.1	0.8	0.5	断面三角形
II	3	337	棒状	16.5	0.5	0.6	
II	3	337	棒状	15.9	0.5	0.4	
II	3	337	棒状	11.9	0.8	0.4	
II	3	337	棒状	(7.0)	0.7	0.6	
II	3	337	棒状	(11.4)	0.6	0.4	
II	3	337	棒状	(11.3)	0.4	0.3	
II	3	337	棒状	(10.5)	0.4	0.4	チュウ木か
II	3	337	棒状	(7.7)	0.5	0.4	
II	3	337	棒状	(8.7)	0.7	0.4	
II	3	337	棒状	(12.0)	0.6	0.3	
II	3	337	棒状	(10.2)	0.6	0.2	
II	3	337	棒状	(16.5)	0.8	0.3	
II	3	337	棒状	(10.0)	0.9	0.3	
II	3	337	棒状	13.7	0.6	0.3	チュウ木か
II	3	337	棒状	12.0	0.6	0.3	チュウ木か
II	3	337	棒状	12.1	0.6	0.5	チュウ木か
II	3	337	棒状	8.8	0.6	0.5	チュウ木か
II	3	337	棒状	(16.2)	0.9	0.7	片先端斜めに尖る
II	3	337	棒状	(14.2)	0.8	0.4	
II	3	337	棒状	15.0	0.8	0.4	チュウ木か
II	3	337	棒状	13.0	0.5	0.4	チュウ木か
II	3	337	棒状	11.2	0.6	0.5	チュウ木か
II	3	337	棒状	23.6	1.0	0.9	断面方形
II	3	337	棒状	(16.7)	1.5	0.6	
II	3	337	棒状	(13.5)	0.9	0.5	
II	3	337	棒状	(8.9)	0.8	0.6	
II	3	337	棒状	(7.9)	0.8	0.7	
II	3	337	籠状	(15.0)	0.7	0.3	

実測外木製品計測表

区	面	遺構	種別	長さ(残存長)	幅[残存幅]	厚	備考
II	3	337	板草履芯	(8.0)	2.3	0.4	
II	3	337	板草履芯	(7.7)	1.0	0.4	
II	3	337	板草履芯	(9.8)	1.4	0.3	
II	3	337	板草履芯	(11.4)	4.7	0.3	ワラ痕残る
II	3	337	板草履芯	(13.5)	2.9	0.3	ワラ痕残る
II	3	337	板草履芯	(15.1)	2.8	0.2	ワラ痕残る
II	3	337	板草履芯	(6.0)	2.7	0.3	ワラ痕残る
II	3	337	板草履芯	(12.5)	3.1	0.3	草履の加工途中か
II	3	337	板草履芯	(21.7)	3.0	0.3	ワラ痕残る
II	3	337	板草履芯	22.7	4.8	0.2	ワラ痕・釘痕(鼻緒?)残る
II	3	337	板草履芯	22.8	4.5	0.2	ワラ痕残る
II	3	337	板折敷	(16.9)	(2.9)	0.2	
II	3	337	板折敷	21.2	(1.9)	0.15	
II	3	337	板折敷	(11.6)	(2.7)	0.2	
II	3	337	板折敷	(10.8)	(1.2)	0.2	
II	3	337	板折敷	(12.0)	(2.9)	0.2	
II	3	337	板折敷	(8.9)	(2.3)	0.3	
II	3	337	板折敷	24.1	1.2	0.3	
II	3	337	板折敷	(16.6)	(2.0)	0.3	
II	3	337	板折敷	(23.6)	(2.4)	0.4	
II	3	337	板折敷	17.8	(2.1)	0.25	
II	3	337	板折敷	(10.5)	(4.0)	0.4	釘痕あり
II	3	337	経木折敷	14.0	(3.3)	0.15	片面細かいキズ・釘痕あり
II	3	337	経木折敷	(14.2)	(2.3)	0.1	
II	3	337	経木折敷	11.8	(1.8)	0.1	
II	3	337	経木折敷	(12.5)	(2.3)	0.15	
II	3	337	経木折敷	(12.4)	(2.4)	0.2	焼痕
II	3	337	経木折敷	(12.9)	(2.6)	0.1	
II	3	337	経木折敷	(16.6)	(3.0)	0.1	
II	3	337	経木折敷	(24.0)	(1.4)	0.1	
II	3	337	経木折敷	(8.9)	(2.5)	0.1	
II	3	337	経木折敷	(16.6)	(1.9)	0.1	片先端斜めに尖る
II	3	337	経木折敷	(20.9)	(2.4)	0.1	細かいキズ・釘痕あり
II	3	337	杭状	(22.0)	1.2	0.9	片先端部鋭利に尖る、丁寧なケズリ
II	3	337	杭状	(19.9)	1.0	0.9	
II	3	337	篋状	(11.2)	1.5	0.3	
II	3	337	篋状	(13.6)	0.6	0.2	片先端斜めに尖る
II	3	337	箸状	(17.1)	0.6	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(11.3)	0.6	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(12.9)	0.5	0.3	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(12.9)	0.4	0.3	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(11.2)	0.4	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(8.8)	0.5	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(11.2)	0.6	0.3	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(10.6)	0.5	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(11.7)	0.5	0.5	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(9.5)	0.5	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(9.9)	0.7	0.5	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(11.0)	0.4	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(11.9)	0.4	0.3	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(14.1)	0.6	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(10.3)	0.6	0.5	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(8.8)	0.5	0.3	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(11.0)	0.6	0.3	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(10.0)	0.6	0.3	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(10.3)	0.6	0.5	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(9.2)	0.5	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(7.5)	0.6	0.3	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(12.6)	0.7	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(13.9)	0.7	0.5	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(11.7)	0.8	0.6	菜箸の可能性あり
II	3	337	箸状	(12.3)	0.6	0.5	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(12.0)	0.5	0.5	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(12.4)	0.7	0.3	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(12.2)	0.7	0.5	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(11.7)	0.6	0.5	丁寧な整形

実測外木製品計測表

区	面	遺構	種別	長さ(残存長)	幅[残存幅]	厚	備考
II	3	337	箸状	(15.0)	0.5	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(17.7)	0.5	0.3	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(13.9)	0.6	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(13.8)	0.6	0.3	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(19.5)	0.6	0.5	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(12.0)	0.6	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(18.5)	0.5	0.3	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(13.9)	0.6	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(12.0)	0.5	0.5	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(10.8)	0.6	0.5	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(14.9)	0.7	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(14.0)	0.6	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(12.0)	0.6	0.3	丁寧な整形
II	3	337	箸状	13.6	0.4	0.3	子供用か
II	3	337	箸状	(14.0)	0.3	0.2	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(12.4)	0.4	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(12.3)	0.6	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(12.1)	0.6	0.3	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(11.9)	0.6	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(15.2)	0.5	0.3	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(12.3)	0.5	0.3	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(14.1)	0.6	0.6	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(14.2)	0.5	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(12.6)	0.6	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(11.5)	0.6	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(13.5)	0.5	0.3	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(14.2)	0.6	0.6	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(9.8)	0.6	0.5	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(13.7)	0.7	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(12.5)	0.4	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(12.3)	0.5	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箸状	8.5	0.5	0.3	丁寧な整形
II	3	337	自然木	(5.7)	0.9	0.9	加工なし・竹・炭化している
II	3	337	板折敷	19.8	(2.4)	0.2	
II	3	337	自然木	4.0	直径1.8		焼痕あり
II	3	337	経木折敷	(10.3)	(2.2)	0.1	
II	3	337	経木折敷	(6.1)	(1.5)	0.15	
II	3	337	経木折敷	(10.2)	(1.0)	0.15	
II	3	337	経木折敷	(11.0)	(1.9)	0.08	
II	3	337	経木折敷	(11.0)	(1.7)	0.2	
II	3	337	経木折敷	(9.7)	(2.2)	0.1	
II	3	337	経木折敷	(14.5)	(2.8)	0.1	
II	3	337	経木折敷	(19.7)	(1.95)	0.2	
II	3	337	経木折敷	(10.0)	(1.4)	0.1	
II	3	337	経木折敷	(23.0)	(0.8)	0.15	
II	3	337	経木折敷	(12.4)	(2.7)	0.15	
II	3	337	経木折敷	(16.8)	(2.8)	0.15	
II	3	337	経木折敷	(14.2)	(0.85)	0.1	
II	3	337	経木折敷	(7.6)	(1.3)	0.2	
II	3	337	板折敷	(8.5)	(1.6)	0.3	
II	3	337	板折敷	(11.8)	(1.85)	0.1	
II	3	337	板折敷	(8.4)	(1.65)	0.15	
II	3	337	板折敷	(17.3)	(1.7)	0.2	
II	3	337	板折敷	(9.8)	(2.1)	0.35	
II	3	337	板折敷	12.2	(2.6)	0.45	
II	3	337	板折敷	(24.1)	(2.75)	0.15	
II	3	337	板折敷	(14.8)	(3.2)	0.25	
II	3	337	板草履芯	(8.0)	(3.1)	0.25	
II	3	337	板草履芯	(5.6)	(1.2)	0.2	
II	3	337	板草履芯	(5.5)	(1.8)	0.25	
II	3	337	板草履芯	(8.1)	(2.1)	0.25	
II	3	337	板状	(22.3)	0.9	0.3	
II	3	337	板状	(16.8)	0.7	0.3	
II	3	337	板状	(14.4)	0.7	0.3	
II	3	337	板状	(17.2)	1.1	0.4	
II	3	337	板状	(16.5)	0.8	0.35	

実測外木製品計測表

区	面	遺構	種別	長さ(残存長)	幅[残存幅]	厚	備考
II	3	337	板状	(22.6)	1.0	0.3	
II	3	337	板状	(16.2)	0.7	0.4	
II	3	337	板状	(17.4)	0.8	0.25	
II	3	337	板状	(15.0)	0.8	0.35	
II	3	337	板状	(7.8)	1.1	0.4	ヘラ状
II	3	337	板状	(12.2)	0.75	0.4	
II	3	337	板状	(8.8)	0.7	0.35	
II	3	337	板状	(7.4)	0.7	0.4	
II	3	337	板状	(14.3)	0.9	0.25	
II	3	337	板状	(9.0)	1.2	0.65	
II	3	337	板状	(18.3)	1.2	0.3	
II	3	337	板状	(10.8)	0.7	0.2	
II	3	337	板状	(9.7)	0.8	0.3	
II	3	337	板状	(9.8)	0.8	0.6	
II	3	337	板状	(12.6)	0.8	0.4	
II	3	337	板状	(13.0)	1.0	0.3	
II	3	337	板状	(19.0)	1.3	0.4	
II	3	337	板状	(15.4)	0.7	0.2	
II	3	337	板状	(13.1)	0.7	0.35	
II	3	337	板状	32.0	2.0	0.4	
II	3	337	棒状	(10.8)	0.7	0.7	
II	3	337	棒状	(16.8)	1.0	0.8	
II	3	337	棒状	(13.8)	0.8	0.6	
II	3	337	棒状	(17.9)	0.8	0.6	
II	3	337	棒状	(14.5)	0.8	0.7	
II	3	337	棒状	(13.1)	1.4	0.8	
II	3	337	棒状	(15.7)	0.7	0.6	
II	3	337	棒状	(16.3)	0.4	0.5	
II	3	337	棒状	(13.2)	0.7	0.45	
II	3	337	棒状	(13.6)	0.6	0.5	
II	3	337	棒状	(13.0)	0.8	0.6	
II	3	337	棒状	(15.0)	0.8	0.45	
II	3	337	棒状	(14.0)	0.8	0.6	
II	3	337	棒状	(14.0)	0.6	0.5	
II	3	337	棒状	(14.1)	1.0	0.6	
II	3	337	棒状	(13.4)	0.6	0.5	
II	3	337	棒状	(15.3)	1.0	0.6	
II	3	337	棒状	(17.6)	0.6	0.8	
II	3	337	棒状	(15.2)	1.1	0.7	
II	3	337	棒状	(14.7)	0.8	0.5	
II	3	337	棒状	(11.6)	0.9	0.5	
II	3	337	箬状	(11.4)	0.65	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箬状	(11.9)	0.6	0.3	丁寧な整形
II	3	337	箬状	(11.7)	0.4	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箬状	(14.7)	0.5	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箬状	(13.2)	0.6	0.6	丁寧な整形
II	3	337	箬状	(18.8)	0.5	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箬状	(10.8)	0.6	0.5	丁寧な整形
II	3	337	箬状	(13.6)	0.7	0.5	丁寧な整形
II	3	337	箬状	(12.9)	0.5	0.45	丁寧な整形
II	3	337	箬状	(18.6)	0.75	0.45	丁寧な整形
II	3	337	箬状	(14.3)	0.55	0.55	丁寧な整形
II	3	337	箬状	(11.5)	0.6	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箬状	(13.9)	0.6	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箬状	(13.4)	0.55	0.5	丁寧な整形
II	3	337	箬状	(11.0)	0.5	0.2	丁寧な整形
II	3	337	箬状	(16.1)	0.5	0.3	丁寧な整形
II	3	337	箬状	(8.0)	0.5	0.35	丁寧な整形
II	3	337	箬状	(13.2)	0.65	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箬状	(15.6)	0.8	0.6	丁寧な整形
II	3	337	箬状	9.8	0.7	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箬状	(14.7)	0.55	0.3	丁寧な整形
II	3	337	箬状	(13.8)	0.4	0.25	丁寧な整形
II	3	337	箬状	(18.9)	0.5	0.3	丁寧な整形
II	3	337	箬状	(9.2)	0.8	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箬状	(9.9)	0.5	0.4	丁寧な整形



実測外木製品計測表

区	面	遺構	種別	長さ(残存長)	幅[残存幅]	厚	備考
II	3	337	箸状	(15.0)	0.7	0.35	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(12.2)	0.6	0.35	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(11.1)	0.6	0.45	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(13.2)	0.6	0.45	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(10.5)	0.6	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(13.5)	0.5	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(12.9)	0.5	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(12.5)	0.5	0.3	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(10.0)	0.45	0.3	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(13.5)	0.5	0.45	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(13.4)	0.6	0.3	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(8.8)	0.6	0.35	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(10.1)	0.7	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(8.6)	0.55	0.45	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(8.4)	0.45	0.5	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(11.4)	0.45	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(8.6)	0.6	0.3	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(12.6)	0.6	0.5	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(7.2)	0.7	0.5	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(9.4)	0.5	0.5	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(11.6)	0.6	0.4	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(12.4)	0.7	0.3	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(16.0)	0.7	0.6	丁寧な整形
II	3	337	箸状	(11.2)	0.9	0.4	丁寧な整形
II	3	337	斉串状	(9.2)	0.7	0.45	
II	3	337	斉串状	(16.2)	0.9	0.6	
II	3	337	斉串状	(8.6)	0.7	0.55	
II	3	337	斉串状	(7.2)	0.8	0.7	
II	3	337	斉串状	(16.3)	0.9	0.5	
II	3	337	斉串状	(8.6)	0.7	0.4	
II	3	337	斉串状	(18.0)	0.8	0.9	
II	3	337	斉串状	(6.0)	0.8	0.6	
II	3	337	斉串状	(7.0)	0.8	0.7	
II	3	337	斉串状	(13.5)	0.8	0.6	
II	3	337	斉串状	(13.8)	0.7	0.5	
II	3	337	斉串状	(14.3)	0.7	0.3	
II	3	337	斉串状	(16.0)	0.7	0.5	
II	3	337	斉串状	(12.7)	0.7	0.4	
II	3	337	斉串状	(14.1)	1.2	1.0	
II	3	337	斉串状	(14.2)	0.7	0.4	
II	3	337	斉串状	(13.2)	0.7	0.4	
II	3	337	斉串状	(7.6)	0.5	0.5	
II	3	337	斉串状	(8.0)	0.8	0.4	
II	3	337	斉串状	(7.7)	0.7	0.45	
II	3	337	斉串状	(7.2)	0.7	0.4	
II	3	337	斉串状	(9.3)	1.0	0.5	
II	3	337	斉串状	(9.9)	1.2	0.6	
II	3	337	斉串状	(19.6)	1.1	0.6	
II	3	337	杭状	26.8	3.0	1.7	
II	3	326掘方	箸状	(8.0)	0.5	0.4	丁寧な整形
II	3	326掘方	箸状	(10.7)	0.55	0.4	丁寧な整形
II	3	326	端材	12.1	1.5~2.0	0.6	一面のみ成形
II	3	326	杭	28.3	2.5	1.4	
II	3	326	漆器・椀				黒色漆髹漆・内外面赤色系漆で漆絵・手描き・笹文
I	4	187	箸状	16.9	0.7	0.4	
I	4	187	箸状	(8.6)	0.5	0.4	
I	4	187	箸状	(10.3)	0.5	0.3	
I	4	187	箸状	(10.2)	0.5	0.4	
I	4	187	箸状	(11.2)	0.5	0.4	
I	4	187	箸状	(10.9)	0.4	0.3	
I	4	187	箸状	(10.1)	1.1	0.8	丁寧な整形
I	4	187	箸状	(9.9)	0.6	0.6	丁寧な整形
I	4	187	箸状	(11.3)	0.6	0.6	断面、三角形
I	4	187	篋状	(8.0)	0.7	0.4	
I	4	187	篋状	(10.5)	0.7	0.3	
I	4	187	篋状	(6.8)	0.7	0.3	

実測外木製品計測表

区	面	遺構	種別	長さ(残存長)	幅[残存幅]	厚	備考
I	4	187	棒状	(13.6)	0.6	0.4	
I	4	187	棒状	(12.4)	0.6	0.5	
I	4	187	棒状	(13.5)	0.5	0.4	
I	4	187	棒状	(10.5)	0.6	0.4	
I	4	187	棒状	(9.1)	0.6	0.3	
I	4	187	棒状	(7.6)	0.6	0.4	
I	4	187	棒状	(9.5)	0.5	0.4	
I	4	187	棒状	(10.6)	0.8	0.5	
I	4	187	箸状	(7.5)	0.6	0.5	丁寧な整形
I	4	187	箸状	(13.5)	0.6	0.4	丁寧な整形
I	4	187	箸状	(7.4)	0.8	0.5	丁寧な整形
I	4	187	箸状	(3.7)	0.7	0.4	片先端部焼痕
I	4	187	棒状	14.3	0.6	0.3	
I	4	187	棒状	(12.8)	1.0	0.6	面取り少ない、加工途中品か
I	4	187	棒状	(9.0)	0.6	0.5	面取り少ない、加工途中品か
I	4	187	棒状	(6.6)	0.7	0.5	面取り少ない、加工途中品か
I	4	187	棒状	(7.1)	0.8	0.5	面取り少ない、加工途中品か
I	4	187	棒状	(15.7)	0.6	0.5	面取り少ない、加工途中品か
I	4	187	棒状	(11.9)	0.7	0.6	
I	4	187	棒状	(8.4)	0.7	0.7	
I	4	187	棒状	(33.2)	1.2	0.9	
I	4	187	棒状	(36.0)	1.8	1.0	
I	4	187	棒状	(12.9)	1.1	1.0	
I	4	187	棒状	(13.5)	0.8	0.4	加工途中か
I	4	187	棒状	(9.2)	0.8	0.6	片先端部焼痕
I	4	187	棒状	13.3	0.7	0.2	
I	4	187	棒状	17.0	1.5	1.3	面取り、全体的に炭化している
I	4	187	篋状	(25.1)	(1.0)	0.4	
I	4	187	篋状	(21.8)	(0.8)	0.2	
I	4	187	篋状	(19.6)	(1.5)	0.5	
I	4	187	篋状	(21.4)	(1.2)	0.4	加工途中か
I	4	187	篋状	15.7	1.2	0.4	
I	4	187	篋状	(16.9)	1.1	0.6	
I	4	187	篋状	8.8	1.3	0.5	
I	4	187	篋状	13.6	0.8	0.3	
I	4	187	篋状	15.8	0.8	0.2	
I	4	187	篋状	(11.7)	0.8	0.4	
I	4	187	篋状	15.0	1.2	0.4	
I	4	187	篋状	14.9	(1.2)	0.3	
I	4	187	篋状	12.7	0.8	0.2	
I	4	187	篋状	13.4	(0.8)	0.4	
I	4	187	篋状	(11.5)	(0.8)	0.2	
I	4	187	篋状	12.8	0.8	0.2	
I	4	187	用途不明	14.7	1.8	1.0	不整形
I	4	187	用途不明	3.5	11.0	1.5	断面、三角形
I	4	187	板草履芯	(9.0)	(2.1)	0.3	
I	4	187	経木折敷	(14.5)	1.4	0.1	
I	4	187	経木折敷	(12.5)	1.1	0.1	
I	4	187	経木折敷	13.3	(1.3)	0.1	
I	4	187	経木折敷	12.8	(0.9)	0.1	
I	4	187	板折敷	(10.1)	(0.8)	0.2	
I	4	187	曲物	(32.6)	(1.0)	0.2	側板
I	4	187	板状	(40.9)	(4.3)	0.6	
I	4	187	部材	(25.5)	5.2	1.9	釘痕1ヶ所あり
I	4	187	部材	(33.9)	1.8	0.3	
I	4	187	礎板	(18.8)	6.4	1.3	
I	4	187	礎板	(20.5)	6.2	1.4	片先端部分的に折れている
I	4	187	部材	8.3	4.0	1.4	
I	4	187	部材	12.0	3.3	2.0	片先端丸みを帯びている
I	4	187	部材	13.0	2.7	1.2	
I	4	187	部材	3.8	3.5	0.8	
I	4	187	用途不明	(2.5)	5.0	2.5	下駄の歯か
I	4	187	自然木	(18.5)	直径1.0		
I	4	187	自然木	(12.0)	直径0.5		全体に焼痕
I	4	193	漆器・皿			0.2~0.25	黒色系漆髹漆・無文
I	4	193	自然木	5.4	0.5	0.45	

実測外木製品計測表

区	面	遺構	種別	長さ(残存長)	幅[残存幅]	厚	備考
I	4	206	箸状	(10.5)	0.5	0.2	
I	4	206	箸状	(10.3)	0.5	0.3	
I	4	206	棒状	(10.0)	2.3	1.25	
I	4	206	棒状	(8.0)	1.5	0.95	
I	4	206	棒状	(13.1)	0.5	0.4	
I	4	206	棒状	(13.15)	0.7	0.25	
I	4	206	棒状	(14.5)	0.6	0.35	
I	4	206	棒状	(10.8)	0.7	0.4	
I	4	206	棒状	(22.0)	0.7	0.45	
I	4	206	棒状	(13.5)	1.0	0.25	
I	4	206	棒状	(8.8)	0.9	0.35	
I	4	206	棒状	(15.0)	1.0	0.5	
I	4	206	棒状	(10.0)	0.7	0.45	
I	4	206	棒状	(17.6)	0.5	0.2	
I	4	206	棒状	(13.2)	0.8	0.25	
I	4	206	棒状	(5.9)	0.5	0.15	
I	4	206	棒状	(17.7)	0.7	0.35	
I	4	206	棒状	(7.9)	0.6	0.35	
I	4	206	用途不明	(26.2)	3.1	0.65	
I	4	206	用途不明	(20.2)	1.8	1.0	
I	4	206	用途不明	(15.9)	1.4	0.45	
I	4	206	用途不明	(10.2)	1.7	0.45	
I	4	206	用途不明	(13.0)	1.1	0.35	
I	4	206	用途不明	(6.5)	1.5	0.45	
I	4	219	箸状	(12.8)	0.6	0.5	
I	4	227	箸状	(20.0)	0.8	0.5	
I	4	227	棒状	(15.2)	0.4	0.3	
I	4	227	用途不明	(13.4)	1.4	1.05	
I	4	231	板草履芯	(13.2)	3.4	0.15	
I	4	面上	箸状	(9.5)	0.4	0.3	
II		カマ場	箸状	(11.8)	0.7	0.2	
II		カマ場	箸状	(16.7)	0.5	0.35	
II		カマ場	箸状	(20.8)	0.7	0.5	
II		カマ場	箸状	(11.9)	0.6	0.45	
II		カマ場	箸状	(14.6)	0.5	0.35	
II		カマ場	箸状	(3.2)	0.6	0.25	
II		カマ場	箸状	(3.3)	0.5	0.2	
II		カマ場	箸状	(3.2)	0.4	0.3	
II		カマ場	箸状	(8.0)	0.5	0.35	
II		カマ場	箸状	(11.5)	0.5	0.3	
II		カマ場	棒状	(14.3)	0.7	0.28	
II		カマ場	棒状	(13.3)	0.9	0.55	
II		カマ場	棒状	(10.1)	0.7	0.45	
II		カマ場	棒状	(16.2)	0.8	0.25	
II		カマ場	棒状	(7.0)	0.7	0.35	
II		カマ場	棒状	(15.5)	0.6	0.5	
II		カマ場	棒状	(11.5)	0.8	0.4	
II		カマ場	棒状	(13.6)	0.7	0.45	
II		カマ場	棒状	(14.2)	0.5	0.5	
II		カマ場	棒状	(15.2)	0.6	0.25	
II		カマ場	棒状	(18.7)	0.7	0.25	
II		カマ場	棒状	(20.0)	0.7	0.3	
II		カマ場	部材	(20.5)	1.7	0.7	
II		カマ場	串状	(17.2)	0.9	0.4	
II		カマ場	ヘラ状	(14.0)	1.0	0.55	
II		カマ場	用途不明	(11.3)	1.5	0.1	

# 米町遺跡の花粉分析

森 将志 (パレオ・ラボ)

## 1. はじめに

神奈川県鎌倉市に所在する米町遺跡において、古植生を検討するために花粉分析用の試料が採取された。以下では、試料について行った花粉分析の結果を示し、遺跡周辺の古植生について検討した。

## 2. 試料と方法

分析試料は、I区北壁と遺構206から採取された計5試料である(表1)。遺構206下層覆土から採取された試料(No. 5)の堆積時期は13世紀後半、I区北壁の⑦～⑩層から採取された試料(No. 1～4)は概ね13世紀後半以前と推測されている。これらの試料から、次の手順で花粉分析を実施した。

試料(湿重量約3～4g)を遠沈管にとり、10%水酸化カリウム溶液を加え10分間湯煎する。水洗後、46%フッ化水素酸溶液を加え1時間放置する。水洗後、比重分離(比重2.1に調整した臭化亜鉛溶液を加え遠心分離)を行い、浮遊物を回収し水洗する。水洗後、酢酸処理を行い、続いてアセトリシス処理(無水酢酸9:濃硫酸1の割合の混酸を加え20分間湯煎)を行う。水洗後、残渣にグリセリンを滴下し保存用とする。検鏡は、この残渣より適宜プレパラートを作製して行った。No. 5については、数枚のプレパラートを検鏡し、その間に現れる花粉・胞子を全て数えた。No. 1～4については、複数枚を検鏡しても産出傾向を把握するのに必要な数の花粉化石が得られない

と判断されたため、プレパラート1枚の全面を検鏡するにとどめた。また、保存状態の良好な花粉を選んで単体標本作製し、写真を撮影した。図版に載せた分類群ごとの単体標本(PLC. 853～860)は、パレオ・ラボに保管されている。

表1 分析試料一覧

試料No.	採取地点	層位	時期	土相
1	I区北壁	⑦層	13世紀後半以前	明茶褐色砂質土
2		⑧層		
3		⑨層		青灰色砂
4		⑩層		
5	遺構206	下層覆土	13世紀後半	暗茶褐色弱粘質土

## 3. 結果

今回の分析試料から検出された花粉・胞子の分類群数は、樹木花粉16、草本花粉14、形態分類のシダ植物胞子2の総計32である。これらの花粉・胞子の一覧を表2に、花粉分布図を図1に示した。分布図において、樹木花粉の産出率は樹木花粉総数を基数とした百分率で、草本花粉と胞子の産出率は産出花粉胞子総数を基数とした百分率で示してある。図および表においてハイフン(-)で結んだ分類群は、それらの分類群間の区別が困難なものを示す。また、クワ科の花粉には樹木起源と草本起源のものがあるが、各々に分けるのが困難なため、便宜的に草本花粉に一括して入れてある。

今回の試料は、花粉化石がほとんど含まれていないが、そのなかで遺構206下層覆土(No. 5)のみ比較的多数の花粉化石を検出できた。遺構206下層覆土(No. 5)では草本花粉が圧倒的に多く産出しており、イネ科とアカザ科・ヒユ科、ヨモギ属の産出が目立つ。イネ科は52%、アカザ科・ヒユ科は18%、ヨモギ属は11%の産出率を示す。その他では、栽培植物のソバ属もわずかに産出している。樹木花粉では、ツガ属やマツ属複雑管束亜属、スギ属の産出が目立ち、それぞれ14%、36%、22%の産出率を示している。

## 4. 考察

今回の分析試料には花粉化石がほとんど含まれていなかった。花粉化石が産出しない原因の1つとして

は、堆積物の粒径の大きさの影響が考えられる。花粉粒の大きさは一般的にシルト・粘土サイズであり、植物から散布された花粉粒は、陸域や水域に落下した場合、微細粒子と同じような挙動を示すと思われる。今回分析した試料（No. 1～4）は砂質堆積物であり、砂を主体とした本試料には流失等により、花粉化石がとどまらなかったものと思われる。以下では、比較的多くの花粉化石が産出した遺構206下層覆土（No. 5）から得られた花粉化石群集から、米町遺跡周辺の13世紀後半の古植生を推測してみたい。

No. 5では、圧倒的に草本花粉の産出が多いため、遺構206周辺は樹木が疎らで、主に草地が広がっていたと思われる。その草地には、イネ科やアカザ科-ヒユ科、ヨモギ属などを主体とし、イタドリ節やアブラナ科、タンポポ亜科などを含む草本類が生育していたと思われる。また、栽培植物のソバ属の産出が見られるため、遺構206周辺ではソバ栽培が行われていたと考えられる。樹木花粉では、マツ属複雑管束亜属の産出が最も多く、ニヨウマツ類からなる二次林が遺跡周辺に存在していた可能性がある。マツ属複雑管束亜属に次いで産出が多いのはスギ属である。よって、遺跡周辺の丘陵地などにはスギ林も存在していたであろう。

ところで、鎌倉周辺ではスギ林・照葉樹林がニヨウマツ林へと交代するのが13世紀中頃と推測されている（鈴木，1999）。No. 5は調査所見により概ね13世紀後半と推定されているが、花粉分析結果をみても、マツ属複雑管束亜属が優占することから、13世紀中頃以降と推測でき、発掘調査所見と花粉分析結果は調和的である。

#### 引用文献

鈴木 茂（1999）神奈川県鎌倉市における鎌倉時代の森林破壊．国立歴史民俗博物館研究報告第81集，131-139.



表2 産出花粉化石一覧表

学名	和名	⑦層	⑧層	⑨層	⑩層	206下層覆土
樹木						
<i>Abies</i>	モミ属	-	-	-	-	5
<i>Tsuga</i>	ツガ属	-	-	-	-	25
<i>Picea</i>	トウヒ属	-	-	-	-	9
<i>Pinus</i> subgen. <i>Diploxylon</i>	マツ属復維管束亜属	-	-	-	-	64
<i>Sciadopitys</i>	コウヤマキ属	-	-	-	-	2
<i>Cryptomeria</i>	スギ属	3	-	-	-	40
<i>Pterocarya-Juglans</i>	サワグルミ属-クルミ属	-	-	-	-	1
<i>Carpinus-Ostrya</i>	クマシデ属-アサダ属	-	-	-	-	1
<i>Betula</i>	カバノキ属	-	-	-	-	1
<i>Alnus</i>	ハンノキ属	1	-	-	-	-
<i>Quercus</i> subgen. <i>Lepidobalanus</i>	コナラ属コナラ亜属	-	-	-	-	9
<i>Quercus</i> subgen. <i>Cyclobalanopsis</i>	コナラ属アカガシ亜属	-	-	1	-	9
<i>Castanea</i>	クリ属	-	-	1	-	5
<i>Castanopsis-Pasania</i>	シイノキ属-マテバシイ属	1	-	-	-	3
<i>Ulmus-Zelkova</i>	ニレ属-ケヤキ属	-	-	-	-	3
<i>Aesculus</i>	トチノキ属	-	-	-	-	1
草本						
Gramineae	イネ科	3	-	-	-	1398
Cyperaceae	カヤツリグサ科	-	-	-	-	8
Liliaceae	ユリ科	-	-	-	-	1
Moraceae	クワ科	1	-	-	-	2
<i>Polygonum</i> sect. <i>Reynoutria</i>	イタドリ節	-	-	-	-	78
<i>Fagopyrum</i>	ソバ属	-	-	-	-	3
Chenopodiaceae-Amaranthaceae	アカザ科-ヒユ科	-	-	-	-	492
Caryophyllaceae	ナデシコ科	-	-	-	-	35
<i>Thalictrum</i>	カラマツソウ属	-	-	-	-	2
Brassicaceae	アブラナ科	-	-	-	-	105
Apiaceae	セリ科	-	-	-	-	7
<i>Artemisia</i>	ヨモギ属	4	-	-	-	302
Tubuliflorae	キク亜科	2	-	-	-	9
Liguliflorae	タンポポ亜科	1	-	-	-	28
シダ植物						
monolate type spore	単条溝孢子	-	-	-	-	8
trilate type spore	三条溝孢子	-	-	-	-	13
Arboreal pollen	樹木花粉	5	-	2	-	178
Nonarboreal pollen	草本花粉	11	-	-	-	2470
Spores	シダ植物孢子	-	-	-	-	21
Total Pollen&Spores	花粉・孢子総数	16	-	2	-	2669
Unknown pollen	不明花粉	-	-	-	-	3

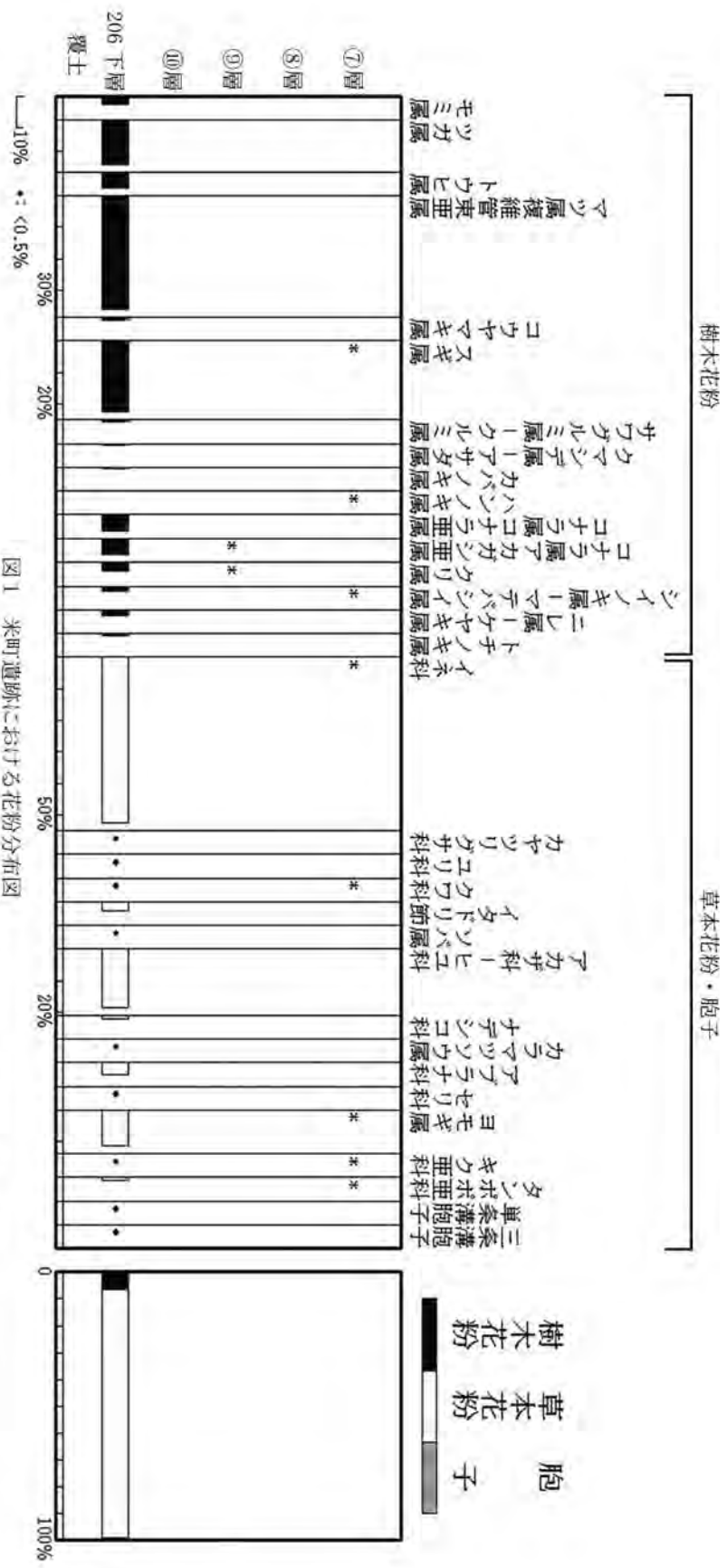
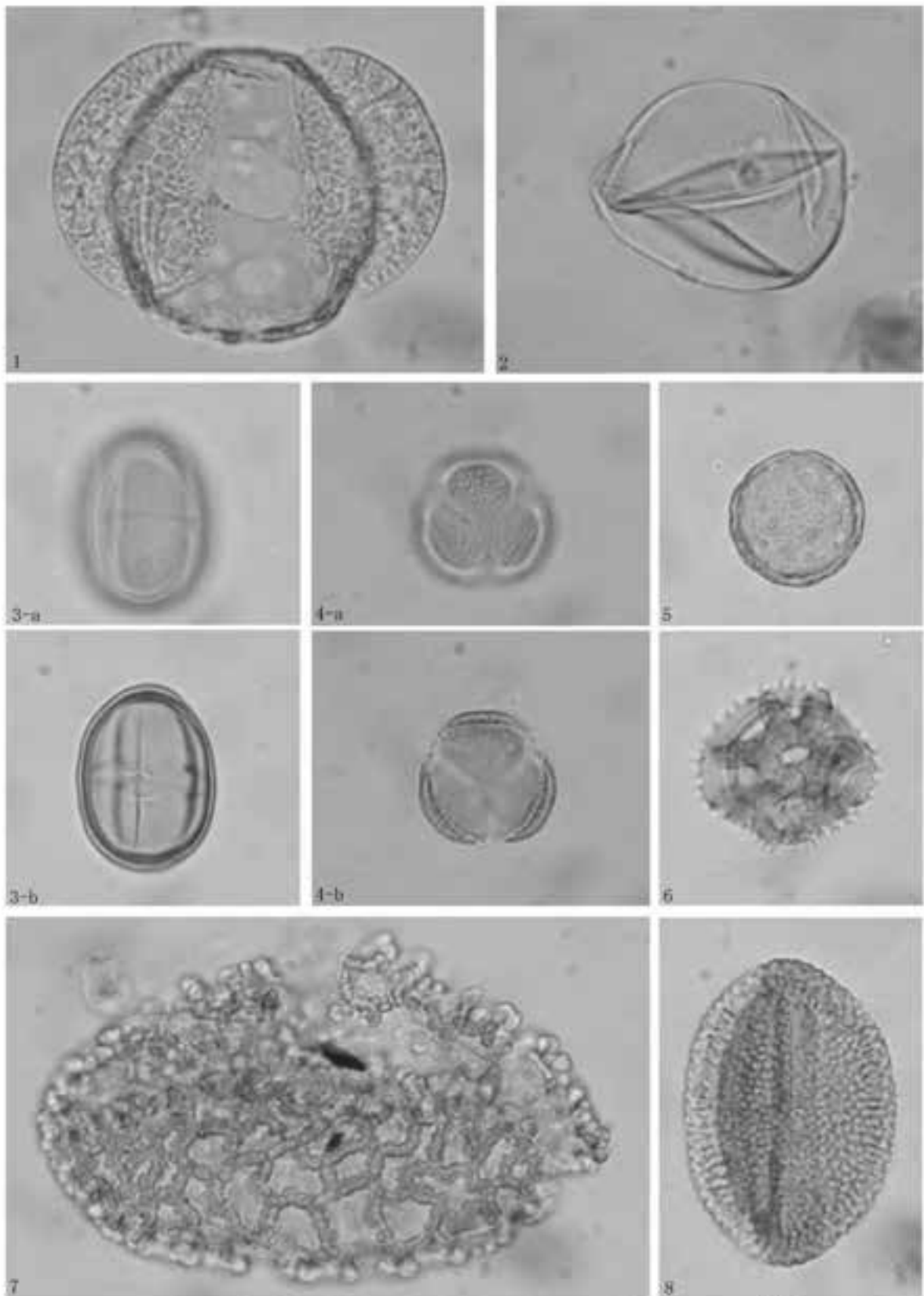


図1 米町遺跡における花粉分布図  
 樹木花粉は樹木花粉総数、草本花粉・胞子は産出花粉胞子総数を基数として百分率で算出した。  
 \*は樹木花粉200個未満の試料について、検出した分類群を示す。



図版 米町遺跡（遺構206下層覆土）から産出した花粉化石

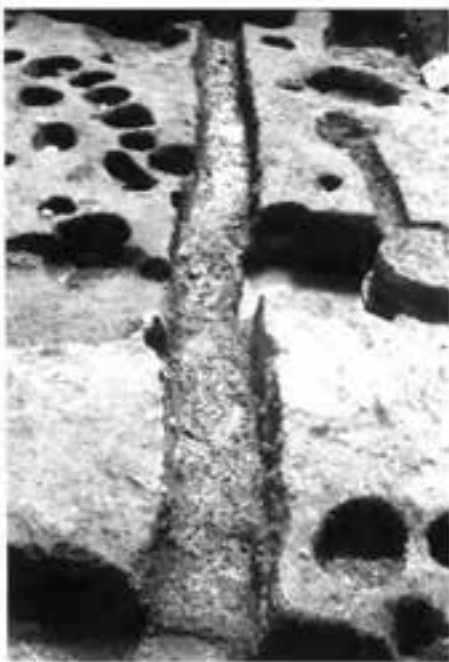
0.02mm

- |                        |                     |
|------------------------|---------------------|
| 1. マツ属複維管束型 (PLC. 853) | 2. イネ科 (PLC. 854)   |
| 3. イタドリ節 (PLC. 855)    | 4. ヨモギ属 (PLC. 856)  |
| 5. アカザ科-ヒユ科 (PLC. 857) | 6. タンポポ科 (PLC. 858) |
| 7. ユリ科 (PLC. 859)      | 8. ノバ属 (PLC. 860)   |





▲ I区・II区 第1面全景（北から）



▲ 第1面・遺構8（北から）



▲ 第1面・遺構35・43・44・45・49（北から）



▲ 第2面・遺構65（西から）



▲ 第2面・面上出土（折敷）



図版2



◀ I区・第2面全景（北から）  
※手前はⅡ区・第1面



Ⅱ区・第2面全景（北から）▶



▲ I区・第2面 北東隅（東から）



▲ 第2面・遺構164（西から）



▲ I区・第3面全景（北から）  
※手前はⅡ区・第1面



Ⅱ区・第3面全景（北から）▶

図版3



▲ 第3面・遺構326 (西から)



▲ 第3面・遺構353 (東から)



▲ 第3面・遺構358 (北から)



▲ 第3面・遺構166 (南から)



◀ I区・第4面全景 ※手前はII区・第1面



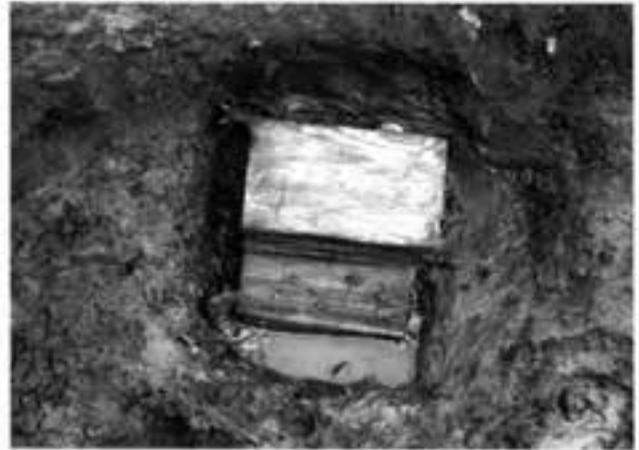
▲ II区・第4面全景 (北から)



図版4



▲ 第4面・遺構182 (西から)



▲ 第4面・遺構212 (西から)



▲ 第4面・遺構401 (東から)

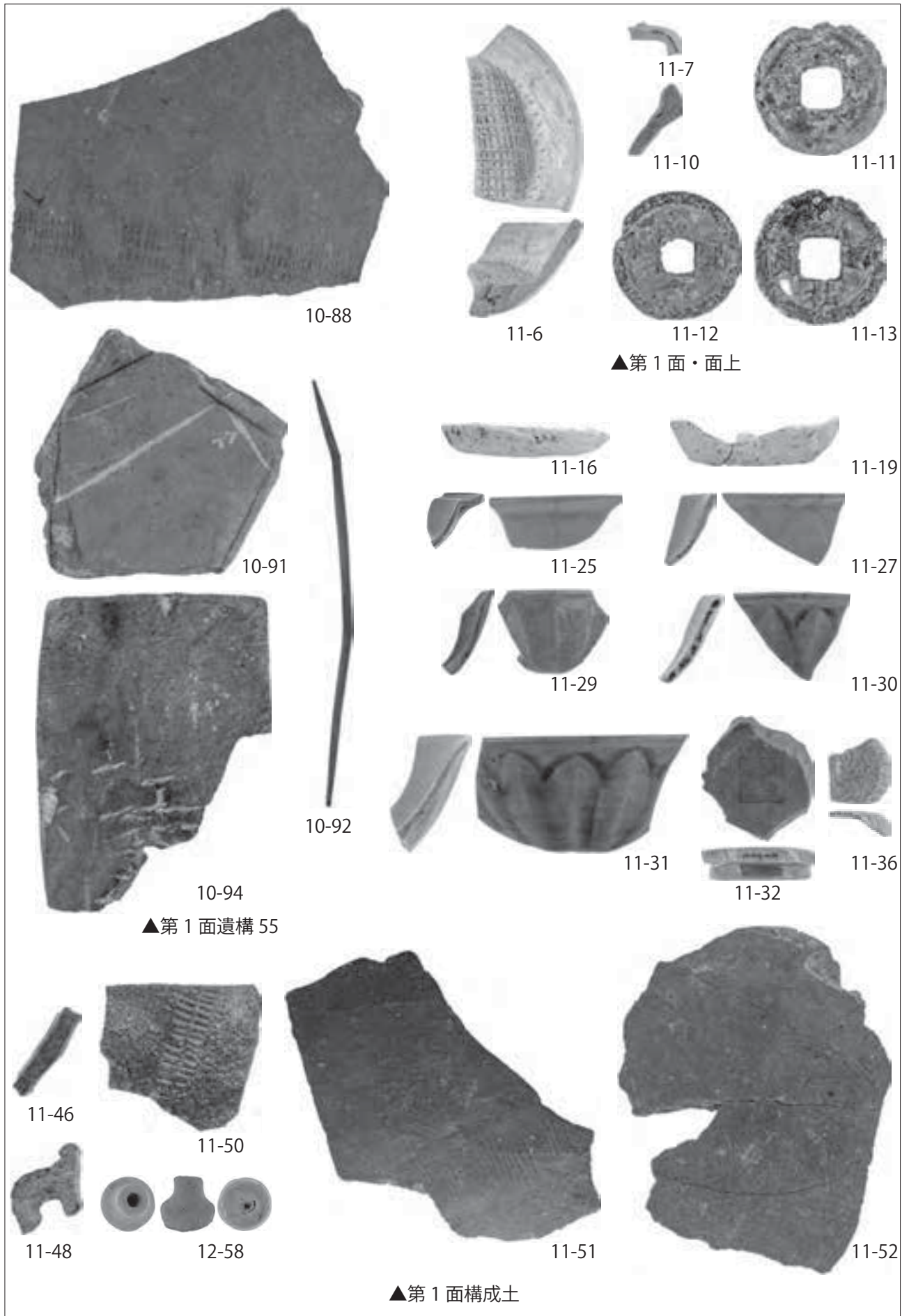


▲ I区・最終Tr. (南から)

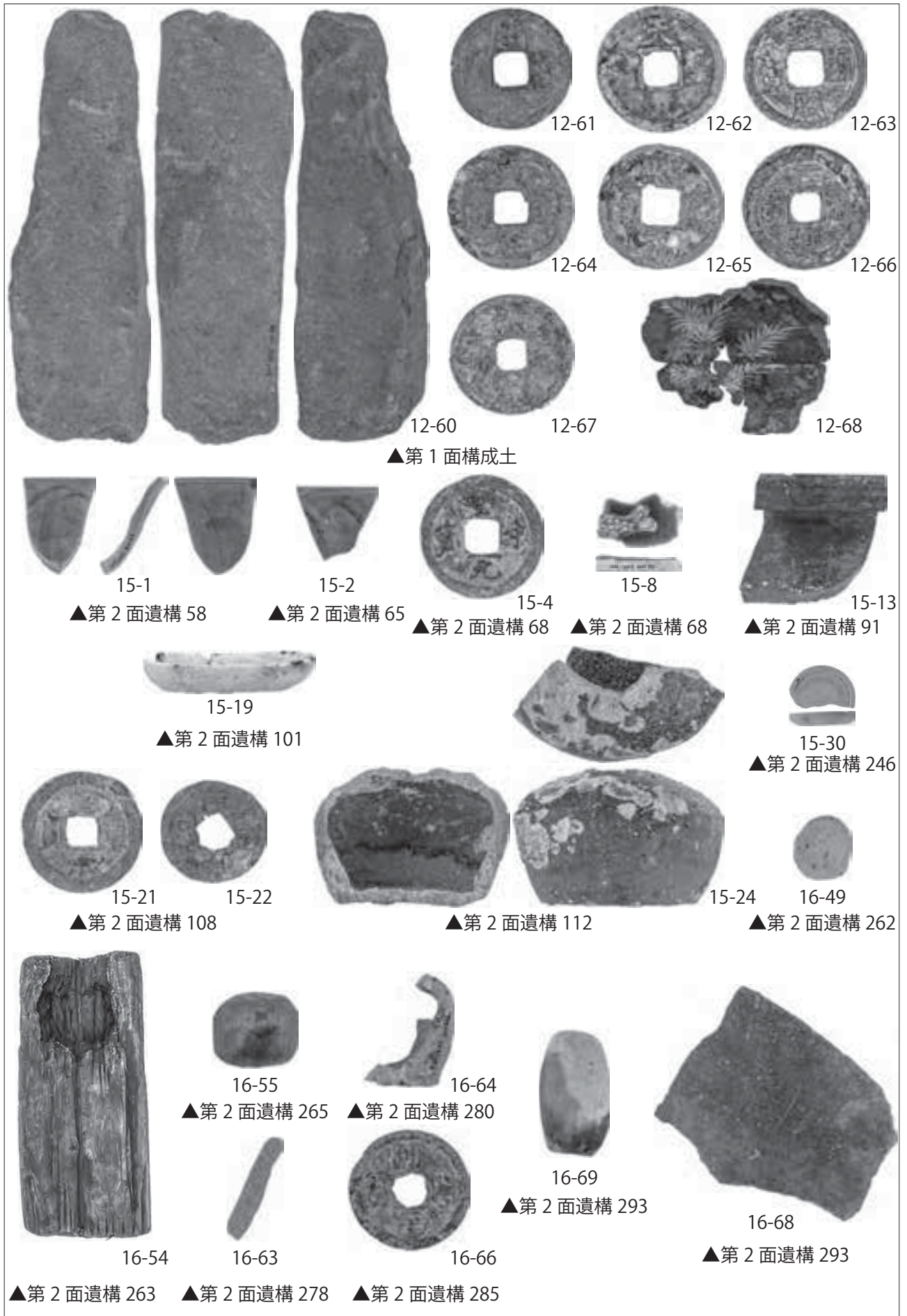


▲ I区・最終Tr. (西から)











▲2 面上

18-25



